

薬学部 医療ビジネス薬科学科

2020 Syllabus

授業計画

東西医療の統合をめざして



日本薬科大学
NIHON PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

2020 Syllabus

授業計画

建学の精神、教育目標、研究目標、使命・目的 …	1
医療ビジネス薬科学科のカリキュラム編成の考え方 …	3
1. 医療ビジネス薬科学科カリキュラム・ツリー …	4
2. 医療ビジネス薬科学科カリキュラム・マップ …	7
3. GPA 制度について …	9
4. 実務経験のある教員による授業科目 …	10
令和2年度入学生カリキュラム表 …	11
1年生 …	17
平成31年度入学生カリキュラム表 …	75
2年生 …	81
平成30年度入学生カリキュラム表 …	155
3年生 …	161
平成29年度入学生カリキュラム表 …	217
4年生 …	223

建学の精神

個性の伸展による人生練磨

人にはそれぞれ生来その人特有の個性が賦与されている。

個性とは他と区別される特徴的長所、美点、得意面等を意味し、「第一義的特性」という。

「三つ子の魂百まで」や「梅檀（せんだん）は二葉より芳し」の格言にあるように、初等、中等教育の段階までは生得的性格、資質、天賦の才等を指して言うことが多いが、高等教育の段階においては、さらに進化し、「個性」すなわち「専門性」として、より高度化、社会的、学問的な専門領域や専門分野を「個性」として位置づけている。

本学においては、薬学という専門性に集中、特化する教育を基本とし、高度専門職、そして天職として自己の人生の社会的使命を自覚することを目指している。

さらには「個性」の持つ独自性のみが可能とする独創性、独創力に最も高い価値を置いている。

「個性の伸展による人生練磨」は学校教育のみに終わることなく、生涯を通じて自己実現を達成していく建学の精神である。

教育目標

建学の精神に基づいて、それぞれの学科における人材養成に関する教育目標を次のように定めている。

1 医療ビジネス薬科学科

薬学の広い知識をもち、医療関連産業および医療機関に従事し、地域社会における公衆衛生の向上と国民の福祉・健康の増進に貢献できる人材の養成を目標とする。

医療変革時代において、薬学が得意とする医薬品の知識だけでなく、医療全般に関する基本的な知識・技能、健康管理・増進、経営学などに関する広範な知識を融合することにより、広く人類の福祉・健康に貢献できる創造性にあふれた新しいタイプの医療に関わる人材の養成を目指している。

研究目標

1. 基礎薬学研究の推進

深い洞察に基づく、基礎薬学研究を積極的に推進する。

2. 応用薬学研究の発展充実

基礎研究を基盤とした応用薬学研究を発展充実させ、医療や福祉の増進に貢献する。

3. 国際社会や地域社会との連携

国際社会や地域社会と連携した学術研究を推進する。

4. 統合医療の実現を目指した研究の推進

統合医療の実現を目指して、特色ある研究を推進する。

使命・目的



(建学碑裏書)

天寿を全うせしめるものは薬の力である
生命の根元に培うものは薬学の使命である
教育は社会進化の源泉である
ここに日本薬科大学を開き
人類の福祉と学術の深化
東西の融和を祈念する

「本学は、『個性の伸展による人生練磨』を建学の精神に掲げ、教育法規等に基づき、広く知識を授けるとともに、深く薬学に関する学理と技術を教授研究し、豊かな人間性と確かな倫理観を兼ね備えた有能かつ創造的人材を育成することを目的としている。このことにより、薬学の深化、文化の向上、人類の福祉、地域社会の振興に貢献することを使命としている。」(「日本薬科大学 学則 第1章第1条」に記載)

医療ビジネス薬科学科のカリキュラム編成の考え方

皆さんが大学に入学してから卒業するまでには、多くの科目を履修してその内容を修得しなければなりません。日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科においては、4年間にどのような科目をどのような順序で学ぶかについて教務委員会を中心に検討し、以下の観点からカリキュラムを編成しています。

本学では、建学の精神および教育理念に基づき学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー^{注1}）が定められています。4年間のカリキュラムは、このポリシーの内容を実現するために定められたカリキュラム編成の方針（カリキュラム・ポリシー^{注2}）を基本として編成されています。さらに、4年制薬学部においては、卒業時に薬学領域とビジネス領域にふさわしい基本的な資質や能力が身につけているかどうか重要です。そのために、1年次と2年次で、薬学を学ぶための基礎と医療の倫理感を養い、そして3年次と4年次で経営学とビジネスに関する高度な知識を学ぶことで4年間を通じて、薬学や健康に関する知識はもちろん、ビジネス領域にも精通できる科目になっています。次頁以降に、4年間のカリキュラムがどのようにになっているのかの全体像をとらえるための資料を掲載しました。学習を継続して成果を出すためには、一步一步確実に前に進んで目標に向かうことが重要です。皆さんの学習のために、これらの資料が道しるべとなることを期待します。

注1) ディプロマ・ポリシー

日本薬科大学は、学園の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、医療ビジネス薬科学科においては、4年間の教育課程を修了して所定の単位を修得することにより、地域社会における公衆衛生の向上と増進に貢献できる医療ビジネス系人材として以下の力を身につけた学生に対して学位を授与します。

1. 知識：医療関連産業や医療機関で必要とされる医療およびビジネス領域に関する幅広い専門知識を修得している。
2. 技能：医療の現状について理解を深め、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として医療ビジネス産業に積極的に参画できる実践的能力を修得している。
3. 態度：医療を取り巻く社会情勢を認識し、自ら考え、薬の専門家として責任を持った行動を取ることができる。
4. 問題発見・解決力：薬の専門家として教育・研究を遂行する意欲と態度を持って自己研鑽に励み、思考力・判断力を身につけて、問題を解決することができる。

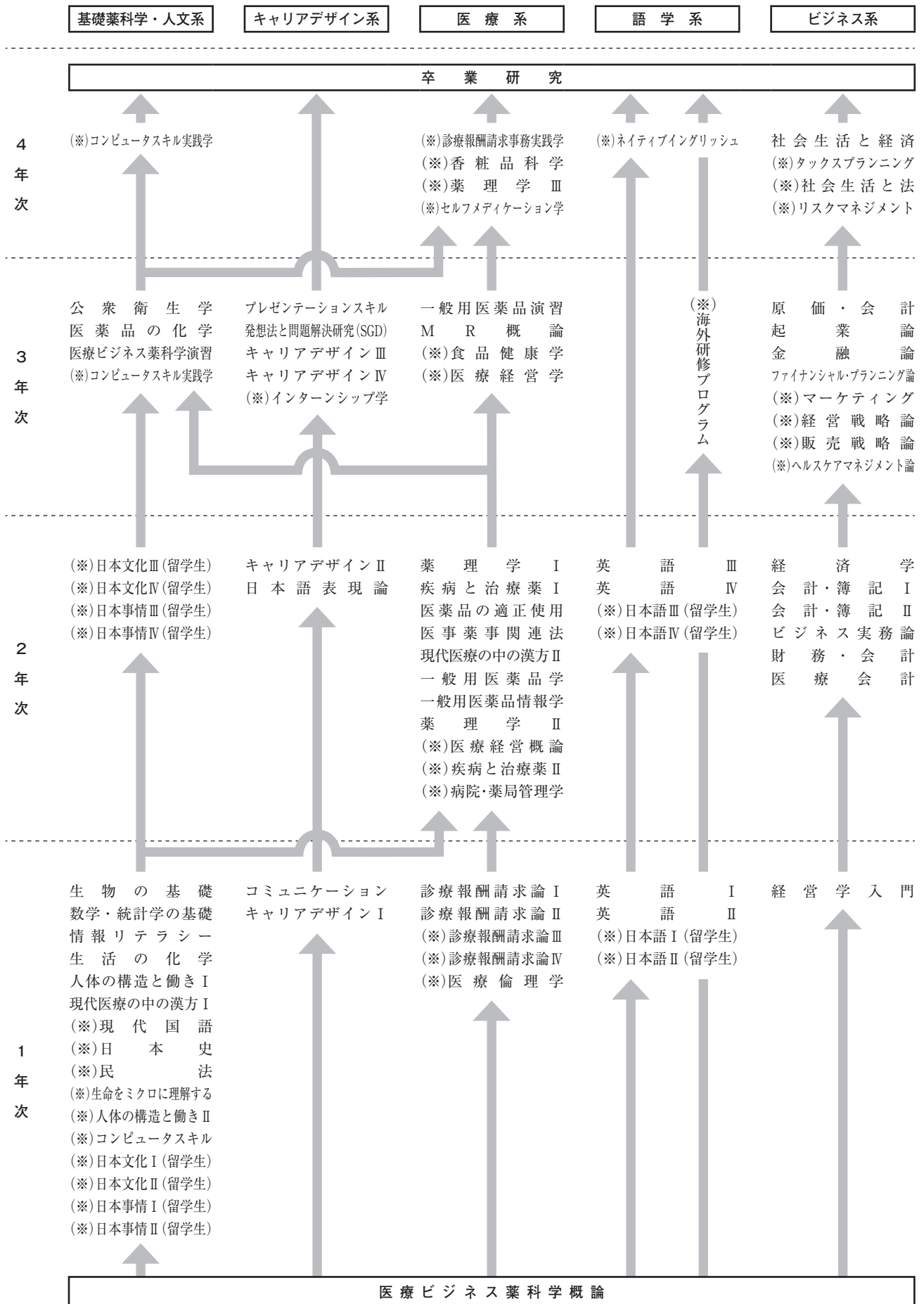
注2) カリキュラム・ポリシー

日本薬科大学は、学園の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、医療ビジネス薬科学科の教育目標を達成するために、以下の方針に基づいて4年間の教育課程を編成し、教育を実践します。

1. 教育課程は、薬学系教育科目とビジネス系科目を2本の柱として、それぞれ順次性をもって編成する。
2. 低学年から、医療事務系資格およびビジネス系資格の取得可能なカリキュラムを編成することにより、本学科生の勉学へのモチベーションの向上を図る。
3. 全学年にわたり、コミュニケーション能力の育成とキャリア教育の充実を図る。
4. 専門性を深めるために、情報薬学、ビジネス薬学及びスポーツ薬学の3コースそれぞれの独自科目を置く。
5. 成績評価は、科目の特性に応じて適切かつ多様な評価方法と基準を設ける。

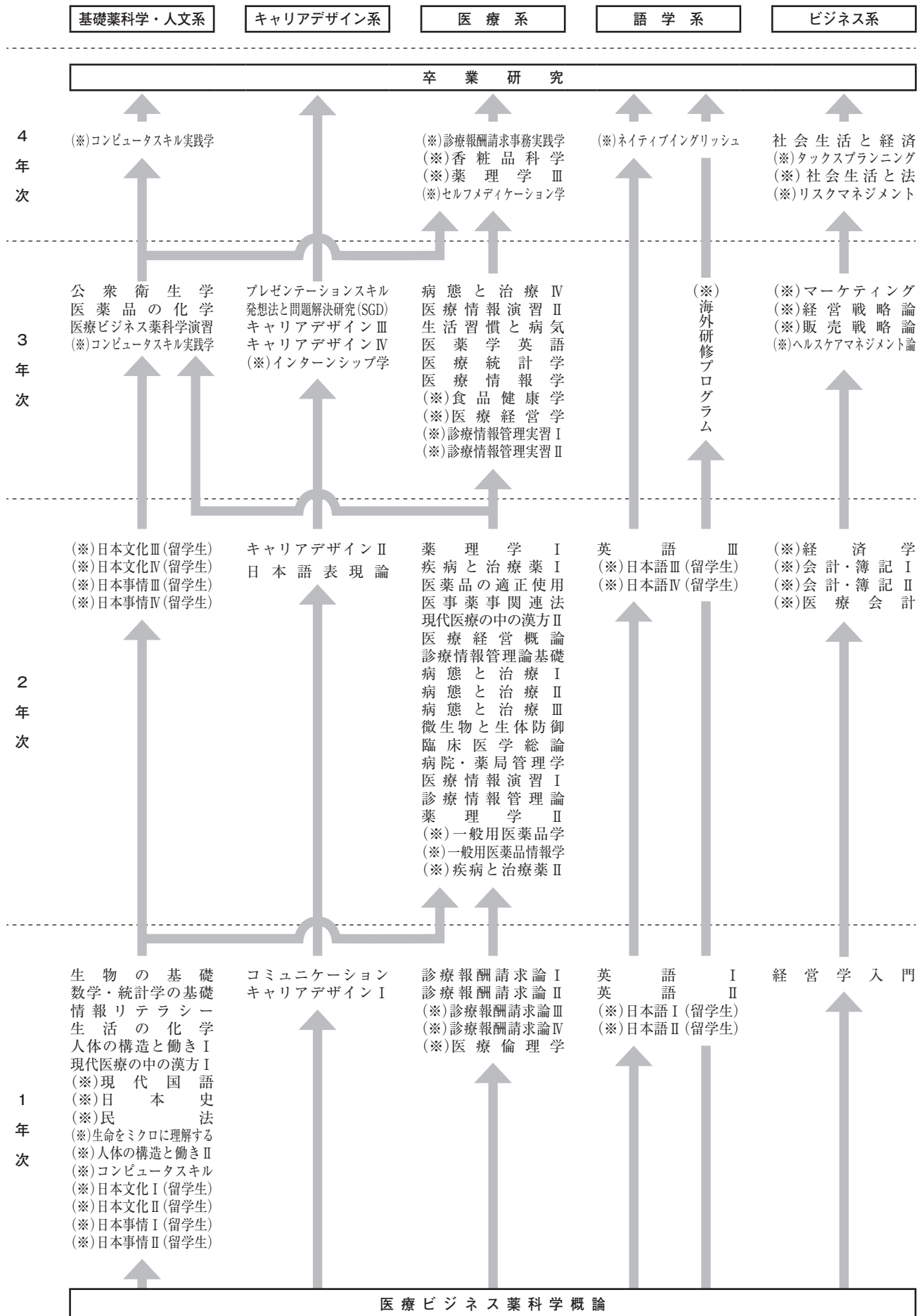
1. 医療ビジネス薬科学科カリキュラム・ツリー

(1) ビジネス薬学コース



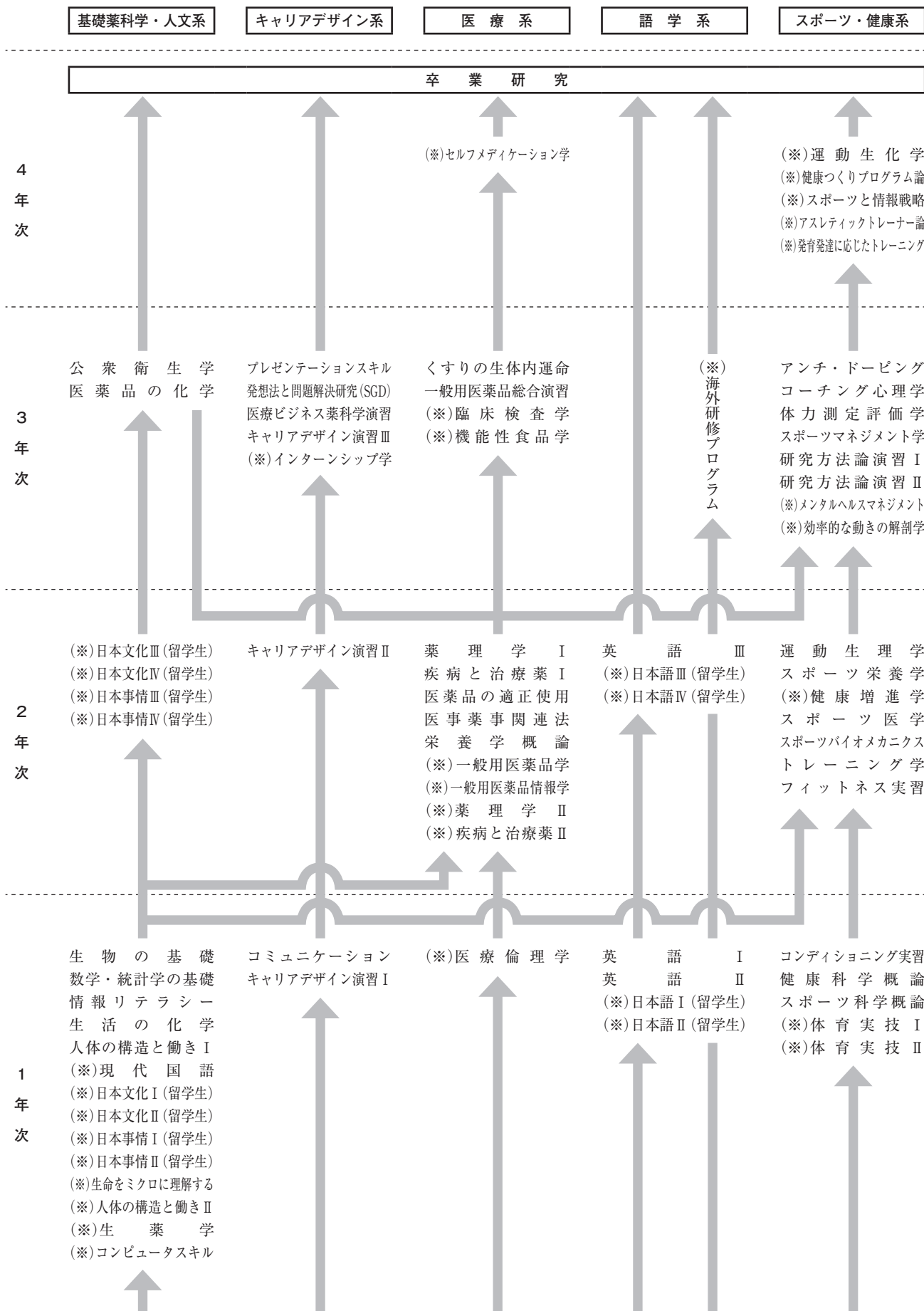
無印：必修科目（選択必修科目）、(※)：選択科目

(2) 情報薬学コース



無印：必修科目(選択必修科目)、(※)：選択科目

(3) スポーツ薬学コース



無印：必修科目（選択必修科目）、(※)：選択科目

2. 医療ビジネス薬科学科カリキュラム・マップ

ビジネス薬学コース

学年/ DP対応科目	D P 1 (知識)										スポーツ	D P 2 (技能)	D P 3 (態度)	D P 4
	自然科学	ビジネス	化学	生物	衛生	医療	漢方	情報	人文社会	情報				
1 年次履修	自然科学の基礎 数学・統計学の基礎	経営学入門 経済学入門 会計・簿記 I 会計・簿記 II ビジネス実務論 財務・会計 医療会計	生活の化学 化学	人体の構造と働き I 生命をミクロに理解する 人体の構造と働き II	公衆衛生学 食品健康学	診療報酬請求論 I 診療報酬請求論 II 診療報酬請求論 III 診療報酬請求論 IV	現代医療の中の漢方 I 現代医療の中の漢方 II	医療経営概論 病院・薬局管理学	現代国語 日本史 民法 日本文化 I 日本文化 II 日本事情 I 日本事情 II	情報リテラシー 英語 I (日本語 I) 英語 II (日本語 II) コミュニケーション コンピュータスキル	英語 III (日本語 III) 日本語表現論 英語 IV (日本語 IV)	医療ビジネス薬科学概論 キャリアアデプザイン I 医療倫理学		
2 年次履修		医事業務関連法 経済学 会計・簿記 I 会計・簿記 II ビジネス実務論 財務・会計 医療会計			薬理学 I 疾病と治療 I 医薬品の適正使用 一般用医薬品情報学 薬理学 II 疾病と治療 II			日本語表現論 英語 III (日本語 III) 日本語表現論 英語 IV (日本語 IV)	海外研修プログラム					
3 年次履修		原価・会計 MR 概論 起業論 金融論 7A (フジノリ・フジノリ) 層 マーケティング 経営戦略論 販売戦略論	医薬品の化学 化学		公衆衛生学 食品健康学	一般用医薬品演習 ヘルスマネジメント論	医療経営学		プレパネーションスキル 発想と問題解決研究 (SGD) 医療ビジネス薬科学演習 コンピュータスキル実戦学			キャリアアデプザイン III キャリアアデプザイン IV インターンシップ学		
4 年次履修		タックスプランニング				診療報酬請求実戦学 化粧品科学 薬理学 III セルフレイティベーション学	社会生活と経済 社会生活と法		リスクマネジメント ネイティブイングリッシュ コンピュータスキル実戦学			卒業研究		

情報薬学コース

学年/ DP対応科目	D P 1 (知識)										スポーツ	D P 2 (技能)	D P 3 (態度)	D P 4
	自然科学	ビジネス	化学	生物	衛生	医療	漢方	情報	人文社会	情報				
1 年次履修	自然科学の基礎 数学・統計学の基礎	経営学入門 経済学入門 会計・簿記 I 会計・簿記 II 医療会計	生活の化学 化学	人体の構造と働き I 生命をミクロに理解する 人体の構造と働き II	公衆衛生学 食品健康学	診療報酬請求論 I 診療報酬請求論 II 診療報酬請求論 III 診療報酬請求論 IV	現代医療の中の漢方 I 現代医療の中の漢方 II	医療経営概論 病院・薬局管理学 診療情報管理 I 診療情報管理論	現代国語 日本史 民法 日本文化 I 日本文化 II 日本事情 I 日本事情 II	情報リテラシー 英語 I (日本語 I) 英語 II (日本語 II) コミュニケーション コンピュータスキル	英語 III (日本語 III) 日本語表現論	医療ビジネス薬科学概論 キャリアアデプザイン I 医療倫理学		
2 年次履修		医事業務関連法 経済学 会計・簿記 I 会計・簿記 II 医療会計			薬理学 I 疾病と治療 I 医薬品の適正使用 病態と治療 I 病態と治療 II 病態と治療 III 微生物と生体防御 臨床医学総論 薬理学 II 一般用医薬品情報学 疾病と治療 II			日本語表現論 英語 III (日本語 III) 日本語表現論 英語 IV (日本語 IV)	海外研修プログラム			キャリアアデプザイン II		
3 年次履修		マーケティング 経営戦略論 販売戦略論	医薬品の化学 化学		公衆衛生学 食品健康学	病態と治療 IV 生活習慣と病気 ヘルスマネジメント論 診療情報管理実習 I 診療情報管理実習 II	医療情報演習 II 医療統計学 医療情報学 医療経営学	社会生活と経済 社会生活と法	プレパネーションスキル 発想と問題解決研究 (SGD) 医療ビジネス薬科学演習 医療学・英語 コンピュータスキル実戦学			キャリアアデプザイン III キャリアアデプザイン IV インターンシップ学		
4 年次履修		タックスプランニング				診療報酬請求実戦学 化粧品科学 薬理学 III セルフレイティベーション学	卒業研究		リスクマネジメント ネイティブイングリッシュ コンピュータスキル実戦学			卒業研究		

スポーツ薬学コース

学年/ DP対応科目	DP 1 (知識)										DP 2 (技能)	DP 3 (態度)	DP 4
	自然科学	ビジネス	化学	生物	衛生	医療	漢方	情報	人文社会	スポーツ・健康			
1 年次履修	自然科学 生物の基礎 数学・統計学の基礎	ビジネス	化学 生活の化学	生物 人体の構造と働きⅠ 生命をミクロに理解する 人体の構造と働きⅡ	衛生	医療 生薬学	漢方	情報	人文社会 現代国語 日本文化Ⅰ 日本文化Ⅱ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	スポーツ・健康 健康科学概論 スポーツ科学概論	情報リテラシー 英語Ⅰ(日本語Ⅰ) 英語Ⅱ(日本語Ⅱ) コミュニケーション コンディショニング実習 コンピュータスキル 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	キャリアアプライン演習Ⅰ 医療倫理学	
2 年次履修		医事・薬事関連法				薬理学Ⅰ 疾病と治療薬Ⅰ 医薬品の適正使用 栄養学概論 一般用医薬品情報学 薬理学Ⅱ 疾病と治療薬Ⅱ			日本文化Ⅲ 日本文化Ⅳ 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ	運動生理学 スポーツ栄養学 スポーツ医学 スポーツバイオメカニクス トレーニング学 健康増進学	英語Ⅲ(日本語Ⅲ) フィットネス実習 日本語Ⅳ	キャリアアプライン演習Ⅱ	
3 年次履修			医薬品の化学		公衆衛生学	臨床検査学 機能性食品学				アンチ・ドーピング コーチング心理学 体力測定評価学 スポーツマネジメント メンタルヘルスマネジメント 効率的な動きの解剖学	プレゼンテーションスキル 発想と問題解決術(SCD) 一般用医薬品総合演習	医療ビジネス薬科学演習 キャリアアプライン演習Ⅲ インターンシップア学	研究方法論演習Ⅰ 研究方法論演習Ⅱ
4 年次履修						セルフメディケーション学				運動生化学 健康づくりプログラム論 スポーツと情報戦略 アスレティックトレーナー論 発祥発達に近づくトレーニング			卒業研究

DP 1 : [知識] 医療関連産業や医療機関で必要とされる医療およびビジネス領域に関する幅広い専門知識を修得している。
 DP 2 : [技能] 医療の現状について理解を深め、社会や他社と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として医療ビジネス産業に積極的に参画できる実践的能力を修得している。
 DP 3 : [態度] 医療を取り巻く社会情勢を認識し、自ら考え、薬の専門家として責任を持った行動を取ることが出来る。
 DP 4 : [問題発見・解決力] 薬の専門家として教育・研究を遂行する意欲と態度を持って自己研鑽に励み、思考力・判断力を身につけて、問題を解決することができる。

3. GPA制度について

1. はじめに

GPAはGrade Point Averageの略で、各科目の成績を加重平均した数値です。この値は、1) 成績不振の学生をいち早く発見し、アドバイザーの教員を中心に適切な指導を行う、2) 学生に対して修得単位数だけでなく、個々の単位のレベルアップを図るよう喚起する、といった目的のために役立ちます。

2. GPAの算出方法

各科目の成績は次のようにポイント化されます。

点数	評価	ポイント
90～100点	秀 (S)	4
80～89点	優 (A)	3
70～79点	良 (B)	2
60～69点	可 (C)	1
59点以下	不可 (D)	0
受験資格なし	失格	0

このポイントを使って、以下の式でGPAを算出します。

$GPA = \text{各科目の(単位数} \times \text{ポイント)の総和} \div \text{各科目の単位数の総和}$

例えば、A、B、C、D、Eの5科目について、以下のような成績データがあるとします。

科目	単位数	点数	評価	ポイント	単位数×ポイント
A	2	68	可 (C)	1	2
B	1	79	良 (B)	2	2
C	2	72	良 (B)	2	4
D	2	91	秀 (S)	4	8
E	10	82	優 (A)	3	30
合計	17(a)				46(b)

この場合のGPAの計算は次のようになります。

$$GPA = b \div a = 46 \div 17 = 2.71$$

学業成績通知表のGPA欄には、このようにして算出された単年度のGPA値と累計のGPA値が示されています。単年度のGPAは当該年度に履修した科目を対象とし、累積GPAは各学年の最終成績を対象として計算されます。

3. GPAの対象とならない科目

- ・評点を示さず、認定または修了によって単位を修得できる科目
- ・所属学科以外で修得した科目を単位として認めたもの
- ・所定の期間内に履修取り消しの手続きをした科目

4. 実務経験のある教員による授業科目

(1) はじめに

本学では、大学設置基準上の標準単位数（卒業の要件）の1割以上、実務経験（5年以上）のある教員による授業科目が配置されています。

(2) 実務経験のある教員による授業科目の単位数

	医療ビジネス薬科学科		
	ビジネス薬学 コース	情報薬学 コース	スポーツ薬学 コース
実務経験のある教員による授業単位数	36	48	16
大学設置基準上の標準単位数の1割	13	13	13

(3) 「実務経験のある教員による授業科目」として計上した授業科目の一覧

ビジネス薬学コース

学年	科目	単位数	学年	科目	単位数
1	現代医療の中の漢方Ⅰ	2	2	病院・薬局管理学	2
1	医療倫理学	2	3	経営戦略論	2
1	人体の構造と働きⅡ	2	3	販売戦略論	2
2	薬理学Ⅰ	2	3	MR概論	2
2	医薬品の適正使用	2	3	起業論	2
2	現代医療の中の漢方Ⅱ	2	3	金融論	2
2	経済学	2	3	ファイナンシャル・ プランニング論	2
2	医療会計	2	4	タックスプランニング	2
2	薬理学Ⅱ	2	4	リスクマネジメント	2
合 計			36単位		

情報薬学コース

学年	科目	単位数	学年	科目	単位数
1	現代医療の中の漢方Ⅰ	2	2	臨床医学総論	2
1	医療倫理学	2	2	病院・薬局管理学	2
1	人体の構造と働きⅡ	2	2	医療情報演習Ⅰ	2
2	薬理学Ⅰ	2	2	診療情報管理論	2
2	医薬品の適正使用	2	2	薬理学Ⅱ	2
2	現代医療の中の漢方Ⅱ	2	3	医療情報演習Ⅱ	2
2	経済学	2	3	経営戦略論	2
2	医療会計	2	3	販売戦略論	2
2	診療情報管理論基礎	2	3	診療情報管理実習Ⅰ	2
2	病態と治療Ⅰ	2	3	診療情報管理実習Ⅱ	2
2	病態と治療Ⅱ	2	4	タックスプランニング	2
2	病態と治療Ⅲ	2	4	リスクマネジメント	2
合 計			48単位		

スポーツ薬学コース

学年	科目	単位数	学年	科目	単位数
2	医薬品の適正使用	2	2	スポーツバイオメカニクス	2
2	一般用医薬品学	2	3	アンチ・ドーピング	2
2	一般用医薬品情報学	2	3	効率的な動きの解剖学	2
2	スポーツ栄養学	2	4	スポーツと情報戦略	2
合 計			16単位		

(4) 実務経験のある教員の表記について

各科目担当教員名の後に、（実務）を表記しています。

令和2年度入学生 カリキュラム表

カリキュラム表

令和2年度入学生

医療ビジネス薬科学科【ビジネス薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生		
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位
必修科目	一般科目 自然科学	生物の基礎		前2									
		数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2									
		生活の化学		前2									
	外国語	英語 I (注1)		前2									
		英語 II (注2)		後2									
	薬学系科目	化学系								医薬品の化学	後2		
		生物系	人体の構造と働き I		前2								
		衛生系							公衆衛生学		前2		
		医療系				薬理学 I		前2					
ビジネス系科目				疾病と治療薬 I		前2							
				医薬品の適正使用		前2							
	コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル		前2				
演習・実習系科目				英語 III (注3)		前2	発想法と問題解決研究 (SQD)		前2				
								医療ビジネス薬科学演習	後2				
小 計	16単位			10単位			10単位			卒業研究 10			
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方Ⅱ		前2	一般用医薬品演習		前2	社会生活と経済	前2	
		診療報酬請求論Ⅰ		前2	経済学		前2	原価・会計		前2			
		診療報酬請求論Ⅱ		前2	会計・簿記Ⅰ		前2	MR概論		前2			
		経営学入門		前2	会計・簿記Ⅱ		前2	キャリアデザインⅢ		前2			
		現代医療の中の漢方Ⅰ		後2	一般用医薬品学		前2	キャリアデザインⅣ		後2			
		キャリアデザインⅠ		後2	一般用医薬品情報学		前2	起業論		後2			
					日本語表現論(注4)		前2	金融論		後2			
							後2	ファイナンス・プランニング		後2			
						英語Ⅳ(注5)	後2						
						ビジネス実務論	後2						
						財務・会計	後2						
						医療会計	後2						
						キャリアデザインⅡ	後2						
					薬理学Ⅱ	後2							
小 計	12単位			26単位			16単位			2単位			
選択科目	一般科目 人文社会	現代国語		前2				マーケティング		前2	社会生活と法	前2	
		日本史		前2									
		民法		後2									
	ビジネス系	医療倫理学		前2				経営戦略論		前2	タックスプランニング	前2	
								販売戦略論		後2	リスクマネジメント	前2	
	情報医療	診療報酬請求論Ⅲ		後2							診療報酬請求事務実践学	前2	
		診療報酬請求論Ⅳ		後2									
	外国語	日本語Ⅰ(注6)		前2	日本語Ⅲ(注6)		前2				ネイティブイングリッシュ	前2	
		日本文化Ⅰ(注6)		前2	日本文化Ⅲ(注6)		前2						
		日本事情Ⅰ(注6)		前2	日本事情Ⅲ(注6)		前2						
		日本語Ⅱ(注6)		後2	日本語Ⅳ(注6)		後2						
		日本文化Ⅱ(注6)		後2	日本文化Ⅳ(注6)		後2						
		日本事情Ⅱ(注6)		後2	日本事情Ⅳ(注6)		後2						
	薬学系科目 医療系	生命をミクロに理解する		後2	医療経営概論		前2	食品健康学		後2	化粧品科学	前2	
		人体の構造と働きⅡ		後2	疾病と治療薬Ⅱ		後2	医療経営学		後2	薬理学Ⅲ	前2	
				病院・薬局管理学		後2							
アドバンスト科目	海外研修プログラム		2	海外研修プログラム		2	海外研修プログラム		2	海外研修プログラム	2		
ビジネス系科目							インターンシップ学		1				
							ヘルスケアマネジメント論		後2	セルフメディケーション学	前2		
演習・実習系科目		コンピュータスキル		後2			コンピュータスキル実践学(3・4年次開講)		後2	コンピュータスキル実践学(3・4年次開講)	後2		
小計(注7)	14単位			6単位			16単位			20単位			
合計	42単位			42単位			42単位			32単位			
卒業要件単位数	124単位												

- (注1) 留学生は選択科目「日本語Ⅰ」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語Ⅱ」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語Ⅲ」で代用可。
 (注4) 留学生は選択科目「日本文化Ⅲ」で代用可。
 (注5) 留学生は選択科目「日本語Ⅳ」で代用可。
 (注6) 留学生のみ選択可。
 (注7) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

令和2年度入学生

医療ビジネス薬科学科【情報薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生		
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位
必修科目	一般科目 自然科学	生物の基礎		前2									
		数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2									
		生活の化学		前2									
		英語 I (注1)		前2									
	外国語		英語 II (注2)	後2									
		化学系								医薬品の化学	後2		
	薬学系科目	生物系	人体の構造と働き I		前2								
		衛生系							公衆衛生学		前2		
		医療系				薬理学 I		前2					
ビジネス系科目					疾病と治療薬 I		前2						
					医薬品の適正使用		前2						
	コミュニケーション		前2		医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル		前2			
演習・実習系科目					英語 III (注3)		前2		発想法と問題解決研究 (SQD)		前2		
									医療ビジネス薬科学演習	後2			
小 計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10		
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方Ⅱ		前2	病態と治療Ⅳ		前2	社会生活と経済	前2	
		診療報酬請求論Ⅰ		前2	医療経営概論		前2	医療情報演習Ⅱ		前2			
		診療報酬請求論Ⅱ		前2	診療情報管理論基礎		前2	生活習慣と病気		前2			
		経営学入門		前2	病態と治療Ⅰ		前2	医薬学英語		前2			
			現代医療の中の漢方Ⅰ	後2	病態と治療Ⅱ		前2	医療統計学		前2			
			キャリアデザインⅠ	後2	病態と治療Ⅲ		前2	医療情報学		前2			
						微生物と生体防衛	後2	キャリアデザインⅢ		前2			
						臨床医学総論	後2	キャリアデザインⅣ	後2				
						病院・薬局管理学	後2						
						医療情報演習Ⅰ	後2						
						診療情報管理論	後2						
						日本語表現論 (注4)	後2						
						キャリアデザインⅡ	後2						
						薬理学Ⅱ	後2						
小 計		12単位			28単位			16単位			2単位		
選択科目	一般科目 人文社会	現代国語		前2	経済学		前2	マーケティング		前2	社会生活と法	前2	
		日本史		前2									
	ビジネス系		民法	後2									
		医療倫理学		前2	会計・簿記Ⅰ		前2	経営戦略論		前2	タックスプランニング	前2	
	情報医療				会計・簿記Ⅱ		前2	販売戦略論	後2	リスクマネジメント	前2		
			診療報酬請求論Ⅲ	後2		医療会計	後2				診療報酬請求事務実践学	前2	
	外国語		診療報酬請求論Ⅳ	後2									
			日本語Ⅰ (注5)	前2	日本語Ⅲ (注5)		前2				ネイティブイングリッシュ	前2	
			日本文化Ⅰ (注5)	前2	日本文化Ⅲ (注5)		前2						
			日本事情Ⅰ (注5)	前2	日本事情Ⅲ (注5)		前2						
			日本語Ⅱ (注5)	後2	日本語Ⅳ (注5)		後2						
	薬学系科目 医療系		日本文化Ⅱ (注5)	後2		日本文化Ⅳ (注5)	後2						
			日本事情Ⅱ (注5)	後2		日本語Ⅳ (注5)	後2						
			生命をミクロに理解する	後2	一般用医薬品学		前2	食品健康学	後2	化粧品科学	前2		
		人体の構造と働きⅡ	後2	一般用医薬品情報学		前2	医療経営学	後2	薬理学Ⅲ	前2			
					疾病と治療薬Ⅱ	後2							
	アドバンスト科目	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2		
ビジネス系科目							インターンシップ学	1					
							ヘルスケアマネジメント論	後2	セルフメディケーション学		前2		
演習・実習系科目		コンピュータスキル	後2				診療情報管理実習Ⅰ		前2	コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2		
							診療情報管理実習Ⅱ	後2					
							コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2					
小計 (注6)		14単位			4単位			16単位			20単位		
合 計		42単位			42単位			42単位			32単位		
卒業要件単位数		124単位											

- (注1) 留学生は選択科目「日本語Ⅰ」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語Ⅱ」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語Ⅲ」で代用可。
 (注4) 留学生は選択科目「日本文化Ⅳ」で代用可。
 (注5) 留学生のみ選択可。
 (注6) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

令和2年度入学生

医療ビジネス薬科学科【スポーツ薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生			
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2									
			数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2										
		生活の化学		前2										
	外国語	英語 I (注1)		前2										
		英語 II (注2)		後2										
	薬学系科目	化学系								医薬品の化学	後2			
		生物系	人体の構造と働き I		前2									
		衛生系							公衆衛生学		前2			
	医療系					薬理学 I		前2						
					疾病と治療薬 I		前2							
					医薬品の適正使用		前2							
ビジネス系科目		コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル			前2			
					英語 III (注3)		前2	発想法と問題解決研究(SGD)			前2			
演習・実習系科目									医療ビジネス薬科学演習	後2				
小計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10単位			
選択必修科目		コンディショニング実習		前1	栄養学概論		前2	アンチ・ドーピング		前2				
		キャリアデザイン演習 I		前1	運動生理学		前2	くすりの生体内運命		前2				
			健康科学概論	後2		フィットネス実習	後1		コーチング心理学		前2			
			スポーツ科学概論	後2		キャリアデザイン演習 II	後1		研究方法論演習 I		前1			
						スポーツ栄養学	後2		キャリアデザイン演習 III		後2			
						スポーツ医学	後2		一般用医薬品総合演習		前2			
					スポーツバイオメカニクス	前2			体力測定評価学		後2			
						トレーニング学	後2		スポーツマネジメント学		後2			
									研究方法論演習 II		後1			
小計		6単位			14単位			16単位			0単位			
選択科目	一般科目(教養科目)	現代国語		前2										
		医療倫理学		前2										
		外国語(注4)	日本語 I		前2	日本語 III		前2						
			日本文化 I		前2	日本文化 III		前2						
		日本事情 I		前2	日本事情 III		前2							
			日本語 II	後2		日本語 IV	後2							
			日本語 II	後2		日本語 IV	後2							
			日本事情 II	後2		日本事情 IV	後2							
	スポーツ薬学系科目	健康サポート領域							臨床検査学		前2	運動生化学	前2	
		競技サポート領域							機能性食品学		前2	健康づくりプログラム論	前2	
演習	演習	体育実技 I		前2							マンダラヘルスマネジメント	後2	スポーツと情報戦略	前2
			体育実技 II	後2							効率的な動きの解剖学	後2	アスレティックトレーナー論	前2
薬学系科目	医療系		生命をミクロに理解する	後2	一般用医薬品学		前2							
			人体の構造と働き II	後2	一般用医薬品情報学		前2							
			生薬学	後2		薬理学 II	後2							
					疾病と治療薬 II	後2								
					健康増進学	後2								
アドバンスト科目		海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2			
ビジネス系科目								インターンシップ学	1		セルフメディケーション学		前2	
演習・実習系科目			コンピュータスキル	後2										
小計		12単位			10単位			11単位			14単位			
合計		34単位			34単位			37単位			24単位			
卒業要件単位数		124単位												

- (注1) 留学生は英語 I (必修科目) または日本語 I (選択科目) どちらかを選択履修します。
 (注2) 留学生は英語 II (必修科目) または日本語 II (選択科目) どちらかを選択履修します。
 (注3) 留学生は英語 III (必修科目) または日本語 III (選択科目) どちらかを選択履修します。
 (注4) 留学生のみ選択可。

1 年 生

1年生科目（お茶の水キャンパス）

目 次

1 一般科目（教養科目）

(1) 自然科学

生物の基礎	23
数学・統計学の基礎	24
情報リテラシー	25
生活の化学	26

(2) 外国語

英語Ⅰ	27
英語Ⅱ	28

2 薬学系科目（生物系）

人体の構造と働きⅠ	29
-----------	----

3 ビジネス系科目

コミュニケーション	30
-----------	----

4 選択必修科目（ビジネス薬学コース／情報薬学コース）

医療ビジネス薬科学概論	31
診療報酬請求論Ⅰ	32
診療報酬請求論Ⅱ	33
経営学入門	34
現代医療の中の漢方Ⅰ	35
キャリアデザインⅠ	36

5 選択科目

(1) 一般科目

現代国語	37
日本史	38
民法	39
医療倫理学	40
診療報酬請求論Ⅲ	41
診療報酬請求論Ⅳ	42
日本語Ⅰ	43

日本文化Ⅰ	44
日本事情Ⅰ	45
日本語Ⅱ	46
日本文化Ⅱ	47
日本事情Ⅱ	48
(2) 薬学系科目	
生命をミクロに理解する	49
人体の構造と働きⅡ	50
(3) 演習科目	
コンピュータスキル	51
(4) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	52

1年生科目（さいたまキャンパス）

目 次

1 一般科目（教養科目）	
(1) 自然科学	
生物の基礎	53
数学・統計学の基礎	54
情報リテラシー	55
生活の化学	57
(2) 外国語	
英語Ⅰ	58
英語Ⅱ	59
2 薬学系科目（生物系）	
人体の構造と働きⅠ	60
3 ビジネス系科目	
コミュニケーション	61
4 選択必修科目（スポーツ薬学コース）	
コンディショニング実習	62
キャリアデザイン演習Ⅰ	63
健康科学概論	64
スポーツ科学概論	65
5 選択科目	
(1) 一般科目	
現代国語	66
医療倫理学	67
(2) 薬学系科目	
生命をミクロに理解する	68
人体の構造と働きⅡ	69
生薬学	70
(3) 演習科目	
コンピュータスキル	71

(4) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	73

生物の基礎

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

教授 都築 稔

[一般目標 (GIO)] 生物学の基礎学力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体レベルでの生命現象に関する基本的知識を修得する。
 [授業概要] 生物の基本単位である細胞の構造、生物を構成する生体高分子について学習し、多細胞生物においてそれらがどのように機能し、生命を維持しているかを学習します。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	序論	生体を作る元素を説明できる 生体分子の構造および特徴を説明できる 細胞の構造を理解し、細胞小器官の機能を説明できる
2	アミノ酸・タンパク質	各アミノ酸およびタンパク質の種類と構造を列記できる タンパク質を機能により分類できる
3	糖質	糖質を分類し、それぞれの役割を列記できる 糖質の構造と性質について説明できる
4	脂質	脂質の性質、種類と構造、生理的役割を列記できる
5	酵素	酵素の基本的性質および酵素反応の概略を説明できる 酵素の疾患診断への応用や医薬品としての利用について説明できる
6	グループワーク 1	生命科学に関する最新トピックについて、グループで調査・討論して発表する
7	グループワーク 2	生命科学に関する最新トピックについて、グループで調査・討論して発表する
8	グループワーク 3	生命科学に関する最新トピックについて、グループで調査・討論して発表する
9	糖質の代謝 1	解糖系の役割とエネルギー産生について説明できる
10	糖質の代謝 2	クエン酸回路の役割とエネルギー産生について説明できる
11	糖質の代謝 3	グルコースの主な代謝系の役割とエネルギー産生について説明できる
12	糖質の代謝 4	血糖調節の仕組みと糖尿病の関連を理解できる
13	脂質の代謝 1	脂肪酸の代謝とエネルギー産生との関連を説明できる
14	脂質の代謝 2	コレステロールの生合成と利用について説明できる リポタンパク質代謝と脂質異常症との関連を説明できる
15	アミノ酸の代謝 総まとめ	アミノ酸代謝を概説できる アンモニアの無毒化反応および尿素の生成について説明できる

[方略] 講義 (予習教材、課題レポート) およびグループワーク。リアルタイム双方向遠隔授業で実施する。

[評価方法と基準] 定期試験 (30%)、課題レポート (24%)、グループワーク (20%)、コメントシート (14%)、予習クイズ (12%) で評価し、総合で 60% 以上を合格とする。再試験は実施しない。

[学生の質問への対応] 講義終了後に直接質問するか、メールにてお問い合わせください。

E-mail: minoru_tuzuki@nichiyaku.ac.jp さいたまキャンパス本部棟 1 階 副学長室

[所属分野・場所] さいたまキャンパス本部棟 1 階 副学長室

[教科書] 林典夫・廣野治子 (2020) 『シンプル生化学 改訂第 7 版 (978-4-524-24659-5)』南江堂 講義の際には必ず持参してください。

[参考書] 津田道雄 (2012) 『よくわかる専門基礎講座 生化学』金原出版、小林賢 (2010) 『医歯薬系のための生物学』講談社サイエンティフィック、平澤栄次 (2014) 『はじめての生化学 第 2 版』化学同人、功刀茂・斉藤正治 (2007) 『大学への橋渡し 生化学』化学同人、鈴木敬一郎・本家孝一・大河原知水・藤原範子 (2011) 『集中講義生化学 改訂 2 版』メジカルビュー、前田正知・浅野真司 (2015) 『コンパス生化学』南江堂

[担当教員からのコメント] グループワーク形式を取り入れながら、高等学校で学ぶ内容から最新の生命科学に関する内容までを幅広く学習します。日々の予習、復習をしっかりと行っていきましょう。

数学・統計学の基礎

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 高城徳子

[一般目標 (GIO)] 論理的な思考力を身につけるために、数学・統計学の基本的知識を修得する。

[授業概要] 学問、業界を問わず、現代社会の様々な場面で統計と確率に関わってきます。さらに科学技術の発展により収集されるデータの種類や量は飛躍的に増加しており、統計と確率の知識が必要になってきています。そこで、数学・統計学の基礎では、統計を学ぶ上で必要な数学の知識と統計学の基礎知識を修得します。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	概論	講義概要 基本的事項のチェック
2	グラフ	棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフなどの特徴を知る。 ヒストグラムを作成できる。
3	指数・対数	指数計算および対数計算ができる。 多項式の展開ができる。
4	データのばらつきの度合い	分散・標準偏差を理解し、求めることができる。
5	関数	1 次関数および 2 次関数の基礎について理解する。
6	散布図および相関係数	散布図から相関関係を判別できる。 相関係数を算出できる。
7	順列	順列について理解し、計算することができる。
8	組合せ	順列と組合せの違いを理解し、組合せを計算することができる。
9	確率	身近な例を用いて、確率を求めることができる。
10	数列	等差数列、等比数列について理解し、一般項および和を求めることができる。 Σ の定義を知り、値を求めることができる。
11	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について理解し、確率変数の期待値を求めることができる。 確率変数の分散と標準偏差を求めることができる。
12	二項分布	二項分布について概説でき、平均値や分散を求めることができる。
13	連続型確率変数と確率密度関数 正規分布	確率密度関数の意味および正規分布について理解する。
14	推測統計	推測統計について
15	まとめ	講義内容のまとめ

[方略] 講義 (教科書・板書) と問題演習

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、課題 40 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了直後および月～金曜日の 13:00～17:00

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

[教科書] 永野裕之 (2018) 『この 1 冊で腑に落ちる 統計学のための数学教室』ダイヤモンド社

[参考書] 向後千春 富永敦子 (2018) 『統計学がわかる』技術評論社、都築稔 (編) 安西和紀・高城徳子・田村栄一・豊田実司 (著) (2014) 『わかりやすい薬学系の数学入門』講談社 高校の教科書および参考書、診療情報管理士のためのやさしい医療統計学 (日本病院会診療情報管理士教育委員会監修、株式会社じほう)

[担当教員からのコメント] アンケート調査や実験などによりデータを収集しますが、データを集めただけでは何もわかりません。そこでデータを分析することが必要になります。この科目では、記述統計とよばれるデータの要約方法について学習します。

聞いているだけでは身に付きませんので、自分の頭と手を動かして理解するように心がけてください。

情報リテラシー

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

准教授 村井保之

[一般目標 (GIO)] 情報化社会で必要となる情報機器やインターネットに関する、ハードウェアやソフトウェアの知識、安全かつ有効に活用する知識と方法、情報倫理とルールに関する知識を修得する。

[授業概要] 大学生活や将来社会人として必要な IT の基礎知識の習得を目的とする。身近な SNS などのコミュニケーションツールから、ネットの脅威やウイルスなどのセキュリティ、著作権や情報倫理、生活の中で使われる情報システム、これらを構成する基本的な技術、ネットワークやインターネットに関する技術、コンピュータや各種情報機器のハードウェアに関する技術、それらを動作させるためのソフトウェアに関する基本的な技術について、講義と演習を中心に学生が主体的に取り組める授業とする。国家試験「IT パスポート」にも対応する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	インターネットの利用	SNS の危険性、情報発信の注意点について説明できる。 インターネットを用いた情報検索と情報の特徴について説明できる。
2	インターネットの脅威とセキュリティ	コンピュータウイルスとその対策について説明できる。 ネット犯罪とその対策、ネット利用のリスクについて説明できる。 暗号について説明できる。 安全なパスワードの作成方法を説明できる。
3	情報倫理とルール	メディアリテラシーについて説明できる。 情報操作の原因とその影響について説明できる。 著作権と肖像権・パブリシティ権について説明できる。
4	情報化社会	身近な情報システムを列挙できる。 ビッグデータと組み込みシステムや IoT について説明できる。 AI について説明できる。 ユニバーサルデザインについて説明できる。
5	情報やメディアに関する技術 (1)	二進数、十進数、二進数を相互に変換できる。 ビットやバイトなどのデータ量について説明できる。
6	情報やメディアに関する技術 (2)	標本化と量子化について説明できる。 エラー検出と訂正について説明できる。 バーコードについて説明できる。
7	ネットワークの技術 (1)	ファイアウォールについて説明できる。 プロトコルについて説明できる。 TCP/IP と DNS について説明できる。
8	ネットワークの技術 (2)	HTML とスクリプトについて説明できる。 Web サーバと HTTP について説明できる。 Web のセキュリティについて説明できる。
9	ネットワークの技術 (3)	LAN と WiFi について説明できる。 携帯電話システムと SIM について説明できる。
10	ハードウェアの技術 (1)	パソコンの構成要素を説明できる。 OS について説明できる。 著作権保護について説明できる。
11	ハードウェアの技術 (2)	イメージングデバイスと画素数・解像度について説明できる。 入出力装置について説明できる。
12	ハードウェアの技術 (3)	インターフェースについて説明できる。 不正コピー防止の仕組みを説明できる。
13	ソフトウェアの技術 (1)	OS について説明できる。 マルチタスクと仮想化技術について説明できる。 プログラミングとソフトウェアの開発方法について説明できる。
14	ソフトウェアの技術 (2)	アルゴリズムと計算量について説明できる。 ユーザインタフェースについて説明できる。
15	ソフトウェアの技術 (3)	データベースとデータウェアハウスについて説明できる。 クラウドコンピューティングについて説明できる。

[方略] 講義 (テキスト、パワーポイントと配布資料)

[評価方法と基準] 授業中に実施する課題 (10%)、定期試験 (80%)、タイピング練習ソフトで指定した課題を終了 (10%)。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 研究室、メールで随時受け付ける。

メール: murai@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 5階 村井研究室

[教科書] 『キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2020』日経 BP、『<改訂3版> 情報モラル&情報セキュリティ』富士通エフ・オー・エム (FOM 出版)

[参考書]

生活の化学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

准教授 安田高明

[一般目標 (GIO)] 身の回りにある化学製品の成り立ちを理解することを通して、化学の基本的知識を修得する。

[授業概要] われわれの身の回りは、化学製品であふれている。代表的な生活用品の作成方法やその性質等を理解することが、毎日の生活に潤いを与える。製品の成分や成り立ちを説明しながら、化学の基礎的原理を講述する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	はじめに	化学を学ぶための基礎的な考え方、及び化学構造式の書き方を理解する。(1 章)
2	化学の基本事項	化学を学ぶための基礎的な考え方、及び化学構造式の書き方を理解する。(1 章)
3	酸と塩基物質の状態変化	酸性・塩基性の化学を理解する。(2 章)
4	衣服の化学	第二の皮膚といわれる衣服の化学を理解する。(3 章)
5	洗濯の化学	環境にやさしく洗濯 (洗淨) を理解する。(4 章)
6	洗濯の化学	環境にやさしく洗濯 (洗淨) を理解する。(4 章)
7	水の化学	もっとも身近でもっとも不思議な物質である水の性質を理解する。(5 章)
8	プラスチックの化学	現代生活にとって必須材料プラスチックの化学を理解する。(6 章)
9	プラスチックの化学	現代生活にとって必須材料プラスチックの化学を理解する。(6 章)
10	料理の化学	食材を変化させて、美味しく食べている料理を、化学的に理解する。(7 章)
11	料理の化学	食材を変化させて、美味しく食べている料理を、化学的に理解する。(7 章)
12	コロイドの化学	生活を彩る驚異の粒子であるコロイドを理解する。(8 章)
13	薬の化学	化学の力で命を守っている薬が、効果を示すしくみを理解する。(9 章)
14	薬の化学	化学の力で命を守っている薬が、効果を示すしくみを理解する。(9 章)
15	演習	理解度を確認するために、演習を行う。

[方略] 1~14 回: 講義 (プリント)、15 回: 演習 (プリント)

[評価方法と基準] 定期試験 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 1: オフィスアワー (講義開講日 13:30~17:00)

2: E-mail: yasuda@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] 芝原寛泰・後藤景子著 (2009) 『身の回りから見た化学の基礎』 化学同人

[参考書]

[担当教員からのコメント] 我々の日常生活が、化学物質に溢れ、支えられていることを学んで下さい。

英語 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) 吉田可久也

[一般目標 (GIO)] グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語 I の授業では、社会が国際化する中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

[授業概要] 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組むことが求められます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Situation	自己紹介する
2	Conversation	ホテルにチェックインする
3	Integration	復習と統合発展
4	Conversation	好きな食べ物について話す
5	Focus	食べ物の好き嫌いについて話す
6	Integration	復習と統合発展
7	Focus	過去の旅行について話す
8	Conversation	過去に行った旅行について話す
9	Integration	復習と統合発展
10	Conversation	町でできることについて話す
11	Focus	あることをするのに勧めの場所を伝える
12	Integration	復習と統合発展
13	Conversation	今日したことについて話す
14	Conversation	一日について話す
15	Integration	復習と統合発展

[方略] 講義 (テキストに沿った説明)

[評価方法と基準] 中間試験 (35 %) と定期試験 (35 %) 小テスト (20 %) アクティビティーへの参加度 (10 %) で評価する。再試験は行わない。

[学生の質問への対応] 授業内で曖昧な点や不明点がありましたら、その都度授業内に質問してください。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] ECC (2019) 『Challenger α 1』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語②』 ECC

[参考書]

英語Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) 吉田可久也

〔一般目標 (GIO)〕 グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語Ⅱの授業では、社会が国際化の中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

〔授業概要〕 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組むことが求められます。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Situation	旅行先でちょっとした会話をする
2	Situation	機内でちょっとした会話をする
3	Integration	復習と統合発展
4	Situation	ホテルにチェックインする
5	Situation	ホテルの施設について尋ねる
6	Integration	復習と統合発展
7	Conversation	親戚について話す
8	Conversation	家族について話す
9	Integration	復習と統合発展
10	Situation	友達と近況について話す
11	Focus	未来の予定について話す
12	Integration	復習と統合発展
13	Situation	予約をする
14	Situation	約束相手のところで話をする
15	Integration	復習と統合発展

〔方略〕 講義 (テキストに沿った説明)

〔評価方法と基準〕 中間試験 (35 %) と定期試験 (35 %) 小テスト (20 %) アクティビティーへの参加度 (10 %) で評価する。再試験は行わない。

〔学生の質問への対応〕 授業内で曖昧な点や不明な点がありましたら、その都度授業内に質問してください。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 ECC (2019) 『Challenger α 1』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語②』 ECC

〔参考書〕

人体の構造と働き I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

教授 櫻田 誓

〔一般目標 (GIO)〕 人体の基本的な構造と機能を理解する。

〔授業概要〕 私たちのからだは、約 60 兆個の細胞から成り立っている。各細胞は分化し、それらは集団形成をして組織となり、さらに組織が組みあわさって器官 (臓器) をつくる。器官は、有機的に連携して器官系を形成する。これらの各器官系の構造と働きを学ぶことにより、からだの恒常性維持のメカニズムを理解する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	概論	人体の構造と働き I 講義概要 人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能①
2	概論	人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能②
3	神経系	神経系を構成する細胞、神経の興奮と伝導、シナプス伝達
4	神経系	末梢神経系：自律神経の構造と働き
5	神経系	中枢神経系の構造と働き
6	消化器系	口腔・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肛門の構造と働き
7	消化器系	肝臓・膵臓・胆嚢の構造と働き
8	呼吸器系	鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺の構造と働き
9	循環器系	心臓・血管 (動脈・静脈・毛細血管) の構造と働き
10	循環器系	血液・脾臓・リンパ系の構造と働き
11	泌尿器系	腎臓・副腎・尿路 (膀胱・尿道) の構造と働き
12	感覚器系	目・鼻・耳の構造と働き
13	皮膚・骨・関節・筋肉	外皮系・骨格系・筋組織の構造と機能①
14	皮膚・骨・関節・筋肉	外皮系・骨格系・筋組織の構造と機能②
15	まとめ	項目 1～14 のまとめと復習を行う

〔方略〕 講義 (教科書、配付資料)

〔評価方法と基準〕 定期試験の成績から評価します。追試験・再試験を実施することがあります。本試験または追試験・再試験で 60 % 以上の得点率を合格とします。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー：原則として、講義日の午前 9 時～午後 6 時とします。不在の可能性もあるため、あらかじめメールにて予約をとっておくと確実です (chikai@nichiyaku.ac.jp)。

E-mail での質問も可能です (chikai@nichiyaku.ac.jp)。E-mail での質問の場合は、学籍番号と氏名を記載してください。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 川島光太郎ほか (監修) 『登録販売者試験受験対策テキスト改訂版 (上巻)』一般社団法人日本薬学研修センター、登録販売者模擬試験作成専門家検討会 『2019 年度都道府県登録販売者試験 過去問題集』一般社団法人日本薬学研修センター

〔参考書〕 櫻田忍・櫻田司編集 (2018) 『機能形態学 改訂第 4 版』南江堂、佐藤進・櫻田誓・奈佐吉久 (2016) 『動画マスター機能形態学』廣川鉄男事務所、坂井建雄・橋本尚詞 (2013) 『ぜんぶわかる人体解剖図』成美堂出版

〔担当教員からのコメント〕 人体の構造と働き I は、医療系科目である「薬理学」、「疾病と治療薬」の基礎となる科目です。しっかりと基礎固めをしてください。NHK E テレ番組である「NHK 高校講座」や「サイエンスゼロ」などは、基礎知識の確認や最新の科学全般の情報収集に役立ちます。また、この講義は『登録販売者試験』第 2 章人体の働きと医薬品にも対応しています。登録販売者資格取得に向けて、頑張りましょう！

コミュニケーション

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 大泉早智子

[一般目標 (GIO)] 医療ビジネスにおけるコミュニケーション力とチームマネジメント力を醸成するための基本的知識と技能を修得する。
 [授業概要] 2人以上の人の間で行われる意思、感情などの情報の伝達と、これらを共有することで共通理解に至る過程としてのコミュニケーションは、生活に欠かせないことであると同時に、医療現場やビジネスにおいても重要な要素です。そこで本講義では、コミュニケーションの基本的な素養を身につけることを目標とし、実際のパフォーマンスを通じて体験を深め、さらに医療ビジネスにおけるチームマネジメントへの展開を行う上での基礎とします。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	言語的・非言語的コミュニケーション	薬学の専門家として、また医療現場や企業組織の内外の関係者との関係に必要な言語的、非言語的コミュニケーションの意義と概要を理解する。
2	意思・情報の伝達に必要な要素	構成要素である「送り手」「情報を符号化」「チャンネル」「メッセージ」「メッセージを解読」「受け手」「効果」などの意義と概要を理解する。
3	相手の立場などによるコミュニケーションの違い	文化や習慣、社会的地位、初対面か旧知かなどの違いによるコミュニケーションの意義と概要を理解する。
4	対人関係に影響を及ぼす心理的要因	自己概念と自尊感情、自己防衛的帰属及び他人認知などの意義と概要を理解する。
5	相手の心理状態とその変化への配慮と対応	開いた質問、閉じた質問などや、リスニングスキルの意義と概要を理解する。
6	対立意見の尊重と協力	アサーションや、アサーティブネススキルなどの意義と概要を理解する。
7	コミュニケーションの実践Ⅰ	好まれる風貌や話し方について学修し、清潔、端正、好印象などを与えるための実践を行う。
8	コミュニケーションの実践Ⅱ	褒め方・叱り方・頼み方について学修し、効果的な方法や、叱られた後の対処の仕方などの実践を行う。
9	コミュニケーションの実践Ⅲ	嫌いな人・逆境への対応について学修し、アサーティブでの対処などについて実践を行う。
10	コミュニケーションの実践Ⅳ	やる気の起こさせ方・本音の聞き出し方について学修し、ほめることを駆使して本音を聞き出すテクニックなどについての実践を行う。
11	チームワークの重要性	薬学、医療、ビジネスでチームワークに参加する場合の意義と概要について理解する。
12	チームマネジメントⅠ	思考行動特性分析方法について学習し、メンバーの個性を理解する。
13	チームマネジメントⅡ	チーム編成方法を学修し、メンバーとのシナジーを把握して、コンビネーションおよび、チーム活性化の手法など、チームビルディングの手順を理解する。
14	チームマネジメントⅢ	チームビルディングによるチームで、KJ法などの発想法を使った作業の実践を行い、理解を深める。
15	総括	コミュニケーションについての総括を行い理解を深める。

[方略] 講義 (パワーポイント・プリント)、実践 (SGD)

[評価方法と基準] 課題 50 %、定期試験 50 %で評価します。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] オフィスアワー (研究室に掲示) にて対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

[参考書] 大泉早智子・太田友三子 (2017) 『コミュニケーション講義』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] コミュニケーションは具体的体験も必要です。レクリエーション手法や、チームマネジメント手法などを取り入れて行いますので積極的に参加し、コミュニケーションを深め、仲よく、楽しく学べることを希望します。講義は大泉寛講師の協力を頂きます。また配布プリントにより事前学習と事後学習で理解を深めてください。

医療ビジネス薬科学概論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

准教授 阿部賢志 講師 高城徳子

[一般目標 (GIO)] 医療ビジネス薬科学科生としての役割を理解し、意識を高めるために、薬とビジネスの専門家として身につけるべき基本的知識、技能、態度を修得し、4 年間の教育内容の狙いを理解する。

[授業概要] 医療ビジネス薬科学科は、医療変革時代において、薬学が得意とする医薬品の知識だけでなく、医療全般に関する知識・技能・態度と、経営学などに関する広範な知識を融合することにより、広く人類の福祉・健康に貢献できる創造性にあふれた新しいタイプの医療に関わる人材の養成を目指す。診療情報管理士や医療事務管理士などの医療関連業務を含め医療経営や医療情報など薬とビジネスの専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、医療、社会における医療ビジネス薬科学の役割および医療に携わる者としての使命を理解する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	科学リテラシーを醸成する	医療ビジネス薬科学科の学生としての到達目標を理解する。 薬学部の学生として必要な科学リテラシーを醸成する。
2	大学における受講方法を学ぶ	大学における受講の方法や勉強法を学ぶ。
3	キャリアデザイン (1)	自分の目標を達成するために必要なことを考え、4 年間の過ごし方を考える。
4	ビジネス系資格とその活用法	ビジネス系資格とその活用および関連科目について知る。
5	協調と調和 (1)	大学生としてあるべき姿を学ぶ。 コーチングについて理解する。
6	キャリアデザイン (2)	医療ビジネス薬科学科のキャリアパスについて理解する。
7	協調と調和 (2)	協力して行動することを学ぶ。 コーチングを実践する。
8	ドラッグストアの業務	ドラッグストア業界および登録販売者の現況と今後について知る。
9	医療情報を扱う業務について学ぶ	医療データ活用による医療産業イノベーションの現状を学ぶ。
10	医療 ICT	医療 ICT による医療産業イノベーションについて学ぶ。
11	医療用医薬品に関わる職種	MR や CRO などの職種について理解する。
12	調剤および医療事務管理士とその業務	調剤薬局業界の現状を理解する。 調剤および医療事務管理士の資格取得とその活用法を学ぶ。
13	診療情報管理士とその業務	診療情報管理士の役割とその資格取得に向けたカリキュラムを知る。
14	現代医療と漢方	現代医療における漢方の役割を理解する。
15	医薬品と化学	医薬品と化学との関わりについて理解する。

[方略] パワーポイントおよび配布資料による講義形式。1 回 阿部、高城 (国立博物館で実施する。詳細は別途連絡する。) 2 回 高城、3 回 菊地、4 回 大泉、5 回～12 回 外部講師、13 回 脇田、14 回 外部講師、15 回 安田

[評価方法と基準] 提出物 (100 %) として評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス

[教科書] なし

[参考書] なし

[担当教員からのコメント] 医療ビジネス薬科学科のカリキュラムでは薬学系科目やビジネス系科目、さらにはビジネス薬学・情報薬学コース選択科目など多岐にわたり、実務にも即した領域を学びます。皆さんの将来を展開させるためには、この大学 4 年間で何が必要であるのかを考え、そして一つ一つの科目の医療ビジネス薬科学における役割を理解するとともに、キャリアに必要な実務資格の取得についての意義を理解して下さい。

診療報酬請求論 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 加藤良恵 講師 (非) 鳥越年美

[一般目標 (GIO)] 調剤事務管理士の資格取得に必要な知識の修得。

[授業概要] 医療保険のしくみから、調剤報酬算定のルールを修得する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス 医療保険のしくみ	レベルチェック・授業の進め方・学習方法 医療機関と薬局・医療保障制度
2	医療保険制度以外の制度 注射	公費負担医療・その他の医療関係制度 注射料の算定
3	注射	注射料の算定
4	薬局の基礎知識 処方せんの基礎知識 調剤報酬の算定	薬局の基礎知識、調剤報酬の算定の基礎知識
5	調剤報酬の算定	調剤基本料、薬剤料
6	調剤報酬の算定	調剤料の加算
7	調剤報酬の算定	薬学管理料、会計表の記入方法
8	レセプト作成	レセプト処方欄・点数欄・摘要欄・その他の欄の記入方法
9	レセプト作成	処方せんのレセプト記入方法
10	レセプト作成	処方せんのレセプト記入方法
11	レセプト点検 薬の知識	上書き点検、内容点検、医薬品の基礎知識、薬物治療の概要、薬の作用と適用
12	中間試験	学科問題
13	総まとめ	調剤事務管理士技能認定試験にむけて復習
14	総まとめ	調剤事務管理士技能認定試験にむけて復習
15	総まとめ	調剤事務管理士技能認定試験にむけて復習

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料) 等。2 クラスに分けてそれぞれの教員が 1～15 回目までを担当する。

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、中間試験 20 %、課題 20 % で評価を行う。

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前後で質問対応

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 調剤薬局事務講座テキスト一式 ((株) ソラスト) (ISBN なし)

なお必ず電卓を持参すること。

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 調剤事務管理士の資格取得には、課題にしっかり取り組む事が大切です。

積み重ねの学習になるので、一夜漬けでは修得できません。

診療報酬請求論Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 加藤良恵 講師 (非) 鳥越年美

[一般目標 (GIO)] 調剤事務管理士の資格取得に必要な調剤報酬明細書作成のテクニックを修得。

[授業概要] 調剤報酬明細書を正確に作成する為の演習を行う。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医療保障制度	保険給付・調剤薬局での事務の仕事
2	医療保険制度以外の制度 注射	注射料の算定
3	注射	注射料の算定
4	薬局の基礎知識 処方せんの基本知識 調剤報酬の算定	調剤基本料
5	調剤報酬の算定	薬剤料、特定保険医療材料の演習、調剤料
6	調剤報酬の算定	調剤料の演習、薬剤料と調剤料の算定演習
7	調剤報酬の算定	レセプト作成の基礎知識
8	レセプト作成	処方せんからレセプト作成演習
9	レセプト作成	レセプト作成演習
10	レセプト作成	レセプト作成演習
11	レセプト点検 薬の知識	レセプト点検演習、薬の基礎知識
12	中間試験	実技問題
13	総まとめ	調剤事務管理士技能認定試験にむけて復習
14	総まとめ	調剤事務管理士技能認定試験にむけて復習
15	総まとめ	調剤事務管理士技能認定試験にむけて復習

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料) 等。2 クラスに分けてそれぞれの教員が 1～15 回目までを担当する。

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、中間試験 20 %、小テスト 20 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前後で質問対応

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 調剤薬局事務講座テキスト一式 ((株) ソラスト) (ISBN なし)

なお、必ず電卓を持参すること。

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 調剤事務管理士の資格取得には、課題にしっかり取り組む事が大切です。

積み重ねの学習になるので、一夜漬けでは修得できません。

経営学入門

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 大泉早智子

〔一般目標 (GIO)〕 経営学に関する基本的な素養とビジネス能力に関する高度な専門知識・技能を修得し、医療ビジネスの現場での問題解決に貢献する人材となることを目標とする。

〔授業概要〕 経営学の基本的な考え方やビジネスに必要な能力を学修することにより、今後益々複雑化する医療ビジネスに関する問題を事前に発見し、その問題の解決を速やかに行うことができるビジネスマインドを持った人材を育成する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ビジネスの基本的考え方	ビジネスの基本的な心構えについて理解する。
2	キャリアと仕事へのアプローチ	ビジネス環境やキャリアマネジメントについて学習して理解する。
3	会社活動の基本	顧客満足度、組織効率、会社制度、コンプライアンス、情報セキュリティ管理について学習して理解する。
4	話し方と聴き方のポイント	場に応じた会話の基本、用件に入るまでの導入話方、アクティブリスニング、情報収集、質問技術、異文化対応技術を学習して理解する。
5	不満を信頼に変えるクレーム対応	購入動機、クレーム対応の手順、責任ある回答と再発の防止、外国人への対応を学習して理解する。
6	接客と営業の進め方	商談にあたっての心構え、基本行動、顧客のニーズを引き出す、効果的な商談の進め方を学習して理解する。
7	会議への出席とプレゼンテーション	会議の基本的な流れ、司会者としての会議の進め方、議事録をまとめるポイントを学習して理解する。
8	チームワークと人のネットワーク	人脈作りのコツ、異業種交流のすすめ、人のネットワークを広げる紹介、異文化交流の方法を学習して理解する。
9	仕事への取り組み、仕事の進め方	仕事の流れ、ファイリングの基本、計画立案のチェックポイントを学習して理解する。
10	ビジネス文書の基本	文書作成の手順、ネットワークと電子メールの活用、督促状、わび状、抗議文などの書き方を学習して理解する。
11	統計データの作り方・読み方	統計データの読み方、データのまとめ方、データ分析と将来の予測を学習して理解する。
12	情報収集とメディアの活用	情報収集の新しいメディア、国際経済の中の日本経済、日本経済の構造転換、グローバル化への対応を学習して理解する。
13	会社数字の読み方	財務関係、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、予算管理を学習して理解する。
14	ビジネスと法律知識	企業運営上の法律の必要性、契約書の意義と役割、印鑑の取扱を学習して理解する。
15	総括	経営の基本と医療ビジネス実務の総括を行って理解を深める。

〔方略〕 講義 (教科書・パワーポイント・プリント)、演習、SGD、ロールプレイング

〔評価方法と基準〕 演習 30 %、定期試験 70 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (研究室に掲示) にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 ビジネス能力検定ジョブパス研究会 (2020) 『要点と演習 ビジネス能力検定ジョブパス 2 級』 廣済堂 (ISBN-13:978-4407338874)

〔参考書〕 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 (2020) 『ビジネス能力検定ジョブパス 2 級公式試験問題集』 日本能率協会マネジメントセンター、実務技能検定協会 (2012) 『秘書検定クイックマスター 2 級改訂新版』 早稲田教育出版、田中智恵子・高橋啓・増井郷介 (2013) 『今すぐできる! 問題解決型思考を身につける基本スキル (医療経営ブックレット 01 医療経営士のための現場力アップシリーズ 1)』 日本医療企画

〔担当教員からのコメント〕 事前学習ではテキストを読んで理解してから講義に臨み、終了後は、忘れないように問題を解いて事後学習を必ず行ってください。講義では実際のビジネスの場面を想定したロールプレイングと、理解を深める為に SGD を取り入れたアクティブラーニングで有識者の協力も頂きながら行いますので積極的に参加して下さい。講義では、ビジネス能力検定 (ジョブパス) 2 級の範囲と、秘書検定 2 級の実技領域の問題などを解いて理解を更に深めます。また、ビジネス能力検定 (ジョブパス) の CBT の団体受験をお茶の水キャンパスで行いますので自分自身の実力を確かめ就職活動にも活かす為にも検定の受験を奨励します。

現代医療の中の漢方 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

教授 橋本寛子 (実務)

〔一般目標 (GIO)] 現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識を修得する。

〔授業概要] 現代医療はこれまでのように西洋医学のみを重視していることに限界が生じている。漢方を含む統合医療は今後問題解決の重要な手段になりうる。いまだ統合医療の概念は確立されたものではなく、医療消費者 (患者) 側からの要求に答える形に発展しつつある領域である。この講義においては漢方治療の知識を習得し、これからの医療についての理解を深める。

〔授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	統合医療	統合医療について理解することが出来る
2	漢方の基礎知識	中国から渡ってきた医療ではあるが、日本独自の発達を遂げた漢方についての知識を深める。
3	漢方の基礎理論	漢方の基礎理論について学ぶ 八綱弁証、五行論、六病位、気血水について学ぶ
4	漢方の診断法	四診について学ぶ
5	鍼灸の理論	海外で評価の高い鍼灸についての理論を学ぶ。
6	鍼灸の実技	鍼灸についての実演をみて学ぶ
7	漢方の哲学	西洋医学とは異なる東洋の伝統医療における考え方を学ぶ
8	漢方を用いた治療 感冒	漢方を用いた治療法について学ぶ 感冒
9	漢方を用いた治療 ストレス	漢方を用いた治療法について学ぶ ストレス
10	漢方を用いた治療 消化器領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 消化器領域
11	漢方を用いた治療 婦人科領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 婦人科領域
12	漢方を用いた治療 精神科領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 精神科領域
13	漢方を用いた治療 疼痛領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 疼痛に関する領域
14	漢方薬の副作用	漢方を用いた治療法について学ぶ
15	まとめ	まとめ

〔方略] 講義 (資料プリントを配布する)

〔評価方法と基準] 授業時に行う小テスト (50%) と定期試験 (50%) を合わせて評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 原則的に月曜日・火曜日・木曜日 10 時-16 時、E-mail で予約を取ること。(h-hashimoto@nichiyaku.ac.jp)

〔所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 3 階

〔教科書] 日本生薬学会監修『現代医療における漢方薬』南江堂

〔参考書]

〔担当教員からのコメント] 漢方について学ぶ機会は稀ではありますが、これからの医療には欠かせない存在となることが予想されます。体や漢方についての知識を深め、今後の人生に役立ててください。

キャリアデザインⅠ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 演習

講師 大泉早智子

〔一般目標 (GIO)〕 自分自身を見極め、社会人・職業人としての将来像を描き個性を伸展させることが重要である。本講義では、キャリアデザインの手法を学習し、キャリアデザインマップ等の作成を通じて理解を深め、より豊かに、より高度に、一貫性をもって創造的に自分を完成させる生き方の出来るスキルを磨くことを目標とする。

〔授業概要〕 自身のふりかえりの中から自己を分析し、さらに身につけるべき能力や技能を明確化する。その上で入学から卒業までを見通したマップを作成し、キャリア形成の自己発見とする。また社会人としての見識を深め、具体的な職業・業種を意識できるようにして、体系的なキャリア教育における基礎的・汎用的な能力を深めることを目標とする。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	キャリアデザインの必要性とその手法	自身の社会的・職業的な自立に必要な能力や態度についての基本を学習し、キャリアデザインについて理解する。
2	自己理解・自己管理能力の開発Ⅰ	初等・中等教育を通じた自分自身のふりかえりを通じて、今までの目標や夢、考え方や大切にしてきたことなどを再考することにより自己理解の手法を学習する。
3	自己理解・自己管理能力の開発Ⅱ	自分自身ができること、意義を感じることややりたいことを考えることにより、肯定的理解としてポジティブインテリジェンスの手法を考察し、今後の人生錬磨に耐えうる思考力について学習する。
4	自己理解・自己管理能力の開発Ⅲ	自分自身の強み、個性などを考えることを通じて、キャリア・アンカーについて学習し、自己理解と自己管理能力についてのまとめを行う。
5	キャリアプランニング能力の開発Ⅰ	自分自身の将来の大まかな全体像を考え、身に付ける能力などを明確にしながらかリアデザインマップの作成手法を学習する。
6	キャリアプランニング能力の開発Ⅱ	入学から卒業までを見通した、キャリアデザインマップを作成する。
7	キャリアプランニング能力の開発Ⅲ	卒業後から 10 年後を見通した、キャリアデザインマップを作成する。
8	キャリアデザインマップのプレゼンテーション	キャリアデザインマップのグループ内での発表及び全体での代表発表を通じてプレゼンテーションの方法やグループ面接の方法を学習する。
9	キャリア発達の過程Ⅰ	他者や社会とのかかわりの中での自身の役割について理解して仕事をする上で必要な情報リテラシーを学習し、新聞記事などの見方を正しく理解して判断できる能力を高める。
10	キャリア発達の過程Ⅱ	社会との関わりの中で自分自身の生きがい、生きる力などについて深く考えることを通じて、勤労観や職業観や真の幸福とはなにかを理解する。
11	就職基礎能力の開発Ⅰ	就職基礎能力である基礎学力 (読み書き・計算・数学的思考・社会人常識) について学習する。
12	就職基礎能力の開発Ⅱ	就職基礎能力である基礎学力と SPI について学習する。
13	就職基礎能力の開発Ⅲ	就職基礎能力である基礎学力とロジカルライティングプレゼンテーションについて学習し、文章表現能力を高める。
14	進路選択の手法	進路選択の手法と、エントリーシートの書き方について学習する。
15	まとめ	キャリアデザインの全体的まとめを行う。

〔方略〕 パワーポイント、ワークシートで演習する

〔評価方法と基準〕 演習課題 (学修ポートフォリオ・ルーブリック評価) 50 %、定期試験 50 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (研究室に掲示) にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 パワーポイントとそのハンドアウト、ワークシートにより行います。

〔参考書〕 大泉早智子・大泉寛 (2015) 『キャリアデザイン講義～自己発見～』 日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

〔担当教員からのコメント〕 本講義では、SGD やブレインストーミング、ロールプレイング、プレゼンテーション等を多く取り入れ、演習には有識者や就職・厚生課の協力を頂く予定ですので積極的に取り組んで下さい。この講義は、キャリア教育の全体像とその中心となる基本的部分を扱います。そして、キャリア教育に求められる、課題対応能力、創造力、人間関係形成・社会形成能力、論理的思考力、勤労観・職業観等の価値観については「キャリアデザインⅡ」などの講義でも行って、中央教育審議会の答申「今後の学校教育におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」での必要な力の視点を踏襲した体系的なキャリア教育を充実させます。また文部科学省が後援する社会人常識マナー検定の学習も行って社会人として必要な知識やマナーの習得も行います。皆さんは事前学習として、配布プリントを読んで講義に参加し、講義の後で更に自分自身の能力を事後学習により発展させて下さい。

現代国語

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 加藤 清

[一般目標 (GIO)] この授業では日本語の特質を理解し、すこしでも意思伝達が正確になるよう自らの心がけについて理解することを目標とします。また、作文の作法についても学び、適切なレポート・小論文やビジネス文書が作成できるようになることを目標とします。

[授業概要] 日常生活では何気なく使用している日本語ですが、意味不明になったり誤解を招いたりした経験は誰にでもあるでしょう。そのことは個人の資質にもよりますが日本語のもついわゆる「あいまいさ」などに起因しています。それらの諸問題について解説します。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンスにかえて	授業の進め方を知ります。また、意志伝達について理解します。
2	言語伝達とはどのようなものか	伝達行為と表現性について理解します。
3	生活のなかの日本語	日本語を日常生活のなかで学んでいることを知ります。
4	日本語の乱れ①	日本語の乱れについて具体的にどのようなことなのかを知ります。
5	日本語の乱れ②	日本語の乱れについてどうあるべきか自らの考えをみつけます。
6	カタカナ語の諸問題	カタカナ語使用についての問題点を理解します。
7	敬語とはどのような言葉か	敬語使用についての基礎的な知識を理解します。
8	ビジネスの場での敬語	ビジネス敬語などの問題点を知り、社会生活で対応できる力を身に付けます。
9	定型文①	手紙の書き方などの決まり事について学習します。
10	定型文②	公用文などの基本的な決まり事について学習します。
11	小論文の文章①	書きことばと「である体」の文章について学習します。
12	小論文の文章②	悪文の要因と日本語の特質 (主語の問題) について理解します。
13	小論文の文章③	悪文の要因と日本語の特質 (述語の問題) について学習します。
14	小論文の文章④	論理的思考を明確にするための注意点を学習します。
15	意見と事実を使い分ける	小論文やプレゼンテーションなどでの注意点や、説得力を高める方法について学習します。

[方略] 講義 (板書、配布プリント)

[評価方法と基準] 定期試験 (60 %)、毎時間の提出物 (40 %)。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置したノートに記入してください

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] プリントを配布します。

[参考書] 必要に応じて紹介します。

[担当教員からのコメント] 毎時間の問題点を意識し、周囲の日本語についても興味をもって生活してください。そのことから授業の問題点を理解できると思います。当然のことですが、毎回の出席は欠かせませんし、授業の内容を実践できるようにするためには復習を十分にする必要があります。

日本史

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 黄 偉 修

〔一般目標 (GIO)〕 本講義では、受講生が、日本史、とりわけ近現代の歴史を政治と経済などの側面を通して理解することを目的とする。
 〔授業概要〕 「歴史」を学ぶことは、今を生きる我々にとってどのような意味があるか。歴史とは現代と過去の対話であり、現代がその様相を変えれば、対話の枠組みやそこで重要とされるテーマは当然変化する。そのため、「日本史」は単に「日本」を知るのではなく、「アジアのなかの日本」「世界のなかの日本」という位置を考えることも大事である。本講義は、「日本」という国が「近代」という大きな時代の転換点を迎える幕末から、戦争と「帝国」の時代を終え、我々の生きる「現代」へと歩を進めるまでを範囲として、各時代の要点を押さえていきたい。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	幕末	鎖国から開国へ
3	明治	維新と立憲国家の成立
4	明治	二つの対外戦争とアジア
5	大正	大正デモクラシー、第一次世界大戦
6	昭和	不況、軍部の台頭から戦争へ
7	昭和	占領期から冷戦へ
8	昭和	安保闘争と高度経済成長
9	昭和	国際環境の変化
10	平成	政治改革への道
11	平成	ポスト冷戦期の日本
12	平成	グローバル化と日本
13	平成	民主党政権と安倍晋三
14	平成から令和へ	第二次安倍政権
15	まとめ	まとめ

〔方略〕 講義形式

〔評価方法と基準〕 定期試験：60 %、課題提出：40 %

〔学生の質問への対応〕 毎回の講義では質問用紙を配布する。受講生が質問用紙に記入した事項については次回の講義の冒頭で紹介・説明する。

〔所属分野・場所〕 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 特に指定しない

〔参考書〕 田中明彦 (1997) 『安全保障——戦後 50 年の模索』 読売新聞社、田中明彦 (2007) 『アジアのなかの日本』 NTT 出版、岩波新書編集部編 (2010) 『日本の近現代史をどう見るか』 岩波書店、北岡伸一 (2017) 『日本政治史——外交と権力 増補版』 有斐閣、清水真人 (2018) 『平成デモクラシー史』 筑摩書房、中公新書編集部編 (2018) 『日本史の論点——邪馬台国から象徴天皇制まで』 中央公論新社、山内昌之、細谷雄一編著 (2019) 『日本近現代史講義——成功と失敗の歴史に学ぶ』 中央公論新社 その他、適宜に講義中に紹介する

〔担当教員からのコメント〕 日本の歴史に対する知識の有無は問わず、受講生が積極的に講義に参画することが期待される。受動的な知識の暗記に陥ることを戒め、想像力や多彩な視点を望む。

民法

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 大和田周資

〔一般目標 (GIO)〕民法を中心とする民事法の法体系につき、基礎的な理解を得る。続いて、民法の全体像を概略し、具体的事例を通じて、どのような場合に民法上の問題が発生するか、どのように民法によって規律されるかにつき、基礎的な理解を得ることを目標とする。

〔授業概要〕民法とは何か、日常生活とどのように結びついているか等について説明をしてきます。また、皆さんに身近な民法上の問題についても、講義中、随時触れる予定です。授業では、各回パワーポイントで作成した資料を配布します。法律の条文については、資料の中で適宜引用していきますので、六法をご用意いただく必要はありません。

〔授業計画〕後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション	講義概要、進め方等についての説明
2	序論	民法を中心とする民事法の体系についての説明
3	民法の全体像	民法の概要説明と民法を通じた権利実現方法に関する基礎的理解
4	総則	人、行為能力等に関する概要説明と事例を通じた基礎的理解
5	総則	意思表示を中心とした法律行為に関する概要説明と基礎的理解
6	総則	未成年と法、代理、時効に関する概要説明と事例を通じた基礎的理解
7	民法特別法 (消費者法)	消費者契約法、特定商取引、電子商取引 (インターネット) に関する概要説明と事例を通じた基礎的理解
8	民法特別法 (労働法)	ワークルール、雇用契約等に関する概要説明と事例を通じた基礎的理解
9	物権・担保法	担保 (抵当権、保証) に関する概要説明と事例を通じた基礎的理解
10	債権	貸借契約を題材とした契約により発生する権利・義務の概要説明と事例を通じた基礎的理解
11	債権	交通事故を題材とした不法行為により発生する権利・義務の概要説明と事例を通じた基礎的理解
12	親族	婚姻、親子等の親族間に関するルールについての概要説明と事例を通じた基礎的理解
13	親族	離婚、親子等の親族間に関するルールについての概要説明と事例を通じた基礎的理解
14	相続	相続に関する事例を通じた基礎的理解
15	授業まとめ	授業のまとめ・確認、質疑応答など

〔方略〕講義 (パワーポイントによる資料配布)

〔評価方法と基準〕定期試験 (70%)、レポート (30%) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕各回講義の事前、事後に質問を受け付けます。不明点などがある場合には、講義中でも適宜質問をしていただいても構いません。E-mailでの質問も受け付けます。

〔所属分野・場所〕医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕指定の教科書はありません。パワーポイント資料を講義毎に配布します。

〔参考書〕米倉明 (2018年1月刊) 『プレップ民法 [第5版]』弘文堂

〔担当教員からのコメント〕民法は、皆さんが毎日の生活を送る中で切っても切れない関係にあります。しかし、専門用語や条文の多さなどの理由から、遠い存在にあるように思えるかもしれません。民法は、我々の生活に密接に関連していることから、時代に対応するべく現在改正作業中であり、本講義も改正後の民法を前提として講義を行います。本講義では、民法の全体像を概略するとともに、身近に起きうる問題について、事例を通じて説明を行っていきます。本講義を通じて、民法を少しでも身近に感じ、身近な問題に対応することができるようになれば幸いです。

医療倫理学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

教授 橋本寛子 (実務) 講師 (非) 高橋眞生 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 患者に配慮した医療を提供するため、医療倫理と関連事項の基本的な知識・態度を修得する。

〔授業概要〕 医療は人を対象にするので、倫理感が不可欠となる。これまでの長い歴史のなか、人類はさまざまな考えで医療に接してきた。現代医療における医療倫理は過去の利点を活かし、過ちを反省することで成り立っている。さらに現在の問題点を克服することで、よりよい医療倫理へと導くことができる。そのためには医療制度や地域医療を踏まえた広い視野が求められる。本授業では医療現場で対応できる倫理感の習得を目標とする。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医の倫理 1	倫理綱領 (ジュネーブ宣言・ヘルシンキ宣言・リスボン宣言) が説明できる。
2	医の倫理 2	脳死、臓器移植、インフォームドコンセント、情報開示、個人情報の保護が説明できる。
3	医学と医療	科学・技術・医療行為の観点から医学を説明できる。
4	古代の医学	あらゆる医学の起源を理解し、その特徴が説明できる。 東洋医学、ギリシャ医学、ローマ医学の成り立ちが説明できる。
5	中世の医学	アラビア・西欧・中国の医学について特徴が説明できる。
6	近世の医学	自然科学と臨床がもたらす医療の発達が説明できる。 医療における看護学の起源が説明できる。
7	二十世紀の医学	自然科学的体系としての医学が説明できる。 治療医学の目的と方法が説明できる。 検査・診断学の目的と方法が説明できる。 治療機器、医用電子工学、医療用電算機について説明できる。
8	日本の医学と医療	日本における医学・医療の歴史について説明できる。
9	現代医療	チーム医療の目的と必要性が説明できる。 EBM の定義、手順、特徴、効果が説明できる。
10	社会保障制度	社会保障の構成が説明できる。
11	医療制度	医療制度と介護保険制度の仕組みが説明できる。
12	医療法と医療計画	医療法の概要が説明できる。 医療計画の目的と構築について説明できる。
13	地域保健と公衆衛生	地域保健医療の役割と活動が説明できる。
14	予防医学	予防医学の目的が説明できる 予防医学の種類と内容が説明できる。
15	総まとめ	授業全般の復習、質疑応答。

〔方略〕 講義、教科書、プリント、パワーポイント、グループワーク 教員分担：1-2 回橋本 3-15 回高橋

〔評価方法と基準〕 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 橋本：月・火・木 10 時～16 時、予めメールで予約を取ってください。h-hashimoto@nichiyaku.ac.jp

高橋：E-mail または授業終了後に受け付けます。

〔所属分野・場所〕 橋本：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 3 階

高橋：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I (基礎・医学編) 第 8 版』 一般社団法人日本病院会

〔参考書〕 『診療情報管理士通信教育レポート問題集 (基礎・医学編)』 一般社団法人日本病院会

〔担当教員からのコメント〕 適正な医療倫理を修得し、将来に役立ててください。

診療報酬請求論Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 加藤良恵 講師 (非) 鳥越年美

[一般目標 (GIO)] 診療報酬の算定に必要な知識の修得。

[授業概要] 基本診療料から入院料までの算定ルールを修得する。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	病院の組織、レセプトの基礎知識、点数算定の原則、初・再診料	病院の組織、レセプト作成のルール、上書きの書き方、点数表の構成と見方、初・再診料の理解
2	医学管理料等、在宅医療	特定疾患療養管理料、特定疾患治療管理料、その他の医学管理料等、情報提供料等
3	投薬	薬剤の基礎知識、院内処方、院外処方、在宅医療の薬剤料
4	注射	注射料の復習
5	処置	主な処置料
6	処置、リハビリテーション	主な処置料、疾患別リハビリテーション料
7	検査	検体検査
8	検査	検体検査、生体検査
9	検査・病理診断	生体検査、病理標本作製料、病理診断料、病理判断料
10	手術	手術料、輸血料
11	麻酔	麻酔料、神経ブロック料、エックス線診断料
12	中間試験	学科中間試験
13	画像診断	核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料
14	精神科専門療法、放射線治療、入院	精神科専門療法、放射線治療、入院の費用、入院基本料、入院基本料等加算
15	入院・点検	入院時食事療養費、特殊な場合の入院料、特定入院料、短期滞在手術等基本料、入院料以外の点数算定、事務的点検、内容点検

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料) 等。2 クラスに分けてそれぞれの教員が 1～15 回目までを担当する。

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、中間試験 20 %、課題 10 %、レポート 10 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前で質問対応

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 川上 雪彦 (令和 2 年 4 月版) 『医科診療報酬点数表 令和 2 年 4 月版』社会保険研究所 医療事務講座テキスト一式 ((株) ソラスト) (ISBN なし)

なお、必ず電卓を持参すること。

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 医療事務管理士の資格を目指す為には、日々の努力が大切です。

与えられた課題にしっかり取り組んでください。

診療報酬請求論Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 加藤良恵 講師 (非) 鳥越年美

[一般目標 (GIO)] 診療報酬明細書の書き方を修得する。

[授業概要] カルテを読み取り、診療報酬明細書を正確に作成出来る様に演習を行う。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	病院の組織、レセプトの基礎知識、点数算定の原則、初・再診料	レセプト上書作成 初・再診のレセプト作成演習
2	医学管理料等、在宅医療	左記項目のレセプト作成演習
3	投薬	左記項目のレセプト作成演習
4	注射	左記項目のレセプト作成演習
5	処置	左記項目のレセプト作成演習
6	処置、リハビリテーション	左記項目のレセプト作成演習
7	検査	左記項目のレセプト作成演習
8	検査	左記項目のレセプト作成演習
9	中間試験	実技中間試験
10	手術	左記項目のレセプト作成演習
11	麻酔	左記項目のレセプト作成演習
12	画像診断	左記項目のレセプト作成演習
13	画像診断	左記項目のレセプト作成演習
14	精神科専門療法、放射線治療、入院	左記項目のレセプト作成演習
15	入院・点検	左記項目のレセプト作成演習

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料) 等。2 クラスに分けてそれぞれの教員が 1～15 回目までを担当する。

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、中間試験 20 %、小テスト 10 %、前期復習テスト (注射) 10 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前中で質問対応

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 川上 雪彦 (令和 2 年 4 月版) 『医科診療報酬点数表 令和 2 年 4 月版』 社会保険研究所 医療事務講座テキスト一式 ((株) ソラスト) (ISBN なし)

なお、必ず電卓を持参すること。

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 医療事務管理士の資格を目指す為には、日々の努力が大切です。

与えられた課題にしっかり取り組んでください。

日本語 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 平阿佐美

〔一般目標 (GIO)〕 アカデミックジャパニーズに相応しい4技能 (読む・聞く・書く・話す) を高める。

〔授業概要〕 語彙・文法表現を学び、大学生、社会人として必要な表現力を練習し、さらに自分の意見、考えを他者に分かりやすく伝えることを目指す。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス	15回の授業内容、方法についての説明。 レベルチェックテスト
2	文法・文作①	適切な語彙、文法表現を用い、自分のことについて説明、また自分の意見を伝えることができる。
3	文法・文作②	適切な語彙、文法表現を用い、自分のことについて説明、また自分の意見を伝えることができる。
4	文法・文作③	適切な語彙、文法表現を用い、自分のことについて説明、また自分の意見を伝えることができる。
5	文法・文作④	適切な語彙、文法表現を用い、自分のことについて説明、また自分の意見を伝えることができる。
6	文法・文作⑤	適切な語彙、文法表現を用い、自分のことについて説明、また自分の意見を伝えることができる。
7	振り返り	第2回から第6回までの復習、チェックテスト
8	文法表現力を高める①	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
9	文法表現力を高める②	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
10	文法表現力を高める③	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
11	文法表現力を高める④	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
12	文法表現力を高める⑤	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
13	文法表現力を高める⑥	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
14	文法表現力を高める⑦	より上の段階の文法表現を用い、文章を作る力、伝える力を伸ばす。
15	まとめ・復習	前期授業のまとめ、復習

〔方略〕 講義、演習 (配布資料)

〔評価方法と基準〕 定期試験 80 %、提出物 20 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義の前後に教室、または、講師控室で対応

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 特になし

〔担当教員からのコメント〕 筆記試験だけでなく、提出物や授業参加度も評価の対象です。受け身にならず、自ら考え、意見や質問を積極的に述べて、日本語力を高めてください。

日本文化 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 海保恵子

[一般目標 (GIO)] 日本語の総合的技能の向上を図る

[授業概要] 日本で生活する上で齟齬のないコミュニケーションを行う力をつけることを念頭におき、必要な文化的知識を身に付ける。視野を広げ身の回りの様々な情報を深く理解する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
2	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける
3	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける
4	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける
5	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける
6	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける
7	現代社会 I	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける
8	待遇表現 I	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
9	待遇表現 I	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
10	待遇表現 I	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
11	待遇表現 I	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
12	コミュニケーション I	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
13	コミュニケーション I	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
14	コミュニケーション I	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
15	コミュニケーション I	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料等)、SGD、NIE、PL

[評価方法と基準] 定期試験 60 % 小テスト 20 % 提出物 10 % 発表 10 % で評価します。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 講義の前後に教室又は講師控室にて対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] プリントを配布します。

[参考書] 特にありません

[担当教員からのコメント] 身の回りの様々な物事や出来事について意識的に観察してみましょう。背景には文化が関わっています。それらを分析的に捉えることによって深く理解し自らの表現力の幅を広げていきましょう。

日本事情 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 平阿佐美

〔一般目標 (GIO)] 日本の文化・習慣・社会事情への理解を深める。日本語で考える力、意見を伝える力を伸ばす。

〔授業概要] 現代日本社会事情に関する新聞記事、インターネットからの記事を基に、自国との比較、他者との意見交換を行い、視野を広げ、自ら問題点を見出し、分析・解決する力を伸ばす。

〔授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス	日本の文化・習慣・社会事情について知りたいこと、疑問点などを話し合い、前・後期 30 回の授業の方向性を自分で決める。
2	日本について知る①	あるテーマについての文章を読み、筆者の主張を正しく理解することができる。論点を整理し、まとめることができる。
3	日本について知る②	あるテーマについての文章を読み、筆者の主張を正しく理解することができる。論点を整理し、まとめることができる。
4	日本について知る③	あるテーマについての文章を読み、筆者の主張を正しく理解することができる。論点を整理し、まとめることができる。
5	日本について知る④	あるテーマについての文章を読み、筆者の主張を正しく理解することができる。論点を整理し、まとめることができる。
6	日本について知る⑤	あるテーマについての文章を読み、筆者の主張を正しく理解することができる。論点を整理し、まとめることができる。
7	日本について知る⑥	あるテーマについての文章を読み、筆者の主張を正しく理解することができる。論点を整理し、まとめることができる。
8	振り返り	第 2 回から第 7 回までの復習
9	日本について調べる①	記事の内容を要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
10	日本について調べる②	記事の内容を要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
11	日本について調べる③	記事の内容を要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
12	日本について調べる④	記事の内容を要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
13	日本について調べる⑤	記事の内容を要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
14	日本について調べる⑥	記事の内容を要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
15	まとめ	授業を振り返り、学んだことをまとめる。

〔方略] 講義, 演習 (配布資料)

〔評価方法と基準] 定期試験 60 %、グループワーク 20 %、提出物 20 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 講義の前後に教室、または 4 階講師控室で対応する。

〔所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書] 特になし

〔参考書] 特になし

〔担当教員からのコメント] 筆記試験だけでなく、グループワーク、提出物も評価の対象です。受け身にならず、自ら考え、意見や質問を積極的に述べて日本語力を高めてください。

日本語Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 平阿佐美

〔一般目標 (GIO)] アカデミックジャパニーズに相応しい4技能 (読む・聞く・書く・話す) を高める。

〔授業概要] あるまとまった内容の文章を読み、大学生、社会人として必要な表現力を身につける。更に、自分の意見、考えを他者に分かりやすく伝える力を伸ばす。

〔授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス	後期授業の内容、目標について確認する。
2	読解力を深める①	あるまとまった内容の文章を読み、内容を理解し、読み取りの力を深める。文章の中の表現を用い、文章能力を伸ばす。
3	読解力を深める②	あるまとまった内容の文章を読み、内容を理解し、読み取りの力を深める。文章の中の表現を用い、文章能力を伸ばす。
4	読解力を深める③	あるまとまった内容の文章を読み、内容を理解し、読み取りの力を深める。文章の中の表現を用い、文章能力を伸ばす。
5	読解力を深める④	あるまとまった内容の文章を読み、内容を理解し、読み取りの力を深める。文章の中の表現を用い、文章能力を伸ばす。
6	読解力を深める⑤	あるまとまった内容の文章を読み、内容を理解し、読み取りの力を深める。文章の中の表現を用い、文章能力を伸ばす。
7	振り返り	第2回から第6回のまとめ
8	表現力をつける①	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
9	表現力をつける②	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
10	表現力をつける③	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
11	表現力をつける④	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
12	表現力をつける⑤	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
13	表現力をつける⑥	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
14	表現力をつける⑦	より上の段階の文法表現を学び、文章表現能力を伸ばす。
15	まとめ、復習	後期授業のまとめ

〔方略] 講義、演習 (配布資料)

〔評価方法と基準] 定期試験 80 %、提出物 20 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 講義前後に教室、または4階講師控室で対応。

〔所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書] 特になし

〔参考書] 特になし

〔担当教員からのコメント] 筆記試験だけでなく、提出物、授業参加度も評価の対象です。受け身にならず、自ら考え、意見や質問を積極的に述べて日本語力を高めてください。

日本文化Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 海保恵子

[一般目標 (GIO)] 日本語の総合的技能の向上を図る

[授業概要] 日本で生活する上で齟齬のないコミュニケーションを行う力をつけることを念頭におき、必要な文化的知識を身に付ける。視野を広げ身の回りの様々な情報を深く理解する。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
2	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
3	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
4	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
5	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
6	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
7	現代社会Ⅱ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ内容を深く理解する。内在するテーマについて考察し独自の意見が言える。意見文が書ける。
8	自分の将来について考える	招聘講師の実体験 (留学・就職・創業) を通じて自身の職業観を確立する。
9	自分の将来について考える	招聘講師の実体験 (留学・就職・創業) を通じて自身の職業観を確立する。
10	待遇表現Ⅱ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
11	待遇表現Ⅱ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
12	コミュニケーションⅡ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
13	コミュニケーションⅡ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
14	コミュニケーションⅡ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
15	コミュニケーションⅡ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料等)、SGD、NIE、PL

[評価方法と基準] 定期試験 60 % 小テスト 20 % 提出物 10 % 発表 10 % で評価します。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 講義終了後、教室又は講師控室にて対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] プリントを配布します。

[参考書] 特にありません

[担当教員からのコメント] 身の回りの様々な物事や出来事について意識的に観察してみましょう。背景には文化が関わっています。それらを分析的に捉えることによって深く理解し自らの表現力の幅を広げていきましょう。

日本事情Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 平阿佐美

〔一般目標 (GIO)〕 日本の文化・習慣・社会事情への理解を深める。日本語で考える力、意見を伝える力を養う。

〔授業概要〕 現代日本社会事情に関する新聞記事、インターネットからの記事を基に、自国との比較、他者との意見交換を行い、視野を広げ、自ら問題点を見出し、分析・解決する力を伸ばす。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	日本について知る①	社会問題について、日本、自国、他の国々と比較し、話し合い、意見をまとめることができる。
2	日本について知る②	社会問題について、日本、自国、他の国々と比較し、話し合い、意見をまとめることができる。
3	日本について知る③	社会問題について、日本、自国、他の国々と比較し、話し合い、意見をまとめることができる。
4	日本について知る④	社会問題について、日本、自国、他の国々と比較し、話し合い、意見をまとめることができる。
5	日本について知る⑤	社会問題について、日本、自国、他の国々と比較し、話し合い、意見をまとめることができる。
6	日本について知る⑥	社会問題について、日本、自国、他の国々と比較し、話し合い、意見をまとめることができる。
7	振り返り	第 1 回から第 6 回までの振り返り
8	日本について調べる①	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
9	日本について調べる②	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
10	日本について調べる③	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
11	日本について調べる④	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
12	日本について調べる⑤	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
13	日本について調べる⑥	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
14	日本について調べる⑦	記事の論点を整理し、要約することができる。自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
15	まとめ	前・後期の授業を振り返り、学んだことをまとめる。

〔方略〕 講義、演習 (配布資料)

〔評価方法と基準〕 定期試験 60 %、グループワーク 20 %、提出物 20 % で評価する。

〔学生の質問への対応〕 講義の前後に教室、または 4 階講師控室で対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 特になし

〔担当教員からのコメント〕 グループワークや提出物も評価の対象です。受け身にならず、意見や質問を積極的に述べて日本語力を高めてください。

生命をミクロに理解する

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 根岸和雄

[一般目標 (GIO)] 生物をミクロのレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割について基本的な知識を修得する。
 [授業概要] 生化学は生体の構造と機能について、分子 (ミクロ) のレベルで理解することを目的とする学問です。核酸の構造と遺伝子の働きから、ホルモン、諸器官、遺伝子、免疫までミクロレベルの理解を目指して講義します。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	核酸の構造とモノヌクレオチドの代謝	DNA および RNA の構造、ならびにモノヌクレオチドの合成と分解について説明できる。
2	核酸の生合成	DNA の複製と RNA 合成について説明できる。
3	タンパク質の生合成と遺伝の生化学 1	タンパク質の生合成と代謝について説明できる。ゲノムとプロテオーム、ならびに転写調節について概説できる。
4	遺伝の生化学 2	クロマチンの構造とエピジェネティクス、遺伝子異常が関連する病気、およびバイオテクノロジーについて概説できる。
5	ホルモン	ホルモンの分類と作用機構について説明できる。 種々のホルモンについて、その特徴を説明できる。
6	水と無機物 ポルフィリン 器官の生化学 1	水と無機物、ポルフィリン、および血液の生化学を概説できる。
7	器官の生化学 2	肺と腎臓の生化学を概説できる。
8	器官の生化学 3	肝臓と膵臓の生化学を概説できる。
9	器官の生化学 4	筋、結合組織、脂肪組織、硬組織および神経の生化学を概説できる。
10	細胞増殖と癌の生化学	細胞の増殖と死、および癌化について概説できる。
11	免疫の生化学	免疫の生化学について概説できる。
12	グループワーク 1 (課題発表の準備)	課題発表のテーマ説明やグループ分けを行う。本講義に関連した適切なテーマや論点を提案することができる。
13	講義のまとめ	本講義全体の内容を概説できる。
14	グループワーク 2 (発表原稿の作成)	提案された論点を展開して、発表原稿を作成できる。
15	グループワーク 3 (課題発表)	選んだテーマについて、適切な意見を含む発表することができる。また、発表を聞いて、理解し評価することができる。

[方略] 講義 (教科書、配布プリント、スライド) とグループワーク

[評価方法と基準] 定期試験 (70 %)、課題発表 (25 %)、並びに各講義中に行う確認テスト解答 (およびコメント) の提出状況 (5 %) で評価を行います。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 講義終了後に直接質問してください。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 林 典夫、廣野 治子 (2014) 『シンプル生化学 (改訂第 6 版)』 南江堂

[参考書] 前田正知・浅野真司 (2019) 『コンパス生化学 (改訂第 2 版)』 南江堂、平澤栄次 (2014) 『はじめての生化学 (第 2 版)』 化学同人
 最新の比較的詳しい教科書と平易な入門書を紹介しています。

[担当教員からのコメント] 「生物の基礎」と同じ教科書を使用し、核酸や遺伝子の働きから免疫まで広く基本的なミクロな見方を勉強します。グループワークでは興味あるテーマについて調査し、物事をより深く知る楽しさを経験して下さい。

人体の構造と働きⅡ

[医療ビジネス薬科学科（お茶の水キャンパス）] 1年生（後期）2単位（選択）講義

教授 橋本寛子（実務） 教授 櫻田 誓

〔一般目標（GIO）〕 生命のいとなみの基本を理解しましょう。

〔授業概要〕 人体の構造と働きⅡでは、病気の原因や医薬品が効果を現す機序が理解しやすくなるように、人体の基本的な仕組み（解剖学、組織学）、およびその働き（生理学）を系統的に学ぶ。人体の器官・臓器がどのような細胞・組織から構成されており、どのように他の器官等と連携し、どのような働きをしているかを学ぶ。

これらの知識は、診療記録に記載されている内容の中での基本的な人体の部位、診断名の理解に必須であり、さらに、疾病の機序や病態の理解、実際の治療手段の理解に役立つ。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	人体の構造と機能（総論）	人体の成り立ち、系統的な解剖学、生理学とは
2	細胞・組織 1	おもな細胞とその形態、細胞膜、核、細胞小器官（ミトコンドリア・小胞体など）の構造と機能・組織の構造と機能（人体のしくみを組織レベルから理解する：神経組織、腺組織）
3	末梢神経系の構造と機能	末梢神経の解剖学的分類と機能的分類、自律神経の解剖学的特徴、自律神経の拮抗的二重支配、自律神経における伝達物質と受容体
4	中枢神経系の構造と機能	中枢神経系の構造と機能：脳と脊髄、大脳皮質、大脳辺縁系、大脳基底核、間脳、脳幹、小脳
5	組織 2	組織の構造と機能（人体のしくみを組織レベルから理解する）、筋肉組織、上皮組織、膜組織
6	組織 3	組織の構造と機能（人体のしくみを組織レベルから理解する）結合組織、支持組織、血液、体液
7	器官	顔と頸部（皮膚・目・耳の構造と機能）
8	骨と筋肉	頭蓋骨・咀嚼・上肢下肢の骨と筋肉
9	呼吸器の構造と機能	呼吸のしくみ、呼吸運動の成り立ち
10	循環器の構造と機能	心臓の形態と構造、冠循環のしくみ、刺激伝導系、心周期など
11	消化器の構造と機能 1	食道、胃、十二指腸、小腸・大腸について
12	消化器の構造と機能 2	肝臓・胆嚢の構造と機能、膵臓、腹膜について
13	泌尿器系の構造と機能	腎臓のしくみ、糸球体、尿細管、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系
14	内分泌系の構造と機能	内分泌系、ホルモンについて
15	生殖器系の構造と機能	生殖器系の構造と機能、受胎のメカニズム

〔方略〕 講義、教科書、配布プリント、パワーポイント 教員分担：橋本（1、5-8回）櫻田（2-4、9-15回）

〔評価方法と基準〕 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 橋本：原則的に月曜日・火曜日・木曜日 10時-16時、E-mailで予約を取ること。

(h-hashimoto@nichiyaku.ac.jp)

櫻田：オフィスアワー（講義日の午後1時～午後5時まで） E-mailでの質問も可能（chikai@nichiyaku.ac.jp）。E-mailでの質問の場合は、学生番号と氏名を記載してください。

〔所属分野・場所〕 橋本：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 3階

櫻田：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 4階

〔教科書〕 大井利夫（総監修）『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ』社団法人 日本病院会

〔参考書〕 櫻田忍・櫻田司（2018）『機能形態学 改訂第4版』南江堂

〔担当教員からのコメント〕 人体の構造と仕組みについては、怪我や病気などで、異常を起こしたときに知りたい、知っておいたら良かったと強く思うものです。さまざまな書籍やTV番組等を通じて、日頃から興味や関心を養っておいて下さい。体の構造や仕組みに関する知識や理解は、将来、あらゆる場面で必ずや役に立つものとなります。

この講義は、「診療情報管理士」認定のための指定科目となっています。

コンピュータスキル

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1年生 (後期) 2単位 (選択) 演習

准教授 村井保之

[一般目標 (GIO)] コンピュータプログラムの基本的な動作を理解し、与えられた問題からプログラムが作成できる知識と技能を修得する。
 [授業概要] コンピュータで問題を解決するには、問題に対応したソフトウェア (プログラム) を利用するが、問題に対応する適当なソフトウェアが無い場合やあっても使いにくい場合は自分で作成することができる。この場合、問題を解くための手順 (アルゴリズム) を考え、コンピュータで利用できるように、プログラムを作成する必要がある、この作業をプログラミングという。

この授業では、プログラミングを通して問題解決に必要な「論理的な思考」を身につけるとともに「コンピュータの基本的な動作」を理解しコンピュータを使うために必要な知識と技能を修得する。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	プログラミングの基礎	プログラミングについて説明できる。 プログラミングシステムの基本的な使い方を説明できる。
2	図形の移動と描画 (1)	図形を指示通りに動かすことができる。 図形をキーボードで動かすことができる。 図形をマウスで動かすことができる。
3	図形の移動と描画 (2)	キーボードやマウス操作で図を動かす簡単なプログラムが作成できる。 指示された図形を描くことができる。
4	変数の利用と演算 (1)	変数を使用したプログラムが作成できる。 データの入力、演算、出力ができる。
5	変数の利用と演算 (2)	入出力、演算、変数を用いて指示されたプログラムが作成できる。
6	繰り返し処理 (1)	繰り返し命令を利用できる。繰り返しを用いたプログラムを作成できる。
7	繰り返し処理 (2)	繰り返しを用いて、指示されたプログラムが作成できる。
8	条件分岐 (1)	条件により処理を切り替えることができる。 条件分岐命令を利用できる。
9	条件分岐 (2)	条件分岐を用いて、指示されたプログラムが作成できる。
10	配列 (1)	配列の説明ができる。 配列を使用したプログラムが作成できる。
11	配列 (2)	配列を利用して、指示されたプログラムが作成できる。
12	プログラムの作成 (1)	習得した各種機能を利用して、指示されたプログラムが作成できる。
13	プログラムの作成 (2)	習得した各種機能を利用して、指示されたプログラムが作成できる。
14	オリジナルプログラムの作成 (1)	習得した各種機能を利用して、オリジナルのプログラムが作成できる。
15	オリジナルプログラムの作成 (2)	習得した各種機能を利用して、オリジナルのプログラムが作成できる。

[方略] パソコンを用いた演習。

[評価方法と基準] 授業中に作成した提出課題で評価 (100 %) する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 研究室、メールで随時受け付ける。

メール : murai@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 5階 村井研究室

[教科書] 必要に応じ資料を配布する。

[参考書]

[担当教員からのコメント] マウス操作などコンピュータの基本的な操作ができること。

海外研修プログラム

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 1・2・3・4 年生 (通期) 2 単位 (選択) その他

教授 新井一郎

〔一般目標 (GIO)〕 本学の海外提携校へ留学し、語学力・コミュニケーション能力の向上を図るとともに、海外における医療ビジネスの在り方や役割などについて現地での体験を通じて理解を深める。

〔授業概要〕 本学の国際学術交流委員会指定の、語学研修、薬学研修などを含む、原則として 10 日間以上の海外研修プログラム

〔授業計画〕 提携大学の受入れプログラムによる。

〔方略〕 講義、見学、留学先の学生との交流等

〔評価方法と基準〕 帰国後、レポート (成果報告書) を作成し、国際学術交流委員会において合否判定を行う。成績評価は行わない。

〔学生の質問への対応〕 新井一郎 (さいたまキャンパス)、高城徳子 (お茶の水キャンパス) がオフィスアワー (9:00-17:00) に受け付けます。メールなどで事前予約した場合は、オフィスアワー以外でも受け付けます。

メールアドレス

(新井一郎) i-arai (アットマーク) nichiyaku.ac.jp

(高城徳子) takajo (アットマーク) nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 (新井一郎) 漢方薬学分野研究実習棟 9 階 904 号室

(高城徳子) 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

〔担当教員からのコメント〕 本学の海外留学プログラムは、商業的な海外留学とは異なり、本学が提携校と独自に作り上げたものであり、単なる海外旅行では体験できない薬学体験や現地の学生との交流なども含まれています。3 月と 8 月を中心に実施します。国際学術交流委員会から、その都度、案内しますので、掲示板をよく見ておいてください。国際学術交流委員会が提供するプログラム以外でも、行ってみたい提携校があれば実現できる可能性がありますので申し出てください。

生物の基礎

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

教授 都築 稔

[一般目標 (GIO)] 生物学の基礎学力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体レベルでの生命現象に関する基本的知識を修得する。
 [授業概要] 生物の基本単位である細胞の構造、生物を構成する生体高分子について学習し、多細胞生物においてそれらがどのように機能し、生命を維持しているかを学習します。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	序論	生体を作る元素を説明できる 生体分子の構造および特徴を説明できる 細胞の構造を理解し、細胞小器官の機能を説明できる
2	アミノ酸・タンパク質	各アミノ酸およびタンパク質の種類と構造を列記できる タンパク質を機能により分類できる
3	糖質	糖質を分類し、それぞれの役割を列記できる 糖質の構造と性質について説明できる
4	脂質	脂質の性質、種類と構造、生理的役割を列記できる
5	酵素	酵素の基本的性質および酵素反応の概略を説明できる 酵素の疾患診断への応用や医薬品としての利用について説明できる
6	グループワーク 1	生命科学に関する最新トピックについて、グループで調査・討論して発表する
7	グループワーク 2	生命科学に関する最新トピックについて、グループで調査・討論して発表する
8	グループワーク 3	生命科学に関する最新トピックについて、グループで調査・討論して発表する
9	糖質の代謝 1	解糖系の役割とエネルギー産生について説明できる
10	糖質の代謝 2	クエン酸回路の役割とエネルギー産生について説明できる
11	糖質の代謝 3	グルコースの主な代謝系の役割とエネルギー産生について説明できる
12	糖質の代謝 4	血糖調節の仕組みと糖尿病の関連を理解できる
13	脂質の代謝 1	脂肪酸の代謝とエネルギー産生との関連を説明できる
14	脂質の代謝 2	コレステロールの生合成と利用について説明できる リポタンパク質代謝と脂質異常症との関連を説明できる
15	アミノ酸の代謝 総まとめ	アミノ酸代謝を概説できる アンモニアの無毒化反応および尿素の生成について説明できる

[方略] 講義 (予習教材、課題レポート) およびグループワーク。リアルタイム双方向遠隔授業で実施する。

[評価方法と基準] 定期試験 (30%)、課題レポート (24%)、グループワーク (20%)、コメントシート (14%)、予習クイズ (12%) で評価し、総合で 60% 以上を合格とする。再試験は実施しない。

[学生の質問への対応] 講義終了後に直接質問するか、メールにてお問い合わせください。

E-mail: minoru_tuzuki@nichiyaku.ac.jp さいたまキャンパス本部棟 1 階 副学長室

[所属分野・場所] さいたまキャンパス本部棟 1 階 副学長室

[教科書] 林典夫・廣野治子 (2020) 『シンプル生化学 改訂第 7 版 (978-4-524-24659-5)』南江堂 講義の際には必ず持参してください。

[参考書] 津田道雄 (2012) 『よくわかる専門基礎講座 生化学』金原出版、小林賢 (2010) 『医歯薬系のための生物学』講談社サイエンティフィック、平澤栄次 (2014) 『はじめての生化学 第 2 版』化学同人、功刀茂・斉藤正治 (2007) 『大学への橋渡し 生化学』化学同人、鈴木敬一郎・本家孝一・大河原知水・藤原範子 (2011) 『集中講義生化学 改訂 2 版』メジカルビュー、前田正知・浅野真司 (2015) 『コンパス生化学』南江堂

[担当教員からのコメント] グループワーク形式を取り入れながら、高等学校で学ぶ内容から最新の生命科学に関する知見までを幅広く学習します。日々の予習、復習をしっかりと行っていきましょう。

数学・統計学の基礎

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 高城徳子

[一般目標 (GIO)] 論理的な思考力を身につけるために、数学・統計学の基本的知識を修得する。

[授業概要] 学問、業界を問わず、現代社会の様々な場面で統計と確率に関わってきます。さらに、科学技術の発展により収集されるデータの種類や量は飛躍的に増加しており、統計と確率の知識が必要になってきています。そこで、数学・統計学の基礎では、統計を学ぶ上で必要な数学の知識と統計学の基礎知識を修得します。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	概論	講義概要 基本的事項のチェック
2	グラフ	棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフなどの特徴を知る。 ヒストグラムを作成できる。
3	指数・対数	指数計算および対数計算ができる。 多項式の展開ができる。
4	データのバラツキの度合い	分散・標準偏差を理解し、求めることができる。
5	関数	1 次関数および 2 次関数の基礎について理解する。
6	散布図および相関係数	散布図から相関関係を判別できる。 相関係数を算出できる。
7	順列	順列について理解し、計算することができる。
8	組合せ	順列と組合せの違いを理解し、組合せを計算することができる。
9	確率	身近な例を用いて、確率を求めることができる。
10	数列	等差数列、等比数列について理解し、一般項および和を求めることができる。 Σ の定義を知り、値を求めることができる。
11	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について理解し、確率変数の期待値を求めることができる。 確率変数の分散と標準偏差を求めることができる。
12	二項分布	二項分布について概説でき、平均値や分散を求めることができる。
13	連続型確率変数と確率密度関数 正規分布	確率密度関数の意味および正規分布について理解する。
14	推測統計	推測統計について
15	まとめ	講義内容のまとめ

[方略] 講義 (教科書・板書) と問題演習

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、課題 40 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了直後および講義日の 13:30~17:00 に研究実習棟 10 階 1001 室にて対応します。また E-mail でも質問を受け付けます。(E-mail: takajo@nichiyaku.ac.jp)

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

[教科書] 永野裕之 (2018) 『この 1 冊で腑に落ちる 統計学のための数学教室』ダイヤモンド社

[参考書] 向後千春 富永敦子 (2018) 『統計学がわかる』技術評論社、都築稔 (編) 安西和紀・高城徳子・田村栄一・豊田実司 (著) (2014) 『わかりやすい薬学系の数学入門』講談社 高校の教科書・参考書、診療情報管理士のためのやさしい医療統計学 (日本病院会診療情報管理士教育委員会監修、株式会社じほう)

[担当教員からのコメント] アンケート調査や実験などによりデータを収集しますが、データを集めただけでは何もわかりません。そこでデータを分析することが必要になります。この科目では、記述統計とよばれるデータの要約方法について学習します。聞いているだけでは身に付きませんので、自分の頭と手を動かして理解するように心がけてください。

情報リテラシー

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

准教授 大久保文哉

[一般目標 (GIO)] 情報化社会で必要となる、情報機器やインターネットに関するハードウェアやソフトウェア、情報機器やインターネットを安全かつ有効に活用する方法、情報倫理とルールに関する知識を修得する。

[授業概要] 大学生生活や将来社会人として必要な IT の基礎知識の習得を目的とする。身近な SNS などのコミュニケーションツールから、ネットの脅威やウイルスなどのセキュリティ、著作権や情報倫理、生活の中で使われる情報システム、これらを構成する基本的な技術、ネットワークやインターネットに関する技術、コンピュータや各種情報機器のハードウェアに関する技術、それらを動作させるためのソフトウェアに関する基本的な技術について、講義と演習を中心に学生が主体的に取り組める授業とする。国家試験「IT パスポート」にも対応する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	インターネットの利用 (1)	SNS の危険性について説明できる。 情報発信の注意点について説明できる。 インターネットを用いた情報検索について説明できる。 インターネット上の情報の特徴について説明できる。 ネットワーク共有サービスについて説明できる。
2	ネットの脅威とセキュリティ	コンピュータウイルスとその対策について説明できる。 ネット犯罪とその対策について説明できる。 暗号について説明できる。 安全なパスワードの作成方法を説明できる。 迷惑メールの対応法を説明できる。 ネット利用のリスクについて説明できる。
3	情報倫理とルール	メディアリテラシーについて説明できる。 情報操作の原因とその影響について説明できる。 肖像権とパブリシティ権について説明できる。 著作権について説明できる。
4	情報化社会	身近な情報システムを列挙できる。 電子マネーについて説明できる。 ビッグデータについて説明できる。 組込みシステムについて説明できる。 IOT について説明できる。 ユニバーサルデザインについて説明できる。
5	コンピュータの歴史と現代の IT 企業	コンピュータの歴史を説明できる。 現代の IT 企業について説明できる。
6	情報やメディアに関する技術 (1)	二進法について説明できる。 十進数と二進数を相互に変換できる。 ビットやバイトなどのデータ量について説明できる。
7	情報やメディアに関する技術 (2)	標本化と量子化について説明できる。 エラー検出と訂正について説明できる。 バーコードについて説明できる。 文字コードについて説明できる。 フォントについて説明できる。
8	ネットワークの技術 (1)	ルータの役割を説明できる。 ファイアウォールについて説明できる。 プロトコルについて説明できる。 TCP/IP について説明できる。 DNS について説明できる。
9	ネットワークの技術 (2)	HTML について説明できる。 スクリプトについて説明できる。 Web サーバと HTTP について説明できる。 SSL について説明できる。 プラグインと Cookie について説明できる。
10	ネットワークの技術 (3)	電子メールの仕組みを説明できる。 LAN について説明できる。 WiFi について説明できる。 無線 LAN について説明できる。 携帯電話システムについて説明できる。 SIM について説明できる。 ブロードバンドについて説明できる。

回	項目	到達目標（授業内容）
11	ハードウェアの技術（1）	パソコンの構成要素を説明できる。 OS について説明できる。 デザリングについて説明できる。 補助記憶装置について説明できる。 著作権保護について説明できる。
12	ハードウェアの技術（2）	イメージングデバイスについて説明できる。 画素数について説明できる。 入出力装置について説明できる。 解像度について説明できる。 インターフェースについて説明できる。 不正コピー防止の仕組みを説明できる。 4 K テレビについて説明できる。
13	ソフトウェアの技術（1）	OS について説明できる。 マルチタスクについて説明できる。 仮想化技術について説明できる。 プログラミングについて説明できる。 ソフトウェアの開発方法について説明できる。
14	ソフトウェアの技術（2）	アルゴリズムについて説明できる。 計算量について説明できる。 ユーザインタフェースについて説明できる。
15	ソフトウェアの技術（3）	データベースについて説明できる。 データウェアハウスについて説明できる。 クラウドコンピューティングについて説明できる。

〔方略〕 講義（パワーポイントと配布資料）

〔評価方法と基準〕 授業中に実施する課題（10 %）、定期試験（80 %）、タイピング練習ソフトで指定した課題を終了（10 %）。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 研究室、メールで随時受け付ける。

E メールアドレス fumiyaokubo@nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 分子機能科学分野 研究実習棟 10 回 1001 号室

〔教科書〕 『キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2020』日経 BP、『2019 事例でわかる情報モラル』実教出版

〔参考書〕

生活の化学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

准教授 安田高明

[一般目標 (GIO)] 身の回りにある化学製品の成り立ちを理解することを通して、化学の基本的知識を修得する。

[授業概要] われわれの身の回りは、化学製品であふれている。代表的な生活用品の作成方法やその性質等を理解することが、毎日の生活に潤いを与える。製品の成分や成り立ちを説明しながら、化学の基礎的原理を講述する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	はじめに	化学を学ぶための基礎的な考え方、及び化学構造式の書き方を理解する。(1 章)
2	化学の基本事項	化学を学ぶための基礎的な考え方、及び化学構造式の書き方を理解する。(1 章)
3	酸と塩基	酸性・塩基性の化学を理解する。(2 章)
4	衣服の化学	第二の皮膚といわれる衣服の化学を理解する。(3 章)
5	洗濯の化学	環境にやさしく洗濯 (洗淨) を理解する。(4 章)
6	洗濯の化学	環境にやさしく洗濯 (洗淨) を理解する。(4 章)
7	水の化学	もっとも身近でもっとも不思議な物質である水の性質を理解する。(5 章)
8	プラスチックの化学	現代生活にとって必須材料プラスチックの化学を理解する。(6 章)
9	プラスチックの化学	現代生活にとって必須材料プラスチックの化学を理解する。(6 章)
10	料理の化学	食材を変化させて、美味しく食べている料理を、化学的に理解する。(7 章)
11	料理の化学	食材を変化させて、美味しく食べている料理を、化学的に理解する。(7 章)
12	コロイドの化学	生活を彩る驚異の粒子であるコロイドを理解する。(8 章)
13	薬の化学	化学の力で命を守っている薬が、効果を示すしくみを理解する。(9 章)
14	薬の化学	化学の力で命を守っている薬が、効果を示すしくみを理解する。(9 章)
15	演習	理解度を確認するために、演習を行う。

[方略] 1~14 回：講義 (プリント)、15 回：演習 (プリント)

[評価方法と基準] 定期試験 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 1: オフィスアワー (講義開講日 10:00~17:00)

2: E-mail : yasuda@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] 芝原寛泰・後藤景子著 (2009) 『身の回りから見た化学の基礎』 化学同人

[参考書]

[担当教員からのコメント] 我々の日常生活が、化学物質に溢れ、支えられていることを学んで下さい。

英語 I

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) B. スミス

[一般目標 (GIO)] グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語 I の授業では、社会が国際化する中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

[授業概要] 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組むことが求められます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Situation	自己紹介する
2	Conversation	ホテルにチェックインする
3	Integration	復習と統合発展
4	Conversation	好きな食べ物について話す
5	Focus	食べ物の好き嫌いについて話す
6	Integration	復習と統合発展
7	Focus	過去の旅行について話す
8	Conversation	過去に行った旅行について話す
9	Integration	復習と統合発展
10	Conversation	町でできることについて話す
11	Focus	あることをするのに勧めの場所を伝える
12	Integration	復習と統合発展
13	Conversation	今日したことについて話す
14	Conversation	一日について話す
15	Integration	復習と統合発展

[方略] 講義 (テキストに沿った説明)

[評価方法と基準] 中間試験 (35 %) と定期試験 (35 %) 小テスト (20 %) アクティビティーへの参加度 (10 %) で評価する。

[学生の質問への対応] Ask by writing in the prepared notebook in the Academic Affairs Office.

[所属分野・場所] Education, TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)

[教科書] ECC (2019) 『Challenger α 1』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語②』 ECC

[参考書]

[担当教員からのコメント] I hope you will all have fun with the film and activities in class and work together to make the class a welcoming environment. Please bring a dictionary to every class.

英語Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) B. スミス

〔一般目標 (GIO)〕 グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語Ⅱの授業では、社会が国際化する中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

〔授業概要〕 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組むことが求められます。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Situation	旅行先でちょっとした会話をする
2	Situation	機内でちょっとした会話をする
3	Integration	復習と統合発展
4	Situation	ホテルにチェックインする
5	Situation	ホテルの施設について尋ねる
6	Integration	復習と統合発展
7	Conversation	親戚について話す
8	Conversation	家族について話す
9	Integration	復習と統合発展
10	Situation	友達と近況について話す
11	Focus	未来の予定について話す
12	Integration	復習と統合発展
13	Situation	予約をする
14	Situation	約束相手のところで話をする
15	Integration	復習と統合発展

〔方略〕 講義 (テキストに沿った説明)

〔評価方法と基準〕 中間試験 (35 %) と定期試験 (35 %) 小テスト (20 %) アクティビティーへの参加度 (10 %) で評価する。

〔学生の質問への対応〕 Ask by writing in the prepared notebook in the Academic Affairs Office.

〔所属分野・場所〕 Education, TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)

〔教科書〕 ECC (2019) 『Challenger α 1』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語②』 ECC

〔参考書〕

〔担当教員からのコメント〕 I hope you will all have fun with the film and activities in class and work together to make the class a welcoming environment. Please bring a dictionary to every class.

人体の構造と働き I

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

教授 前田智司

[一般目標 (GIO)] 人体の基本的な構造と機能を理解する。

[授業概要] 私たちのからだは、約 60 兆個の細胞から成り立っている。各細胞は分化し、それらは集団形成をして組織となり、さらに組織が組みあわさって器官 (臓器) をつくる。器官は、有機的に連携して器官系を形成する。これらの各器官系の構造と働きを学ぶことにより、からだの恒常性維持のメカニズムを理解する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	概論	人体の構造と働き I 講義概要 人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能①
2	概論	人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能②
3	神経系	神経系を構成する細胞、神経の興奮と伝導、シナプス伝達
4	神経系	末梢神経系：自律神経の構造と働き
5	神経系	中枢神経系の構造と働き
6	消化器系	口腔・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肛門の構造と働き
7	消化器系	肝臓・膵臓・胆嚢の構造と働き
8	呼吸器系	鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺の構造と働き
9	循環器系	心臓・血管 (動脈・静脈・毛細血管) の構造と働き
10	循環器系	血液・脾臓・リンパ系の構造と働き
11	泌尿器系	腎臓・副腎・尿路 (膀胱・尿道) の構造と働き
12	感覚器系	目・鼻・耳の構造と働き
13	皮膚・骨・関節・筋肉	外皮系・骨格系・筋組織の構造と機能①
14	皮膚・骨・関節・筋肉	外皮系・骨格系・筋組織の構造と機能②
15	まとめ	項目 1～14 のまとめと復習を行う

[方略] 講義 (教科書、配付資料)

[評価方法と基準] 定期試験の成績から評価する。追試験・再試験を実施することがある。本試験または追試験・再試験で 60 % 以上の得点率を合格とする。

[学生の質問への対応] オフィスアワー：原則として、講義日の午前 9 時～午後 5 時とします。不在の可能性もあるため、あらかじめメールで予約をとっておくと確実です。E-mail (t-maeda@nichiyaku.ac.jp) による質問も受け付けます。E-mail での質問の場合は、学籍番号と氏名を記載してください。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 臨床薬学分野 研究実習棟 6 階 602 号室

[教科書] 教科書なし

[参考書] 川島光太郎ほか監修『登録販売者試験受験対策テキスト改訂版 (上巻)』一般社団法人日本薬学研修センター、櫻田忍・櫻田司編集 (2013)『機能形態学 改訂第 3 版』南江堂、佐藤進・櫻田誓・奈佐吉久 (2009)『動画マスター機能形態学』廣川鉄男事務所、坂井建雄・橋本尚詞 (2013)『ぜんぶわかる人体解剖図』成美堂出版、竹内修二 監修 (2014)『人体解剖の基本がわかる辞典』西東社

[担当教員からのコメント] 人体の構造と働き I は、医療系科目である「薬理学」、「疾病と治療薬」の基礎となる科目です。しっかりと基礎固めをしてください。NHK E テレ番組である「NHK 高校講座」や「サイエンスゼロ」などは、基礎知識の確認や最新の科学全般の情報収集に役立ちます。また、この講義は『登録販売者試験』第 2 章人体の働きと医薬品にも対応しています。登録販売者資格取得に向けて、頑張りましょう！

コミュニケーション

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 大泉早智子

[一般目標 (GIO)] 医療ビジネスにおけるコミュニケーション力とチームマネジメント力を醸成するための基本的知識と技能を修得する。
 [授業概要] 2人以上の人の間で行われる意思、感情などの情報の伝達と、これらを共有することで共通理解に至る過程としてのコミュニケーションは、生活に欠かせないことであると同時に、医療現場やビジネスにおいても重要な要素です。そこで本講義では、コミュニケーションの基本的な素養を身につけることを目標とし、実際のパフォーマンスを通じて体験を深め、さらに医療ビジネスにおけるチームマネジメントへの展開を行う上での基礎とします。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	言語的・非言語的コミュニケーション	薬学の専門家として、また医療現場や企業組織の内外の関係者との関係に必要な言語的、非言語的コミュニケーションの意義と概要を理解する。
2	意思・情報の伝達に必要な要素	構成要素である「送り手」「情報を符号化」「チャンネル」「メッセージ」「メッセージを解読」「受け手」「効果」などの意義と概要を理解する。
3	相手の立場などによるコミュニケーションの違い	文化や習慣、社会的地位、初対面か旧知かなどの違いによるコミュニケーションの意義と概要を理解する。
4	対人関係に影響を及ぼす心理的要因	自己概念と自尊感情、自己防衛的帰属及び他人認知などの意義と概要を理解する。
5	相手の心理状態とその変化への配慮と対応	開いた質問、閉じた質問などや、リスニングスキルの意義と概要を理解する。
6	対立意見の尊重と協力	アサーションや、アサーティブネススキルなどの意義と概要を理解する。
7	コミュニケーションの実践Ⅰ	好まれる風貌や話し方について学修し、清潔、端正、好印象などを与えるための実践を行う。
8	コミュニケーションの実践Ⅱ	褒め方・叱り方・頼み方について学修し、効果的な方法や、叱られた後の対処の仕方などの実践を行う。
9	コミュニケーションの実践Ⅲ	嫌いな人・逆境への対応について学修し、アサーティブでの対処などについて実践を行う。
10	コミュニケーションの実践Ⅳ	やる気の起こさせ方・本音の聞き出し方について学修し、ほめることを駆使して本音を聞き出すテクニックなどについての実践を行う。
11	チームワークの重要性	薬学、医療、ビジネスでチームワークに参加する場合の意義と概要について理解する。
12	チームマネジメントⅠ	思考行動特性分析方法について学修し、メンバーの個性を理解する。
13	チームマネジメントⅡ	チーム編成方法を学修し、メンバーとのシナジーを把握して、コンビネーションおよび、チーム活性化の手法など、チームビルディングの手順を理解する。
14	チームマネジメントⅢ	チームビルディングによるチームで、KJ法などの発想法を使った作業の実践を行い、理解を深める。
15	総括	コミュニケーションについての総括を行い理解を深める。

[方略] 講義 (パワーポイント・プリント)、実践 (SGD)

[評価方法と基準] 課題 50 %、定期試験 50 % で評価します。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートにより対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います

[参考書] 大泉早智子・太田友三子 (2017) 『コミュニケーション講義』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] コミュニケーションは具体的体験も必要です。レクリエーション手法や、チームマネジメント手法などを取り入れて行いますので積極的に参加し、コミュニケーションを深め、仲よく、楽しく学べることを希望します。また配布プリントにより事前学修と事後学修で理解を深めてください。

コンディショニング実習

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 1 単位 (選択必修) 実習

講師 松永修司 (実務)

[一般目標 (GIO)] スポーツや健康運動の指導者として、また、スポーツ競技者から愛好家まで、全ての体を動かす人に必要となるコンディショニングの基本的な考え方を理解し、実習を通してスポーツ現場で有用な技法を修得する。

[授業概要] 実習を通したストレッチ、マッサージ、テーピング及び故障予防に向けたトレーニング法の基本技術の修得に加えて、救命救急法や AED の使用法及び各種治療器やコンディションチェックのための機器の使用法も学習する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	コンディショニングの考え方 (理論)	日々のトレーニングを安全に効果的に実施するため、また、狙った試合にベストパフォーマンスで臨むために必要不可欠なコンディショニングの基本的考え方を学習する
2	障害予防のためのセルフケアの方法 (理論)	コンディショニングにおける重要課題である障害予防のために重要なウォーミングアップやクーリングダウンや RICE 療法をはじめとするセルフケアの方法を理解する
3	ストレッチの目的と効果 (理論)	ウォーミングアップやクーリングダウンなどの目的に応じたストレッチなどの方法やその効果について学習する
4	ストレッチの技法① (実習)	コンディショニングの手法として一般的なスタティック (静的) ストレッチの技法を実習を通して修得する
5	ストレッチの技法② (実習)	近年、神経、筋機能の向上、関節可動域の回復などに効果があるとされる PNF (固有受容性神経筋促通法) の技法を習得する
6	ストレッチの技法③ (実習)	ウォーミングアップにも活用できるブラジル体操をはじめとするダイナミック (動的) ストレッチの方法を習得する
7	マッサージの目的と効果 (理論)	コンディショニングの手法として代表的なマッサージの目的とその効果及び様々な技法について学習する
8	マッサージの技法① (実習)	目的に応じた様々なマッサージの技法を実際に経験し、その手法を習得する
9	マッサージの技法② (実習)	2 人 1 組で実際にマッサージを行うことにより、目的に応じた様々な手法を実践できるようにする
10	テーピングの目的と効果 (理論)	受傷部分の保護や障害予防のために広く活用されるテーピングの効果や目的に応じたテープの種類や巻き方について学習する
11	テーピングの技法① (実習)	長距離選手に多く活用される足関節、足底及び膝関節に対するテーピングの具体的な技法と留意点を実習を通して修得する
12	テーピングの技法② (実習)	足関節、足底及び膝関節以外の部位に対するテーピングの具体的な技法と留意点を実習を通して修得する
13	障害予防のためのトレーニング法 (実習)	バランスボールなどを利用した障害予防のための具体的なトレーニング方法を習得する
14	各種治療器及びコンディションチェック機器の使用法 (実習)	各種治療器及び血圧計、非採血型ヘモグロビン測定器などコンディションチェック機器の使用法を実際に使用し学習する
15	救急蘇生法と AED の使用法 (実習)	人工呼吸法などの救急蘇生法と AED の使用法を実際の機器を用いて学習する

[方略] 実習

[評価方法と基準] 授業内に実施する実技テスト (50%) および課題 (50%) で評価する。追再試験を実施することがある

[学生の質問への対応] 授業終了後に対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 号室

[教科書] 特になし

[参考書] 日本体育協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥⑦スポーツコンディショニング

[担当教員からのコメント] 実際に競技の現場で使用することをイメージしながら、コンディショニングの実践技術を身につけるように主体的に取り組んでほしい。また、状況に応じて適切な手技、手法が選択できるように学んでいきましょう。

キャリアデザイン演習Ⅰ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 1 単位 (選択必修) 演習

教授 陳 福士

[一般目標 (GIO)] 日本薬科大学の学生としての役割と医療ビジネス薬科学科スポーツ薬学コースで学ぶことの意義を理解し、将来の自身のキャリアについて考えるための基本的知識を修得する。

[授業概要] 日本薬科大学医療ビジネス薬科学科の概要を知り、健康社会の構築やスポーツ分野の学びから競技力向上におけるスポーツ薬学コースの役割とそこに携わる者としての使命を理解し、4年間の学修目標を描き、将来に渡り豊かな生活をおくるために、目標・目的を具体化できるようにする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	キャリアデザイン概論	キャリアデザインの意義と必要性を理解する
2	人生キャリアの考え方	人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところであることを理解する
3	多元的価値観を尊重する	それぞれの価値観を大切にして、他者との違いを尊重することを理解する
4	社会を実体験する (実践中を学ぶ)	社会 (健康やスポーツをささえる) の様々な課題を体験的に知り、その解決に参加できることを学ぶこと
5	企業・業界・職種を知る①	職業分類と産業分類による職業の理解し社会変化から対応対策、人に対するサービスを中心に理解する
6	企業・業界・職種を知る②	職業情報の収集について、社会が求めるキャリアの能力特性を理解する
7	企業・業界・職種を知る③	能力開発とキャリア発達について、社会が求めるキャリアの能力特性
8	企業・業界・職種を知る④	産業と職業と資格について、職業における資格・免許と取得について理解する 自分の生活との関わりから職種を理解する
9	なりたい自分になる②	自身のキャリア (人生、競技) を充実したものにするために必要不可欠な目標設定の方法とそれに必要な具体的スキルを学習する。
10	なりたい自分になる②	これまでの講義のまとめとして、自身の目標とそのため今すべきことを各自発表し、それをもとに合同討議を行うことにより将来のキャリアを考察できる

[方略] 講義 (パワーポイント、配布資料)、討論 (SGD)、1 回陳、菊池、2~10 回陳、外部講師が担当

[評価方法と基準] 各講義で課せられる課題 (50%)、プレゼンテーションの内容 (50%) で評価を行う。

[学生の質問への対応] 講義終了時に対応。また、E-mail (f-chan@nichiyaku.ac.jp) による質問も受け付ける。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス スポーツ薬学コース 研究実習棟 9 階 902 号研究室

[教科書] 特になし。

[参考書] 講義内で適宜紹介していきます。

[担当教員からのコメント] 大学生活を豊かにする為、大学生活の4年間でどのように学んでいくのかを考える機会にしましょう。

健康科学概論

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 松永修司

〔一般目標 (GIO)〕 生活の質の向上における心身の健康の重要性を理解し、健康で豊かな生活に向けた運動の実践およびその指導のための基礎知識を身につける。

〔授業概要〕 ライフスタイルと健康との密接なかかわりを理解する。その中で健康増進・健康づくりに対する運動の重要性と健康な生活を送るために安全で効果的な運動の実践およびその指導に関する基礎的な理論を学ぶ。また、本講義の受講が公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導資格「スポーツリーダー」の取得条件となる。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	健康の概念とトータルヘルスケア (セルフメディケーション学)	WHO による健康の定義や生活の質 (QOL) の観点からの健康のとらえ方を理解し、そこから「疾病予防から健康増進まで」のトータルヘルスケアの取り組みを学習する
2	健康増進・健康づくりの政策 (健康増進学)	超高齢化社会に突入した我が国の重要政策となった健康増進・健康づくりの政策について具体的な事例を通して学習する
3	ライフスタイルが健康に及ぼす影響 (健康増進学)	飲酒や喫煙、栄養の偏り、運動不足などのライフスタイルの崩れがいかに健康に対して悪影響を及ぼすかを理解する
4	生活習慣病に対する運動の効果 (公衆衛生学)	生活習慣病に関する理解を深めることにより、生活習慣病予防における運動の有効性と必要性を理解する
5	心にかかわる運動の効果 (メンタルヘルスマネジメント)	複雑化した現代社会による種々のストレスが引き起こす心にかかわる諸問題を学ぶことにより、その解決に対する運動の有効性と必要性を理解する
6	アンチエイジングと運動の効果 (運動生理学)	加齢に伴う身体機能や体力低下を理解し、中高年者が運動を実践する目的、プログラムの作成方法を学ぶ
7	健康のための体力評価とその方法 (体力測定評価学)	自立した生活を送るために最低限必要な体力レベルとそれを評価するための文部科学省新体力テストの概要について学習する
8	成り立ちからみたスポーツの生涯化 (スポーツマネジメント学)	スポーツが単なる身体運動だけではないことをその成り立ちから理解し、生活の質 (QOL) の向上にスポーツをどう活かせるのかを検討する
9	女性のスポーツ参加 (スポーツマネジメント学)	女性特有の心理的特徴や社会的立場をふまえた上で、その経緯と現状を理解し、より女性がスポーツに参加しやすい環境を検討する
10	障がい者のスポーツ参加 (スポーツマネジメント学)	積極的な自立と社会参加の促進という障がい者スポーツの意義を理解し、障害者スポーツの現状と課題および将来像について学習する
11	ライフステージに応じたスポーツ (健康増進学)	健康で豊かな生活の実現に向けた生涯を通じたスポーツの必要性を理解し、それぞれのライフスタイル・ライフステージに応じた種目を学習する
12	生涯スポーツにおける指導者の役割 (コーチング心理学)	一生を通じたスポーツの生活化 (生涯スポーツ) の実現に向けてスポーツプログラマーをはじめとする健康スポーツ指導者が担うべき役割を理解する
13	スポーツ活動と安全管理 (スポーツマネジメント学)	全てのスポーツ活動には危険性を内在していることを理解し、スポーツにおける安全確保のための必要な知識と事故が発生した際の指導者の法的責任の範囲を学ぶ
14	突然死の予防と救急蘇生法 (スポーツ医学)	スポーツ活動中の突然死に関して理解し、AED (自動体外式除細動器) の使用法や人工呼吸法を中心に救急蘇生法を学習する
15	健康なまちづくりへのスポーツプロモーション (スポーツマネジメント学)	学校、ドラッグストア、スポーツクラブが連携しあい生活の中に「健康、生きがい、交流」を生み出す健康で豊かなまちづくりのためのスポーツプロモーションの方策を検討する

〔方略〕 講義 (パワーポイント及び配布資料)

〔評価方法と基準〕 小テスト (30 %) と定期試験 (70 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。

〔所属分野・場所〕 研究実習棟 9 階 902 号室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I・II (公益財団法人 日本体育協会)

その他授業内で適宜紹介していきます。

〔担当教員からのコメント〕 体や心がすこやかで、悪いところのない肉体的、精神的、社会的に調和のとれた良い状態を築くために、必要な健康に関する知識を修得しましょう。

スポーツ科学概論

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択必須) 講義

講師 松永修司 (実務)

[一般目標 (GIO)] パフォーマンスとスポーツ医・科学との関係を理解し、競技スポーツにおける競技力向上のための基礎知識を身につける。
 [授業概要] 本講義を通して、主に競技力向上において重要となるスポーツ医・科学の基礎的な理論を理解する。併せて競技力向上システムに関しても学習する。また、本講義の受講が公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導資格「スポーツリーダー」の取得条件となる。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	トレーニング効果を生み出す原理・原則 (トレーニング学)	パフォーマンスとトレーニングの関係を理解し、トレーニング効果を生み出す原理・原則をはじめとする基礎理論を学習する
2	トレーニングの分類と方法 (トレーニング学)	多様な運動形態、体力要素に応じたトレーニングの種類を学習し、強化目的に応じた適切な方法の選択の重要性を理解する
3	トレーニング計画の立て方 (トレーニング学)	競技力向上に向けたトレーニング実施における計画の重要性を理解し、トレーニング計画立案に必要な知識を学習する
4	疲労回復とその方法 (トレーニング学)	トレーニング効果と疲労との関係を理解し、パフォーマンスを効果的に発揮するための疲労回復の方法を学習する
5	パフォーマンスと栄養 (スポーツ栄養学)	パフォーマンス発揮における栄養・食事の重要性を理解し、アスリートの食事に関する基本的な考え方を学習する
6	サプリメントとドーピング (スポーツ栄養学)	近年手軽に入手可能となったサプリメントの本来の役割を理解し、ドーピング違反の危険性が常に存在することを学習する
7	パフォーマンスと心理 (コーチング心理学)	パフォーマンス発揮における動機づけの重要性及びプレッシャー、あがり、スランプについて理解する
8	外科的スポーツ障害とその対処法 (スポーツ医学)	ジュニア期を含むトレーニングが要因となる代表的な外科的障害に関して理解し、その予防と RICE 療法などの対処法を身につける
9	スポーツにおける内科的障害 (スポーツ医学)	熱中症、スポーツ性貧血およびオーバートレーニング症候群を代表例としてトレーニングが要因となる内科的障害の予防と対応策を学習する
10	コンディションのマネジメント (トレーニング学)	アスリートにとってのコンディション管理の重要性を理解し、コンディションチェックの方法とその評価方法を学習する
11	女性の特徴に応じたトレーニング (トレーニング学)	女性特有の身体的、心理的特徴をふまえた上で、その特徴に応じたトレーニングプログラムの立案法を学ぶ
12	ジュニア期の身体的・心理的特徴 (発育・発達に応じたトレーニング)	ジュニア競技者の身体的、心理的特徴を知ることにより、安全で効果的なトレーニングプログラム立案における留意すべき事項を学ぶ
13	ジュニア期のトレーニングと一貫指導の意義 (発育・発達に応じたトレーニング)	ジュニア競技者の身体的、心理的特徴に留意し、発育・発達特性に応じたトレーニング方法の学習から、一貫指導の重要性を理解する
14	タレント発掘・育成システムの現状と課題 (スポーツマネジメント学)	世界の動向を基に、我が国のタレント発掘・育成システムの現状を理解し、今後の課題を検討する
15	競技者が学ぶべきスポーツ倫理 (コーチング心理学)	ロールモデルとなるべきトップアスリートをはじめとする全ての競技者が知っておかなければならないスポーツ倫理を学習する

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

[評価方法と基準] 小テスト (30 %) と定期試験 (70 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業終了後に対応する。

[所属分野・場所] 研究実習棟 9 階 902 号室

[教科書] 特になし

[参考書] 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I・II・III (公益財団法人 日本体育協会)

その他授業内で適宜紹介していきます。

[担当教員からのコメント] 競技力向上につながるスポーツ医・科学の基礎知識を修得しましょう。

現代国語

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 伊古田陽子

〔一般目標 (GIO)〕 社会人として医療人として、必要な国語表現マナーの修得および実践的な運用能力の養成をめざす。

〔授業概要〕 国語 (日本語) で文章表現をすることは、現代社会に生きる私たちにとって必要不可欠な行為です。しかし、自分の意図を正確に表現し、的確な文章を書くことは決して容易ではありません。本科目では、論理的な考え方や適切な表現能力を身に付けること、および薬剤師として必要とされる表現マナーの理解と運用能力の修得をめざします。具体的には、国語表現に関する基礎知識を理解し、敬語待遇表現、手紙文の書き方、レポートや小論文等の基本的作法などについて、様々な実践形式を通して学習します。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

〔方略〕 講義 (配布プリント)

〔評価方法と基準〕 定期試験 (50 %)、提出課題 (50 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 教務課に設置した質問用紙に記入する。(開講期間中のみ)

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

〔教科書〕 沖森卓也・半沢幹一 (2016) 『日本語表現法 (付) ワークブック改訂版 (978-4-385-34589-5)』三省堂 教科書の他、適宜プリント教材を使用する。

〔参考書〕 各自で国語辞書 (電子辞書でも可) を用意すること。その他、各テーマにあわせて参考書を紹介する。

〔担当教員からのコメント〕 1 年次必修科目ですから、くれぐれも履修漏れのないように留意してください。定期試験以外に、レポート等の提出物を成績に加味しますので、提出を怠らないようにしてください。また、新聞やメディアなどで報じられる国語 (日本語) の話題について、日頃から興味・関心を持つようにしてください。積極的な授業参加を期待します。

医療倫理学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 花形恵梨子

〔一般目標 (GIO)〕 医療倫理学の基本的な知識を修得し、医療倫理・生命倫理の問題について自ら実際に考えてみる。

〔授業概要〕 この授業では、医療倫理学の基本的な知識・考え方を学びます。そのうえで、終末期医療、生殖医療、脳死と臓器移植などのトピックを取り上げ、どのようなことが倫理学の観点から問題になるのか考えていきます。医療倫理学の問題を自分で考えることができるための基本を身につけることを目標とします。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション	授業の進め方の確認。倫理学、医療倫理学について。
2	倫理学の理論 (1)	倫理学の代表的な理論を学ぶ。
3	倫理学の理論 (2)	倫理学の代表的な理論を学ぶ。
4	医療倫理の基礎 (1)	医療倫理の基本概念・原則を学ぶ。
5	医療倫理の基礎 (2)	インフォームド・コンセント
6	医療倫理の諸問題 (1)	安楽死・尊厳死
7	医療倫理の諸問題 (2)	安楽死・尊厳死
8	医療倫理の諸問題 (3)	人工妊娠中絶
9	医療倫理の諸問題 (4)	生殖補助医療
10	医療倫理の諸問題 (5)	生殖補助医療
11	医療倫理の諸問題 (6)	出生前診断
12	医療倫理の諸問題 (7)	出生前診断
13	医療倫理の諸問題 (8)	脳死と臓器移植
14	医療倫理の諸問題 (9)	脳死と臓器移植
15	まとめ	論点のまとめと復習

〔方略〕 講義 (板書、配布プリント)

〔評価方法と基準〕 期末レポート (80%) と授業内課題 (20%) によって評価します。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 教務係に設置した質問ノートに記入してください。

また、授業後に直接受け付けます。

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

〔教科書〕 児玉聡 (2013) 『マンガで学ぶ生命倫理』 科学同人 その他にもプリントを配布します。

〔参考書〕 授業中に適宜紹介します。

〔担当教員からのコメント〕 基本的には講義形式の授業ですが、ディスカッションをしたり映像資料を見る時間を設けたいと思います。

生命をミクロに理解する

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 根岸和雄

[一般目標 (GIO)] 生物をミクロのレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割について基本的な知識を修得する。
 [授業概要] 生化学は生体の構造と機能について、ミクロ (分子) のレベルで理解することを目的とする学問です。核酸の構造と遺伝子の働きから、ホルモン、諸器官、免疫までミクロレベルの理解を目指して講義します。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	核酸の構造とモノヌクレオチドの代謝	DNA および RNA の構造、ならびにモノヌクレオチドの合成と分解について説明できる。
2	核酸の生合成	DNA の複製と RNA 合成について説明できる。
3	タンパク質の生合成 遺伝の生化学 1	タンパク質の生合成と代謝について説明できる。ゲノムとプロテオーム、ならびに転写調節について概説できる。
4	遺伝の生化学 2	クロマチンの構造とエピジェネティクス、遺伝子異常が関連する病気、およびバイオテクノロジーについて概説できる。
5	ホルモン	ホルモンの分類と作用機構について説明できる。 種々のホルモンについて、その特徴を説明できる。
6	水と無機物 ポルフィリン 器官の生化学 1	水と無機物、ポルフィリン、および血液の生化学を概説できる。
7	器官の生化学 2	肺と腎臓の生化学を概説できる。
8	器官の生化学 3	肝臓と膵臓の生化学を概説できる。
9	器官の生化学 4	筋、結合組織、脂肪組織、硬組織および神経の生化学を概説できる。
10	細胞増殖と癌の生化学	細胞の増殖と死、および癌化について概説できる。
11	免疫の生化学	免疫の生化学について概説できる。
12	グループワーク 1 (課題発表の準備)	課題発表のテーマ説明やグループ分けを行う。本講義に関連した適切なテーマや論点を提案することができる。
13	講義のまとめ	本講義全体の内容を概説できる。
14	グループワーク 2 (発表原稿の作成)	提案された論点を展開して、発表原稿を作成できる。
15	グループワーク 3 (課題発表)	選んだテーマについて、適切な意見を含む発表することができる。また、発表を聞いて、理解し評価することができる。

[方略] 講義 (教科書、配布プリント、スライド) とグループワーク

[評価方法と基準] 定期試験 (70%) と課題発表 (25%)、並びに各講義中に行う確認テスト解答 (およびコメント) の提出状況 (5%) で評価を行います。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 講義終了後に直接質問してください。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

[教科書] 林 典夫、廣野 治子 (2014) 『シンプル生化学 (改訂第 6 版)』南江堂

[参考書] 前田正知・浅野真司 (2019) 『コンパス生化学 (改訂第 2 版)』南江堂、平澤栄次 (2014) 『はじめての生化学 (第 2 版)』化学同人
 最新の比較的詳しい教科書と平易な入門書を紹介しています。

[担当教員からのコメント] 「生物の基礎」と同じ教科書を使用し、核酸や遺伝子の働きから免疫まで広く基本的なミクロな見方を勉強します。グループワークでは興味あるテーマについて調査し、物事をより深く知る楽しさを経験して下さい。

人体の構造と働きⅡ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

教授 前田智司

[一般目標 (GIO)] 人体の基本構造とその仕組みを理解するために、ヒトの身体の各器官系の構造とその機能に関する基本的な知識を修得する。

[授業概要] 人体の構造と働きⅡでは、病気の原因や医薬品が効果を現す機序が理解しやすくなるように、人体の基本的な仕組み (解剖学、組織学)、およびその働き (生理学) を系統的に学ぶ。人体の器官・臓器がどのような細胞・組織から構成されており、どのように他の器官等と連携し、どのような働きをしているかを学ぶ。

これらの知識は、診療記録に記載されている内容の中での基本的な人体の部位、診断名の理解に必須であり、さらに、疾病の機序や病態の理解、実際の治療手段の理解に役立つ。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	人体の構造と機能 (総論)	人体の成り立ち、系統的な解剖学、生理学とは
2	細胞・組織①	おもな細胞とその形態、細胞膜、核、細胞小器官 (ミトコンドリア・小胞体など) の構造と機能
3	細胞・組織②	組織の構造と機能 (人体の仕組みを組織レベルから理解する)、筋肉組織、上皮組織、膜組織
4	細胞・組織③	組織の構造と機能 (人体のしくみを組織レベルから理解する) 結合組織、支持組織、血液、体液
5	血液①	血液の性状と血球の機能役割
6	血液②	血液凝固系と線溶系について
7	血液③	リンパ管系の構造と働き
8	内分泌系の構造と機能①	ホルモンの構造と産生臓器
9	内分泌系の構造と機能②	視床下部および下垂体の構造と機能
10	内分泌系の構造と機能③	内分泌系の調節機構
11	生殖器系の構造と機能①	男性生殖器系の構造と機能
12	生殖器系の構造と機能②	女性生殖器系の構造と機能
13	体液量調節と酸塩基平衡	体液量の調節と浸透圧
14	細胞・組織④	組織の構造と機能 (人体のしくみを組織レベルから理解する) 血液関門
15	まとめ	必要に応じて講義内容の補足と全体のまとめを行う。

[方略] 講義、教科書、配布プリント、パワーポイント

[評価方法と基準] 定期試験の成績から評価する。追試験・再試験を実施することがある。本試験または追試験・再試験で 60 % 以上の得点率を合格とする。

[学生の質問への対応] オフィスアワー：原則として、講義日の午前 9 時～午後 5 時とします。不在の可能性もあるため、あらかじめメールで予約をとっておくと確実です。E-mail (t-maeda@nichiyaku.ac.jp) による質問も受け付けます。E-mail での質問の場合は、学籍番号と氏名を記載してください。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 臨床薬学分野 研究実習棟 6 階 602 教室

[教科書] 教員の作成したプリントを配布する。

[参考書] 櫻田忍・櫻田司 (2013) 『機能形態学 改訂第 3 版』南江堂、佐藤進・櫻田誓・奈佐吉久 (2009) 『動画マスター機能形態学』京都廣川書店、坂井建雄・橋本尚詞 (2013) 『ぜんぶわかる人体解剖図』成美堂出版

[担当教員からのコメント] 人体の構造と仕組みについては、怪我や病気などで、異常を起こしたときに知りたい、知っておいたら良かったと強く思うものです。さまざまな書籍や TV 番組等を通じて、日頃から興味や関心を養っておいて下さい。体の構造や仕組みに関する知識や理解は、将来、あらゆる場面で必ずや役に立つものとなります。

生薬学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

准教授 山路誠一 講師 藤原裕未

〔一般目標 (GIO)〕自然界由来の動物・植物・鉱物 (天然物) が生薬という医薬品や化学薬品、サプリメント、スパイス等として利用できるようになることと、そうした製品と私たちの生活やスポーツとの関わり合いに関する基本的知識を修得する。

〔授業概要〕生薬学 (Pharmacognosy) は薬学独自かつ薬学全分野の基礎学問である。この生薬学では医薬品としての生薬の取扱いだけでなく漢方薬、化学薬品、健康食品、サプリメントとなる製品やドーピングでの使用禁忌に至るまでの注意点や取扱い方法等について学ぶ。

本講義では実物を知ることが重視するので、ドーピングに支障のない商品実物を用い、知識の修得以外に五感を駆使した生薬鑑別の技能を養うほか、医薬品、サプリメントとなる天然物に関する総合的な知識の醸成を図る。

〔授業計画〕後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	生薬・薬草の概説 (1)(山路)	・薬と生薬の歴史について概説できる。 ・薬用植物を科学的に説明できる。 ・薬用植物と生薬の違い、製剤化された天然由来物質とこれらのは生物由来の医薬品との違いや特色について説明できる。
2	生薬・薬草の概説 (2)(山路)	・薬と生薬の歴史について概説できる。 ・薬用植物を科学的に説明できる。 ・漢方薬の特色について説明できる。
3	生薬・薬草の観察 (山路)	・薬用植物の観察と生薬の調製に必要な、形態学的な特徴を概説できる。 ・薬用植物を科学的に説明できる。
4	漢方薬で使われる生薬とその効能～五感で感じる生薬の実際 (山路)	実際の生薬を用い、学習者の持つ五感に基づいて生薬の効能を把握することができる。
5	生薬・薬草の歴史 (1)(山路)	人類に貢献してきた生薬や薬用植物とそれらの歴史を概説することができる。
6	生薬・薬草の歴史 (2)(山路)	同上
7	世界・日本の毒草 (山路)	世界や日本で、毒草として扱われる植物について概説できる。
8	法規制のある植物と知っておきたい薬草・天然由来品とドーピング (山路)	・法の規制対象となる、麻薬、覚せい剤、向精神薬等に関連する薬用植物、生薬およびそれらを原料として製した製品について、概説できる。 ・ドーピングに関わりのある化学物質、および、これに類する天然由来物質について説明できる。
9	生薬・薬用植物学各論 (1)(藤原)	一般用医薬品またはその原料として用いられる生薬について概説できる。
10	生薬・薬用植物学各論 (2)(藤原)	同上
11	生薬・薬用植物学各論 (3)(藤原)	同上
12	生薬・薬用植物学各論 (4)(藤原)	同上
13	生薬・薬用植物学各論 (5)(藤原)	同上
14	漢方薬とその実際 (実習形式) (山路・藤原)	生薬を秤量し、適量の水を用い、適切な加熱と取り扱い方法を習得し、漢方煎薬を実際に調製することができる (実習形式)
15	学習内容の水平理解および演習 (山路)	学習済み生薬について、再学習し、演習を実施する。

〔方略〕講義 (教科書、プリント、生薬実物 (回覧)。担当は各項目参照)、薬用植物園での基原植物の観察、14回目は体験実習。

〔評価方法と基準〕定期試験により評価する (2019年度のようにレポート評価ではないので、留意すること)。

第3、4回目の講義で薬用植物園見学の課題を伝えます。この課題は定期試験の課題となるので、まとめを作っておく必要があります。

〔学生の質問への対応〕オフィスアワー：月～金 (土休日は要アポイント) 13:00～17:00 (場所：研究実習棟9階904教室 (実習、出張、会議中を除く)) E-mailによる質問可：seiichi@nichiyaku.ac.jp

〔講義について〕プリントと教科書による講義を主とします。

〔所属分野・場所〕さいたまキャンパス・漢方薬学分野 (研究実習棟9階904教室 (漢方生薬学教室))

〔教科書〕水野瑞夫、木村孟淳、酒井英二、山路誠一 (2013) 『薬用植物学 (改訂第7版)』南江堂

〔参考書〕難波恒雄、難波洋子 (1996) 『世界を変えた薬用植物』創元社

〔担当教員からのコメント〕生薬学は「商品としての生薬」の鑑別に端を発する学問ですが、本講義では登録販売者試験を意識した、漢方薬や天然薬物における実学的側面を前面に出した講義を行う予定です。また本講義は埼玉県共催、大学の開放授業講座 (リカレント教育) の対象講義です。県民に開放しますので、薬学生として恥ずかしくない態度での受講を心がけましょう。

コンピュータスキル

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1 年生 (後期) 2 単位 (選択) 演習

准教授 大久保文哉

[一般目標 (GIO)] パソコンを使った、レポートや論文の作成、表計算ソフトによるデータ整理、プレゼンテーションスライドの作成方法を修得する。

[授業概要] 文書作成、表計算、プレゼンテーション作成の技能向上を目的とします。文書作成では論文や長文の作成に必要な機能、表計算では実務でよく利用される関数やデータベース機能、プレゼンテーションではアニメーションなどを使ったスライドの作成と発表について演習を中心に授業を行います。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	文書作成 (1) 見積書	文書作成の基本操作の復習と罫線を使った文書の作成 書式設定ができる。 ・フォント、文字揃え、インデント 罫線を使って表が作成できる。 ・線種、列幅、高さ揃え、文字位置、罫線なし、セルの結合 全角と半角を使い分けられる 提出課題
2	文書作成 (2) 図の入った文書	罫線が利用できる。 縦書き・横書きが指定できる。 図形が利用できる。 図形の書式設定ができる。 図形の移動、コピー、サイズ変更ができる。 行間の設定ができる。 提出課題
3	文書作成 (3) 数式	数式を記述できる。 数式エディタが利用できる。 各種数式が入力できる。 数式の位置を調整できる。 数式のコピー、削除、移動ができる。 図形の曲線が利用できる。 提出課題
4	文書作成 (4) 論文	論文作成に必要な機能が利用できる。 段組みができる。 行間が設定できる。 図、表、グラフが挿入できる。 脚注が利用できる。 提出課題
5	文書作成 (5) 長文	アウトラインが利用できる。 見出し番号がつけられる。 目次が作成できる。 脚注が利用できる。 索引が作成できる。 検索が利用できる。
6	表計算 (1) 基本操作	表計算の基本操作の復習 文字入力が効率的にできる。 ・オートコンプリート、同時入力 オートフィルが利用できる。 SUM 関数が利用できる。 グラフが作成・編集できる。 数式が入力できる。 絶対参照と相対参照が使い分けられる。
7	表計算 (2) 各種関数	各種関数が利用できる。 ・順位付け、端数処理、条件、表引き、日付 提出課題
8	表計算 (3) 3D 参照	複数のワークシートを使った計算や処理ができる。 統合が利用できる。 各種機能の復習

回	項目	到達目標 (授業内容)
9	表計算 (4) データベース	ウインドウ枠の固定ができる。 並べ替えができる。 フィルタの利用ができる。 集計が利用できる。 データベース関数が利用できる。
10	表計算 (5) データベース	マクロについて説明できる。 マクロが利用できる。 各種機能の復習
11	表計算 (6) まとめ	Excel の各種機能を使い表が作成できる。 提出課題
12	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションが作成できる。 スライド作成のポイントが説明できる。 アニメーションが設定できる。 図を効果的に表示できる。 動きのあるアニメーションが作成できる。 スクリーンショットが取得できる。
13	プレゼンテーション (2)	与えられたテーマでプレゼンテーションが作成できる。
14	プレゼンテーション (3)	スライドショーが実行できる。 発表のポイントを説明できる。
15	プレゼンテーション (4)	作成したプレゼンテーションで発表ができる。 提出課題

〔方略〕 PC を用いた演習

〔評価方法と基準〕 授業中に作成した提出課題で評価する。

〔学生の質問への対応〕 講義終了後、研究室で対応するほか、メールで随時受け付ける。

E メールアドレス fumiyaokubo@nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 分子機能科学分野 研究実習棟 10 階 1001 号室

〔教科書〕 教科書は使用しない。印刷資料やファイルとして配布する。

〔参考書〕

海外研修プログラム

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 1・2・3・4 年生 (通期) 2 単位 (選択) その他

教授 新井一郎

〔一般目標 (GIO)〕 本学の海外提携校へ留学し、語学力・コミュニケーション能力の向上を図るとともに、海外における医療ビジネスの在り方や役割などについて現地での体験を通じて理解を深める。

〔授業概要〕 本学の国際学術交流委員会指定の、語学研修、薬学研修などを含む、原則として 10 日間以上の海外研修プログラム

〔授業計画〕 提携大学の受入れプログラムによる。

〔方略〕 講義、見学、留学先の学生との交流等

〔評価方法と基準〕 帰国後、レポート (成果報告書) を作成し、国際学術交流委員会において合否判定を行う。成績評価は行わない。

〔学生の質問への対応〕 新井一郎 (さいたまキャンパス)、高城徳子 (お茶の水キャンパス) がオフィスアワー (9:00-17:00) に受け付けます。メールなどで事前予約した場合は、オフィスアワー以外でも受け付けます。

メールアドレス

(新井一郎) i-arai (アットマーク) nichiyaku.ac.jp

(高城徳子) takajo (アットマーク) nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 (新井一郎) 漢方薬学分野研究実習棟 9 階 904 号室

(高城徳子) 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

〔担当教員からのコメント〕 本学の海外留学プログラムは、商業的な海外留学とは異なり、本学が提携校と独自に作り上げたものであり、単なる海外旅行では体験できない薬学体験や現地の学生との交流なども含まれています。3 月と 8 月を中心に実施します。国際学術交流委員会から、その都度、案内しますので、掲示板をよく見ておいてください。国際学術交流委員会が提供するプログラム以外でも、行ってみたい提携校があれば実現できる可能性がありますので申し出てください。

平成31年度入学生 カリキュラム表

カリキュラム表

平成31年度入学生

医療ビジネス薬科学科【ビジネス薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生			
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2									
			数学・統計学の基礎		前2									
			情報リテラシー		前2									
			生活の化学		前2									
	外国語	英語 I (注1)		前2										
		英語 II (注2)		後2										
	薬学系科目	化学系									医薬品の化学	後2		
			生物系	人体の構造と働き I		前2								
		衛生系							公衆衛生学			前2		
	医療系					薬理学 I		前2						
					疾病と治療薬 I		前2							
					医薬品の適正使用		前2							
ビジネス系科目		コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル			前2			
					英語 III (注3)		前2	発想法と問題解決研究 (SQD)			前2			
演習・実習系科目										医療ビジネス薬科学演習	後2			
小 計			16単位			10単位			10単位			卒業研究	10	
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方Ⅱ		前2	一般用医薬品演習		前2	社会生活と経済		前2	
		診療報酬請求論Ⅰ		前2	経済学		前2	原価・会計		前2				
		診療報酬請求論Ⅱ		前2	会計・簿記Ⅰ		前2	MR概論		前2				
		経営学入門		前2	会計・簿記Ⅱ		前2	キャリアデザインⅢ		前2				
			現代医療の中の漢方Ⅰ	後2	一般用医薬品学		前2		キャリアデザインⅣ	後2				
			キャリアデザインⅠ	後2	一般用医薬品情報学		前2		起業論	後2				
					日本語表現論(注4)		前2		金融論	後2				
						英語Ⅳ(注5)	後2		771イノベーション論	後2				
						ビジネス実務論	後2							
						財務・会計	後2							
						医療会計	後2							
						キャリアデザインⅡ	後2							
						薬理学Ⅱ	後2							
小 計			12単位		26単位			16単位			2単位			
選択科目	一般科目(教養科目)	人文社会	現代国語		前2			マーケティング		前2	社会生活と法		前2	
			日本史		前2									
		ビジネス系	医療倫理学		後2	民法		後2						
	情報医療								経営戦略論		前2	タックスプランニング		前2
											後2	リスクマネジメント		前2
											後2	診療報酬請求事務実践学		前2
	外国語		診療報酬請求論Ⅲ	後2										
			診療報酬請求論Ⅳ	後2										
			日本語Ⅰ(注6)	前2	日本語Ⅲ(注6)		前2					ネイティブイングリッシュ		前2
			日本文化Ⅰ(注6)	前2	日本文化Ⅲ(注6)		前2							
			日本事情Ⅰ(注6)	前2	日本事情Ⅲ(注6)		前2							
			日本語Ⅱ(注6)	後2	日本語Ⅳ(注6)		後2							
	薬学系科目	医療系												
アドバンスト科目		海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2			
ビジネス系科目								ヘルスケアマネジメント論	後2	セルフメディケーション学		前2		
演習・実習系科目								コンピュータスキル実践学(3・4年次開講)	後2		コンピュータスキル実践学(3・4年次開講)	後2		
小計(注7)			14単位		6単位			16単位			20単位			
合計			42単位		42単位			42単位			32単位			
卒業要件単位数								124単位						

- (注1) 留学生は選択科目「日本語Ⅰ」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語Ⅱ」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語Ⅲ」で代用可。
 (注4) 留学生は選択科目「日本文化Ⅲ」で代用可。
 (注5) 留学生は選択科目「日本語Ⅳ」で代用可。
 (注6) 留学生のみ選択可。
 (注7) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

平成31年度入学生

医療ビジネス薬科学科【情報薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生		
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位
必修科目	一般科目 自然科学	生物の基礎		前2									
		数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2									
		生活の化学		前2									
		英語 I (注1)		前2									
	外国語		英語 II (注2)	後2									
		化学系								医薬品の化学	後2		
	薬学系科目	生物系	人体の構造と働き I		前2								
		衛生系							公衆衛生学		前2		
		医療系				薬理学 I		前2					
ビジネス系科目				疾病と治療薬 I		前2							
				医薬品の適正使用		前2							
	コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2		プレゼンテーションスキル		前2			
演習・実習系科目				英語 III (注3)		前2		発想法と問題解決研究 (SQD)		前2			
								医療ビジネス薬科学演習		後2			
小 計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10		
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方Ⅱ		前2	病態と治療Ⅳ		前2	社会生活と経済		前2
		診療報酬請求論Ⅰ		前2	医療経営概論		前2	医療情報演習Ⅱ		前2			
		診療報酬請求論Ⅱ		前2	診療情報管理論基礎		前2	生活習慣と病気		前2			
		経営学入門		前2	病態と治療Ⅰ		前2	医薬学英語		前2			
			現代医療の中の漢方Ⅰ	後2	病態と治療Ⅱ		前2	医療統計学		前2			
			キャリアデザインⅠ	後2	病態と治療Ⅲ		前2	医療情報学		前2			
						微生物と生体防衛	後2	キャリアデザインⅢ		前2			
						臨床医学総論	後2	キャリアデザインⅣ		後2			
						病院・薬局管理学	後2						
						医療情報演習Ⅰ	後2						
						診療情報管理論	後2						
						日本語表現論 (注4)	後2						
						キャリアデザインⅡ	後2						
小 計		12単位			28単位			16単位			2単位		
選択科目	一般科目 人文社会	現代国語		前2	経済学		前2	マーケティング		前2	社会生活と法		前2
		日本史		前2									
	ビジネス系	医療倫理学		後2	民法		後2						
				前2	会計・簿記Ⅰ		前2	経営戦略論		前2	タックスプランニング		前2
	情報医療				会計・簿記Ⅱ		前2	販売戦略論		後2	リスクマネジメント		前2
					医療会計		後2						
	外国語	診療報酬請求論Ⅲ		後2							診療報酬請求事務実践学		前2
		診療報酬請求論Ⅳ		後2									
	薬学系科目	日本語Ⅰ (注5)		前2	日本語Ⅲ (注5)		前2				ネイティブイングリッシュ		前2
		日本文化Ⅰ (注5)		前2	日本文化Ⅲ (注5)		前2						
		日本事情Ⅰ (注5)		前2	日本事情Ⅲ (注5)		前2						
			日本語Ⅱ (注5)		後2	日本語Ⅳ (注5)		後2					
			日本文化Ⅱ (注5)		後2	日本文化Ⅳ (注5)		後2					
	医療系		日本事情Ⅱ (注5)	後2	一般用医薬品学		前2	食品健康学		後2	化粧品科学		前2
			生命をミクロに理解する	後2	一般用医薬品情報学		前2	医療経営学		後2	薬理学Ⅲ		前2
			人体の構造と働きⅡ	後2			後2						
						疾病と治療薬Ⅱ	後2						
アドバンスト科目		海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2		海外研修プログラム	2		海外研修プログラム	2		
演習・実習系科目							インターンシップ学	1					
							ヘルスケアマネジメント論	後2	セルフメディケーション学			前2	
		コンピュータスキル	後2				診療情報管理実習Ⅰ		前2		コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2	
							診療情報管理実習Ⅱ		後2				
							コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)		後2				
小計 (注6)		14単位			4単位			16単位			20単位		
合 計		42単位			42単位			42単位			32単位		
卒業要件単位数		124単位											

- (注1) 留学生は選択科目「日本語Ⅰ」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語Ⅱ」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語Ⅲ」で代用可。
 (注4) 留学生は選択科目「日本文化Ⅳ」で代用可。
 (注5) 留学生のみ選択可。
 (注6) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

平成31年度入学生

医療ビジネス薬科学科【スポーツ薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生			
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2									
			数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2										
		生活の化学		前2										
	外国語	英語Ⅰ(注1)		前2										
		英語Ⅱ(注2)		後2										
	薬学系科目	化学系								医薬品の化学	後2			
		生物系	人体の構造と働きⅠ		前2									
		衛生系							公衆衛生学		前2			
	医療系					薬理学Ⅰ		前2						
					疾病と治療薬Ⅰ		前2							
					医薬品の適正使用		前2							
ビジネス系科目		コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル			前2			
					英語Ⅲ(注3)		前2	発想法と問題解決研究(SGD)			前2			
演習・実習系科目								医療ビジネス薬科学演習		後2				
小計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10単位			
選択必修科目		コンディショニング実習		前1	栄養学概論		前2	アンチ・ドーピング		前2				
		キャリアデザイン演習Ⅰ		前1	運動生理学		前2	くすりの生体内運命		前2				
			健康科学概論		後2	フィットネス実習		後1	コーチング心理学		前2			
			スポーツ科学概論		後2	キャリアデザイン演習Ⅱ		後1	研究方法論演習Ⅰ		前1			
						スポーツ栄養学		後2	キャリアデザイン演習Ⅲ		後2			
						スポーツ医学		後2	一般用医薬品総合演習		前2			
						スポーツバイオメカニクス		前2	体力測定評価学		後2			
								後2	スポーツマネジメント学		後2			
									研究方法論演習Ⅱ		後1			
小計		6単位			14単位			16単位			0単位			
選択科目	一般科目(教養科目)	現代国語		前2										
		医療倫理学		前2										
		外国語(注4)	日本語Ⅰ		前2	日本語Ⅲ		前2						
			日本文化Ⅰ		前2	日本文化Ⅲ		前2						
		日本事情Ⅰ		前2	日本事情Ⅲ		前2							
		日本語Ⅱ		後2	日本語Ⅳ		後2							
		日本文化Ⅱ		後2	日本文化Ⅳ		後2							
		日本事情Ⅱ		後2	日本事情Ⅳ		後2							
	スポーツ薬学系科目	健康サポート領域							臨床検査学		前2	運動生化学	前2	
		競技サポート領域							機能性食品学		前2	健康づくりプログラム論	前2	
演習	演習							マンダヘルスマネジメント		後2	スポーツと情報戦略	前2		
	演習							効率的な動きの解剖学		後2	アスレティックトレーナー論	前2		
薬学系科目	医療系	生命をミクロに理解する		後2	一般用医薬品学		前2							
		人体の構造と働きⅡ		後2	一般用医薬品情報学		前2							
		生薬学		後2	薬理学Ⅱ		後2							
					疾病と治療薬Ⅱ		後2							
					健康増進学		後2							
アドバンスト科目		海外研修プログラム		2	海外研修プログラム		2	海外研修プログラム		2	海外研修プログラム		2	
ビジネス系科目								インターンシップ学		1	セルフメディケーション学		前2	
演習・実習系科目			コンピュータスキル		後2									
小計		12単位			10単位			11単位			14単位			
合計		34単位			34単位			37単位			24単位			
卒業要件単位数		124単位												

- (注1) 留学生は英語Ⅰ(必修科目)または日本語Ⅰ(選択科目)どちらかを選択履修します。
 (注2) 留学生は英語Ⅱ(必修科目)または日本語Ⅱ(選択科目)どちらかを選択履修します。
 (注3) 留学生は英語Ⅲ(必修科目)または日本語Ⅲ(選択科目)どちらかを選択履修します。
 (注4) 留学生のみ選択可。

2 年 生

2
年
生

2年生科目（お茶の水キャンパス）

目 次

1 薬学系科目（医療系）	
薬理学Ⅰ	87
疾病と治療薬Ⅰ	88
医薬品の適正使用	89
2 ビジネス系科目	
医事薬事関連法	90
英語Ⅲ	91
3 選択必修科目	
(1) ビジネス薬学コース／情報薬学コース	
現代医療の中の漢方Ⅱ	92
キャリアデザインⅡ	93
薬理学Ⅱ	94
(2) ビジネス薬学コース	
経済学	95
会計・簿記Ⅰ	96
会計・簿記Ⅱ	97
一般用医薬品学	98
一般用医薬品情報学	99
(3) ビジネス薬学コース	
英語Ⅳ	100
ビジネス実務論	101
財務・会計	102
医療会計	103
(4) ビジネス薬学コース（前）／情報薬学コース（後）	
日本語表現論	104
4 選択科目	
(1) 一般科目	
日本語Ⅲ	105
日本文化Ⅲ	106

日本事情Ⅲ	107
日本語Ⅳ	108
日本文化Ⅳ	109
日本事情Ⅳ	110
(2) 薬学系科目	
医療経営概論	111
疾病と治療薬Ⅱ	112
病院・薬局管理学	113
(3) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	52
5 選択必修科目（情報薬学コース）	
医療経営概論	114
診療情報管理論基礎	115
病態と治療Ⅰ	116
病態と治療Ⅱ	117
病態と治療Ⅲ	118
微生物と生体防御	119
臨床医学総論	120
病院・薬局管理学	121
医療情報演習Ⅰ	122
診療情報管理論	123
6 選択科目（情報薬学コース）	
(1) 一般科目	
経済学	124
会計・簿記Ⅰ	125
会計・簿記Ⅱ	126
医療会計	127
(2) 薬学系科目	
一般用医薬品学	128
一般用医薬品情報学	129
(3) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	52

2年生科目（さいたまキャンパス）

目 次

1 薬学系科目（医療系）	
薬理学Ⅰ	130
疾病と治療薬Ⅰ	131
医薬品の適正使用	132
2 ビジネス系科目	
医事薬事関連法	133
英語Ⅲ	134
3 選択必修科目（スポーツ薬学コース）	
栄養学概論	135
運動生理学	136
キャリアデザイン演習Ⅱ	137
スポーツ栄養学	138
4 選択必修科目（スポーツ薬学コース）	
スポーツ医学	139
スポーツバイオメカニクス	140
トレーニング学	141
フィットネス実習	142
5 選択科目	
(1) 一般科目	
日本語Ⅲ	143
日本文化Ⅲ	144
日本事情Ⅲ	145
日本語Ⅳ	146
日本文化Ⅳ	147
日本事情Ⅳ	148
(2) 薬学系科目	
一般用医薬品学	149
一般用医薬品情報学	150
薬理学Ⅱ	151

疾病と治療薬Ⅱ	152
健康増進学	153
(3) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	73

薬理学 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

教授 勝山 壮 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 生体内での薬の作用を理解するために、用量依存性および生物学的反応の意義、発現機序について、代表的な受容体、酵素、輸送体、イオンチャネルおよび細胞内情報伝達系に関する基本的知識を修得する。

〔授業概要〕 薬理学 I では、薬の作用で薬理学についての基本的な概念ならびに主要なキーワードについて説明し、今後、各論で種々の主要な疾患の治療に用いられる薬物群ならびにそれらの用量依存性および発現機序について、代表的な受容体、酵素、輸送体、イオンチャネルおよび細胞内情報伝達系に関して基本的知識を学ぶ。薬の作用に続いて各論の最初として、自律神経系に作用する薬物群、体性神経系に作用する薬物群について解説する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	薬の作用 (1) 薬理学について 薬物の用量と作用の関係	薬理学とは、薬理学の歴史、薬物作用様式と用量依存性について理解する。 薬物の用量と作用の関係を理解する。 アゴニストとアンタゴニストについて理解する。
2	薬の作用 (2) 薬物が作用するしくみ	薬物が作用するしくみについて、受容体、酵素、イオンチャネルおよびトランスポーターを理解する。
3	薬の作用 (3) 受容体 生体内情報伝達系	代表的な受容体を列挙し、刺激あるいは遮断された場合の生理反応を理解する。 生体内情報伝達系を作用発現とする代表的な薬物群を列挙し生理活性反応を理解する。
4	薬の作用 (4) 薬物の体内動態 薬物相互作用	薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄) と薬効発現の関わりについて理解する。 薬理作用に由来する代表的な薬物相互作用を列挙、その機序を理解する。
5	薬の作用 (5) 適用法 薬物連用	適用法、年齢差、性差、食事等の意義を理解する。 薬物連用、薬物依存性および相互作用について理解する。 主作用、副作用、有害作用、毒性との関連性ならびに相違について理解する。
6	自律神経系作用薬 (1) 末梢神経系 自律神経系の情報伝達機構	自律神経系の構成と機能の概要について理解する。
7	自律神経系作用薬 (2) 交感神経作用薬	交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
8	自律神経系作用薬 (3) 交感神経遮断薬	交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
9	自律神経系作用薬 (4) 副交感神経作用薬	副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
10	自律神経系作用薬 (5) 副交感神経遮断薬	副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
11	自律神経系作用薬 (6) 自律神経節遮断薬	自律神経節に作用する代表的な薬物について理解する。
12	体性神経系作用薬 (1) 体性神経系の刺激伝達	体性神経系の刺激伝達について理解する。
13	体性神経系作用薬 (2) 局所麻酔薬	知覚神経に作用する代表的な薬物について理解する。
14	体性神経系作用薬 (3) 筋弛緩薬	運動神経系に作用する代表的な薬物について理解する。
15	総まとめ	当該範囲の総まとめ

〔方略〕 講義 (配布した資料、板書)

〔評価方法と基準〕 定期試験 (100%)。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (原則として昼休み (12時半～13時半))

不在時は、メール (soukatsuyama@nichiyaku.ac.jp) にて質問予約を受け付ける。

〔所属分野・場所〕 お茶の水キャンパス 2号館 4階

〔教科書〕 櫻田 司 (2019) 『コンパス薬理学 改定第2版』 南江堂、『問題演習プリント』

〔参考書〕 岡庭 豊 (2018) 『薬が見える』 メディックメディア、浦部晶夫、島田和幸、川合真一 (2019) 『今日の治療薬』 南江堂

〔担当教員からのコメント〕 講義では板書および問題演習プリントを活用する。講義内容を単独科目で学習するのではなく、1年次に学習した生物の基礎、人体の構造と働きの内容および2年次の他の講義内容と関連づけをして日常の学習に取り組んでください。

疾病と治療薬 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

准教授 阿部賢志

〔一般目標 (GIO)〕 一般用医薬品として用いられる主な有効成分に関して、基本的な効能効果及びその特徴、飲み方や飲み合わせ、年齢、基礎疾患等、効き目や安全性に影響を与える要因、起こりうる副作用等について理解を深め、購入者への情報提供や相談対応に活用できるようにする。

〔授業概要〕 多数の薬物に遭遇しても知識を応用できるような基盤を与えることを目的とし、疾病と治療薬 I では、2 類および 3 類に分類される一般用医薬品薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨等について解説する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	精神神経に作用する薬	かぜの発症と諸症状、発熱および痛みが起こる仕組みについて説明することができる。代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
2	精神神経に作用する薬	睡眠が起こる仕組みについて説明することができる。眠気を促す薬や眠気を防ぐ薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
3	精神神経に作用する薬	鎮痛薬や小児鎮静薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
4	呼吸器に作用する薬	鎮咳去痰薬、口腔咽喉薬およびうがい薬 (含嗽薬) について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
5	胃腸に作用する薬	胃の薬や腸の薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
6	胃腸に作用する薬	胃腸鎮痛鎮痙薬やその他の消化器用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
7	心臓などの器官や血液に作用する薬	強心薬や高コレステロール改善薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
8	心臓などの器官や血液に作用する薬	貧血用薬やその他の循環器用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
9	排泄に関わる部位に作用する薬	痔疾用薬および泌尿器用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
10	婦人薬 内服アレルギー用薬	婦人薬の適応対象となる体質・症状を概説できる。 婦人薬および抗アレルギー薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
11	鼻に用いる薬 眼科用薬	鼻炎用点鼻薬および眼科用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
12	皮膚に用いる薬	怪我による傷口の処置、痒み、腫れ、痛みに対して用いられる代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。 抗菌・抗真菌作用および頭皮・毛根に作用する代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
13	歯や口中に用いる薬 禁煙補助剤	歯痛・歯槽膿漏用薬および口内炎用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。 喫煙習慣とニコチンの関係について説明できる。禁煙補助剤の主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
14	滋養強壮保健薬 公衆衛生用薬	滋養強壮保健薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。 感染症の防止と消毒薬の関係について説明できる。代表的な殺菌消毒成分、取り扱いの注意等について説明できる。 衛生害虫の種類と防除について説明できる。殺虫剤・忌避剤について代表的な配合成分・用法、誤用・事故等への対処について説明できる。
15	一般用検査薬 まとめ	一般用検査薬について、代表的な検査薬の特徴を説明することができる。検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨を説明することができる。

〔方略〕 教科書、パワーポイント、配布資料を用いた講義形式

〔評価方法と基準〕 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー：授業実施日の 13:00-15:00

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 4階

〔教科書〕 『登録販売者試験 対策共通テキスト (下巻)』日本薬学研修センター 教科書および教員の作成したプリント資料を使用する
〔参考書〕

〔担当教員からのコメント〕 1年次に学習した内容や現在の他の講義内容と関連している事項が数多くあります。授業の中でも簡単に触れますが、分からない事は必ず自分で調べ、疑問点を残さないようにすることが重要です。また、授業外での自己学習を積極的に行ってください。

医薬品の適正使用

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) 大山良治 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 医薬品使用者に対し、適正な医薬品情報・使用法を伝えることができるようになるために、薬効や副作用をくすりの生体内運命いわゆる体内の薬物動態から理解できる知識、技能を修得する。

〔授業概要〕 医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を的確に理解できるようになるために、からだの中での薬の動き (吸収・分布・代謝・排泄) や種々の剤形、薬物間相互作用、副作用などの基礎事項について学びます。また医薬品に関する基本的な情報源である添付文書の読み方、さらに医薬品の不適切な使い方の例として薬物乱用などの問題についても学び、医薬品の適正使用の基本を修得する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション 薬が作用するメカニズム	薬とは何か。 受容体と酵素について理解し、説明できる。
2	体の中での薬の動き (1)	からだの中で薬がたどる運命 (吸収・分布・代謝・排泄) について理解し、説明できる。
3	体の中での薬の動き (2)	薬物の吸収 (消化管からの吸収、消化管以外からの吸収) について理解し、説明できる。
4	体の中での薬の動き (3)	薬物の分布 (タンパク結合、脳血管関門) について理解し、説明できる。
5	体の中での薬の動き (4)	薬物の代謝 (代謝酵素、抱合反応) について理解し、説明できる。
6	体の中での薬の動き (5)	薬物の排泄 (腎での排泄、腎以外での排泄、腸肝循環) について理解し、説明できる。
7	体の中での薬の動き (6)	薬の効き目を予測する (薬物血中濃度、半減期、定常状態) について理解し、説明できる。
8	体の中での薬の動き (7)	薬物間相互作用、個体差、人種差について理解し、説明できる。
9	体の中での薬の動き (8)	剤形・投与経路による違い、オーダーメイド医療と遺伝子診断について理解する。
10	副作用 (1)	副作用の基本的な考え方、副作用の分類について理解する。
11	副作用 (2)	注意すべき副作用、薬害、副作用救済制度について理解し、説明できる。
12	医薬品情報	添付文書の記載事項、読み方について理解する。
13	薬ができるまで	医薬品の開発の流れについて理解する。
14	医薬品の不適切な使い方	薬物乱用、ドーピングについて理解する。
15	まとめ	講義の内容についての総まとめ、補足説明、質疑応答などを実施する。

〔方略〕 講義 (プリント)、問題演習

〔評価方法と基準〕 定期試験で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (講義日の午後 3 時から 5 時)

その他、メール (ohyamay@nichiyaku.ac.jp) でも対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 プリントを配布する。

〔参考書〕 伊賀勝美、伊藤智夫、堀江利治 (2008 年) 『薬物速度論』 廣川書店、福井次矢 (2014 年) 『医療の質を測り改善する』 インターメディアカ

〔担当教員からのコメント〕 広範な内容を扱いますが、まずは基本を理解するように心がけること。その上で、講義で学んだことを関連付けながら、様々な医薬品情報に触れてみなさい。特に一般用医薬品の添付文書は、身近で多くの情報が得られるので、自分や家族が服用している一般薬があればその添付文書を熟読しなさい。

医事薬事関連法

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) 吉田建光

[一般目標 (GIO)] 医療ビジネスを学ぶ者ならば当然理解しておくべき医療や医薬品を取り巻く法律及び制度に関する基本的な知識を修得し、それらを活用するための基本的な技能を身につけることを目標とする。

[授業概要] 医療ビジネスを学ぶ者が、その専門領域で果たす責任、義務等を正しく理解できるようになるため、医療や医薬品を取り巻く法律及び制度に関する基本的な知識を修得する。患者や医薬品等の購入者に限らず一般国民のため、ファーマコビジネス系の業務、すなわち、医薬品の製造から販売までを通して、医薬品・医療機器等の承認許可制、安全性情報に関する業務 (MRの業務)、登録販売者制度などについて、その根拠となる医薬品医療機器等法、医療法その他医療ビジネスに関連する法制度などの基本的な知識を身につけるようにする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	法律の構成	医療ビジネスに関連する法令の構成を説明できる。
2	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(目的と定義)
3	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(製造販売業と製造業、薬局、医薬品販売業)
4	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(医薬品等の取扱い)
5	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(生物由来製品、指定薬物等)
6	薬剤師法 医師法 保健師助産師看護師法	薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。 医師、歯科医の任務とその業務について説明できる。 保健師、助産師、看護師の任務とその業務について説明できる。
7	医療法	医療法の重要な項目を列挙し、説明できる。
8	麻薬関係法規	麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法及びあへん法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。
9	毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物取締法を概説できる。
10	健康被害救済制度	医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。 代表的な薬害について、その原因と社会的背景を説明できる。
11	医薬品開発	医薬品開発の計画の流れと、関係する法令について説明できる。
12	医薬品販売にかかわる法令・制度	登録販売者が薬事関係法規を順守して医薬品を販売することができるよう、医薬品の販売等に関する法令や制度を説明できる。(医薬品医療機器等法の目的、医薬品の分類・取扱い等)
13	医薬品販売にかかわる法令・制度	登録販売者が薬事関係法規を順守して医薬品を販売することができるよう、医薬品の販売等に関する法令や制度を説明できる。(医薬品販売業の許可)
14	医薬品販売にかかわる法令・制度	登録販売者が薬事関係法規を順守して医薬品を販売することができるよう、医薬品の販売等に関する法令や制度を説明できる。(医薬品販売業に関する法令順守)
15	医事薬事関連法のまとめ	1 回から 14 回までのまとめ

[方略] 講義 (教科書、パワーポイント、配布資料による)

[評価方法と基準] 定期試験によって評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業終了後、口頭で対応する。

また、教務課に設置した質問ノートでも対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 薬事衛生研究会 (2020-21 年版) 『薬事関係法規・制度解説 2020-21 年版 (ISBN:978-4-8408-1515-4)』薬事日報社、株式会社ドーモ (令和 2 年版) 『令和 2 年版全国登録販売者試験過去問正解 (ISBN978-4-8408-1512-3)』薬事日報社 教科書及び配布資料を中心として、講義を行います。下記の参考書を活用することが望ましい。

[参考書] (2019 年) 『薬事衛生六法 2019』薬事日報社、日本薬業研修センター (2019 年) 『登録販売者試験受験対策テキスト上・下巻 2019 年登録販売者試験対応版』日本薬業研修センター 重要: 登録販売者試験を受験しようとする学生は、一般社団法人日本薬業研修センター (2019 年) 『登録販売者試験 受験対策共通テキスト上・下巻』も授業の進行に合わせて学習してほしい。

[担当教員からのコメント] 医療ビジネスに従事する者にとって、直接または間接的に関係する事項が多く含まれています。医療関係法規の条文を単に暗記することではなく、制度、規制に至る経緯、その背景を身につけることにより、法律の意味を理解することが必要です。将来社会において、人にやさしい医療人となることを希望します。

英語Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 (非) 吉田可久也

〔一般目標 (GIO)〕 グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語Ⅲの授業では、社会が国際化する中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

〔授業概要〕 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組み、自己表現をすることが求められます。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Focus	人の外見を描写する
2	Conversation	人の性格や外見について話す
3	Integration	復習と統合発展
4	Situation	食べ物を説明する
5	Conversation	どんな料理を作るか話す
6	Integration	復習と統合発展
7	Conversation	お気に入りのレストランについて話す
8	Conversation	外食について話す
9	Integration	復習と統合発展
10	Focus	最近したことについて話す
11	Focus	過去の行動について話す
12	Integration	復習と統合発展
13	Conversation	場所を勧めて何ができるか話す
14	Conversation	行きたい場所について話す
15	Integration	復習と統合発展

〔方略〕 講義 (テキストに沿った説明)

〔評価方法と基準〕 中間試験 (35%) と定期試験 (35%) 小テスト (20%) アクティビティーへの参加度 (10%) で評価する。再試験は行わない。

〔学生の質問への対応〕 授業内で曖昧な点や不明な点がありましたら、その都度授業内に質問してください。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 ECC (2019) 『Challenger α 2』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語③』 ECC

〔参考書〕

現代医療の中の漢方Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

教授 橋本寛子 (実務) 准教授 安田高明

〔一般目標 (GIO)〕 現代医療の中の漢方Ⅰに引き続いて、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識を修得する。

〔授業概要〕 現代医療はこれまでのように西洋医学のみを重視していることに限界が生じている。漢方を含む統合医療は今後問題解決の重要な手段になりうる。いまだ統合医療の概念は確立されたものではなく、医療消費者 (患者) 側からの要求に答える形に発展しつつある領域である。この講義においては、漢方薬を構成する生薬に関する基礎知識の習得と、漢方治療の知識を習得し、これからの医療についての理解を深める。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション	生薬の概要について理解する。
2	生薬総則その他	日本薬局方に記載されている生薬総則について理解する。
3	生薬各論 1	各種生薬の特性について理解する。
4	生薬各論 2	各種生薬の特性について理解する。
5	生薬各論 3	各種生薬の特性について理解する。
6	生薬各論 4	各種生薬の特性について理解する。
7	生薬の修治その他	生薬の調製法について理解する。
8	まとめと演習	第 1 回～第 7 回のまとめ
9	漢方を用いた治療 感冒	漢方を用いた治療法について学ぶ 感冒
10	漢方を用いた治療 消化器領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 消化器領域
11	漢方を用いた治療 婦人科領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 婦人科領域
12	漢方を用いた治療 精神科領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 精神科領域
13	漢方を用いた治療 整形外科領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 整形外科領域
14	漢方を用いた治療 皮膚科領域	漢方を用いた治療法について学ぶ 皮膚科領域
15	まとめ	まとめ

〔方略〕 講義 (資料プリントを配布する) 教員分担: 安田 (1～8 回) 橋本 (9～15 回)

〔評価方法と基準〕 橋本: 授業時に行う小テスト (25 点分) と定期試験 (25 点分) を合わせて評価。安田: 定期試験にて評価する (50 点分)。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 橋本: 原則的に月曜日・火曜日・木曜日 10 時-16 時、E-mail で予約を取ること。(h-hashimoto@nichiyaku.ac.jp)

安田: 講義実施日 10 時-16 時、E-mail で予約を取ること。(yasuda@nichiyaku.ac.jp)

〔所属分野・場所〕 橋本: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 3 階

安田: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 日本生薬学会監修『現代医療における漢方薬』南江堂

〔参考書〕

〔担当教員からのコメント〕 漢方について学ぶ機会は稀ではありますが、これからの医療には欠かせない存在となることが予想されます。体や漢方についての知識を深め、今後の人生に役立ててください。

キャリアデザインⅡ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 演習

講師 大泉早智子

[一般目標 (GIO)] 自分の適職を知り、将来の進路を選択して活躍するためのスキルを身につけ、高い就業意識の高揚と個性の伸展を目標とします。

[授業概要] 進路選択には、職業への理解と同時に、社会ではどのような企業があるのかを研究することが不可欠です。そこでまず、基本的な企業研究の手法を学修します。そして、実際の企業を深く研究して理解することを通じて、進路選択の手がかりをつかんだり、自分自身の職業観の醸成やビジネスマインドの育成につなげます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	進路選択の意義	進路選択に必要な企業研究や業界研究について理解する。
2	会社の組織と構造	株式会社の仕組みと株式市場について理解する。
3	労働条件と適職	労働法規と適職について理解する。
4	業界分析Ⅰ	どのような業界があるのか理解する。
5	業界分析Ⅱ	業界分析を通じて自分自身のキャリアアンカーとのマッチングを考える。
6	企業業績の分析と進路Ⅰ	有価証券報告書、決算短信、会社四季報を使った分析について理解する。
7	企業業績の分析と進路Ⅱ	I R 情報、インターネットやその他の情報を使った分析について理解する。
8	企業業績の分析と進路Ⅲ	企業業績の分析を通じて、当該企業の強み、弱み、機会、脅威を理解し、自分自身の特性を生かす方法を考える。
9	エントリーシートの作成Ⅰ	自分自身の進路選択と当該企業へのインターンシップに臨む心構えやエントリーシートを作成する文章表現能力を育成する。
10	エントリーシートの作成Ⅱ	自分自身の進路選択を意識しながら学生時代の取り組みや、自分自身の特性を的確に表せる文章表現能力を育成する。
11	エントリーシートの作成Ⅲ	進路選択と当該企業との進路適合性を考えながらエントリーシートを作成できる文章表現能力を育成し、自分自身の進路選択による履歴書を作成する。
12	自分自身の職業観の確立	現実社会を深く考え、自分自身の職業観の確立のための手法を理解する。
13	インターンシップに向けてⅠ	インターンシップの意義と必要性について理解する。
14	インターンシップに向けてⅡ	インターンシップのエントリー方法と実際について理解する。
15	進路選択と総括	自分自身の進路選択と企業分析レポートの作成とまとめを行う。

[方略] パワーポイント、ワークシート、演習 (SGD) 教員分担: 1~12、15 回 大泉、13 回 菊地、14 回 外部講師

[評価方法と基準] 演習課題 (学修ポートフォリオ・ルーブリック評価) 50 %、定期試験 50 % として評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] オフィスアワー (研究室に掲示) にて対応する。

[所属分野・場所] 大泉 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

阿部 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

[参考書] 大泉早智子・大泉寛・有末友三子 (2014) 『キャリアデザイン講義～企業研究～』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] 進路選択には企業研究と同時に、実際の企業家の話を聞くことや、インターンシップでの経験が必要です。本講義は理論の他に具体的で実践的な内容となっていますので、皆さんは事前学習として自分自身の適職について常に考え、どのような業界があり、どのようなスキルが必要かを認識して下さい。また事後学習として興味がある実際の企業を調べてさらに職業選択についての理解を深めて下さい。第 1 回~12 回、15 回は、就職・厚生課や有識者の協力、また本郷税務署様との連携協力により、大学生のための「租税教室」の開催も予定しています。

薬理学Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

教授 勝山 壮 (実務)

〔一般目標 (GIO)] 中枢神経系に作用する薬物、感染症治療薬、ホルモン関連薬に関する基本的知識を修得する。

〔授業概要] 薬理学Ⅱは、薬理学Ⅰに引き続き、中枢神経系に作用する薬 (全身麻酔薬、催眠薬、鎮痛薬、抗てんかん薬、パーキンソン症候群治療薬、アルツハイマー型認知症治療薬、精神疾患治療薬など)、感染症治療薬 (抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬、抗原虫・寄生虫薬)、ホルモン関連薬 (視床下部ホルモン・脳下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモン、性ホルモン、カルシウム調節ホルモン関連薬) について、生理機能と疾病とを関連付けながら解説を加える。

〔授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	中枢神経系に作用する薬 1	代表的な全身麻酔薬、催眠薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
2	中枢神経系に作用する薬 2	代表的な麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、解熱鎮痛薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
3	中枢神経系に作用する薬 3	代表的な抗てんかん薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
4	中枢神経系に作用する薬 4	代表的なパーキンソン症候群治療薬、アルツハイマー型認知症治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
5	中枢神経系に作用する薬 5	代表的な統合失調症治療薬、気分障害治療薬 (抗うつ薬・抗躁薬) を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
6	中枢神経系に作用する薬 6	代表的な抗不安薬、中枢性筋弛緩薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
7	中枢神経系まとめ、問題演習	中枢神経系に作用する薬物の総まとめと問題演習
8	感染症と薬 1	代表的な抗菌薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
9	感染症と薬 2	代表的な抗菌薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
10	感染症と薬 3	代表的な抗ウイルス薬、抗真菌薬、抗原虫・抗寄生虫薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
11	感染症と薬まとめ、問題演習	感染症治療薬の総まとめと問題演習
12	ホルモンと薬 1	代表的な視床下部ホルモン、脳下垂体ホルモンを挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
13	ホルモンと薬 2	代表的な甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモンを挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
14	ホルモンと薬 3	代表的な性ホルモン、カルシウム調節ホルモンを挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
15	ホルモンと薬まとめ、問題演習	ホルモンおよびホルモン関連薬の総まとめと問題演習

〔方略] 講義 (配布した資料、板書)

〔評価方法と基準] 定期試験 (100 %) により評価を行なう。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] オフィスアワー (原則として昼休み (12 時半～13 時半))

不在時は、メール (soukatsuyama@nichiyaku.ac.jp) にて質問予約を受け付ける。

〔所属分野・場所] お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書] 櫻田 司 (2019) 『コンパス薬理学 改定第 2 版』南江堂、『問題演習プリント』

〔参考書] 岡庭 豊 (2018) 『薬が見える』メディックメディア、浦部晶夫、島田和幸、川合眞一 (2019) 『今日の治療薬』南江堂

〔担当教員からのコメント] 講義の前にシラバスを利用して講義スケジュールを確認し、教科書の該当部分を一読して下さい。講義中に配布された問題演習プリントの復習をし、教科書で不足の内容について知識を補いましょう。薬の薬理作用を機序から導き出せるようにしましょう。また、薬理学Ⅰの復習も行なっておくとより理解しやすくなります。

経済学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 経済学は、社会の経済活動を研究する学問であり、有限である資源から、どのようにして価値を生産し分配していくかをテーマとしている。この経済学的手法を学習し、さらにこれら経済学的手法を用いて医療について分析する能力を養うことを目標とする。

〔授業概要〕 本講義では、まず、経済学の全般について学習して理解する。そして経済学の代表的な理論や手法を用いて、医薬品・医療保険・病院経営などを経済学的な観点から研究する医療経済学及び薬剤経済学の理解を深め、医療政策にも精通した創造性あふれる人材を育成する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	経済学の基本的な概念と分業の利益について理解する	経済学とは何か、考え方、経済データの見方及び分業の利益、絶対優位と絶対劣位、機会費用、社会的分業、比較優位について学習して理解する。
2	需要と供給について理解する	需要の決定要因と需要曲線、供給の決定要因と供給曲線、曲線の傾き、価格の弾力性について学習して理解する。
3	価格メカニズムについて理解する	財の取引と市場、市場価格、市場価格の変化とその要因、市場価格と裁定取引について学習して理解する。
4	市場の効率性について理解する	市場の課題、最低販売価格と供給量、市場均衡の効率性について学習して理解する。
5	市場の失敗と限界について理解する	独占、外部効果、公共財、情報の非対称性、市場メカニズムと所得配分、ローレンツ曲線、ジニ計数について学習して理解する。
6	労働市場について理解する	労働市場の昨日と限界、労働市場と格差、労働市場を補完する政策、名目賃金と実質賃金について学習して理解する。
7	GDP について理解する	GDP とは、経済の循環、国民生活と GDP、生産能力の大きさ、需要の大きさについて学習して理解する。
8	消費需要と投資需要について理解する	日本の消費と投資、消費需要、投資需要、乗数効果、景気対策について学習して理解する。
9	貨幣と金融について理解する	貨幣とは、金融とは、直接金融と間接金融、金融政策、貨幣乗数、信用創造について学習して理解する。
10	政府の役割について理解する	政府の経済的役割、資源配分の調整、所得の再配分、政府予算、予算策定、歳入と歳出について学習して理解する。
11	外国貿易と為替レートについて理解する	日本の貿易の状況、貿易とマクロ経済、為替レートの決定、国際金融取引、外国通貨需要について学習して理解する。
12	経済成長と国民生活について理解する	経済成長率、経済成長の決定要因、経済成長率の予測、経済成長の分析手法、経度と経済成長について学習して理解する。
13	医療経済学について理解する	医療経済学の考え方、医療市場のメカニズム、国民医療費の問題について学習して理解する。
14	薬剤経済学について理解する	薬剤経済学の考え方、薬剤経済評価、薬剤経済分析、費用の種類と費用分析について学習して理解する。
15	総括	まとめ

〔方略〕 講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、課題演習 (SGD)

〔評価方法と基準〕 課題 30 %、定期試験 70 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 教務課に設置した質問ノートに記入する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 中谷武・中村保 編著 (2014) 『1 からの経済学』中央経済社 (ISBN-13: 978-4502680809)

〔参考書〕 橋本英樹・泉田信行 編 (2011) 『医療経済学講義』東京大学出版会、津谷喜一郎・アリエル バレスニアク 編集 (2008) 『薬剤経済学の活用～医薬品の経済的エビデンスをつくる・つかう～』エルゼビアジャパン

〔担当教員からのコメント〕 経済学の基本的概念を学修した上で、視聴覚教材なども利用し、テーマごとに SGD によるアクティブラーニングで医療に関する分析を行い理解を深めます。SGD には大泉早智子講師にも協力を頂く予定です。テキストを事前学習して講義に臨み、講義後には事後学習を行い理解を深めて下さい。またその学習成果を経済学検定にも活かして下さい。皆さんの積極的な参加を期待します。

会計・簿記 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 菊谷 正人

〔一般目標 (GIO)〕 会計に関する基本的な知識、仕訳、計算、貸借平均の原理を理解する。

〔授業概要〕 会社や個人事業主は一年に一度、もうけや財産がいくらあるのかを明らかにしなければいけません。そのためには、モノの売買、お金の貸し借りなど、日々の経済活動を詳細に記録しておかなければいけません。この日々の取引を記録する手段が簿記です。近年のグローバル社会では次の3つの言語、①自然言語②人工言語③会計言語に精通していることが国際人の要件となっています。①の言語は英語、②はコンピュータ、そして③が簿記です。従って、現代の経済社会において国際人として活躍するためには簿記は必要不可欠な知識となっています。本講義では、簿記に関する基本的な知識を理解すると共に会計感覚を身につけることを目的とします。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	会計、簿記とは何か	簿記の意義を理解し、説明することができる。 会計学における簿記、仕訳、財務諸表等に関する導入的講義
2	商品売買の基本 I	仕入、売上に関する仕訳をすることができる。
3	商品売買の基本 II	掛け、返品、諸掛りについて理解し、仕訳をすることができる。
4	小切手について	小切手に関する取引について理解し、仕訳をすることができる。
5	帳簿残高等について	現金過不足、実際有高と帳簿残高の相違に関する取引について理解し、仕訳をすることができる。
6	当座預金等について	当座預金に関する取引について理解し、仕訳をすることができる。
7	小口現金等について	インプレストシステムについて理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
8	受取手形と支払手形	手形の振出し、受け入れ、手形代金の取り立て、支払い等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
9	電子記録債権・債務について	電子記録債権・債務について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
10	お金の貸付と借入について	貸付金、借入金、手形を絡めたお金の貸借について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
11	株式について	株式の売買、配当金について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
12	公社債について	公社債について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
13	内金、未収入金等について	前払金、前受金、未収入金、未払金について理解し、それに関する仕訳をすることができる。
14	給料について	給料の支払いについて理解し、立替金、預り金を使用して仕訳をすることができる。
15	仮払金、借受金、受取商品券等について	仮払金、借受金、受取商品券等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。

〔方略〕 講義 (板書、配布プリント)

〔評価方法と基準〕 定期試験 50 %、講義内 10 分間小テスト 30 %、宿題 (計算問題、論述問題) 20 %

追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義終了後に講義室または講師控室にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 渡部裕巨他編 (2020) 『検定簿記講義 3 級 商業簿記』中央経済社

〔参考書〕 適宜紹介します。

〔担当教員からのコメント〕 本講義は、会計の基本的な感覚を無理なく身につけられるように、一般的な言葉で、ゆっくり、わかりやすい説明を心がけて授業を行います。

簿記・会計は一つ一つの知識を積み重ねることが習得に繋がります。講義の中で、説明→問題演習→解説を繰り返すことで、無理なく会計の基本的な知識を学んでいきます。

本講義は、教科書の他に配布プリントと板書で進めていきますので、板書と説明した内容から各自ノートを作成して講義を受講して下さい。

会計・簿記Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 菊谷 正人

〔一般目標 (GIO)〕 日商簿記検定 3 級合格程度の仕訳、記帳能力を身につける。

〔授業概要〕 本講義では、会計人として必要な基本的な簿記知識を確実に習得することを目標とした講義を行います。前半は、財務諸表作成に必要な仕訳等に関する知識を身につけ、後半では問題演習を中心に行い、日商簿記検定 3 級合格程度の簿記の能力を身につけることを目指します。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	固定資産の取得と売却	固定資産の購入、売却に関する取引を理解し、それに関する仕訳をすることができる。
2	減価償却について	減価償却の意義について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
3	貸倒れについて	貸倒れについて理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
4	資本金等について	資本金、引出金等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
5	税金について	法人税、住民税、事業税、消費税等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
6	費用と収益の見越し・繰延べについて	費用と収益の見越し・繰延べの意義について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
7	伝票制度について	3 伝票制について理解し、それに関する仕訳を行い伝票を作成することができる。
8	伝票と集計	仕訳集計表の作成と総勘定元帳への転記について理解し、それを作成することができる。
9	決算と決算手続きについて	決算の意義と決算整理手続きについて理解し、それに関する仕訳を行うことができる。
10	帳簿書類の作成	各種帳簿書類、試算表の作成をすることができる。
11	精算表	精算表の意義について理解し、それに関する決算整理仕訳を行い、精算表を作成することができる。
12	財務諸表の作成	損益計算書と貸借対照表を作成することができる。
13	総復習問題演習Ⅰ	日商簿記検定 3 級問題演習と解説
14	総復習問題演習Ⅱ	日商簿記検定 3 級問題演習と解説
15	総復習問題演習Ⅲ	日商簿記検定 3 級問題演習と解説

〔方略〕 講義 (板書、配布プリント)

〔評価方法と基準〕 定期試験 50 %、講義内 10 分間小テスト 30 %、宿題 (計算問題、論述問題) 20 %
追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義終了後に講義室または講師控室にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 渡部裕巨他編 (2020 年) 『検定簿記講義 3 級 商業簿記』中央経済社

〔参考書〕 適宜紹介します。

〔担当教員からのコメント〕 本講義では、会計・簿記Ⅰの理解を前提として講義を進めていきます。

会計・簿記Ⅰよりも更に進んだ内容を学習していくので毎回の講義に集中して臨んで下さい。

簿記は、何度も繰り返し問題を問うことで定着していきます。毎回の講義の理解が次の講義の理解度に大きく影響していきますので、復習に力を入れて勉強して下さい。

問題演習と解説を中心とした講義を行い、日商簿記 3 級合格レベルの簿記知識習得を目指します。

一般用医薬品学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 針ヶ谷智樹

〔一般目標 (GIO)〕 一般用医薬品が何故使用されるのか？ それは、各症状を緩和するためである。そのためには、各症状がなぜ起きるのかを理解しなければならない。そして、その症状を緩和するにはどうすればいいのか？ そのためには、身体の仕組みを理解しなければならない。身体の機能を理解し、そこで作用機序を考えることにより、どういった効果・効能が現れるかを考えていくことが出来る。もちろん、その成分の副作用や禁忌事項も、医薬品を使用する上では知っておかなければならない。本授業では、このような ① 身体の仕組み ② 医薬品成分の作用機序 ③ 効果効能 ④ 副作用・禁忌 を概説し、医薬品というものを総合的にとらえた講義を行っていく。

〔授業概要〕 登録販売者試験において、一般用医薬品学は大きなウェイトを占めている科目である。すなわち、登録販売者試験合格にとって一般用医薬品学を理解することは必須であると言わざるを得ない。もちろん、医療従事者として薬に関わる登録販売者は、医薬品というものを理解しておくことが必要である。登録販売者試験合格を目指すことはもちろんのこと、実際に薬を販売する上で必要な知識を理解し、身につけることを目的とする。もちろん、登録販売者として薬を販売する以上、試験内容以外の薬に関する知識も身につけなければならない。そういった『薬を紹介する上での知識』を身に付けることも目的とする。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	解熱鎮痛薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
2	咳止め・痰を出やすくする薬 (鎮咳去痰薬)	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
3	内服アレルギー用薬 & 鼻に用いる薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
4	腔咽喉薬、うがい薬 & 口内炎用薬 & 禁煙補助剤	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
5	かぜ薬 & 歯痛・歯槽膿漏薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
6	眠気を促す薬 & 眠気を防ぐ薬 & 鎮暈薬 (乗物酔い防止薬)	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
7	胃の薬 & 胃通鎮痛鎮痙薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
8	腸の薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
9	強心薬 & 高コレステロール改善薬 & 貧血治療薬 & その他の循環器用薬 & 小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤 (小児鎮静剤)	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
10	痔の薬 & その他の泌尿器用薬 & その他の消化器用薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
11	婦人薬 & 眼科用薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
12	皮膚に用いる薬 ①	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
13	皮膚に用いる薬 ②	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
14	滋養強壮保険薬 & 漢方処方製剤・生薬製剤	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
15	公衆衛生用薬 & 一般検査薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。

〔方略〕 講義 (教科書・配布プリント・板書)

〔評価方法と基準〕 レポート + 試験 (マークシート)

- ・ 評価のウェイトは レポート (40) + 試験 (60) とする。
- ・ レポートの提出期限は絶対のものとする。
- ・ 受講態度に関しても、評価対象となる場合がある。

〔学生の質問への対応〕 ・ 講義後の休み時間での対応。 ・ E-mail にて対応。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 登録販売者試験 下巻 (日本薬剤師研修センター)

〔参考書〕 オリジナルプリント (作成)

〔担当教員からのコメント〕 ① 主に作用機序、効果効能、副作用、その他留意する点に関して講義していく。自習する際は、テキストの『ここがツボ!!』の部分を中心に復習していくといい。受診勧奨に関しては、講義後必ず読んで復習の糧とすること。

② 『受講している人の妨げとなるような行為を慎むこと』に留意してもらいたい。講義中に私語等により騒がしくする学生が毎年のようにいるが、その度に静かに受講している学生の集中が妨げられる状況となっている。アンケートでも、『講義中うるさい』といった意見が出ている。他の人の受講を妨げる行為に関しては、厳重なる対応を心がけるつもりである。

一般用医薬品情報学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 渡邊 隆

[一般目標 (GIO)] 一般用医薬品の適正使用に必要なとなる医薬品情報の購買者へ正確な情報伝達を行う為、情報の把握と伝達ツール等を理解し、医薬品製造業者から購買者への情報を分かりやすく伝え事故のない医薬品販売のサポートが出来る能力を身に着ける。

[授業概要] 一般用医薬品を販売できる登録販売者の合格をめざし、基本的な内容から一般用医薬品の販売に関する法律、決まりごとなどを専門用語の理解を伴いながら進めていきます。

現場で必要とされている事等も交えて能力 UP をともに考えていきます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	授業の内容、進め方、試験方法等の説明
2	医薬品に共通する特性と基本的な知識	医薬品の本質 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 その1
3	医薬品に共通する特性と基本的な知識	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 その2
4	医薬品に共通する特性と基本的な知識	適切な医薬品選択と受診勧奨 薬害の歴史
5	医薬品に共通する特性と基本的な知識	まとめ 小テスト
6	薬事関係法規・制度	医薬品の販売業の許可
7	薬事関係法規・制度	医薬品の取扱い その1
8	薬事関係法規・制度	医薬品の取扱い その2
9	薬事関係法規・制度	医薬品の取扱い その3
10	薬事関係法規・制度	医薬品販売に関する法令順守
11	医薬品の適正使用・安全対策	まとめ 小テスト
12	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報 その1
13	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報 その2 医薬品の安全対策
14	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の副作用等による健康被害の救済 一般用医薬品に関する主な安全対策 医薬品の適正使用のための啓発活動
15	医薬品の適正使用・安全対策 まとめ	まとめ 小テスト 試験対策

[方略] 講義 (教科書使用 ラインマーカー)

[評価方法と基準] 小テスト (40%) および定期試験 (60%)。追再試験を実施することがある。

シラバスではまとめの小テスト3回としてありますが、オリエンテーションで比率や回数を決めたいと思います。昨年は毎回小テストを行いました。

[学生の質問への対応] 授業終了時に質問の時間を設けます。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館4階 講師控室

[教科書] 日本薬業研修センター『登録販売者試験 受験対策 共通テキスト 上巻』日本薬業研修センター

[参考書] 必要な参考資料を配布いたします。

[担当教員からのコメント] 各都道府県で8月~12月に行われる登録販売者試験に関わる3科目を学習します。

試験の合格に向けて頑張りましょう。

英語Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 吉田可久也

[一般目標 (GIO)] グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語Ⅳの授業では、社会が国際化する中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

[授業概要] 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組むことが求められます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Situation	日常的にすることについて話す
2	Situation	余暇の行動について話す
3	Integration	復習と統合発展
4	Situation	贈り物をしたり受け取ったりする
5	Situation	プレゼントについて話す
6	Integration	復習と統合発展
7	Conversation	薬局で買い物をする
8	Conversation	買い物の支払いをする
9	Integration	復習と統合発展
10	Situation	外国人旅行者の手助けをする
11	Focus	ことばの意味とつづりを尋ねる
12	Integration	復習と統合発展
13	Situation	手伝いを申し出たり受けたりする
14	Situation	許可を求める
15	Integration	復習と統合発展

[方略] 講義 (テキストに沿った説明)

[評価方法と基準] 中間試験 (35%) と定期試験 (35%) 小テスト (20%) アクティビティーへの参加度 (10%) で評価する。再試験は行わない。

[学生の質問への対応] 授業内で曖昧な点や不明な点がありましたら、その都度授業内に質問してください。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] ECC (2019) 『Challenger α 2』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語③』 ECC

[参考書]

ビジネス実務論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択必修) 講義

講師 大泉早智子

〔一般目標 (GIO)〕 医療ビジネスにおける高度な専門知識・技能の基本となる実践的実務法務の素養を身に付け、ビジネスマインドをもったクロスオーバー型の企業人となることを目標とする。

〔授業概要〕 ビジネスパーソンとして身につけなければならない要素を習得するため、本講義では、経営学の基本理論とビジネス実務法務を学習し、医薬品産業及びその周辺産業に貢献し、ビジネスのグローバル化への対応と医療を取り巻く社会環境を正しく理解し高い倫理観を持った人材を育成する。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	経営学について理解する	経営学とは何か、ビジネスパーソンとして身につける素養について学習する。
2	企業のシステムについて理解する	企業・会社の概念、所有と経営機能の分化、支配と統治、コーポレートガバナンスについて学習する。
3	経営戦略について理解する	経営戦略の理論体系、全社戦略、事業戦略、機能別戦略、戦略の策定について学習する。
4	経営組織について理解する	組織に関する基本理論、経営組織の形態、制度、文化について学習する。
5	経営管理について理解する	経営管理に関する基礎的理論、リーダーシップマネジメント、コントロールについて学習する。
6	経営課題と CSR について理解する	M&A や、経営のグローバル化、CSR、環境経営などについて学習する。
7	ビジネス実務法務の基本について理解する	ビジネス実務法務の基本、企業を取り巻くリスク、コンプライアンス、CSR、権利能力平等の原則などについて学習する。
8	取引を行う主体について理解する	権利能力、株式会社の仕組みや運営について学習する。
9	会社取引の実務法務について理解する	取引に関する法律問題や、損害賠償に関する法律関係について学習する。
10	会社財産の管理及び活用についての実務法務について理解する	流動資産の運用・管理やその法的側面、固定資産や知的財産の管理について学習する。
11	債権の管理及回収に関するビジネス実務法務について理解する	債権の担保や、緊急時の債権回収、倒産に対応するための処理手続きについて学習する。
12	企業活動に関する実務法務を理解する	経済関連法規、消費者保護関連の規制、情報化社会に関わる法律などを学習する。
13	会社と従業員の関係に関する実務法務について理解する	労働組合と使用者との関係や、社会保険などについて学習する。
14	紛争の解決方法や国際法務に関する実務法務について理解する	紛争の予防、民事訴訟、その他の紛争の解決方法や、家族法、国際取引に関する法的諸問題、WTOと国際通商問題について学習する。
15	まとめ	経営学及び医療マネジメントの実務法務についてのまとめを行う。

〔方略〕 講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、課題

〔評価方法と基準〕 小テスト 15%、課題 15%、定期試験 70 %の合計 100 %で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (研究室に掲示) にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 4階

〔教科書〕 ビジネス実務法務検定試験 (R) 研究会 (2020) 『ビジネス実務法務検定試験 (R)3 級攻略テキスト』 早稲田経営出版 (ISBN-13: 978-4847144141)

〔参考書〕 経営能力開発センター編 (2018) 『経営学検定試験公式テキスト 1 経営学の基本』 中央経済社、鐘江 康一郎 (2010) 『経営理念・ビジョン/経営戦略- 経営戦略実行のための基本知識 (医療経営士テキスト 中級一般講座 2)』 日本医療企画

〔担当教員からのコメント〕 シラバス第 1 回から第 6 回は経営学の基本的理論の学習です。事前学習を経営学の書籍や文献の中から、企業システム、経営戦略、経営組織、経営管理、経営課題の項目にしたがって行い、講義に出席してください。この場合シラバスに掲載した参考書を参考にすると良いでしょう。また、第 7 回から第 14 回は、具体的なビジネスに関する実践的問題解決手法になりますので、教科書を事前に学習して理解してから講義に臨み、終了後は、忘れないように問題を解いて事後学習を必ず行ってください。これによりビジネス実務法務検定試験の受験に備えることもできます。

〔一般目標 (GIO)〕 会計はビジネスの言語といわれています。会計が作成する計算書 (貸借対照表と損益計算書ほか) は企業の経営の実態を数字で表す計算書ですが、これらの計算書を読めなければビジネス社会で活躍することはできません。これらの計算書の内容を理解するには、作成方法を学ぶ必要があります。授業では、貸借対照表と損益計算書は何を表しているのか理解し、またその作成方法を学びます。

〔授業概要〕 貸借対照表と損益計算書は複式簿記という記録方法により企業活動を記録して作成します。この授業では、まず2つの計算書が何を表すかを説明し、つぎに複式簿記の全体のプロセス (取引の仕訳、勘定口座への転記、決算整理、決算) を復習した上で、株式会社に特有の取引および日本商工会議所簿記検定2級の出題範囲の中から主要な取引を取り上げて講義をします。また必要に応じて実際の会社の貸借対照表と損益計算書を配布し、会計のデータの利用方法についても解説をします。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	会計の役割と複式簿記	貸借対照表と損益計算書が表す企業の経営状況 (財政状態と経営成績) とはなにかを理解したうえで、これらの計算書に記載されている資産、負債、純資産、収益、費用の意味を説明することができる。
2	複式簿記の仕組み	複式簿記がどのようなプロセスで貸借対照表と損益計算書を作成しているかを理解したうえで、具体的には仕訳、勘定口座への転記、決算整理などを計算例により処理することができる。
3	商品売買取引の処理方法①	商業を営む企業の中心的活動である商品売買取引の記録を行うことができる。ここでは期末決算時に行う売上原価の計算と次期繰越商品の処理方法がポイントとなる。
4	商品売買取引の処理方法②	商品売買取引に関する期末決算時の処理のうち、商品評価損、商品減耗損の処理を行うことができる。ここでは、期間損益をどのように計算したらよいか、ということについて考えてみる。
5	決算および貸借対照表と損益計算書の作成	複式簿記で記録したデータにより貸借対照表と損益計算書を作成することができる。ここでは実際の会社の貸借対照表と損益計算書を紹介する。また、精算表の仕組みを学ぶ。
6	貸借対照表と損益計算書の利用、および会計のディスクロージャー制度	貸借対照表と損益計算書により会社の経営状況をどのように評価するか、経営分析の手法を学ぶ。また、会社法や金融商品取引法が求めるディスクロージャー制度について学ぶ。
7	引当金の処理方法	会計では期間を区切って損益を計算する。この場合、今年の利益を計算する場合の重要項目として引当金を取り上げ、その考え方と処理方法を学ぶ。
8	様々な取引の処理方法①	日商簿記検定2級の範囲である手形取引、有価証券取引などの処理を行うことができる。
9	様々な取引の処理方法②	有形固定資産の処理 (取得、減価償却、処分) を行うことができる。
10	株式会社会計①	個人企業の会計と株式会社会計の違いを学ぶ。とくに純資産の部 (資本金、資本準備金、利益準備金) の処理を学ぶ。
11	株式会社会計②	増資取引、剰余金の配当等の処理を学ぶ。
12	決算整理、精算表・財務諸表の作成	決算整理の総まとめと精算表の作成方法 (再) を学ぶ。報告式の計算書作成方法を学ぶ。
13	帳簿組織、伝票会計	帳簿組織の体系、仕訳帳の代わりに伝票により仕訳をする方法を学ぶ。
14	本支店会計と連結会計	本店のほかに支店を設けている場合、また、企業集団の計算書の作成方法を学ぶ。
15	総まとめ	総合演習問題に取り組む。

〔方略〕 プリントにより講義します。毎回、練習問題に取り組み、理解を深めます。

〔評価方法と基準〕 小テスト 50 点、定期試験 50 点で成績を評価します。ただし、定期試験が 20 点以下の場合には不合格とします。追再試験を行うことがあります。

〔学生の質問への対応〕 授業中はもちろん、授業の前後の質問も歓迎します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 渡部他『検定簿記講義 (2 級商業簿記)』中央経済社

主として授業中にプリントを配布し、これにより授業を進めます。

〔参考書〕 西野芳夫 (1994 年)『入門複式簿記』中央経済社 本書は図書館で読むことができます。

〔担当教員からのコメント〕 複式簿記の魅力は、企業規模の大小に関係なく、企業の経営状況を貸借対照表と損益計算書という2つの計算書で把握することができる点にあります。複式簿記の記録方法は一見すると特殊でわかりにくいようですが、じつはその考え方はいたって簡単で、単純なものです。簡単な取引例によりながら、計算書を作成していきます。

医療会計

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕医療における会計の役割は、医療経営を測定評価する重要性をおびている。医療法人などの健全なる運営に資することを目的とする医療法人会計基準の制定などは、これからの医療従事者が備えておかなければならない資質の一つとして、医療会計に関する知識の必要性がクローズアップされてきている。本講義ではこれらの医療業界の現状と将来をとらえながら医療会計のエッセンスと分析の手法を学習し、もってビジネスマインドの醸成を目標とする。

〔授業概要〕本講義では、まず、医療における会計の役割とその基本的な会計処理方法を理解する。そして、医療法人会計基準を詳しく考察し、医療法に規定する計算書類の作成や経営分析の手法を学習する。さらに病院経営管理指標、病院管理会計や、医療の質の向上をめざす戦略的な医療会計の在り方を SGD で検討し、問題解決の手法を学習することによって創造性あふれ医療経営をリードする人材の育成を目的とする。

〔授業計画〕後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医療会計の開設主体と会計基準	病院などを運営する母体などを考察し、病院会計準則や医療法人会計基準について理解する。
2	医療会計の基礎	会計の基本や医療会計の勘定科目や会計帳簿について理解する。
3	医療会計業務の流れ	病院の日常業務と医療会計の関連、決算業務や内部統制について理解する。
4	保険制度、診療報酬の概要と会計処理	公的保険制度と診療報酬及び DPC、病院で使われているシステムについて理解する。
5	医療会計における資金管理	現金預金などの資金管理や借入金などの管理、資金繰表やキャッシュフロー計算書の役割について理解する。
6	医療法人の制度と医療会計	医療法人の設立運営および、作成する計算書類について理解する。
7	診療収益の会計処理	病院の窓口管理、収益の認識基準医業未収金などの会計処理を理解する。
8	医薬品・診療材料等の棚卸資産管理と会計処理	医薬品・診療材料の購入、棚卸の会計処理の流れについて理解する。
9	固定資産・リース資産の会計処理	固定資産の購入、減価償却、改良・修理・除却・売却の会計処理について理解する。
10	税金、人件費及び経費の会計処理	税金計算、給与計算、社会保険料、賞与、退職給付会計などの会計処理について理解する。
11	財務諸表分析	財務分析、医業収益分析、医業費用分析、安全性分析、効率性分析、機能性分析、病院経営管理指標などについて理解する。
12	戦略的医療会計Ⅰ	医療会計を戦略的に病院管理に利用する病院管理会計について理解し、SGD で問題解決の方法を議論し、プレゼンテーションを行う。
13	戦略的医療会計Ⅱ	設備投資の経済性の計算方法について理解し、医療会計が戦略的に寄与する事例について理解し、SGD で問題解決の方法を議論し、プレゼンテーションを行う。
14	戦略的医療会計Ⅲ	医療サービス価値の同時統合的管理において医療会計の戦略的役割について理解し、SGD で問題解決の方法を議論し、プレゼンテーションを行う。
15	総括	医療会計についての総括を行う。

〔方略〕講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、課題演習 (SGD)

〔評価方法と基準〕課題 30 %、定期試験 70 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕教務課に設置した質問ノートに記入する。

〔所属分野・場所〕医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕ネットスクール (2019) 『日商簿記検定模擬試験問題集 3 級【平成 31 年度版】』ネットスクール (ISBN-978-4-7810-5309-7) 及びパワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

〔参考書〕國崎歩・太田友三子・大泉早智子・大泉寛 (2017) 『ファーマシューティカル財務・会計講義 (第 2 版)』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)、梅原隆 (2013) 『今すぐできる! ゼロから学べる財務会計入門 (医療経営士のための現場力アップシリーズ④)』日本医療企画、日本政策投資銀行・日本経済研究所 編集 (2017) 『医療経営データ集 2017 数値で理解する医療・介護業界の最新動向 (医療経営士サブテキスト)』日本医療企画

〔担当教員からのコメント〕医療会計の学習は、実際の計算を解きますので、電卓を持参して下さい。事前学習は教科書を読んでから講義に出席し、事後学習で復習をしてください。また日本商工会議所の簿記検定の受験も奨励しており、大泉早智子講師の協力も頂き反転授業も取り入れる予定ですので、基本的な簿記の応用力を高めてください。また医療会計の能力を確かめるため医療会計リテラシー検定も実施する予定です。

日本語表現論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期/後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 海保恵子

〔一般目標 (GIO)〕 「話す」「書く」「読む」「聞く」の、日本語の 4 技能を総合的に伸ばしていく。

「書き言葉」と「話し言葉」の違いを深く理解し使い分けができる。内容や目的によって異なる文体について理解し使い分けができる。待遇表現について習熟する。

〔授業概要〕 薬学や医学に関するニュースに触れ、自らの専門についての知識を増やすとともに内容を要約し意見を述べる。

話すこと、書くことにおいて相手に破綻なく内容を伝えるということを念頭におき、語彙を増やし表現を磨く。クラスメートの発表を聞きながら内容をまとめるノートテイクの力をつける。大学卒業後を視野に入れ必要な待遇表現を身に付ける。

〔授業計画〕 前期/後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	導入	本講義の到達目標を理解する。NIE の技法について理解する。新聞記事に触れ様々な文体について理解する。
2	新聞記事読解 要約文を書く 意見文を書く	読解した文章の要約文が書けるようになる。 意見文が書けるようになる。
3	NIE 発表 文章の推敲 文体	発表のマナーを身に付ける。他者の発表について意見が述べられる。記述した文章を推敲できる。「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて理解する。
4	NIE 発表・ノートテイク グループワーク 文体	発表のマナーを身に付ける。ノートテイク力をつける。特定のテーマについてグループで読解し、意見を交換できる。結果をまとめられる。「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて理解する。
5	NIE 発表・ノートテイク グループワーク発表	発表力を身に付ける。ノートテイク力をつける。他者の発表について意見が述べられる。グループワークについて結果を発表できる。
6	NIE 発表・ノートテイク グループワークについての振り返り 体験を述べる	発表力を身に付ける。ノートテイク力をつける。他者の発表について意見が述べられる。グループワークについて客観的に経過を観察できる。自らの体験について客観的に述べることができる。
7	NIE 発表・ノートテイク 体験を書く 語彙を増やす	発表力を身に付ける。ノートテイク力をつける。他者の発表について意見が述べられる。自らの体験について記述できる。表現力を向上させる。
8	NIE 発表・ノートテイク 語彙を増やす 文章を推敲する	発表力をつける。ノートテイク力をつける。他者の発表について意見が述べられる。表現力を向上させる。記述した文章について推敲できる。
9	NIE レポート作成 待遇表現① 誤った表現の訂正 表現を整える	レポートの書き方を理解する。敬語について基本を理解する。誤文を適切な表現に推敲できる。
10	待遇表現② 誤った表現の訂正 表現を整える	敬語を用いた表現ができるようになる。誤文を適切な表現に推敲できる。読み手に、意図が誤解無く伝わる文章が書ける。
11	待遇表現③ 誤った表現の訂正 表現を整える	敬語を用いた表現ができるようになる。誤文を適切な表現に推敲できる。読み手に、意図が誤解無く伝わる文章が書ける。
12	待遇表現④ 謝った表現の訂正 表現を整える	敬語を用いた表現ができるようになる。誤文を適切な表現に推敲できる。読み手に、意図が誤解無く伝わる文章が書ける。
13	待遇表現⑤ 就職活動における敬語	敬語を用いた表現ができるようになる。学習した敬語を実際の活動に応用することができる。
14	待遇表現⑥ 就職活動における敬語	相対敬語に習熟する。学習した敬語を実際の活動に応用することができる。
15	まとめ	自らの 4 技能の伸びを客観的に考察する。

〔方略〕 NIE、SGD、PL

〔評価方法と基準〕 定期試験 70% 提出物 20% 発表 10% で評価します。追再試験を実施することがあります。

〔学生の質問への対応〕 授業の前後に教室、又は講師控室にて対応します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 プリントを配布します。

〔参考書〕 特にありません。

〔担当教員からのコメント〕 時代の流れと共に「書く」という機会が減り「話し言葉」と「書き言葉」が混じった文章もよく見受けられるようになりました。目的によって異なる文体や表現の違いについて考えてみましょう。「書く」と「話す」とにおいて大学生として、また将来は社会人として求められる表現力を磨いていきましょう。敬語も決して難しいものではありません。皆さんにとって最も必要な敬語から学びます。

日本語Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 海保恵子

[一般目標 (GIO)] 総合的な日本語力の向上、増強を図ります。

[授業概要] 大学で様々な科目を学ぶにあたり必要な日本語能力、講義を聞いて理解し教科書や資料を読み課題レポートを作成しプレゼンテーションを行うなどの能力の向上を図ります。併せて卒業後も視野に入れ、場面や相手に応じての言葉の使い分けや、様々な話題において会話を発展させるコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	読解	社説や論説を読み筆者の考えや主張を理解することができる。語彙を増やす。論理的な思考能力を身につける。
2	記述	特定のテーマについて自分の意見や考えを論理的に記述することができる。
3	記述	記述した文章を推敲することができる。
4	意見を述べる	特定のテーマについて自分の考えや意見を述べるができる。相手の意見に対して賛成、反対などの意見を理由や根拠をあげて述べるができる。
5	読解	社説や論説を読み筆者の考えや主張を理解することができる。語彙を増やす。論理的な思考能力を身につける。
6	記述	特定のテーマについて発表を前提としたレジюмеを作成することができる。
7	記述	レジюмеを推敲することができる。 語彙力、表現力を強化する。
8	発表する	特定のテーマについてレジюмеを見ながら発表することができる。
9	読解	社説や論説を読み筆者の考えや主張を理解することができる。語彙を増やす。論理的な思考能力を身につける。
10	記述	特定のテーマについて発表を前提としたレジюмеを作成することができる。
11	記述	レジюмеを推敲することができる。 語彙力、表現力を強化する。
12	発表する	特定のテーマについてレジюмеを見ながら発表することができる。
13	読解	特定のテーマについて自分の考えや意見を述べるができる。相手の意見に対して賛成、反対などの意見を理由や根拠をあげて述べるができる。
14	記述	特定のテーマについて自分の意見や考えを論理的に記述することができる。
15	記述	記述を推敲することができる。 語彙力、表現力を強化する。

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料等)、SGD、NIE、PL

[評価方法と基準] 定期試験 60%、小テスト 20%、提出物 10%、発表 10% で評価します。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 講義の前後に教室、又は講師控室にて対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

[教科書] プリントを配布します。

[参考書] 特にありません。

[担当教員からのコメント] 授業では積極的に発言を求めますのでどんどん答えてください。そうすることによって発話力、表現力が伸びていきます。

日本文化Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 海保恵子

〔一般目標 (GIO)〕 日本語の総合的技能の向上を図る。

〔授業概要〕 日本で生活する上で齟齬のないコミュニケーションを行う力をつけることを念頭におき、必要な文化的知識を身に付ける。視野を広げ身の回りの様々な情報を深く理解する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
2	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
3	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
4	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
5	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
6	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
7	現代社会Ⅲ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等を取り上げ深く理解する。内在するテーマについて考察し意見が言える。意見文が書ける。
8	待遇表現Ⅲ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
9	待遇表現Ⅲ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
10	待遇表現Ⅲ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
11	待遇表現Ⅲ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる。
12	コミュニケーションⅢ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
13	コミュニケーションⅢ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
14	コミュニケーションⅢ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
15	コミュニケーションⅢ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。

〔方略〕 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料等)、SGD、NIE、PL

〔評価方法と基準〕 定期試験 60 % 小テスト 20 % 提出物 10 % 発表 10 % で評価します。追再試験を実施することがあります。

〔学生の質問への対応〕 講義の前後に教室又は講師控室にて対応します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 プリントを配布します。

〔参考書〕 特にありません。

〔担当教員からのコメント〕 身の回りの様々な物事や出来事について意識的に観察してみましょう。背景には文化が関わっています。それらを分析的に捉えることによって深く理解し自らの表現力の幅を広げていきましょう。

日本事情Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 平阿佐美

[一般目標 (GIO)] 新聞記事、インターネット記事により日本の社会、文化事情を理解する。日本を取り巻くアジア、世界との関わり方を考え、今後社会人として育っていくためのステップにできるような知識、考え方を身につける。

[授業概要] 新聞記事、インターネット記事を基に日本事情についての理解を深め、自身の意見を他者にわかりやすく伝えることを目指す。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス	15 回の授業内容、方法についての説明
2	日本と世界の関わり方について学ぶ ①	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つける。
3	日本と世界の関わり方について学ぶ ②	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つける。
4	日本と世界の関わり方について学ぶ ③	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つける。
5	日本と世界の関わり方について考える ①	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つけ、解決法を探る。
6	日本と世界の関わり方について考える ②	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つけ、解決法を探る。
7	日本と世界の関わり方について考える ③	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つけ、解決法を探る。
8	日本と世界の関わり方について述べる ①	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、問題点、解決法を述べる。
9	日本と世界の関わり方について述べる ②	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、問題点、解決法を述べる。
10	日本と世界の関わり方について述べる ③	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、問題点、解決法を述べる。
11	振り返り	第 2 回から第 10 回までのまとめ、復習
12	日本と世界の関わり方について話す・書く ①	他者との意見交換を通して、考えを深め、発展させることができる。
13	日本と世界の関わり方について話す・書く ②	他者との意見交換を通して、考えを深め、発展させることができる。
14	日本と世界の関わり方について話す・書く ③	他者との意見交換を通して、考えを深め、発展させることができる。
15	まとめ・復習	前期授業のまとめ、復習。

[方略] 講義、演習 (配布資料)

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、グループワーク 20 %、提出物 20 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前後に教室、または、講師控室で対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 特になし

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] グループワークや提出物も評価の対象です。受け身にならず、自ら考え、意見や質問を積極的に述べて日本語力を高めてください。

日本語Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 海保恵子

[一般目標 (GIO)] 総合的な日本語力の向上、増強を図ります。

[授業概要] 大学で様々な科目を学ぶにあたり必要な日本語能力、講義を聞いて理解し教科書や資料を読み課題レポートを作成しプレゼンテーションを行うなどの能力の向上を図ります。併せて卒業後も視野に入れ、場面や相手に応じての言葉の使い分けや、様々な話題において会話を発展させるコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。
2	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。
3	読解	社説や評論を読んで筆者の考えや主張を理解することができる。論理的な思考力を身につける。語彙をふやす。
4	記述	特定の意見や考えに対して賛成や反対の意見などを理由や根拠をあげて論理的に記述することができる。
5	記述	記述した文章を推敲できる。
6	内容理解と要約	まとまったテキストを読み、内容を理解し口頭で要約することができる。
7	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。
8	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。
9	読解	社説や評論を読んで筆者の考えや主張を理解することができる。論理的な思考力を身につける。語彙をふやす。
10	記述	特定の意見や考えに対して賛成や反対の意見などを理由や根拠をあげて論理的に記述することができる。
11	記述	記述した文章を推敲できる。
12	内容理解と要約	まとまったテキストを読み、内容を理解し口頭で要約することができる。
13	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。
14	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。
15	待遇表現	敬語が必要な場面で適切に使うことができる。場面や状況に即した言葉の使い分けができる。

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料等)、SGD、NIE、PL

[評価方法と基準] 定期試験 60%、小テスト 20%、提出物 10% 発表 10% で評価します。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 講義の前後に教室又は講師控室にて対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

[教科書] プリントを配布します。

[参考書] 特にありません。

[担当教員からのコメント] 授業では積極的に発言を求めますのでどんどん答えてください。そうすることによって発話力、表現力が伸びていきます。

日本文化Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 海保恵子

〔一般目標 (GIO)〕 日本語の総合的な技能の向上を図る。

〔授業概要〕 日本で生活する上で齟齬のないコミュニケーションを行う力をつける事を念頭におき、必要な文化的知識を身に付ける。視野を広げ身の回りの様々な情報を深く理解する。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
2	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
3	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
4	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
5	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
6	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
7	現代社会Ⅳ	新聞記事等を中心に社会の話題、問題、文化等について深く理解する。内在するテーマについて考察し意見を言える。意見文が書ける。
8	職業観の確立	現実社会を深く考え、自分自身の職業観の確立のための手法を理解する。
9	職業観の確立	現実社会を深く考え、自分自身の職業観の確立のための手法を理解する。
10	待遇表現Ⅳ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる
11	待遇表現Ⅳ	多様な人間関係において場面や状況に応じた表現ができる
12	コミュニケーションⅣ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
13	コミュニケーションⅣ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
14	コミュニケーションⅣ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。
15	コミュニケーションⅣ	コミュニケーションにおいて相手の心情やニュアンスを理解し、また相手に過不足なく内容を伝えることができる。終助詞を適切に使うことができる。

〔方略〕 講義 (配布プリント)、演習 (配布資料等)、SGD、NIE、PL

〔評価方法と基準〕 定期試験 60 % 小テスト 20 % 提出物 10 % 発表 10 % で評価します。追再試験を実施することがあります。

〔学生の質問への対応〕 講義の前後に教室又は講師控室にて対応します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 プリントを配布します。

〔参考書〕 特にありません。

〔担当教員からのコメント〕 身の回りの様々な物事や出来事について意識的に観察してみましょう。背景には文化が関わっています。それらを分析的に捉えることによって深く理解し自らの表現力の幅を広げていきましょう。

日本事情Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 平阿佐美

[一般目標 (GIO)] 新聞記事、インターネット記事により日本の社会、文化事情を理解する。日本を取り巻くアジア、世界との関わり方を考え、今後社会人として育っていくためのステップにできるような知識、考え方を身につける。

[授業概要] 新聞記事、インターネット記事を基に日本事情についての理解を深め、自身の意見を他者にわかりやすく伝えることを目指す。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス	15 回の授業内容、方法についての説明
2	日本と世界の関わり方について学ぶ①	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つける。
3	日本と世界の関わり方について学ぶ②	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つける。
4	日本と世界の関わり方について学ぶ③	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つける。
5	日本と世界の関わり方について考える①	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つけ、解決法を探る。
6	日本と世界の関わり方について考える②	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つけ、解決法を探る。
7	日本と世界の関わり方について考える③	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、自ら問題点を見つけ、解決法を探る。
8	日本と世界の関わり方について述べる①	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、問題点、解決法を述べる。
9	日本と世界の関わり方について述べる②	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、問題点、解決法を述べる。
10	日本と世界の関わり方について述べる③	日本事情を学びながら、日本とアジア、世界との関わり方について、問題点、解決法を述べる。
11	振り返り	第 2 回から第 10 回までのまとめ、復習。
12	日本と世界の関わり方について話す・書く①	他者との意見交換を通して、考えを深め、発展させることができる。
13	日本と世界の関わり方について話す・書く②	他者との意見交換を通して、考えを深め、発展させることができる。
14	日本と世界の関わり方について話す・書く③	他者との意見交換を通して、考えを深め、発展させることができる。
15	まとめ・復習	後期授業のまとめ、復習。

[方略] 講義、演習 (配布資料)

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、グループワーク 20 %、提出物 20 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前後に教室、または講師控室で対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 特になし

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] グループワークや提出物も評価の対象です。受け身にならず、自ら考え、意見や質問を積極的に述べて日本語力を高めてください。

医療経営概論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 櫻堂 渉

[一般目標 (GIO)] 日本の医療システム、医療環境を医療政策の側面、医療経済、医療市場特性の視点から学習する。そして、医療機関の状況をマクロ的側面およびミクロ的な側面から理解する。病院実務者としての基礎知識を修得する。

[授業概要] 我が国の医療システムの全体像を理解し、医療マネジメントの実践的な視点を養う。病院における医療システムについて具体的な事例を示しながら、日本の医療の特徴、グローバルの中における位置づけ、医療経済理論、医療制度、医療政策的な側面、医療の質の評価、病院管理、医療戦略、医療マネジメントに関して基本的な知識を習得する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	概論	イントロダクション、講義の進め方についての概要。医療とは何か？ 経営とは何か？ 医療のシステムの側面、国民経済における位置づけ、医療の非営利性について学ぶ
2	医療システム論 1	医療システムと医療政策の関わりについて、グローバルの医療制度から我が国の医療について概観する。主に動画を活用する。
3	医療システム論 2	グローバルの対比の中から日本の医療の特徴を導き、日本の医療のグローバルにおける位置づけ、特徴、医療のアクセス、医療のコスト、等から日本の医療の制度設計と実態について学習する。
4	医療システム論 3	医療システムの目的、制度設計の意図、医療費抑制策と医療の質の向上施策について学習する。
5	医療システム論 4	医療制度設計において、どのような仕組みがどのような効果をもたらすのか？ 患者の視点、政府の視点、医療経済の視点、から分析する。
6	医療経済	医療の経済的側面と制度の関連性について、医療経済が医療政策に与えるメカニズムについて関係性を明らかにする
7	医療サービス論	サービス論から医療を再定義する。医療サービスの特殊性、医療サービスがどのような特徴を持ち、医療の質とサービスの関連性について学ぶ
8	日本型医療モデルの現状 1	日本の医療制度について、国際的な位置づけ、医療費の負担及び、医療サービスの提供体制について学ぶ
9	日本型医療モデルの現状 2	グローバル環境の中の日本の医療の位置づけ、パフォーマンス、効率について学ぶ。そして、日本の医療の問題点について議論する
10	病院の経営管理 1	グループワークを通じて、病院の診療部門、診療補助部門、管理部門等の人・仕事・機能について学ぶ
11	病院の経営管理 2	医療における情報化の意味、政策的な意図、医療情報の役割と限界について学ぶ。ケーススタディを通じて、病院における医療情報化の進め方、その成果について学習する。
12	経営概論	経営とな何か？ 一般市場における経営と規制業種における経営、非営利組織の経営について学習し、病院経営の特性を理解する。
13	医療情報と効率化	医療情報の役割について学習する。情報化が医療構造そのもに与える影響度、また医療市場に与える影響について議論する。
14	医療の質の評価	医療機関における医療サービスの質について、その評価方法と限界について理解し、質を上げるための方策について学ぶ
15	まとめ	日本の医療の将来戦略について、可能な選択肢とその限界について学ぶ。

[方略] 講義 (パワーポイント)

[評価方法と基準] 原則として、定期試験 (40%)、課題提出 (40%)、グループワーク (20%) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] メール

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] ケーススタディを支給します。

[参考書] ピーター・F・ドラッカー (2007) 『非営利組織の経営』ダイヤモンド社、一般社団法人日本病院会『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ』

[担当教員からのコメント] 将来、病院経営、医療管理、医療関連ビジネスを目指す人に基礎的な知識、概念、実践的な知識について学びます。

疾病と治療薬Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

准教授 阿部賢志

[一般目標 (GIO)] 疾病と治療薬Ⅰに引き続き、医療用医薬品が用いられる代表的な疾患の病態と治療薬に関する基本的知識を修得する。
 [授業概要] 近年、新しい作用機序をもつ有用な医薬品が数多く登場し、診断法の進歩や治療法の多様化・複雑化と相まって、薬物療法に関する高度な知識が一層要求されるようになってきた。ここでは、人体の構造と働き、医薬品とその作用で学んだ内容を基に、代表的な疾病と医薬品に関する知識の修得を目指す。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	中枢性疾患の病態と薬物 (1)	各種中枢性疾患の病態と治療について概説できる。
2	中枢性疾患の病態と薬物 (2)	各種中枢性疾患の病態と治療について概説できる。
3	消化器の病態と薬物 (1)	消化器系の部位別 (食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓) に代表的な疾患を挙げることができる。
4	消化器の病態と薬物 (2)	消化性潰瘍、腸炎、肝炎・肝硬変、膵炎、胆石症、クローン病、潰瘍性大腸炎の病態、症状、治療について概説できる。
5	呼吸器疾患の病態と薬物	ぜん息、COPD、インフルエンザ、肺炎および肺結核の病態と治療について概説できる。
6	循環器系疾患の病態と薬物	心不全、不整脈、虚血性心疾患、高血圧の病態と治療について概説できる。
7	内分泌疾患の病態と薬物	甲状腺機能異常症、クッシング症候群、尿崩症、アルドステロン症、アジソン病の病態と治療について概説できる。
8	代謝性疾患の病態と薬物 (1)	メタボリックシンドロームと糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症などの代謝性疾患について説明できる。
9	代謝性疾患の病態と薬物 (2)	高尿酸血症、糖尿病およびその合併症、脂質異常症の病態、症状、治療について概説できる。
10	骨・関節疾患の病態と薬物	骨粗しょう症、骨軟化症、関節リウマチの病態と治療について概説できる。
11	悪性腫瘍の病態と薬物	悪性腫瘍の病態、症状、代表的な抗悪性腫瘍薬と副作用およびその対処法について概説できる。
12	腎・尿路疾患の病態と薬物	腎不全、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、糖尿病性腎症の病態と治療について概説できる。
13	血液・造血器疾患の病態と薬物	貧血、白血病、悪性リンパ腫、血友病、紫斑病、血栓・塞栓、播種性血管内凝固症候群の病態と治療について概説できる。
14	生殖器疾患の病態と薬物	前立腺肥大症、前立腺癌、子宮癌、卵巣癌の病態と治療について概説できる。
15	眼疾患および耳鼻咽喉疾患の病態と薬物	緑内障、白内障、メニエール病、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎の病態と治療について概説できる。

[方略] 配布資料を用いた講義

[評価方法と基準] 講義毎に課題を提出し、その内容を評価する。

定期試験は実施しない。

[学生の質問への対応] オフィスアワー：水～木曜日 13:00-17:00

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] 教員の作成したプリント資料を使用する。

[参考書] 田中千賀子、加藤隆一 (2008) 『NEW 薬理学』南江堂、岡村 昇 (2012) 『化学療法学』廣川書店、吉田正・亀井淳三 (2008) 『Pharmacotherapy』ネオメディカル

[担当教員からのコメント] 疾病と治療薬Ⅱは 1 年次から 2 年次にかけて学んだ知識を総動員する必要があります。各回の項目に関係する基礎知識については予習をしてください。

〔一般目標 (GIO)〕 わが国の医療環境及び医療機関 (病院・薬局) の状況をマクロ・ミクロ的な側面から学習し、医療機関が直面している課題とその解決の方向性、医療経営のあり方について理解する。

〔授業概要〕 わが国は現在急速な少子高齢化を迎え、「継続可能な社会保障制度構築」に向けての改革が進んでいる。保険制度を前提にした医療経営は成り立たず、社会環境の変化対応抜きには医療マネジメントは困難な時代である。本講では、日本の医療システムの全体像の理解から、医療管理の実践的な視点を養うために、医療資源、日本の医療制度の特徴、医療機関の分類・機能、組織、経営戦略、医療マーケティングを理解する。また、医療機関に求められる「医療の質」を考える前提としての医療安全管理体制・医療の質評価、チーム医療、組織マネジメントや国の重点施策である「地域包括ケアシステム」等を理解し、非営利組織における医療経営、医療マネジメントの基本的知識と日本の医療政策の方向性についての修得を目指す。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	授業の内容・進めかた、評価方法などについて説明する。
2	医療管理概論	医療とは何か、国民経済における医療を取り巻く環境、医療機関における社会資源及び医療提供施設を支える医療法などの法律を理解する。
3	医療提供システム	医療機関の種類と機能、病院と地域連携のあり方、病院組織と従事する職種とその役割、チーム医療について理解する。
4	日本の医療制度	日本の医療制度の歴史及び日本の医療制度と諸外国の医療制度との比較により、グローバルの中におけるわが国の医療制度の特徴と問題点、将来の展望について理解する。
5	病院の経営管理	病院の収入、保険診療と医療費の支払いの仕組み、診療報酬制度を学び、わが国の医療経営がどのようにコントロールされているか等について理解する。
6	日本の医療保険制度と国民医療費	医療 (医療費) の国際比較により医療経済が医療政策に与えるメカニズムや問題について理解する。
7	医療法と医療改革	医療改革の経緯や目的を学び、社会構造変化が病院経営に及ぼす問題や医療政策の動向を理解する。
8	病院の市場行動	非営利企業の存在理由、サービス提供とその対価の考え方及び病院経営はどうあるべきかについて理解する。
9	病院のマネジメント	医療機関における組織マネジメント・人材マネジメント、組織の健全運営に必要なリーダーシップ、ガバナンスなどについて理解する。
10	医療における競争と規制	医療機関の顧客とは誰か。医療機関における顧客獲得のための差別化と競争戦略、医療情報の役割、広告のあり方など、病院マーケティングについて理解する。
11	医療安全管理概論	日本における医療安全管理体制構築までの経緯、医療安全管理の目的、リスク管理などを学び、国策としての医療安全管理体制の全体像を理解する。
12	医療安全管理体制	医療安全における報告制度とその目的、報告されたレポートの活用などについて理解する。
13	医療の質管理 1	医療の質とは何か。 医療サービスの質評価とその限界について理解し、医療の質を保証・向上させるために病院組織が具体的に行っている対策について修得する。
14	医療の質管理 2	医療事故紛争解決と医療事故調査委員会について理解する。
15	まとめ	第 1 回～第 14 回までの総括と補足

〔方略〕 講義 (パワーポイント) と教科書、資料配布

〔評価方法と基準〕 定期試験 100 %。追・再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業内で質問を受けるが、講義終了後講師室でも受ける。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 一般社団法人日本病院会

〔参考書〕 マイケル・E・ポーター (2009) 『医療戦略の本質』日経 BP 社、ピーター・F・ドラッカー (2007) 『非営利組織の経営』ダイヤモンド社

〔担当教員からのコメント〕 病院は身近に存在し利用もされていますが、意外と病院の機能全体及び経営の成り立ちなどは知る機会が少ないと考えます。そこで、本講では、日本の医療制度や社会保障制度および病院経営管理、医療の質を保証するための医療安全管理体制など、より実践的に知識が修得できる内容になっています。医療制度は、国民としては是非理解しておきたいものです。また、将来医療機関に関心をお持ちの方には、病院の基本的な知識修得が出来ます。

医療経営概論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 櫻堂 渉

[一般目標 (GIO)] 日本の医療システム、医療環境を医療政策の側面、医療経済、医療市場特性の視点から学習する。そして、医療機関の状況をマクロ的側面およびミクロ的な側面から理解する。病院実務者としての基礎知識を修得する。

[授業概要] 我が国の医療システムの全体像を理解し、医療マネジメントの実践的な視点を養う。病院における医療システムについて具体的な事例を示しながら、日本の医療の特徴、グローバルの中における位置づけ、医療経済理論、医療制度、医療政策的な側面、医療の質の評価、病院管理、医療戦略、医療マネジメントに関して基本的な知識を習得する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	概論	イントロダクション、講義の進め方についての概要。医療とは何か？ 経営とは何か？ 医療のシステムの側面、国民経済における位置づけ、医療の非営利性について学ぶ
2	医療システム論 1	医療システムと医療政策の関わりについて、グローバルの医療制度から我が国の医療について概観する。主に動画を活用する。
3	医療システム論 2	グローバルの対比の中から日本の医療の特徴を導き、日本の医療のグローバルにおける位置づけ、特徴、医療のアクセス、医療のコスト、等から日本の医療の制度設計と実態について学習する。
4	医療システム論 3	医療システムの目的、制度設計の意図、医療費抑制策と医療の質の向上施策について学習する。
5	医療システム論 4	医療制度設計において、どのような仕組みがどのような効果をもたらすのか？ 患者の視点、政府の視点、医療経済の視点、から分析する。
6	医療経済	医療の経済的側面と制度の関連性について、医療経済が医療政策に与えるメカニズムについて関係性を明らかにする
7	医療サービス論	サービス論から医療を再定義する。医療サービスの特殊性、医療サービスがどのような特徴を持ち、医療の質とサービスの関連性について学ぶ
8	日本型医療モデルの現状 1	日本の医療制度について、国際的な位置づけ、医療費の負担及び、医療サービスの提供体制について学ぶ
9	日本型医療モデルの現状 2	グローバル環境の中の日本の医療の位置づけ、パフォーマンス、効率について学ぶ。そして、日本の医療の問題点について議論する
10	病院の経営管理 1	グループワークを通じて、病院の診療部門、診療補助部門、管理部門等の人・仕事・機能について学ぶ
11	病院の経営管理 2	医療における情報化の意味、政策的な意図、医療情報の役割と限界について学ぶ。ケーススタディを通じて、病院における医療情報化の進め方、その成果について学習する。
12	経営概論	経営とな何か？ 一般市場における経営と規制業種における経営、非営利組織の経営について学習し、病院経営の特性を理解する。
13	医療情報と効率化	医療情報の役割について学習する。情報化が医療構造そのもに与える影響度、また医療市場に与える影響について議論する。
14	医療の質の評価	医療機関における医療サービスの質について、その評価方法と限界について理解し、質を上げるための方策について学ぶ
15	まとめ	日本の医療の将来戦略について、可能な選択肢とその限界について学ぶ。

[方略] 講義 (パワーポイント)

[評価方法と基準] 原則として、定期試験 (40%)、課題提出 (40%)、グループワーク (20%) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] メール

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] ケーススタディを支給します。

[参考書] ピーター・F・ドラッカー (2007) 『非営利組織の経営』ダイヤモンド社、一般社団法人日本病院会『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ』

[担当教員からのコメント] 将来、病院経営、医療管理、医療関連ビジネスを目指す人に基礎的な知識、概念、実践的な知識について学びます。

診療情報管理論基礎

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

教授 脇田紀子 (実務) 講師 (非) 村井はるか 講師 (非) 押見香代子 (実務)

[一般目標 (GIO)] 診療情報管理を実施するための基礎として、診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い責任ある情報管理を行うための知識と能力を身に付ける。

[授業概要] 診療情報管理の意義と役割について系統的に学習する。診療情報管理の基礎知識として、診療情報管理に関わる法令や諸規則、関連するガイドラインを含め、診療情報の構成や記載方法について学ぶ。

患者が医療機関を受診する際、最初に必ず診療録が作成され、診療に関する情報が記録される。その記録に関する理解を深めることにより、診療記録の価値を十分に発揮させ、責任のある効率的な管理運用に関わっている診療情報管理部門の役割を理解する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	診療情報管理論基礎の講義概要、到達目標を理解する。
2	8-1 診療情報管理の意義と役割	診療情報管理の意義と役割について理解し、説明できる。
3	8-2 診療情報管理の歴史	診療情報管理士の教育資格制度、求められる資質について理解し、説明できる。
4	8-3 診療情報管理と法規等	診療情報管理に関する法規等について、概説できる。
5	8-3 診療情報管理と法規等	診療情報管理に関する法規等について、概説できる。
6	8-3 診療情報管理と法規等	診療情報管理に関する法規等について、概説できる。
7	8-3 診療情報管理と法規等	診療情報管理に関する法規等について、概説できる。
8	8-3 診療情報管理と法規等	診療情報管理に関する法規等について、概説できる。
9	8-4 診療記録の記載方式	診療記録の代表的な記載方法について説明できる。
10	8-5 診療記録の種類と内容	診療記録用紙としてどんなものが必要か説明できる。
11	8-5 診療記録の種類と内容	各診療記録用紙に記載すべき項目と内容が説明できる。
12	8-5 診療記録の種類と内容	各診療記録用紙に記載すべき項目と内容が説明できる。
13	9-3 診療情報管理士の基本業務	診療情報管理士の基本業務について理解し、説明できる。
14	9-3 診療情報管理士の実務	病院実習に向けた準備として、診療情報管理士の実務を理解し、説明できる。
15	まとめ	診療情報管理の意義と役割、関連する法令や諸規則、具体的なガイドライン、診療情報の記載方法について理解し、説明できる。

[方略] 講義 (配布資料、パワーポイント)、1回～8回、10回～12回村井はるか、9回、13回、14回押見香代子、15回村井はるか・脇田紀子
 [評価方法と基準] 定期試験 (70%) 小テスト (20%) 課題提出 (10%) で評価を行う。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 脇田：オフィスアワー：月曜日・水曜日 14:00～16:00 あるいは、講義終了後、講義室にて対応

村井・押見：講義終了後、講義室にて対応

[所属分野・場所] 脇田：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館5階

村井・押見：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館4階 講師控室

[教科書] 武田隆久監修 (2017) 『診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅳ - 専門8章～12章 第9版 (ISBN978-4-903448-27-5)』一般社団法人日本病院会

[参考書] 日野原重明 (1973) 『POS—The Problem-Oriented System 医療と医学教育の革新のための新しいシステム医療と医学教育の革新のための新しいシステム (ISBN978-4260113588)』医学書院、渡辺 直 (2012) 『電子カルテ時代の POS (ISBN978-4260016353)』医学書院、東京都病院協会・診療情報管理委員会編 (2013) 『診療記録監査の手引き (ISBN978-4870585317)』医学通信社

[担当教員からのコメント] 診療情報を適切に取り扱うために、法規やガイドラインは不可欠です。慣れない用語のため、最初は難しく感じるかもしれませんが、きちんと理解しましょう。

テキストだけでは、診療情報管理の実務を理解するのは困難です。実際に医療機関で使用している診療記録用紙など、具体例を適宜使用しながら講義を進めていきます。

病態と治療 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 渡邊 直 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 臨床上重要な呼吸器系疾患、循環器系疾患、血液および造血管疾患ならびに免疫機構の障害について、診療情報管理の観点から、それらの特徴、疫学、危険因子、病態生理、症状・所見、検査、診断、治療、予後などを学習し、理解する。

〔授業概要〕 呼吸器系疾患、循環器系疾患、血液および造血管疾患ならびに免疫機構の障害について、それらの特徴、疫学、危険因子、病態生理、症状・所見、検査、診断、治療、予後などを学ぶことで、各種診療記録の記載内容が把握でき、疾患や検査、手術処置、ケアのリストアップやコーディングが適切に行えることを目指す。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	呼吸器の疾患 (1)	呼吸器の構造を説明できる。呼吸不全の病態とその原因を理解、説明できる。検査や治療法について理解できる。
2	呼吸器の疾患 (2)	肺炎を理解する 1. (肺炎の発生機序、病態、原因病原体の例を挙げられる。これら肺感染症への検査や治療法を理解できる。)
3	呼吸器の疾患 (3)	肺炎を理解する 2. (誤嚥性肺炎、肺化膿症、肺真菌症、肺結核、特殊な肺炎について理解し、病態ならびに検査や治療法を理解できる。) 肺線維症、じん肺を理解し、説明できる。
4	呼吸器の疾患 (4)	肺の腫瘍、胸膜の疾患、それらについての検査法や治療法について理解できる。(肺がん、胸膜炎、気胸など)
5	呼吸器の疾患 (5)	気管支喘息、肺気腫、慢性閉塞性肺疾患、慢性拘束性肺疾患を理解できる。びまん性汎細気管支炎、気管支拡張症について理解できる。
6	循環器の疾患 (1)	心臓血管、循環系の構造を説明できる。心不全の病態とその原因を理解、説明できる。心不全の検査と治療法について理解できる。
7	循環器の疾患 (2)	心臓弁膜症の病態、原因、検査ならびに治療法について理解できる。(リウマチ性弁膜症、変性性弁膜症、加齢性弁膜症、細菌性心内膜炎など)
8	循環器の疾患 (3)	虚血性心疾患の病態、原因、検査ならびに治療法について理解できる。(狭心症、心筋梗塞、虚血性心不全)
9	循環器の疾患 (4)	高血圧症、低血圧症の病態、検査ならびに治療法について理解できる。 不整脈疾患の病態、検査ならびに治療法について理解できる。
10	循環器の疾患 (5)	大動脈瘤、大動脈解離の病態、検査ならびに治療法について理解できる。 末梢動脈疾患、静脈疾患 (静脈瘤、血栓性静脈炎、肺血栓塞栓症) リンパ管疾患の病態、検査ならびに治療法を理解できる。
11	血液および造血管の疾患ならびに免疫機構の障害 (1)	血球の分類、造血器、リンパ節の構造と生理について理解できる。血液腫瘍 (白血病、リンパ腫)、骨髄増殖性腫瘍、骨髄異形成症候群の病態と検査、治療法について理解できる。
12	血液および造血管の疾患ならびに免疫機構の障害 (2)	血液型について理解する。貧血の病態、分類、検査ならびに治療法について理解できる。
13	血液および造血管の疾患ならびに免疫機構の障害 (3)	止血機序ならびに凝固系検査法について理解する。凝固異常疾患の病態、原因、検査ならびに治療法について理解できる。
14	血液および造血管の疾患ならびに免疫機構の障害 (4)	免疫系および免疫系不全について理解できる。サルコイドーシスについて理解できる。自己免疫疾患の概念および病態、検査と治療法について理解できる。
15	小総括	1 回～14 回までの内容の総まとめ、演習問題と解説等。

〔方略〕 講義 (配布プリント、パワーポイント) ならびに適宜の小テスト

〔評価方法と基準〕 定期試験 80 %、小テスト 20 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義前後の学内での質疑応答や電子メール経由での通信

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 診療情報管理士テキスト (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編 第 8 版』一般社団法人日本病院会 ISBN-10:4903448223 ISBN-13:978-4903448220

〔参考書〕 奈良信雄 (2017) 『ナースの内科学』中外医薬社 改訂 10 版 ISBN-10:4498075919 ISBN-13:978-4498075917

〔担当教員からのコメント〕 臨床医学系については病名や検査・手術手技の名称を理解することを目標として、そのために必要な生理学や臨床学の基礎的知識を得ることが勉強の範囲です。深い知識は必ずしも必要ありませんが、診療記録内容を把握しつつ情報整理、コーディングができることを目指した学習としましょう。

病態と治療Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 林 哲也 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 婦人科および産科・周産期科の正常と異常 (疾患) について、その特徴と病態を把握し、症状や所見、検査法、診断法、治療法、予後を学習する。また精神および行動の障害について、特徴、疫学、症状や所見、診断基準、治療・予後を学習する。それらの知識を用いて、診療記録の内容を正確に理解し、適切なコーディングができることを目指す。

〔授業概要〕 婦人科に関しては、女性性器の構造と機能を理解し、女性のライフサイクルを考えながら、代表的な婦人科疾患についての知識を深める。産科・周産期科に関しては、正常な妊娠・分娩・産褥、胎児～新生児の成長発達について基本的な知識を身につけ、正常との比較を行いながら異常 (疾患) についての知識を深める。精神および行動の障害に関しては、診断基準や制度の改訂など、最新の精神医療の動向を踏まえつつ、代表的な精神疾患についての知識を深める。いずれも、実際の症例を可能な限り例示し、診療情報管理士の業務に直結した知識を学べる内容を目指す。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション 女性性器の構造と性機能、内分泌の異常	女性性器の解剖と生理 (内分泌系、月経)、それらに関連する異常 (月経異常、無月経など) についての知識を習得する。
2	性分化と性器形態の異常、性器の炎症・STI (STD)	性腺・性器の発生と分化、性分化異常、性器形態の異常、及び性器の炎症・性感染症についての知識を習得する。
3	腫瘍性病変・前癌病変・腫瘍 乳腺疾患	婦人科腫瘍 (総論、各論) 及び柔毛性疾患についての知識を修得する。乳腺の解剖と生理、及び乳腺疾患についての知識を習得する。
4	女性のライフサイクルの変化、不妊症・ファミリープランニング	加齢による性機能の変化とそれに伴う異常 (更年期障害など)、不妊症およびファミリープランニングについての知識を習得する。
5	正常妊娠 (1)	妊娠の成立とその経過、妊娠中の母体の変化や胎児の発育、及び関連する検査について、概要を説明できる。
6	正常妊娠 (2) 妊娠の異常 (1)	正常妊娠を振り返りつつ、妊娠初期の異常 (妊娠悪阻、流産、異所性妊娠など) についての知識を習得する。
7	妊娠の異常 (2)	妊娠中～後期の異常 (妊娠高血圧症候群、胎盤や羊水の異常、多胎妊娠、胎児発育遅延など) についての知識を習得する。
8	妊娠の異常 (3)	妊娠中～後期の異常 (早産や過期産など) 及び合併症妊娠・母子感染症についての知識を習得する。
9	正常分娩、分娩時の異常、分娩の介助と緊急時の対応	正常分娩とその経過の概要を説明できる。分娩の異常 (分娩の進行に関する異常、分娩過程でみられるその他の異常)、分娩の介助と緊急時の対応についての知識を習得する。
10	産褥及び新生児	産褥期の生理と異常、及び新生児の特徴と新生児期に起こりやすい病態についての知識を習得する。
11	精神および行動の障害 (1)	精神医学の理解、精神機能の把握、精神疾患 (障害) の診察と診断、検査法、治療法、について学習する。
12	精神および行動の障害 (2)	精神疾患 (障害) の理解 (器質性精神障害、認知症、痙攣性疾患、症候性精神障害) について学習する。
13	精神および行動の障害 (3)	精神疾患 (障害) の理解 (精神作用物質使用による精神障害および行動の障害、気分障害) について学習する。
14	精神および行動の障害 (4)	精神疾患 (障害) の理解 (統合失調症、神経症性障害、ストレス反応および適応障害) について学習する。
15	精神および行動の障害 (5)	精神疾患 (障害) の理解 (生理的・身体的要因に関連する障害、児童期・青年期の精神疾患、成人の人格・行動障害) について学習する。

〔方略〕 講義 (配布プリント、視聴覚教材などを適宜使用する。)

〔評価方法と基準〕 定期試験 (100%)。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義前後の講義室等学内もしくはメールにて

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 日本病院会 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 第8版』一般社団法人日本病院会、国試対策問題編集委員会 (2020-2021) 『CBT・医師国家試験のためのレビューブック 産婦人科 2020-2021』メディックメディア、落合慈之 (監修)、秋山剛 (編集) (2015) 『精神神経疾患ビジュアルブック』学研メディカル秀潤社 * 講義内容を理解するために必ず復習し、不明な点は積極的に質問してください。

〔参考書〕 医療情報科学研究所 (2018) 『病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版』メディックメディア、医療情報科学研究所 (2018) 『病気がみえる vol.10 産科 第4版』メディックメディア、落合慈之 (監修)、角田肇 (編集)、針原康 (編集) (2017) 『婦人科・乳腺外科疾患ビジュアルブック 第2版』学研メディカル秀潤社、中村正雄 (2011) 『ハローキティの早引き周産期ケアハンドブック』ナツメ社、国試対策問題編集委員会 (2018) 『CBT・医師国家試験のためのレビューブック 小児科 2019-2020』メディックメディア、日本精神神経学会 (2014) 『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引』医学書院、上島国利 (2017) 『最新図解 やさしくわかる精神医学』ナツメ社 * 上記以外の参考書も必要に応じて講義中に紹介していきます。

〔担当教員からのコメント〕 講義を通じて正しい知識を身につけ、男女の性差や心の問題に対して深い理解をもつ診療情報管理士を目指してください。

病態と治療Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 渡邊 直 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 臨床上重要な内分泌・栄養および代謝疾患、神経系の疾患、眼科疾患、耳鼻咽喉疾患について、診療情報管理の観点から、それらの特徴、疫学、危険因子、病態生理、症状・所見、検査、診断、治療、予後などを学習し、理解する。

〔授業概要〕 臨床上重要な内分泌・栄養および代謝疾患、神経系の疾患、眼科疾患、耳鼻咽喉疾患について、診療情報管理の観点から、それらの特徴、疫学、危険因子、病態生理、症状・所見、検査、診断、治療、予後などを学ぶことで、各種診療記録の記載内容が把握でき、疾患や検査、手術処置、ケアのリストアップやコーディングが適切に行えることを目指す。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	内分泌・栄養および代謝疾患 (1)	内分泌系の生理学について理解できる。(視床下部下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモン、睪ホルモン、レニン-アンジオテンシン、エリスロポイエチンなど)
2	内分泌・栄養および代謝疾患 (2)	甲状腺疾患について、病態、検査ならびに治療法について理解できる。(甲状腺機能低下症ならびに亢進症、甲状腺腫、甲状腺腫瘍) 下垂体疾患について病態、検査ならびに治療法について理解できる。
3	内分泌・栄養および代謝疾患 (3)	副腎疾患、副甲状腺疾患について病態、検査ならびに治療法について理解できる。腎内分泌機能およびその異常について病態、検査ならびに治療法を理解できる。
4	内分泌・栄養および代謝疾患 (4)	糖尿病の原因、病態、検査ならびに治療法について理解できる。糖尿病の合併症(腎症、血管病変、眼病変)の病態、検査ならびに治療補について理解できる。
5	内分泌・栄養および代謝疾患 (5)	糖尿病以外の代謝疾患(肥満症、脂質異常症、高尿酸血症など)について病態、検査ならびに治療法を理解できる。
6	内分泌・栄養および代謝疾患 (6)	(比較的)希な先天性代謝疾患について理解できる。栄養欠乏症について理解できる。電解質異常、酸塩基平衡障害について理解できる。
7	神経系の疾患 (1)	脳神経系の解剖および機能について理解する。脳腫瘍、脳炎、脳膿瘍、髄膜炎の病態、検査および治療法について理解できる。 頭部外傷の病態、検査および治療について理解できる。
8	神経系の疾患 (2)	脳血管障害(脳卒中、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、脳虚血)の病態、検査および治療法について理解できる。
9	神経系の疾患 (3)	中枢神経系変性による筋萎縮症や錐体外路障害(筋萎縮性側索硬化症、ハンチントン病、多系統萎縮症、パーキンソン病、パーキンソン症候群など)を理解できる。
10	神経系の疾患 (4)	脳萎縮性疾患(アルツハイマー病、レビイ小体型認知症など)や脱髄性疾患(多発性硬化症など)を理解できる。
11	神経系の疾患 (5)	てんかん、頭痛、脳神経障害(三叉神経痛や顔面麻痺など)、末梢神経障害、ギランバレー症候群、神経筋接合部障害(重症筋無力症)、筋ジストロフィーなどを理解できる。
12	眼科疾患 (1)	眼の構造について理解できる。視力障害、眼球運動障害、結膜疾患、角膜炎疾患、水晶体疾患(白内障など)について理解できる。
13	眼科疾患 (2)	眼内疾患(ブドウ膜炎の疾患、網膜変性、網膜剥離、網膜血行性疾患、緑内障、視神経疾患など)を理解できる。
14	耳鼻咽喉疾患	耳鼻咽喉の構造について理解できる。鼻炎、副鼻腔炎、外耳炎、中耳炎などの疾患を理解できる。 平衡感覚器の構造を知り、その変調による疾患を理解できる。
15	小総括	1回~14回までの内容の総まとめ、演習問題と解説等。

〔方略〕 講義(配布プリント、パワーポイント)ならびに適宜の小テスト

〔評価方法と基準〕 定期試験 80%、小テスト 20% で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義前後の学内での質疑応答や電子メール経由での通信

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 診療情報管理士テキスト (2016)『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 第8版』一般社団法人日本病院会 ISBN-10:4903448223 ISBN-13:978-4903448220

〔参考書〕 奈良信雄 (2017)『ナースの内科学』中外医薬社 改訂10版 ISBN-10:4498075919 ISBN-13:978-4498075917

〔担当教員からのコメント〕 臨床医学系については病名や検査・手術手技の名称を理解することを目標として、そのために必要な生理学や臨床学の基礎的知識を得ることが勉強の範囲です。深い知識は必ずしも必要ありませんが、診療記録内容を把握しつつ情報整理、コーディングができることを目指した学習としましょう。

微生物と生体防御

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

教授 京ヶ島守

〔一般目標 (GIO)〕医療分野に携わる者の一般常識としての知識の習得にとどまらず、診療情報管理士の業務として診療録に記載された感染症につき理解できるよう十分な知識と応用力の修得をめざします。鳥インフルエンザ、エボラ出血熱、デング熱等国境を越えて伝播する感染症や近年急増している梅毒・麻疹などについても予防、対策、法規も含めしっかり修得します。

〔授業概要〕微生物と生体防御ではまず、1) 疾病をおこす病原体にはどのようなタイプのものがあるか、2) これらの病原体から生体を守るためにどのような仕組みが存在するかを学びます。3) 検査や治療 (薬) には一般にどのようなものがあるかを概観した上で各々の感染症につき広く学習していきます。病原体には、寄生虫のように顕微鏡を使わなくても肉眼で認識できるものも存在します。本授業ではこうした微生物の枠に収まらない病原体についても触れていきます。行政・社会環境の変化にも注意を払うことが求められます。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	微生物と生体防御総論 (1)	感染症とはなにか概観する。一般細菌、リケッチア・クラミジア、ウイルス、真菌、原虫、寄生虫 (ぜん虫) の区別ができる。
2	微生物と生体防御総論 (2)	生体防御機構について。自然免疫・獲得免疫について説明できる。
3	微生物と生体防御総論 (3)	感染経路・予防・検査・診断について説明できる。
4	感染症各論 (1)	腸管感染症 (コレラ、赤痢、食中毒など) について説明できる。
5	感染症各論 (2)	結核とその関連疾患について説明できる。
6	感染症各論 (3)	人畜共通 (細菌性) 感染症やクラミジア・リケッチアなどについて説明できる。
7	感染症各論 (4)	その他の細菌疾患について説明できる。その 1 (破傷風、百日咳、肺炎等)
8	感染症各論 (5)	その他の細菌疾患について説明できる。その 2 (流行性脳脊髄膜炎、敗血症等)
9	感染症各論 (6)	主として性的伝播様式をとる感染症について説明できる。
10	感染症各論 (7)	中枢神経系や皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症と節足動物媒介ウイルス性疾患について説明できる。
11	感染症各論 (8)	肝炎ウイルスについて説明できる。
12	感染症各論 (9)	HIV 及びその関連疾患について説明できる。
13	感染症各 (10)	真菌症・原虫症について説明できる。
14	感染症各 (11)	寄生虫症 (ぜん虫症) について説明できる。 感染症に関連する法規について説明できる。
15	総まとめ	講義の総まとめを行う。

〔方略〕講義 (教科書、配布プリント)、演習 (配布資料) 等

〔評価方法と基準〕定期試験 (80 %)、レポート提出 (20 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕講義の前後適宜。講義のない日は教務課に設置された質問ノートに記入するか、E-mail: mkyogashi@nichiyaku.ac.jp に連絡してください。

〔所属分野・場所〕さいたまキャンパス・生命科学薬学分野 研究実習棟 8F 801 号室

〔教科書〕大井 利夫 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 第 8 版 基礎・医学編 ISBN 9784903448220』一般社団法人日本病院会 プリントとともに、診療情報管理士 I 基礎・医学編を使用します。索引などを利用して、その事項がどのようなものか、イメージできるようにしてください。

〔参考書〕本田武司 (2011) 『はじめの一步のイラスト感染症学・微生物学 ISBN 9784758120234』羊土社、森尾 友宏 (2018) 『病気がみえる vol 6 免疫・膠原病・感染症 第 2 版 ISBN 9784896327205』メディアックメディア 参考書にはイラストや写真の多いものを上げています。理解の助けにしてください。

〔担当教員からのコメント〕微生物・生体防御・感染症に関する基本的知識は単に感染症の治療だけでなく公衆衛生的な面や、院内感染症などを防ぐうえからもきわめて重要です。医療関係者を志す者にとっては職種を問わず必須のものです。人々の往来が地球規模でおこる現在では、国内における感染症だけに目を向けていれば良いというわけにはいきません。海外旅行未経験者のデング熱の発生などはその典型です。特に今年度は東京オリンピック・パラリンピックが予定されるため、輸入感染症・インバウンド感染症の増加が懸念されます。現にこのシラバスを記載している時点でも中国武漢の新型コロナウイルス感染者が日本でも見つかったという報道がなされています。また、近年問題となっている梅毒などの流行に対しても社会情勢や行政の関与が重要となります。こうした背景も踏まえ学習します。

臨床医学総論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 松岡勇二郎 (実務) 教授 橋本寛子 (実務)

[一般目標 (GIO)] 臨床医学に必要な基礎的な知識を身に着ける。

また、各論の導入部として先天性疾患や外傷性傷病について理解する。

[授業概要] 各論を学んでいくうえで必要な健康および疾病の概念および疾病の原因、疾病による組織・臓器の変化、診断および検査方法などについてをテキストに従い学ぶ。

各論の導入部として先天異常や外傷、中毒などについて具体的にテキストに従い学ぶ。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	病気になる原因-1	1. 健康と疾病
2	病気になる原因-2	2. 疾病の原因 3. 病気による組織・臓器の病理的变化 (1)
3	病気になる原因-3	3. 病気による組織・臓器の病理的变化 (2) 4. 病気の診断
4	病気になる原因-4	5. 検査所見 (1)
5	病気になる原因-5	5. 検査所見 (2)
6	病気になる原因-6	6. 治療の方針
7	先天奇形・変形および染色体異常-1	1. 神経系の先天奇形 2. 目・耳・顔面および顔部の先天奇形
8	先天奇形・変形および染色体異常-2	3. 呼吸器系の先天奇形 4. 唇裂および口蓋裂 5. 消化器系のその他の先天奇形
9	先天奇形・変形および染色体異常-3	6. 生殖器の先天奇形 7. 腎尿路系の先天奇形 8. 筋骨格系の先天奇形
10	先天奇形・変形および染色体異常-4	9. その他の染色体異常、他に分類されないもの
11	損傷・中毒・その他の外因の影響-1	1. 軟部組織の損傷
12	損傷・中毒・その他の外因の影響-2	2. 各部位の損傷 頭部損傷・頸部の損傷
13	損傷・中毒・その他の外因の影響-3	2. 各部位の損傷 胸腹骨盤部の損傷・肩・上腕・肘・前腕・手首・手の損傷
14	損傷・中毒・その他の外因の影響-4	2. 各部位の損傷 股関節・大腿・膝・下腿・足首・足の損傷
15	損傷・中毒・その他の外因の影響-5	3. 薬物薬剤および生物学的製剤による中毒
15	損傷・中毒・その他の外因の影響-6 まとめ	4. 薬用を主としない物質の毒作用

[方略] 講義、教科書、配布プリント、パワーポイント 担当 松岡勇二郎：1～13 回 橋本寛子 14,15 回

[評価方法と基準] 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 松岡勇二郎：E-mail で対応。

橋本寛子：原則的に月曜日・火曜日・木曜日 10 時～16 時 E-mail で在室確認をし、予約を取る。

mail には学籍番号、氏名を明記すること。(h-hashimoto@nichiyaku.ac.jp)

[所属分野・場所] 橋本寛子：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 3 階

松岡勇二郎：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] (2016)『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編 第 8 版』一般社団法人日本病院会

[参考書] ラングマン著『人体発生学』メディカル・サイエンス・インターナショナル社、坂井建雄・橋本尚詞『ぜんぶわかる人体解剖図』成美堂

[担当教員からのコメント] 人体の発生を学ぶと先天異常や病気の成り立ちへの理解に役に立ちます。

また、人体のシステムに対して畏敬の気持ちも湧き上がってくるかもしれません。

是非一度真剣に学んでみると良いでしょう。

〔一般目標 (GIO)〕 わが国の医療環境及び医療機関 (病院・薬局) の状況をマクロ・ミクロ的な側面から学習し、医療機関が直面している課題とその解決の方向性、医療経営のあり方について理解する。

〔授業概要〕 わが国は現在急速な少子高齢化を迎え、「継続可能な社会保障制度構築」に向けての改革が進んでいる。保険制度を前提にした医療経営は成り立たず、社会環境の変化対応抜きには医療マネジメントは困難な時代である。本講では、日本の医療システムの全体像の理解から、医療管理の実践的な視点を養うために、医療資源、日本の医療制度の特徴、医療機関の分類・機能、組織、経営戦略、医療マーケティングを理解する。また、医療機関に求められる「医療の質」を考える前提としての医療安全管理体制・医療の質評価、チーム医療、組織マネジメントや国の重点施策である「地域包括ケアシステム」等を理解し、非営利組織における医療経営、医療マネジメントの基本的知識と日本の医療政策の方向性についての修得を目指す。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	授業の内容・進めかた、評価方法などについて説明する。
2	医療管理概論	医療とは何か、国民経済における医療を取り巻く環境、医療機関における社会資源及び医療提供施設を支える医療法などの法律を理解する。
3	医療提供システム	医療機関の種類と機能、病院と地域連携のあり方、病院組織と従事する職種とその役割、チーム医療について理解する。
4	日本の医療制度	日本の医療制度の歴史及び日本の医療制度と諸外国の医療制度との比較により、グローバルの中におけるわが国の医療制度の特徴と問題点、将来の展望について理解する。
5	病院の経営管理	病院の収入、保険診療と医療費の支払いの仕組み、診療報酬制度を学び、わが国の医療経営がどのようにコントロールされているか等について理解する。
6	日本の医療保険制度と国民医療費	医療 (医療費) の国際比較により医療経済が医療政策に与えるメカニズムや問題について理解する。
7	医療法と医療改革	医療改革の経緯や目的を学び、社会構造変化が病院経営に及ぼす問題や医療政策の動向を理解する。
8	病院の市場行動	非営利企業の存在理由、サービス提供とその対価の考え方及び病院経営はどうあるべきかについて理解する。
9	病院のマネジメント	医療機関における組織マネジメント・人材マネジメント、組織の健全運営に必要なリーダーシップ、ガバナンスなどについて理解する。
10	医療における競争と規制	医療機関の顧客とは誰か。医療機関における顧客獲得のための差別化と競争戦略、医療情報の役割、広告のあり方など、病院マーケティングについて理解する。
11	医療安全管理概論	日本における医療安全管理体制構築までの経緯、医療安全管理の目的、リスク管理などを学び、国策としての医療安全管理体制の全体像を理解する。
12	医療安全管理体制	医療安全における報告制度とその目的、報告されたレポートの活用などについて理解する。
13	医療の質管理 1	医療の質とは何か。 医療サービスの質評価とその限界について理解し、医療の質を保証・向上させるために病院組織が具体的に行っている対策について修得する。
14	医療の質管理 2	医療事故紛争解決と医療事故調査委員会について理解する。
15	まとめ	第 1 回～第 14 回までの総括と補足

〔方略〕 講義 (パワーポイント) と教科書、資料配布

〔評価方法と基準〕 定期試験 100 %。追・再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業内で質問を受けるが、講義終了後講師室でも受ける。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 一般社団法人日本病院会

〔参考書〕 マイケル・E・ポーター (2009) 『医療戦略の本質』日経 BP 社、ピーター・F・ドラッカー (2007) 『非営利組織の経営』ダイヤモンド社

〔担当教員からのコメント〕 病院は身近に存在し利用もされていますが、意外と病院の機能全体及び経営の成り立ちなどは知る機会が少ないと考えます。そこで、本講では、日本の医療制度や社会保障制度および病院経営管理、医療の質を保証するための医療安全管理体制など、より実践的に知識が修得できる内容になっています。医療制度は、国民としては是非理解しておきたいものです。また、将来医療機関に関心をお持ちの方には、病院の基本的な知識修得が出来ます。

医療情報演習 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 演習

教授 脇田 紀子 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 国際疾病分類 (ICD) を中心とした国際統計分類群の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と現状、問題点を理解し、基本的な利用方法を修得する。

〔授業概要〕 わが国の人口動態統計のしくみと意義を理解する。人口動態統計に用いられる国際疾病分類 (ICD) についての理解を深め、歴史と現在の状況を概観するとともに、わが国における利用の現状を理解する。健康情報に関して標準的な分類体系を用いることや実際に分類コードを付与することの意味や問題点を把握する。わが国に導入されている DPS/PPS 制度における国際疾病分類 (ICD) の利用について理解する。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	医療情報演習 I の講義概要、到達目標を理解する。
2	わが国の人口動態統計	人口動態統計について理解し、概説できる。
3	国際疾病分類の歴史、現状	国際疾病分類の歴史を学び、現状と課題を理解する。
4	国際疾病分類の構造と使用方法	国際疾病分類 (ICD) の構造を理解し、使用方法を体得する。
5	国際疾病分類の使用法	国際疾病分類 (ICD) を使用して、簡単な傷病名を分類 (コーディング) できる。
6	国際統計分類ファミリーの概念と構成 国際生活機能分類 (ICF)	国際機能分類 (ICF) ならびにその他の国際統計分類ファミリーの概念と構成について理解し、説明できる。
7	国際疾病分類-腫瘍学	国際疾病分類-腫瘍学の利用方法を理解し、簡単な傷病名、組織形態名を分類 (コーディング) できる。
8	死亡診断書と原死因の選択ルール	死亡診断書の記載方法を理解し原死因の選択ルールを説明できる。
9	死亡診断書と原死因の選択ルール	原死因の選択ルールに従って、死亡診断書から適切な原死因を選択することができる。
10	主要病態の選択ルール	主要病態の選択ルールに従って、主要病態を選択できる。
11	国際疾病分類の使用法	国際疾病分類 (ICD) の内容例示表と索引表の使用法を修得し、基本的な傷病名を分類 (コーディング) できる。
12	国際疾病分類の使用法	国際疾病分類 (ICD) を用いる際の注意点を理解し、基本的な傷病名を分類 (コーディング) できる。
13	DPC/PPS 制度における国際疾病分類 の利用、診療報酬請求データの活用	国際疾病分類 (ICD) と診断群分類 (DPC) との関わりについて理解し、説明ができる。診療情報管理における診療報酬請求データの活用する際の方法及び課題を理解し、説明できる。
14	安全管理、医療の質管理	医療のセーフティマネジメントの基本的な要項を理解し、医療現場で最低限必要な知識を身につける。医療の質管理について理解し質評価の現状を説明できる。
15	まとめ	国際疾病分類 (ICD) を中心とした国際統計分類群の分類体系についての理解を深め、意義と現状、問題点を理解し、基本的な利用方法を修得する。

〔方略〕 講義 (教科書、配布資料、パワーポイント)、分類 (コーディング) 演習

〔評価方法と基準〕 定期試験 (40%)、中間試験 (30%)、小テスト (30%) で評価を行う。ただし、合格には定期試験 40% 以上を必要とする。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー：火曜日・水曜日 14:00~16:00 あるいは講義終了後、講義室にて対応

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

〔教科書〕 武田隆久監修 (2017) 『診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅳ - 専門・8 章~12 章 第 9 版 (ISBN978-4-903348-27-5)』 一般社団法人日本病院会、厚生労働大臣官房統計情報部編 (2016) 『疾病、傷害及び死因の統計分類提要 (ICD-10 2013 年版準拠) 第 1 巻内容例示表 (ISBN978-4-87511-674-5)』 一般財団法人厚生労働統計協会、厚生労働大臣官房統計情報部編 (2016) 『疾病、傷害及び死因の統計分類提要 (ICD-10 2013 年版準拠) 第 3 巻索引表 (ISBN978-4-87511-676-9)』 一般財団法人厚生労働統計協会

〔参考書〕 厚生労働省大臣官房統計情報部編 (2020 予定) 『ICD の ABC 令和 2 年度版』 一般財団法人厚生労働統計協会、一般社団法人日本病院会 (2017) 『疾病、傷害及び死因の統計分類提要 (ICD-10 2013 年版準拠) 内容例示表簡易版』 一般社団法人日本病院会、厚生労働省大臣官房統計情報部編、国立研究開発法人国立がん研究センター監修 (2018) 『国際疾病分類-腫瘍学 (NCC 監修) 第 3.1 版 ICD-O (ISBN978-4-87511-771-1)』 一般財団法人厚生労働統計協会

〔担当教員からのコメント〕 医療情報演習Ⅱの基礎となる科目ですので、しっかりと基本を修得しましょう。教科書は、医療情報演習Ⅱでも引き続き使用しますので、必ず購入してください。

診療情報管理論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択必修) 講義

教授 脇田紀子 (実務) 講師 (非) 村井はるか 教授 大田祥子 講師 (非) 押見香代子 (実務)

[一般目標 (GIO)] 診療情報管理論基礎に引き続き、診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力を身に付ける。応用可能な基礎知識を習得した後、実務として関わることが多い業務について学習する。

[授業概要] 紙カルテ運用、電子カルテ運用における診療情報管理について理解する。診療情報管理士が実務で関わることが多いDPC関連業務、がん登録業務、データベース関連業務に加えて、医師事務作業補助者業務等についても、実務者の視点から学習し、病院実習に備える。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	診療情報管理論の講義概要、到達目標を理解する。
2	診療情報管理士の業務指針と求められる資質	診療情報管理士の業務指針について理解し、求められる資質について考える。
3	紙カルテ運用における診療情報管理	紙カルテ運用における診療情報管理について理解し、説明できる。
4	電子カルテ運用における診療情報管理	電子カルテ運用における診療情報管理について理解し、説明できる。
5	診療情報の提供に関わる業務、診療情報管理士による改善への取り組みと活動組織	診療情報管理士の具体的な業務の一例として診療情報の提供、医療の質評価、医療安全管理等ならびに活動組織について理解し、説明できる。
6	医療の質評価と医療安全管理	病院全体の活動としての医療の質評価、医療安全管理について理解し、説明できる。
7	DPC制度と実務について	DPC/PPS制度における基本的な項目について理解し、説明できる。
8	DPC制度と実務について	DPC/PPS制度における影響調査(基礎調査)について理解し、説明できる。
9	DPC制度と実務について	DPC/PPS制度における病院指標の公開について、実例を参照して理解し、説明できる。
10	DPC制度と実務について	DPCデータの活用、データの精度について診療情報管理士の役割を理解し、説明できる。
11	医師事務作業補助者業務とがん登録の実務について	医師事務作業補助者の業務と体制、診療情報管理士との役割の違いを理解し、説明できる。がん登録について、理解し説明できる。
12	レセプト情報・特定検診等情報データベースについて	その他のデータベースへの登録業務について理解し、説明できる。
13	レセプト情報・特定検診等情報データベースについて	公開されているデータベースを活用して、分析することができる。
14	レセプト情報・特定検診等情報データベースについて	公開されているデータベースを活用して、分析することができる。
15	まとめ	紙カルテ運用、電子カルテ運用における診療情報管理について理解する。DPC関連業務、がん登録業務、データベース関連業務、医師事務作業補助者業務等について、実務者の視点から学習する。

[方略] 講義(教科書、配布資料、パワーポイント) 演習(PC) 発表 教員分担: 村井 1~3回、6~10回、押見 4~5回、11回、大田 12~14回、脇田・村井 15回

[評価方法と基準] 定期試験(70%)、小テスト(15%)、課題提出(15%)で評価を行う。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 脇田: オフィスアワー: 火曜日・水曜日 14:00~16:00 あるいは講義終了後、講義室にて対応。

大田: オフィスアワー: 木曜日・金曜日 14:00~16:00 あるいは講義終了後、講義室にて対応。

押見: 講義終了後、講義室にて対応。

[所属分野・場所] 脇田: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 5階

大田: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 2階

村井・押見: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

[教科書] 武田隆久監修(2017)『診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅳ-専門・8章~12章 第9版 (ISBN978-4-903348-27-5)』一般社団法人日本病院会

[参考書] 厚生労働省大臣官房統計情報部編、国立がん研究センター監修(2018)『国際疾病分類-腫瘍学(NCC監修)第3.1版 ICD-O (ISBN978-4-87511-771-1)』一般財団法人厚生労働統計協会、渡邊 直(2012)『電子カルテ時代のPOS (ISBN978-4-260016353)』医学書院

[担当教員からのコメント] 授業計画に関しては、前期の診療情報管理論基礎の進捗具合により、若干変更する可能性もあります。第1回目の講義の際に正式なシラバスを配布予定としています。

診療情報管理論の各項目については、3年生での病院実習に向けての具体的な準備も兼ねています。基礎知識を修得したうえで、病院実習では、応用実践力が求められます。

経済学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 経済学は、社会の経済活動を研究する学問であり、有限である資源から、どのようにして価値を生産し分配していくかをテーマとしている。この経済学的手法を学習し、さらにこれら経済学的手法を用いて医療について分析する能力を養うことを目標とする。

〔授業概要〕 本講義では、まず、経済学の全般について学習して理解する。そして経済学の代表的な理論や手法を用いて、医薬品・医療保険・病院経営などを経済学的な観点から研究する医療経済学及び薬剤経済学の理解を深め、医療政策にも精通した創造性あふれる人材を育成する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	経済学の基本的な概念と分業の利益について理解する	経済学とは何か、考え方、経済データの見方及び分業の利益、絶対優位と絶対劣位、機会費用、社会的分業、比較優位について学習して理解する。
2	需要と供給について理解する	需要の決定要因と需要曲線、供給の決定要因と供給曲線、曲線の傾き、価格の弾力性について学習して理解する。
3	価格メカニズムについて理解する	財の取引と市場、市場価格、市場価格の変化とその要因、市場価格と裁定取引について学習して理解する。
4	市場の効率性について理解する	市場の課題、最低販売価格と供給量、市場均衡の効率性について学習して理解する。
5	市場の失敗と限界について理解する	独占、外部効果、公共財、情報の非対称性、市場メカニズムと所得配分、ローレンツ曲線、ジニ計数について学習して理解する。
6	労働市場について理解する	労働市場の昨日と限界、労働市場と格差、労働市場を補完する政策、名目賃金と実質賃金について学習して理解する。
7	GDP について理解する	GDP とは、経済の循環、国民生活と GDP、生産能力の大きさ、需要の大きさについて学習して理解する。
8	消費需要と投資需要について理解する	日本の消費と投資、消費需要、投資需要、乗数効果、景気対策について学習して理解する。
9	貨幣と金融について理解する	貨幣とは、金融とは、直接金融と間接金融、金融政策、貨幣乗数、信用創造について学習して理解する。
10	政府の役割について理解する	政府の経済的役割、資源配分の調整、所得の再配分、政府予算、予算策定、歳入と歳出について学習して理解する。
11	外国貿易と為替レートについて理解する	日本の貿易の状況、貿易とマクロ経済、為替レートの決定、国際金融取引、外国通貨需要について学習して理解する。
12	経済成長と国民生活について理解する	経済成長率、経済成長の決定要因、経済成長率の予測、経済成長の分析手法、経度と経済成長について学習して理解する。
13	医療経済学について理解する	医療経済学の考え方、医療市場のメカニズム、国民医療費の問題について学習して理解する。
14	薬剤経済学について理解する	薬剤経済学の考え方、薬剤経済評価、薬剤経済分析、費用の種類と費用分析について学習して理解する。
15	総括	まとめ

〔方略〕 講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、課題演習 (SGD)

〔評価方法と基準〕 課題 30 %、定期試験 70 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 教務課に設置した質問ノートに記入する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 中谷武・中村保 編著 (2014) 『1 からの経済学』中央経済社 (ISBN-13: 978-4502680809)

〔参考書〕 橋本英樹・泉田信行 編 (2011) 『医療経済学講義』東京大学出版会、津谷喜一郎・アリエル バレスニアク 編集 (2008) 『薬剤経済学の活用～医薬品の経済的エビデンスをつくる・つかう～』エルゼビアジャパン

〔担当教員からのコメント〕 経済学の基本的概念を学修した上で、視聴覚教材なども利用し、テーマごとに SGD によるアクティブラーニングで医療に関する分析を行い理解を深めます。SGD には大泉早智子講師にも協力を頂く予定です。テキストを事前学習して講義に臨み、講義後には事後学習を行い理解を深めて下さい。またその学習成果を経済学検定にも活かして下さい。皆さんの積極的な参加を期待します。

会計・簿記Ⅰ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 菊谷 正人

〔一般目標 (GIO)〕 会計に関する基本的な知識、仕訳、計算、貸借平均の原理を理解する。

〔授業概要〕 会社や個人事業主は一年に一度、もうけや財産がいくらあるのかを明らかにしなければいけません。そのためには、モノの売買、お金の貸し借りなど、日々の経済活動を詳細に記録しておかなければいけません。この日々の取引を記録する手段が簿記です。近年のグローバル社会では次の3つの言語、①自然言語②人工言語③会計言語に精通していることが国際人の要件となっています。①の言語は英語、②はコンピュータ、そして③が簿記です。従って、現代の経済社会において国際人として活躍するためには簿記は必要不可欠な知識となっています。本講義では、簿記に関する基本的な知識を理解すると共に会計感覚を身につけることを目的とします。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	会計、簿記とは何か	簿記の意義を理解し、説明することができる。 会計学における簿記、仕訳、財務諸表等に関する導入的講義
2	商品売買の基本Ⅰ	仕入、売上に関する仕訳をすることができる。
3	商品売買の基本Ⅱ	掛け、返品、諸掛りについて理解し、仕訳をすることができる。
4	小切手について	小切手に関する取引について理解し、仕訳をすることができる。
5	帳簿残高等について	現金過不足、実際有高と帳簿残高の相違に関する取引について理解し、仕訳をすることができる。
6	当座預金等について	当座預金に関する取引について理解し、仕訳をすることができる。
7	小口現金等について	インプレストシステムについて理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
8	受取手形と支払手形	手形の振出し、受け入れ、手形代金の取り立て、支払い等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
9	電子記録債権・債務について	電子記録債権・債務について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
10	お金の貸付と借入について	貸付金、借入金、手形を絡めたお金の貸借について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
11	株式について	株式の売買、配当金について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
12	公社債について	公社債について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
13	内金、未収入金等について	前払金、前受金、未収入金、未払金について理解し、それに関する仕訳をすることができる。
14	給料について	給料の支払いについて理解し、立替金、預り金を使用して仕訳をすることができる。
15	仮払金、借受金、受取商品券等について	仮払金、借受金、受取商品券等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。

〔方略〕 講義 (板書、配布プリント)

〔評価方法と基準〕 定期試験 50%、講義内 10分間小テスト 30%、宿題 (計算問題、論述問題) 20%

追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義終了後に講義室または講師控室にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 渡部裕巨他編 (2020) 『検定簿記講義 3級 商業簿記』中央経済社

〔参考書〕 適宜紹介します。

〔担当教員からのコメント〕 本講義は、会計の基本的な感覚を無理なく身につけられるように、一般的な言葉で、ゆっくり、わかりやすい説明を心がけて授業を行います。

簿記・会計は一つ一つの知識を積み重ねることが習得に繋がります。講義の中で、説明→問題演習→解説を繰り返すことで、無理なく会計の基本的な知識を学んでいきます。

本講義は、教科書の他に配布プリントと板書で進めていきますので、板書と説明した内容から各自ノートを作成して講義を受講して下さい。

会計・簿記Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 菊谷 正人

〔一般目標 (GIO)〕 日商簿記検定 3 級合格程度の仕訳、記帳能力を身につける。

〔授業概要〕 本講義では、会計人として必要な基本的な簿記知識を確実に習得することを目標とした講義を行います。前半は、財務諸表作成に必要な仕訳等に関する知識を身につけ、後半では問題演習を中心に行い、日商簿記検定 3 級合格程度の簿記の能力を身につけることを目指します。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	固定資産の取得と売却	固定資産の購入、売却に関する取引を理解し、それに関する仕訳をすることができる。
2	減価償却について	減価償却の意義について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
3	貸倒れについて	貸倒れについて理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
4	資本金等について	資本金、引出金等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
5	税金について	法人税、住民税、事業税、消費税等について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
6	費用と収益の見越し・繰延べについて	費用と収益の見越し・繰延べの意義について理解し、それに関する取引の仕訳をすることができる。
7	伝票制度について	3 伝票制について理解し、それに関する仕訳を行い伝票を作成することができる。
8	伝票と集計	仕訳集計表の作成と総勘定元帳への転記について理解し、それを作成することができる。
9	決算と決算手続きについて	決算の意義と決算整理手続きについて理解し、それに関する仕訳を行うことができる。
10	帳簿書類の作成	各種帳簿書類、試算表の作成をすることができる。
11	精算表	精算表の意義について理解し、それに関する決算整理仕訳を行い、精算表を作成することができる。
12	財務諸表の作成	損益計算書と貸借対照表を作成することができる。
13	総復習問題演習Ⅰ	日商簿記検定 3 級問題演習と解説
14	総復習問題演習Ⅱ	日商簿記検定 3 級問題演習と解説
15	総復習問題演習Ⅲ	日商簿記検定 3 級問題演習と解説

〔方略〕 講義 (板書、配布プリント)

〔評価方法と基準〕 定期試験 50 %、講義内 10 分間小テスト 30 %、宿題 (計算問題、論述問題) 20 %

追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義終了後に講義室または講師控室にて対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 渡部裕巨他編 (2020 年) 『検定簿記講義 3 級 商業簿記』中央経済社

〔参考書〕 適宜紹介します。

〔担当教員からのコメント〕 本講義では、会計・簿記Ⅰの理解を前提として講義を進めていきます。

会計・簿記Ⅰよりも更に進んだ内容を学習していくので毎回の講義に集中して臨んで下さい。

簿記は、何度も繰り返し問題を問うことで定着していきます。毎回の講義の理解が次の講義の理解度に大きく影響していきますので、復習に力を入れて勉強して下さい。

問題演習と解説を中心とした講義を行い、日商簿記 3 級合格レベルの簿記知識習得を目指します。

医療会計

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕医療における会計の役割は、医療経営を測定評価する重要性をおびている。医療法人などの健全なる運営に資することを目的とする医療法人会計基準の制定などは、これからの医療従事者が備えておかなければならない資質の一つとして、医療会計に関する知識の必要性がクローズアップされてきている。本講義ではこれらの医療業界の現状と将来をとらえながら医療会計のエッセンスと分析の手法を学習し、もってビジネスマインドの醸成を目標とする。

〔授業概要〕本講義では、まず、医療における会計の役割とその基本的な会計処理方法を理解する。そして、医療法人会計基準を詳しく考察し、医療法に規定する計算書類の作成や経営分析の手法を学習する。さらに病院経営管理指標、病院管理会計や、医療の質の向上をめざす戦略的な医療会計の在り方をSGDで検討し、問題解決の手法を学習することによって創造性あふれる医療経営をリードする人材の育成を目的とする。

〔授業計画〕後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医療会計の開設主体と会計基準	病院などを運営する母体などを考察し、病院会計準則や医療法人会計基準について理解する。
2	医療会計の基礎	会計の基本や医療会計の勘定科目や会計帳簿について理解する。
3	医療会計業務の流れ	病院の日常業務と医療会計の関連、決算業務や内部統制について理解する。
4	保険制度、診療報酬の概要と会計処理	公的保険制度と診療報酬及びDPC、病院で使われているシステムについて理解する。
5	医療会計における資金管理	現金預金などの資金管理や借入金などの管理、資金繰表やキャッシュフロー計算書の役割について理解する。
6	医療法人の制度と医療会計	医療法人の設立運営および、作成する計算書類について理解する。
7	診療収益の会計処理	病院の窓口管理、収益の認識基準医業未収金などの会計処理を理解する。
8	医薬品・診療材料等の棚卸資産管理と会計処理	医薬品・診療材料の購入、棚卸の会計処理の流れについて理解する。
9	固定資産・リース資産の会計処理	固定資産の購入、減価償却、改良・修理・除却・売却の会計処理について理解する。
10	税金、人件費及び経費の会計処理	税金計算、給与計算、社会保険料、賞与、退職給付会計などの会計処理について理解する。
11	財務諸表分析	財務分析、医業収益分析、医業費用分析、安全性分析、効率性分析、機能性分析、病院経営管理指標などについて理解する。
12	戦略的医療会計Ⅰ	医療会計を戦略的に病院管理に利用する病院管理会計について理解し、SGDで問題解決の方法を議論し、プレゼンテーションを行う。
13	戦略的医療会計Ⅱ	設備投資の経済性の計算方法について理解し、医療会計が戦略的に寄与する事例について理解し、SGDで問題解決の方法を議論し、プレゼンテーションを行う。
14	戦略的医療会計Ⅲ	医療サービス価値の同時統合的管理において医療会計の戦略的役割について理解し、SGDで問題解決の方法を議論し、プレゼンテーションを行う。
15	総括	医療会計についての総括を行う。

〔方略〕講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、課題演習 (SGD)

〔評価方法と基準〕課題30%、定期試験70%の合計100%で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕教務課に設置した質問ノートに記入する。

〔所属分野・場所〕医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス2号館4階

〔教科書〕ネットスクール (2019) 『日商簿記検定模擬試験問題集3級【平成31年度版】』ネットスクール (ISBN-978-4-7810-5309-7) 及びパワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

〔参考書〕國崎歩・太田友三子・大泉早智子・大泉寛 (2017) 『ファーマシューティカル財務・会計講義 (第2版)』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)、梅原隆 (2013) 『今すぐできる!ゼロから学べる財務会計入門 (医療経営士のための現場力アップシリーズ④)』日本医療企画、日本政策投資銀行・日本経済研究所 編集 (2017) 『医療経営データ集2017 数値で理解する医療・介護業界の最新動向 (医療経営士サブテキスト)』日本医療企画

〔担当教員からのコメント〕医療会計の学習は、実際の計算を解きますので、電卓を持参して下さい。事前学習は教科書を読んでから講義に出席し、事後学習で復習をしてください。また日本商工会議所の簿記検定の受験も奨励しており、大泉早智子講師の協力も頂き反転授業も取り入れる予定ですので、基本的な簿記の応用力を高めてください。また医療会計の能力を確かめるため医療会計リテラシー検定も実施する予定です。

一般用医薬品学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 針ヶ谷智樹

〔一般目標 (GIO)〕 一般用医薬品が何故使用されるのか？ それは、各症状を緩和するためである。そのためには、各症状がなぜ起きるのかを理解しなければならない。そして、その症状を緩和するにはどうすればいいのか？ そのためには、身体の仕組みを理解しなければならない。身体の機能を理解し、そこで作用機序を考えることにより、どういった効果・効能が現れるかを考えていくことが出来る。もちろん、その成分の副作用や禁忌事項も、医薬品を使用する上では知っておかなければならない。本授業では、このような ① 身体の仕組み ② 医薬品成分の作用機序 ③ 効果効能 ④ 副作用・禁忌 を概説し、医薬品というものを総合的にとらえた講義を行っていく。

〔授業概要〕 登録販売者試験において、一般用医薬品学は大きなウェイトを占めている科目である。すなわち、登録販売者試験合格にとって一般用医薬品学を理解することは必須であると言わざるを得ない。もちろん、医療従事者として薬に関わる登録販売者は、医薬品というものを理解しておくことが必要である。登録販売者試験合格を目指すことはもちろんのこと、実際に薬を販売する上で必要な知識を理解し、身につけることを目的とする。もちろん、登録販売者として薬を販売する以上、試験内容以外の薬に関する知識も身につけなければならない。そういった『薬を紹介する上での知識』を身に付けることも目的とする。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	解熱鎮痛薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
2	咳止め・痰を出やすくする薬 (鎮咳去痰薬)	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
3	内服アレルギー用薬 & 鼻に用いる薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
4	腔咽喉薬、うがい薬 & 口内炎用薬 & 禁煙補助剤	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
5	かぜ薬 & 歯痛・歯槽膿漏薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
6	眠気を促す薬 & 眠気を防ぐ薬 & 鎮暈薬 (乗物酔い防止薬)	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
7	胃の薬 & 胃通鎮痛鎮痙薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
8	腸の薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
9	強心薬 & 高コレステロール改善薬 & 貧血治療薬 & その他の循環器用薬 & 小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤 (小児鎮静剤)	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
10	痔の薬 & その他の泌尿器用薬 & その他の消化器用薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
11	婦人薬 & 眼科用薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
12	皮膚に用いる薬 ①	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
13	皮膚に用いる薬 ②	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
14	滋養強壮保険薬 & 漢方処方製剤・生薬製剤	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。
15	公衆衛生用薬 & 一般検査薬	医薬品を構成している各成分の作用機序、効果・効能、禁忌、注意事項等を理解することにより、医薬品としての薬効、使用方法等を説明できるだけの学力を養成する。

〔方略〕 講義 (教科書・配布プリント・板書)

〔評価方法と基準〕 レポート + 試験 (マークシート)

- ・ 評価のウェイトは レポート (40) + 試験 (60) とする。
- ・ レポートの提出期限は絶対のものとする。
- ・ 受講態度に関しても、評価対象となる場合がある。

〔学生の質問への対応〕 ・ 講義後の休み時間での対応。 ・ E-mailにて対応。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 登録販売者試験 下巻 (日本薬剤師研修センター)

〔参考書〕 オリジナルプリント (作成)

〔担当教員からのコメント〕 ① 主に作用機序、効果効能、副作用、その他留意する点に関して講義していく。自習する際は、テキストの『ここがツボ!!』の部分を中心に復習していくといい。受診勧奨に関しては、講義後必ず読んで復習の糧とすること。

② 『受講している人の妨げとなるような行為を慎むこと』に留意してもらいたい。講義中に私語等により騒がしくする学生が毎年のようにいるが、その度に静かに受講している学生の集中が妨げられる状況となっている。アンケートでも、『講義中うるさい』といった意見が出ている。他の人の受講を妨げる行為に関しては、厳重なる対応を心がけるつもりである。

一般用医薬品情報学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 渡邊 隆

〔一般目標 (GIO)〕 一般用医薬品の適正使用に必要なとなる医薬品情報の購買者へ正確な情報伝達を行う為、情報の把握と伝達ツール等を理解し、医薬品製造業者から購買者への情報を分かりやすく伝え事故のない医薬品販売のサポートが出来る能力を身に着ける。

〔授業概要〕 一般用医薬品を販売できる登録販売者の合格をめざし、基本的な内容から一般用医薬品の販売に関する法律、決まりごとなどを専門用語の理解を伴いながら進めていきます。

現場で必要とされている事等も交えて能力 UP をともに考えていきます。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	授業の内容、進め方、試験方法等の説明
2	医薬品に共通する特性と基本的な知識	医薬品の本質 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 その 1
3	医薬品に共通する特性と基本的な知識	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 その 2
4	医薬品に共通する特性と基本的な知識	適切な医薬品選択と受診勧奨 薬害の歴史
5	医薬品に共通する特性と基本的な知識	まとめ 小テスト
6	薬事関係法規・制度	医薬品の販売業の許可
7	薬事関係法規・制度	医薬品の取扱い その 1
8	薬事関係法規・制度	医薬品の取扱い その 2
9	薬事関係法規・制度	医薬品の取扱い その 3
10	薬事関係法規・制度	医薬品販売に関する法令順守
11	医薬品の適正使用・安全対策	まとめ 小テスト
12	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報 その 1
13	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報 その 2 医薬品の安全対策
14	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の副作用等による健康被害の救済 一般用医薬品に関する主な安全対策 医薬品の適正使用のための啓発活動
15	医薬品の適正使用・安全対策 まとめ	まとめ 小テスト 試験対策

〔方略〕 講義 (教科書使用 ラインマーカー)

〔評価方法と基準〕 小テスト (40%) および定期試験 (60%)。追再試験を実施することがある。

シラバスではまとめの小テスト 3 回としてありますが、オリエンテーションで比率や回数を決めたいと思います。昨年は毎回小テストを行いました。

〔学生の質問への対応〕 授業終了時に質問の時間を設けます。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 日本薬業研修センター『登録販売者試験 受験対策 共通テキスト 上巻』日本薬業研修センター

〔参考書〕 必要な参考資料を配布いたします。

〔担当教員からのコメント〕 各都道府県で 8 月～12 月に行われる登録販売者試験に関わる 3 科目を学習します。

試験の合格に向けて頑張りましょう。

薬理学 I

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

准教授 脇 能広

〔一般目標 (GIO)〕 生体内での薬の作用を理解するために、用量依存性および生物学的反応の意義、発現機序について、代表的な受容体、酵素、輸送体、イオンチャネルおよび細胞内情報伝達系に関する基本的知識を修得する。

〔授業概要〕 薬理学 I では、薬の作用で薬理学についての基本的な概念ならびに主要なキーワードについて説明し、種々の主要な疾患の治療に用いられる薬物群ならびにそれらの用量依存性および発現機序について、代表的な受容体、酵素、輸送体、イオンチャネルおよび細胞内情報伝達系に関して基本的知識を学ぶ。薬の作用に続いて各論の最初として、自律神経系に作用する薬物群、体性神経系に作用する薬物群について解説する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	薬の作用 (1) 薬理学について 薬物の用量と作用の関係	薬理学とは、薬理学の歴史、薬物作用様式と用量依存性について理解する。 薬物の用量と作用の関係を理解する。 アゴニストとアンタゴニストについて理解する。
2	薬の作用 (2) 薬物が作用するしくみ	薬物が作用するしくみについて、受容体、酵素、イオンチャネルおよびトランスポーターを理解する。
3	薬の作用 (3) 受容体 生体内情報伝達系	代表的な受容体を列挙し、刺激あるいは遮断された場合の生理反応を理解する。 生体内情報伝達系を作用発現とする代表的な薬物群を列挙し生理活性反応を理解する。
4	薬の作用 (4) 薬物の体内動態 薬物相互作用	薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄) と薬効発現の関わりについて理解する。 薬理作用に由来する代表的な薬物相互作用を列挙、その機序を理解する。
5	薬の作用 (5) 適用法 薬物連用	適用法、年齢差、性差、食事等の意義を理解する。 薬物連用、薬物依存性および相互作用について理解する。 主作用、副作用、有害作用、毒性との関連性ならびに相違について理解する。
6	自律神経系作用薬 (1) 末梢神経系 自律神経系の情報伝達機構	自律神経系の構成と機能の概要について理解する。
7	自律神経系作用薬 (2) 交感神経興奮薬	交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
8	自律神経系作用薬 (3) 交感神経遮断薬	交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
9	自律神経系作用薬 (4) 副交感神経興奮薬 副交感神経遮断薬	副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物について理解する。
10	自律神経系作用薬 (5) 自律神経節遮断薬	神経節に作用する代表的な薬物について理解する。体性神経系の構成と機能の概要について理解する。
11	体性神経系作用薬 (1) 体性神経系の刺激伝達	体性神経系の刺激伝達について理解する。
12	体性神経系作用薬 (2) 局所麻酔薬	知覚神経に作用する代表的な薬物について理解する。
13	体性神経系作用薬 (3) 筋弛緩薬	運動神経系に作用する代表的な薬物について理解する。
14	体性神経系作用薬 (4) 筋疾患の薬、病態・治療	以下の疾患について説明できる。 進行性筋ジストロフィー、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症
15	総まとめ	当該範囲の総まとめ

〔方略〕 スライドによる講義

〔評価方法と基準〕 定期試験 (100 %) を実施する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (講義日の午前 9 時から午後 5 時)

講義日以外および不在時は、メール (waki@nichiyaku.ac.jp) にて質問等を受け付ける

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 一般薬学部門本部棟 3-209

〔教科書〕 植松俊彦・野村隆英・石川直久 (2008 年) 『シンプル薬理学』 南江堂、『講義プリント』

〔参考書〕 小野寺憲治 (平成 20 年) 『わかりやすい薬の効くプロセス』 ネオメディカル、佐藤 進 (平成 23 年) 『新薬理学テキスト』 廣川書店、宮本謙一 (平成 22 年) 『薬学生・薬剤師のための 疾患別 薬物療法管理マニュアル』 じほう

〔担当教員からのコメント〕 講義ではスライドプリントと板書を活用する。ディスカッションを取り入れて講義を展開していく。

講義内容を単独科目で学習するのではなく、1 年次に学習した内容および 2 年次の他の講義内容と関連づけをして日常の学習を行って下さい。

疾病と治療薬 I

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

教授 井上裕子

〔一般目標 (GIO)〕 一般用医薬品として用いられる主な有効成分に関して、基本的な効能効果及びその特徴、飲み方や飲み合わせ、年齢、基礎疾患等、効き目や安全性に影響を与える要因、起こりうる副作用等について理解を深め、購入者への情報提供や相談対応に活用できるようにする。

〔授業概要〕 多数の薬物に遭遇しても知識を応用できるような基盤を与えることを目的とし、疾病と治療薬 I では、2 類および 3 類に分類される一般用医薬品薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨等について解説する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	精神神経に作用する薬	かぜの発症と諸症状、発熱および痛みが起こる仕組みについて説明することができる。代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
2	精神神経に作用する薬	睡眠が起こる仕組みについて説明することができる。眠気を促す薬や眠気を防ぐ薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
3	精神神経に作用する薬	鎮痛薬や小児鎮静薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
4	呼吸器に作用する薬	鎮咳去痰薬、口腔咽喉薬およびうがい薬 (含嗽薬) について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
5	胃腸に作用する薬	胃の薬や腸の薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
6	胃腸に作用する薬	胃腸鎮痛鎮痙薬やその他の消化器用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
7	心臓などの器官や血液に作用する薬	強心薬や高コレステロール改善薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
8	心臓などの器官や血液に作用する薬	貧血薬やその他の循環器用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
9	排泄に関わる部位に作用する薬	痔疾薬および泌尿器用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
10	婦人薬 内服アレルギー薬	婦人薬の適応対象となる体質・症状を概説できる。 婦人薬および抗アレルギー薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
11	鼻に用いる薬 眼科用薬	鼻炎用点鼻薬および眼科用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
12	皮膚に用いる薬	怪我による傷口の処置、痒み、腫れ、痛みに対して用いられる代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。 抗菌・抗真菌作用および頭皮・毛根に作用する代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
13	歯や口中に用いる薬 禁煙補助剤	歯痛・歯槽膿漏用薬および口内炎用薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。 喫煙習慣とニコチンの関係について説明できる。禁煙補助剤の主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。
14	滋養強壮保健薬 公衆衛生用薬	滋養強壮保健薬について、代表的な配合成分等の働き、主な副作用、相互作用、受診勧奨を説明することができる。 感染症の防止と消毒薬の関係について説明できる。代表的な殺菌消毒成分、取り扱いの注意等について説明できる。 衛生害虫の種類と防除について説明できる。殺虫剤・忌避剤について代表的な配合成分・用法、誤用・事故等への対処について説明できる。
15	一般用検査薬 まとめ	一般用検査薬について、代表的な検査薬の特徴を説明することができる。検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨を説明することができる。

〔方略〕 講義 (板書、パワーポイント)

〔評価方法と基準〕 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (講義日の午後 1 時から 5 時)

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 生命医療薬学分野 遺伝子ドーピング対策研究室 研究実習棟 10 階 1004 室

〔教科書〕 野村隆英、石川直久 (2014) 『シンプル薬理学』 南江堂 講義プリント

〔参考書〕 川島光太郎他著 (2016) 『登録販売者試験 受験対策共通テキスト (下巻)』 一般社団法人 日本薬業研修センター、田中 越郎 (2012) 『疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学』 医学書院、吉岡 充弘、泉 剛、井関 健 (2012) 『疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学』 医学書院

〔担当教員からのコメント〕 病気の成り立ちを理解するためには、正常な生体の機能に関する知識が要求されます。一年次に学んだ基礎知識を活用して理解に務めて下さい。

医薬品の適正使用

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 加来鉄平 (実務)

[一般目標 (GIO)] 医薬品使用者に対し、適正な医薬品情報・使用法を伝えることができるようになるために、薬効や副作用をくすりの生体内運命いわゆる体内の薬物動態から理解できる知識、技能を修得する。

[授業概要] 医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を的確に理解できるようになるために、からだの中での薬の動き (吸収・分布・代謝・排泄) や種々の剤形、薬物間相互作用、副作用などの基礎事項について学びます。また医薬品に関する基本的な情報源である添付文書の読み方、さらに医薬品の不適切な使い方の例として薬物乱用などの問題についても学び、医薬品の適正使用の基本を修得する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション 薬が作用するメカニズム	薬とは何か 受容体と酵素
2	体の中での薬の動き (1)	からだの中で薬がたどる運命 (吸収・分布・代謝・排泄) について理解し、説明できる。
3	体の中での薬の動き (2)	薬物の吸収 (消化管からの吸収、消化管以外からの吸収) について理解し、説明できる。
4	体の中での薬の動き (3)	薬物の分布 (タンパク結合、脳血管関門) について理解し、説明できる。
5	体の中での薬の動き (4)	薬物の代謝 (代謝酵素、抱合反応) について理解し、説明できる。
6	体の中での薬の動き (5)	薬物の排泄 (腎での排泄、腎以外での排泄、腸肝循環) について理解し、説明できる。
7	体の中での薬の動き (6)	薬の効き目を予測する (薬物血中濃度、半減期、定常状態) について理解し、説明できる。
8	体の中での薬の動き (7)	薬物間相互作用、個体差、人種差について理解し、説明できる。
9	体の中での薬の動き (8)	剤形・投与経路による違い、オーダーメイド医療と遺伝子診断について理解する。
10	副作用 (1)	副作用の基本的な考え方、副作用の分類について理解する。
11	副作用 (2)	注意すべき副作用、薬害、副作用救済制度について理解し、説明できる。
12	医薬品情報	添付文書の記載事項、読み方について理解する。
13	薬ができるまで	医薬品の開発の流れについて理解する。
14	医薬品の不適切な使い方	薬物乱用、ドーピングについて理解する。
15	まとめ	講義の内容についての総まとめ、補足説明、質疑応答などを実施する。

[方略] 講義 (プリント)、問題演習

[評価方法と基準] 定期試験で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 原則として講義日の午後 1 時から午後 5 時をオフィスアワーとしますが、それ以外の時間でも可能限り随時対応します。

[所属分野・場所] 実務薬学分野 研究実習棟 6 階 604 号室

[教科書] プリントを配布する。

[参考書] 伊賀勝美、伊藤智夫、堀江利治 (2008 年) 『薬物速度論』 廣川書店、福井次矢 (2014 年) 『医療の質を測り改善する』 インターメディアカ

[担当教員からのコメント] 広範な内容を扱いますが、まずは基本を理解するように心がけること。その上で、講義で学んだことを関連付けながら、様々な医薬品情報に触れてください。特に一般用医薬品の添付文書は、身近で多くの情報が得られるので、自分や家族が服用している一般用医薬品があればその添付文書をよく見てください。

医事薬事関連法

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

講師 (非) 岡田 浩

[一般目標 (GIO)] 医療ビジネスを学ぶ者ならば当然理解しておくべき医療や医薬品を取り巻く法律及び制度に関する基本的な知識を修得し、それらを活用するための基本的技能を身につけることを目標とする。

[授業概要] 医療ビジネスを学ぶ者が、その専門領域で果たす責任、義務等を正しく理解できるようになるため、医療や医薬品を取り巻く法律及び制度に関する基本的な知識を修得する。患者や医薬品等の購入者に限らず一般国民のため、ファーマコビジネス系の業務、すなわち、医薬品の製造から販売までを通して、医薬品・医療機器等の承認許可制、安全性情報に関する業務 (MR の業務)、登録販売者制度などについて、その根拠となる医薬品医療機器等法、医療法その他医療ビジネスに関連する法制度などの基本的な知識を身につけるようにする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	法律の構成	医療ビジネスに関連する法令の構成を説明できる。
2	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(目的と定義)
3	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(製造販売業と製造業、薬局、医薬品販売業)
4	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(医薬品等の取扱い)
5	医薬品医療機器等法	医薬品医療機器等法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(生物由来製品、指定薬物等)
6	薬剤師法 医師法 保健師助産師看護師法	薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。 医師・歯科医師の任務とその業務について説明できる。 保健師・助産師・看護師の任務とその業務について説明できる。
7	医療法	医療法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。
8	麻薬関係法規	麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法及びあへん法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。
9	毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物取締法を概説できる。
10	健康被害救済制度	医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。 代表的な薬害について、その原因と社会的背景を説明できる。
11	医薬品開発	医薬品開発の計画の流れと、関係する法令について説明できる。
12	医薬品販売にかかわる法令・制度	登録販売者が薬事関係法規を順守して医薬品を販売することができるよう、医薬品の販売等に関する法令や制度を説明できる。(医薬品医療機器等法の目的、医薬品の分類・取扱い等)
13	医薬品販売にかかわる法令・制度	登録販売者が薬事関係法規を順守して医薬品を販売することができるよう、医薬品の販売等に関する法令や制度を説明できる。(医薬品の販売業の許可)
14	医薬品販売にかかわる法令・制度	登録販売者が薬事関係法規を順守して医薬品を販売することができるよう、医薬品の販売等に関する法令や制度を説明できる。(医薬品販売に関する法令順守)
15	医事薬事関連法のまとめ	1回から14回までのまとめ

[方略] 講義 (教科書・配布資料・パワーポイントによる)

[評価方法と基準] 定期試験によって評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業終了後、口頭で対応する。また、教務課に設置した質問ノートでも対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟3階302号室 非常勤講師室

[教科書] 薬事衛生研究会 (2020-21年版) 『薬事関連法規・制度 解説』 薬事日報社、株式会社ドーモ (令和2年版) 『全国登録販売者試験過去問正答』 薬事日報社 教科書及び配布資料を中心とした講義を行います。下記の参考書を活用することが望ましい。

[参考書] (2019年) 『薬事衛生六法2019』 薬事日報社、日本薬業研修センター (2019年) 『登録販売者試験受験対策テキスト上・下巻2019年登録販売者試験対応版』 日本薬業研修センター 登録販売者試験を受験しようとする学生は、一般社団法人日本薬業研修センター (2019年版) 登録販売者試験受験対策共通テキスト上・下巻も授業の進行に合わせて学習してほしい。

[担当教員からのコメント] 医療ビジネスに従事する者にとって、直接又は間接的に関係する事項が多く含まれています。医事薬事関連法の条文を単に暗記することではなく、制度、規制に至る経緯、その背景を身につけことにより、法律の条文の意味を理解できることが必要です。将来、社会において人に優しい医療人となることを希望します。

英語Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (必修) 講義

講師 大野元彦 講師 田島昭彦 講師 秋谷和宏

[一般目標 (GIO)] グローバル化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになってきています。このような状況で活躍できる人材になるためには英語の知識が欠かせません。英語Ⅰの授業では、社会が国際化する中で医療ビジネスにかかわる医療人に求められる英語について、基本的な知識、技能を修得します。特に英語で話したり聞いたりすることに慣れ、海外の人々とも、積極的に、円滑なコミュニケーションができることを目指します。

[授業概要] 聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への5つのステップをふみ、その場を体感できるさまざまな場面を想定し、実践的なレッスンで無駄なく効果的に基本英会話力を身につけます。また、必要な文法事項を自然に会話の中で身につけます。そのため授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話表現を暗唱し、ペアワークなどに取り組み、自己表現をすることが求められます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Focus	人の外見を描写する
2	Conversation	人の性格や外見について話す
3	Integration	復習と統合発展
4	Situation	食べ物を説明する
5	Conversation	どんな料理を作るか話す
6	Integration	復習と統合発展
7	Conversation	お気に入りのレストランについて話す
8	Conversation	外食について話す
9	Integration	復習と統合発展
10	Focus	最近したことについて話す
11	Focus	過去の行動について話す
12	Integration	復習と統合発展
13	Conversation	場所を勧めて何ができるか話す
14	Conversation	行きたい場所について話す
15	Integration	復習と統合発展

[方略] 講義 (テキストに沿った説明) 大野講師 (5 回)、田島講師 (5 回)、秋谷講師 (5 回)

[評価方法と基準] 中間試験 (45 %) と定期試験 (45 %) 小テスト (10 %) で評価する。

[学生の質問への対応] オフィスアワー (月曜日から木曜日の 12 : 30~13 : 30、15 : 00~17 : 00)

場所 : 教養・基礎薬学部門英語研究室

m-ohno@nichiyaku.ac.jp、a-tajima@nichiyaku.ac.jp、k-akiya@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 教養・基礎薬学部門英語研究室 講義棟Ⅱ 1 階

[教科書] ECC (2019) 『Challenger α 2』 ECC、ECC (2016) 『大人が楽しい英語③』 ECC

[参考書] 角山 照彦、Simon Capper (2019) 『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus』 (株) 成美堂

栄養学概論

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

講師 縣 右門

〔一般目標 (GIO)〕健康を維持・増進するために最も基本となる毎日の食事。基礎栄養学では栄養素の機能、消化、吸収を理解し、健康に関わる正しい食生活および食環境の知識を得る。また、食事・栄養・食品のことに関心を持ち、正しい知識を用いて、食に関する自己管理能力を育むことを目的とする。

〔授業概要〕生命活動に使われるエネルギー、あるいは身体を構成している物質は食べ物に含まれる成分を材料にして作られている。本講義では、栄養素の種類と特徴を理解し、体内で利用される営みについて基礎となる知識を学ぶ。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	栄養の概念	五大栄養素とその働きを主食、主菜、副菜を通して理解する
2	炭水化物①	炭水化物の特徴と種類を把握する
3	炭水化物②	炭水化物の摂取と体内利用について炭水化物の消化、吸収、代謝を通して理解する
4	脂質①	脂質の種類と特徴を把握する
5	脂質②	脂質の摂取と体内利用について脂質の消化、吸収、代謝を通して理解する
6	たんぱく質①	たんぱく質の種類と特徴を把握する
7	たんぱく質②	たんぱく質の摂取と体内利用についてたんぱく質の消化、吸収、代謝を通して把握する
8	ミネラル①	ミネラルの種類と特徴を把握する
9	ミネラル②	ミネラルの摂取と体内利用についてミネラルの消化、吸収、代謝を通して理解する
10	ビタミン①	ビタミンの種類と特徴を把握する
11	ビタミン②	ビタミンの体内利用と他の栄養素との関連についてビタミンの生理作用を通して理解する
12	様々な生理的代謝	身体の活動におけるエネルギー、基礎および活動代謝の役割を理解する
13	骨代謝	骨の健康と代謝に寄与するカルシウム出納と骨代謝の役割を理解する
14	その他の食品中成分	食物繊維、水分摂取、機能性成分について体内利用と他の栄養素との関連を理解する
15	総括	人体が活動するうえで必須の栄養素とその相互の関連を包括的に検討する

〔方略〕 講義 (パワーポイントによる説明とワークシート)

〔評価方法と基準〕 定期試験 70 %、小テスト 20 %、レポート 10 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。また E-mail による質問も受け付ける。

E-mail アドレス : u-agata@nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 研究実習棟 9階 902 号室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 講義で配布する資料をよく読むこと。

〔担当教員からのコメント〕 栄養素や酵素について聞き慣れない単語が多く出てくるため、予習復習しておくとう理解の助けになります。

運動生理学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

教授 陳 富士

〔一般目標 (GIO)] 運動によって身体にどのような変化が生じるのか、その現象と仕組みに関する知識を修得する。

〔授業概要] 運動生理学は生理学を基盤とし、生体における運動時の反応や運動に対する適応の機序は、生体の機能的・構造的特徴に基づき呼吸・循環器、神経、血液・免疫、内分泌、エネルギー代謝等を概説できるようにする。将来学ぶ多くの分野、例えばスポーツ栄養学、健康増進学、スポーツ医学などの理解に必要となる基礎的知識を修得する。

〔授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	運動と筋肉	骨格筋の構造と機能について理解し、骨格筋の筋力・筋パワーがどのような生理学的要因に影響され、トレーニングによってどのように変化するかを理解する
2	運動と神経	運動機能を担う神経系の解剖・生理学的特徴の概論。神経筋接合部 (運動単位) と高次中枢としての脳の運動制御に関する概論
3	運動と呼吸	呼吸の役割ガス交換の仕組み、運動における呼吸機能の変化や運動トレーニングによる呼吸機能の適応についてについて学習する
4	運動と循環器	循環器の役割と構造その調節の仕組みを理解する Frank-Starling の法則、スポーツ心臓など、運動における循環の役割とその適応について学習する
5	運動とエネルギー代謝	生命エネルギーとしての ATP の産生と利用のメカニズムについて理解する運動時におけるエネルギーと代謝機構、運動トレーニングによるエネルギー供給系の変化について理解を深める
6	運動と体温	人の体温調整の仕組みの基礎を理解し、運動時の体温調整機能の特徴、さらには運動トレーニングが体温調節機能及ぼす適応現象について学ぶ
7	運動と内分泌	生体内のホルモンの分泌部位や標的器官、さらにはその作用と発現機序について学ぶまた運動時のホルモン動態、運動トレーニングがもたらすホルモンへの適応現象などについても理解を深める
8	運動と消化・吸収	消化・吸収に関わる器官の機能、消化液や消化管ホルモンの働きなどについて理解する。また運動時の消化管機能や運動トレーニングがもたらす消化・吸収の適応についても学ぶ
9	運動と免疫	免疫学基礎の理解し急性運動時における免疫の変化や運動トレーニングによる免疫機能の適応について学ぶ
10	運動と体液	体液を構成する血液や間質液、さらに細胞内液の役割と調整方法が運動により変化するメカニズムを理解する
11	運動と骨	運動が骨代謝に及ぼす影響について学び、運動が骨密度や骨強度を変化させることを学ぶ
12	運動と栄養	各種栄養素の役割や代謝機構について理解を深める。一過性運動や運動トレーニングによる三大栄養素の代謝機構の変化、そして運動時の各種栄養素摂取の影響について学ぶ
13	運動と酸化ストレス	酸化ストレスと抗酸化システムの基礎について理解を深める。急性運動における酸化ストレス指標の変化や運動トレーニングによる抗酸化機能の適応について学ぶ
14	運動と生活習慣病	生活習慣病について理解し、それらを引き起こす要因について学習するとともに、運動の生活習慣病の予防効果について理解する
15	運動トレーニング	トレーニングによる身体症状や精神状態について理解し、良好なトレーニングについて考える

〔方略] 講義 (パワーポイント)

〔評価方法と基準] 定期試験の成績で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 講義終了後のほか、E-mail (f-chan@nichiyaku.ac.jp) による質問も受け付けます。(メールアドレスは別に示します。)

〔所属分野・場所] さいたまキャンパス スポーツ薬学コース 研究実習棟 9階 902

〔教科書] 小山勝弘、安藤大輔 編著 (2013) 『運動生理学』 三共出版 ISBN:978-4-7827-0687-9

〔参考書]

〔担当教員からのコメント] 普段の生活、トレーニングで実感している身体の仕組みを基礎から学び、最終的には実践で活かせるよう、一緒に学んでいきましょう。

キャリアデザイン演習Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 1 単位 (選択必修) 演習

教授 井上俊夫 教授 陳 福士 講師 縣 右門

[一般目標 (GIO)] 将来のキャリアプランを自ら構築できるようになるために、社会人に必要なスキルについて理解を深め、必要とされる基本的な知識や態度を修得する。

[授業概要] この演習では、1 年次の学生生活を振り返りながら現状の確認を行うとともに、社会の第一線で活躍されている人の講話から、社会人として必要な社会人基礎力について理解を深めます。さらに、目指すべき人材像と現状のギャップを認識し、自己の強みと弱みを把握しつつ、このギャップを埋める方法論を学びます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	スタートガイダンス (井上、陳、縣)	社会全体の人材需要の動向や個々の業界の特性など昨今の就活環境について概説できる。 進路選択に必要な企業研究や業界研究の重要性について説明できる。
2	自己分析 (井上)	自己分析を行い、これに基づいた客観的な自分を他者に説明できる。 個人の特性や価値観の多様性を理解し、適切なコミュニケーションが取れるようになる。
3	代表的な医療系資格について考える I (井上)	代表的な医療系資格について、実際に活躍されている人の講話を聞き、資格を取得するために必要な要件や意義について説明できる。
4	代表的な医療系資格について考える II (井上)	上記講話に関するグループ討論と発表を行い、資格の取得方法や意義について理解を深める。
5	代表的なスポーツ系資格について考える I (陳、縣)	代表的なスポーツ系資格について、実際に活躍されている人の講話を聞き、資格を取得するために必要な要件や意義について説明できる。
6	代表的なスポーツ系資格について考える II (陳、縣)	上記講話に関するグループ討論と発表を行い、資格の取得方法や意義について理解を深める。
7	業界分析 I (井上)	B to C から B to B まで、各業界の多様性を概説できる。
8	業界分析 II (井上)	多様な業界から自分自身に合う業界は何かを考える。 各人の考える適職について、自分の考えを他者に説明できる。
9	インターンシップに向けて I (井上、陳)	本学科 4 年生内定者によるインターンシップ参加報告を聞き、インターンシップの重要性を概説できる。
10	インターンシップに向けて II (井上、陳)	上記プレゼンテーションに関するグループ討論と発表を行い、インターンシップの重要性について理解を深める。

[方略] パワーポイント、ワークシート、演習 (SGD) 2-9 回: 担当教員に加え、外部講師が参加する。

[評価方法と基準] 学習成果レポート (50%)、演習課題 (50%) として評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了後に対応する。また、E-mail (inoue.toshio@nichiyaku.ac.jp) による質問も受け付ける。

[所属分野・場所] 研究実習棟 11F 1104 教室

[教科書] 教員の作成した資料により行う。

[参考書]

[担当教員からのコメント] 将来、皆さんが希望する職種で活躍できるようになるためには、まず等身大の自分を知り、実際に社会の第一線で活躍されている人たちとのギャップを知ることが大切です。この講義では、社会を構成する様々な業種・業態について深く知り、目指す職種でどのようなスキルが必要かを学びます。3 年次になると就活について、より具体的な方法論を学びますが、今のうちから自分の適職について常に考える習慣を身につけてください。

スポーツ栄養学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 長坂聡子 (実務)

〔一般目標 (GIO)] スポーツ栄養学の基礎を理解し、アスリートとして正しい知識を選択できる力を身につける。

〔授業概要] アスリートとしてだけでなく、将来指導者としても活用できるよう、スポーツ栄養学の基礎と最新情報を学ぶ。また、実際スポーツ選手がどのように栄養学を取り入れているか、現場的な話も含めて授業を行う。

〔授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	スポーツと食事について	スポーツ選手の食事について、一般人と異なる部分や競技特性による違いなど、考え方を学ぶ。
2	エネルギーバランスについて	ウエイトコントロール時重要となるエネルギー摂取とエネルギー消費の種類や評価方法について学ぶ。
3	五大栄養素の役割 1-1(糖質)	エネルギー源となる糖質 (炭水化物) の摂取方法や体内での働き、競技力への影響について学ぶ。
4	五大栄養素の役割 1-2(たんぱく質・脂質)	エネルギー源や身体づくりの基礎となるたんぱく質・脂質の摂取方法や体内での働きについて、スポーツへの影響について学ぶ。
5	五大栄養素の役割 2(ビタミン・ミネラル)	主にスポーツに影響を及ぼすビタミン B 群、ミネラル (鉄、カルシウム) の摂取方法や体内での働きについて学ぶ。
6	スポーツ選手の身体組成について	身体組成の測定方法や数値の評価の仕方について学ぶ。
7	トレーニング・試合後の食事について	日々のトレーニングや試合からの疲労回復のための食事方法について学ぶ。
8	試合前の食事について	試合前に把握すべき食環境について、また試合調整期から試合当日までの食事のとり方、調整方法について学ぶ。
9	競技者に多くみられる栄養障害について	骨の健康や貧血予防のための栄養摂取方法について学ぶ。
10	水分補給について	水分摂取の重要性とその摂取方法について学ぶ。
11	スポーツ選手のウエイトコントロールについて	適切な増量、減量方法について学ぶ。
12	栄養補助食品 (サプリメント) について	栄養補助食品であるサプリメントについて、またエルゴジェニックエイドについて正しい情報を理解する。
13	ジュニアおよび女性選手の栄養摂取について	スポーツをする子どもに対する食育について、また思春期をむかえる女性選手にみられやすい健康上の問題について学ぶ。
14	スポーツ選手の栄養アセスメントについて	スポーツ選手への栄養教育の方法について学ぶ。
15	まとめ	スポーツ選手のからだづくりに重要な食事のとり方について理解を深める。

〔方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

〔評価方法と基準] 定期試験 70 %、レポート 30 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 教務係に設置した質問ノートに記入

〔所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

〔教科書] 『公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ』日本スポーツ協会

『公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ』日本スポーツ協会

〔参考書] 田口素子 (2014) 『体育・スポーツ指導者と学生のためのスポーツ栄養学』市村出版、田口素子 (2017) 『アスリートの栄養アセスメント』第一出版、公益財団法人日本陸上競技連盟医事委員会 (2019) 『今より強くを目指して～アスリートの身体づくりと食のエッセンス～』ライフサイエンス出版

〔担当教員からのコメント] 教科書 (コピー可) を事前に準備しておいてください。授業中は質問など随時していただいて構いませんので、積極的に授業に参加してください

スポーツ医学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 金谷俊介 (実務)

[一般目標 (GIO)] スポーツ指導者に必要な医学的基礎知識をスポーツ外傷・障害および疾病を通して獲得する。

[授業概要] 本講義を通して、スポーツが原因で生じる外傷・障害の知識を獲得し、現場での対処法を学習する。本講義の受講が公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導資格「スポーツリーダー」の取得条件となる。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	アスリートの健康管理	アスリートの健康管理におけるメディカルチェックやコンディションチェックの方法を学習する。
2	アスリートの内科的障害と対策 (1)	競技者の基本的なスクリーニングに際し、重要となる内科的疾患の評価法を学習する。
3	アスリートの内科的障害と対策 (2)	スポーツ活動中に発生する代表的な内科的スポーツ障害を学習する。
4	アスリートの外傷・障害と対策 (1)	スポーツ外傷・障害の概念や発症要因を理解する。
5	アスリートの外傷・障害と対策 (2)	スポーツ外傷・障害とその病態について基本的な対応策を学習する。
6	アスレティック・リハビリテーションとトレーニング計画 (1)	傷害からスポーツ復帰へ向けたリハビリテーションに関する基礎的な知識と進め方について理解する。
7	アスレティック・リハビリテーションとトレーニング計画 (2)	受傷から復帰までのトレーニング計画について具体的な段階を学習する。
8	コンディショニングの手法 (1)	コンディショニングの方法としてのストレッチングおよびテーピングの基本について学習する。
9	コンディショニングの手法 (2)	コンディショニングの方法としてのアイシングおよびスポーツマッサージの基本について学習する。
10	スポーツによる精神障害と対策 (1)	スポーツとより密接に関連しながら発症する精神障害のうち代表的なものを理解する。
11	スポーツによる精神障害と対策 (2)	スポーツに関連した精神的障害における適切な対応と予防について学習する。
12	特殊環境下での対応 (1)	生体の適応のしくみと限界を知り、安全確保に重要なポイントを押さえる。
13	特殊環境下での対応 (2)	想定できる環境下での十分な対応・対策の方法を学習する。
14	スポーツ現場での救急対応	スポーツ現場における救急処置を具体例とともに把握および理解する。
15	復習	講義内容の復習および質疑応答など。

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

[評価方法と基準] 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業終了後または E-mail で対応する

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

[教科書] 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅲ (公益財団法人 日本体育協会)

[参考書]

スポーツバイオメカニクス

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 原村未来 (実務)

[一般目標 (GIO)] 身体運動をバイオメカニクスの、定量的に把握・記述・説明するための基礎となる力学的諸法則を理解する基礎を身につける。物理法則を理解し、高校数学レベルを用いて計算問題を解くなどして、スポーツでの動きを定量的に説明できるようにする。

[授業概要] 身体運動を力学的に考えるための基礎となる力学的法則を実際の運動例などを通じて説明し、各種スポーツの力学的な特性などについて講義する。物理法則を理解し、高校数学レベルを用いて計算問題を解くなどして、スポーツでの動きを定量的に説明できるようにする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス・スポーツバイオメカニクスとは?	授業の進め方や成績評価、スポーツバイオニクスの位置づけ、歴史等、これから学習する内容について理解する。
2	身体の力学的特性	身体運動を扱う上で、身体の形態、質量、力学的特性を理解することは、発生した運動の説明や記述、コーチングにおいても重要な基礎である。これらを基に今後扱う、慣性モーメントや角運動量などを理解する基本を学習する。
3	身体運動の分析へのバイオメカニクスのアプローチ	身体運動を力学的に記述する方法や分析法について学習する。
4	身体運動のキネマティクスの表現	身体運動をバイオメカニクスのために、キネマティクス、キネティクスについて理解し、速度、加速度など基本的事項を学習する。
5	身体重心とその測定方法	スポーツでよく使われる「重心」について解説し、身体重心の測定方法、重心位置、身体部分慣性係数について学習する。
6	運動と力	運動はさまざまな力を受けて行われる。力の概念を解説し、力の要素、フリーボディダイアグラム、つりあいについて学習する。
7	運動量と力積	動の分析を行う際、時間が経過した際の運動の変化を扱う。運動量と力積について解説し、その関係について学習する。
8	投射体の運動	地球上の運動では空気抵抗を必ず受ける。砲丸投げなどを例に、放射体がどのような運動を行なうのか理解する。
9	力学的エネルギーと仕事、パワー	身体運動にはエネルギーが必要であり、力学的に扱うために必要な力学的エネルギー、仕事、パワーについて学習する。
10	運動と流体力	走る、泳ぐ、投げるといった際に、少なからず空気や水の抵抗といった、流体力の影響がある。マグヌス効果や浮心など、これらの要因について学習する。
11	よい動きのバイオメカニクスの原則①	スポーツバイオメカニクスの知識体系、バイオメカニクスの原則から良い動きを考える原則、動作について解説する。運動連鎖や運動依存力、エネルギーの流れなどから良い動きのバイオメカニクスの原則について解説する。
12	よい動きのバイオメカニクスの原則②	スポーツバイオメカニクスの知識体系、バイオメカニクスの原則から良い動きを考える原則、動作について解説する。運動連鎖や運動依存力、エネルギーの流れなどから良い動きのバイオメカニクスの原則について解説する。
13	スポーツ用具のバイオメカニクス	スポーツではシューズ、打具など様々な用具が用いられる。スポーツシューズの機能性など具体的な例を用いて、バイオメカニクスとの関連などについて身近にとらえられるよう学習する。
14	スポーツバイオメカニクスにおけるコンピュータシミュレーション	身体運動におけるコンピュータシミュレーションを研究論文を紹介しながら、解説する。
15	まとめ	総論、試験について解説する。

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

[評価方法と基準] 定期試験の成績において評価する。追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義日に対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

[教科書]

[参考書] 阿江通良、藤井範久 (2019) スポーツバイオメカニクス 20 講 (第 15 刷) 朝倉書店

[担当教員からのコメント] ヒトの動きを力学的に、解剖学的に、生理学的に、さまざまな視点で科学するものです。予習・復習をして授業に取り組んでください。

トレーニング学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 具志堅武

[一般目標 (GIO)] スポーツの理論・方法について理解を深める。

[授業概要] 本講義を通して、トレーニングの立案からその検証までの方法論をより深く学習し、実践的知識を高める。

本講義の受講が公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格「スポーツリーダー」の取得条件となる。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	トレーニング目標の設定	競技力向上が様々な要因から構築されるシステムであることを理解し、効果的なトレーニング成果をあげるために重要な明確な目標設定方法について学習する
2	トレーニング手段の検討	トレーニングの原理・原則および体力トレーニング、技術トレーニングのそれぞれの特徴を理解し、適切なトレーニング手段の選択方法を学習する
3	体力トレーニングの基礎理論	体力トレーニングの成果をあげるために重要なトレーニング負荷の決定要因を理解し、その指標を利用したより効果的なプログラムの作成法を学習する
4	トレーニング効果と疲労	トレーニング効果と疲労の関係を理解し、ベストパフォーマンス発揮のための日常生活の重要性や「オーバートレーニング」について学習する
5	戦略的コンディショニング	トレーニング効果を落とさず、いかに疲労を回復させるかというコンディショニングの命題を達成するためのピーキングの方法や戦略的リカバリー方法を学習する
6	トレーニング計画の作成	トレーニングの成果は偶然に得られるものではなく、緻密に計算された組み合わせによって得られるものであることを理解し、その基本理論を学習する
7	スポーツ傷害	トレーニング中や競技時に起こりうるスポーツ傷害について学び、傷害の予防法や応急処置について学習する
8	筋力・パワーのトレーニング	パフォーマンスを構成する体力要素のうちの「筋力・パワー」に関するトレーニング方法とその評価指標を学習する
9	持久力のトレーニングとその指標	パフォーマンスを構成する体力要素のうちの「持久力」に関するトレーニング方法とその評価指標を学習する
10	高所トレーニングの理論	持久的種目のトレーニング手段として「高所トレーニング」の理論とその実践におけるポイントを学習する
11	スピード・敏捷性・柔軟性・調整力のトレーニング	パフォーマンスを構成する体力要素のうちの「スピード・敏捷性・柔軟性・調整力」に関するトレーニング方法を学習する
12	トレーニングと栄養について	競技力向上に必要な身体をつくる上で不可欠な栄養素の基礎について学習する。また、トレーニングの目的により摂取する栄養素の違いについて学習する
13	トレーニングにおけるリスク管理 (熱中症)	トレーニング時に起こりうるリスク (熱中症) について対処法や予防法について学習する
14	トレーニング評価における体力テストの活用	トレーニングの評価のためのデータの読み方を実際の事例を用いて学習し、体力テストの有効な活用法を検討する
15	障がい者とスポーツ・トレーニング	障がい者スポーツについて理解し、障がい者がトレーニングを行う上で配慮すべき点等について学習する

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

[評価方法と基準] 講義内レポート (30 %) と定期試験 (70 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 本講義の終了後に対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 室

[教科書] 特になし

[参考書] 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅲ (公益財団法人 日本スポーツ協会) その他授業内で適宜紹介していきます。

[担当教員からのコメント] トレーニングの基礎知識を自身および他者の為に活用できるように、より実践的な知識に変えていきましょう。

フィットネス実習

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 1 単位 (選択必修) 実習

講師 松永修司 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 体力が競技力向上や健康な生活にとって必要不可欠であること理解し、実習を通してスポーツや健康運動の指導者として必要な各種フィットネストレーニングの具体的な方法や注意点を修得する。

〔授業概要〕 各種フィットネストレーニングを実際に自ら行うことができ、さらにその方法を指導する際に指示すべき注意点を理解し、実践できるスキルを身につける。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	フィットネストレーニングの重要性 (理論)	体力の概念を理解し、競技力向上や健康で豊かな生活におけるフィットネストレーニングの重要性を学ぶ
2	ウォーミングアップとクーリングダウン (実習)	安全に効果的なフィットネストレーニング効果を得るための適切なウォーミングアップとクーリングダウンの方法を学習する
3	筋力トレーニング① (実習)	フリーウェイトを利用した上半身の筋力トレーニング方法及び注意点を実習を通して理解する
4	筋力トレーニング② (実習)	フリーウェイトを利用した下半身の筋力トレーニング方法及び注意点を実習を通して理解する
5	筋力トレーニング③ (実習)	自重を利用した筋力トレーニング方法及び注意点を実習を通して理解する
6	マシンを使ったトレーニング (実習)	筋力トレーニングを中心にマシンを利用したフィットネストレーニング方法及び注意点を理解する
7	持久力トレーニング① (実習)	自転車エルゴメーターによるトレーニングとハートレートモニターによる運動強度管理を実際に経験し、その効果を実感する
8	持久力トレーニング② (実習)	有酸素トレーニングの手法として代表的なウォーキング及びジョギングの方法と注意点について学習する
9	持久力トレーニング③ (実習)	全身持久力トレーニングの手法として代表的なサーキットトレーニングの目的と方法、注意点を実習を通して学習する
10	持久力トレーニングの方法④ (実習)	有酸素トレーニングの手法として手軽に取り組めるフィットネスダンス・エアロビクダンスの目的と効果を理解し、実施できるようにする
11	調整力・柔軟性・敏捷性のトレーニング (実習)	体力要素の重要な要素である調整力・柔軟性・敏捷性を高めるためのトレーニング方法と留意点を実習を通して学習する
12	効率的な動きのトレーニング① (実習)	筋力、持久力など体力要素を効率的にパフォーマンスにつなげるために重要な動きの連動性を高めるトレーニングを学習する
13	効率的な動きのトレーニング② (実習)	障害予防や動きの効率性・連動性を高めるために重要な体幹・コアの強化方法をバランスボールなどを利用して体感する
14	回復及びリハビリトレーニングの方法 (実習)	生涯スポーツの種目としても活用される水泳及び水中トレーニングを中心に疲労回復やリハビリテーションの方法を学習する
15	体力測定 (実習)	最大酸素摂取量や血中乳酸値の測定など各種体力テストを実際に行うことにより、その方法やデータの見方を理解する。

〔方略〕 実習

〔評価方法と基準〕 授業内で実施する実技テスト (50 %) および課題 (50 %) で評価する。追再試験を実施することがある

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。

〔所属分野・場所〕 研究実習棟 9 階 902 号室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 ストレングストレーニング&コンディショニング (NSCA) やトレーニング指導者テキスト実践編 (JATI)

〔担当教員からのコメント〕 理論で学んだ体力トレーニングの基礎的な考え方を基に、競技種目に適したトレーニングを選択し、競技力向上を目指すことができるように実践していきましょう。さらに、生涯を通じて運動を楽しみながら体力の維持ができるように指導や実践ができる様々なトレーニングを学びましょう。

日本語Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 木原雄治

〔一般目標 (GIO)〕 日常会話がスムーズに出来、日本での生活を楽しめるようにすることを目標とする。

〔授業概要〕 日本語を不自由なく聞き、話せるようになることを目的に、朝の目覚めから、料理、掃除、買い物、通勤、勤務、学校、交友、食事など、夜の就寝に至るまで、一日の様々な活動の中で使われる、表現を学習します。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	午前中 1	朝起きた時の会話が円滑に出来るようにする。
2	午前中 2	朝起きてからの行動で使う言葉の習得
3	午前中 3	朝食で使う言葉の習得
4	午前中 4	掃除で使う言葉の習得
5	午前中 5	洗濯で使う言葉の習得
6	午前中 6	化粧で使う言葉の習得
7	外出 1	外出するときに使う言葉の習得
8	外出 2	バスに乗ったときに使う言葉の習得
9	外出 3	乗用車に乗ったときに使う言葉の習得
10	外出 4	電車に乗ったときに使う言葉の習得
11	天気と気候	天気と気候に関する言葉の習得
12	季節	季節に関する言葉の習得
13	日常生活 1	一日を過ごすときに使う言葉の習得
14	日常生活 2	趣味に関する言葉の習得
15	日常生活 3	趣味に関する言葉の習得

〔方略〕 対話方式

〔評価方法と基準〕 定期試験 100 %

〔学生の質問への対応〕 随時質問を受け付け、対応します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科

〔教科書〕 曾根田憲三・上原寿和子 (2019 年) 『一日の会話すべてを英語にしてみる』 ベレ出版

〔参考書〕

日本文化Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 木原雄治

[一般目標 (GIO)] 古き良き伝統と最先端の技術が融合する日本文化を英語でどう表現するかを通じて、日本のことを改めて理解します。
 [授業概要] 「買い物」「食事」「観光」「伝統文化」4つの章に分けて学習します。それぞれの章に対応した基本的な単語に加えて、よく使うフレーズを覚え、日本の物事について理解を深めます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	日本の四季	日本人は四季おりおりの自然の美しさを愛でて、豊かな心を育みます。地域によっても異なる、季節の風物を理解する。
2	日本の暮らし	日常の中にある日本独自の習慣に戸惑う外国人も少なくありません。日本人のライフスタイルや国民性を理解する。
3	日本人の一日	サラリーマンや主婦などの典型的な一日の過ごし方から、日本人の特性を理解する。
4	店の種類	町ごとに昔からある、地元の人々の暮らしに密着した庶民的な商店街。軒を連ねるさまざまな専門店の中でも、商品を売る店をそれぞれ英語で何というか学習する。
5	日用品の購入	コンビニやスーパーなど、普段なにげなく利用している店で売られているものを学習する。
6	大型店舗での購入	用途や好みに合わせて、豊富な品揃えの中から商品を選べるのが大型店舗です。この大型店舗で売られているものを学習する。
7	寿司	日本食の代表「寿司」を通して日本の文化を理解する。
8	天ぷらと丼物	天ぷらも外国人に人気の高い日本食です。日本のファーストフードとも言える丼物は、ご飯とおかずがまとめて味わえる、手軽な日本食として学習する。
9	麺類	うどん/そばとラーメンは日本の麺の代表です。トッピングの具材や味付けなど、さまざまな種類を通して、日本の文化の理解を深める。
10	鍋物	すき焼きやしゃぶしゃぶは海外でも有名な日本の鍋料理を通して、日本の文化の理解を深める。
11	鉄板焼き	気軽に味わえるステーキやお好み焼きを通して、日本の文化の理解を深める。
12	飲食店いろいろ 1 (喫茶店・洋食屋)	接客スタイルや料理の調理法、味付けなどにも、さまざまな日本らしさが盛り込まれている。特徴的な日本の飲食店を通して、日本の文化の理解を深める。
13	飲食店いろいろ 2 (中華料理店・定食屋)	接客スタイルや料理の調理法、味付けなどにも、さまざまな日本らしさが盛り込まれている。特徴的な日本の飲食店を通して、日本の文化の理解を深める。
14	飲食店いろいろ 3 (居酒屋・日本特有のメニュー・美味しい郷土料理)	接客スタイルや料理の調理法、味付けなどにも、さまざまな日本らしさが盛り込まれている。特徴的な日本の飲食店を通して、日本の文化の理解を深める。
15	伝統料理	季節ごとに旬のものをおいしくいただく、繊細で見た目にも美しい日本食を通して、日本の文化の理解を深める。

[方略] 対話方式

[評価方法と基準] 定期試験 100 %

[学生の質問への対応] 随時質問を受け付け、対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬学学科 (さいたまキャンパス)

[教科書] 永岡書店編集部『英語で話せる日本図鑑』株式会社永岡書店

[参考書]

日本事情Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 木原雄治

[一般目標 (GIO)] 外国の人が日本について、どんなことを疑問に思っているのかを知ることにより、日本についてきちんと説明出来る能力を身に付けることを目標とします。

[授業概要] 「交通・町並み」「食事」「伝統文化」「ビジネス」「迷信・慣習」「日本に来て困ったこと」など 11 のジャンルに分類し、日常生活についてたくさんの例に基づき、日本の事情について理解を進めます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	交通 1 (1-7)	電車に乗った時、人々が感じることを通して日本事情の理解を深める。
2	交通 2 (8-12)	自動車に乗った時、人々が感じることを通して日本事情の理解を深める。
3	町並み (13-17)	町を歩いている時、人々が感じることを通して日本事情の理解を深める。
4	素晴らしすぎるよ日本 1 (18-24)	外国と日本を比べて、良いと感じることを通して日本事情の理解を深める。
5	素晴らしすぎるよ日本 2 (25-31)	外国と日本を比べて、良いと感じることを通して日本事情の理解を深める。
6	食事に関する疑問 1 (32-38)	外国人が日本で食事する時、疑問と感じることを通して日本事情の理解を深める。
7	食事に関する疑問 2 (39-45)	外国人が日本で食事する時、疑問と感じることを通して日本事情の理解を深める。
8	食事に関する疑問 3 (46-52)	外国人が日本で食事する時、疑問と感じることを通して日本事情の理解を深める。
9	食事に関する疑問 4 (53-59)	外国人が日本で食事する時、疑問と感じることを通して日本事情の理解を深める。
10	日本の文化に関する質問 1 (60-66)	外国人が日本の街角で感じる文化についての質問を通して日本事情の理解を深める。
11	日本の文化に関する質問 2 (67-73)	外国人が日本の街角で感じる文化についての質問を通して日本事情の理解を深める。
12	日本の文化に関する質問 3 (74-79)	外国人が日本の街角で感じる文化についての質問を通して日本事情の理解を深める。
13	日本の文化に関する質問 4 (80-85)	外国人が日本の街角で感じる文化についての質問を通して日本事情の理解を深める。
14	日本の会社に関する疑問 (86-92)	外国人がビジネスで感じる疑問を通して日本事情の理解を深める。
15	一般常識に関する質問 1 (93-100)	一般常識に関する質問を通して日本事情の理解を深める。

[方略] 対話方式

[評価方法と基準] 定期試験 100 %

[学生の質問への対応] 随時質問を受け付け、対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科

[教科書] 森田正康、カン・アンドリュー・ハシモト (2018 年) 『外国人から日本についてよく聞かれる質問 200』株式会社クロスメディア・ランゲージ

[参考書]

日本語Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 木原雄治

〔一般目標 (GIO)〕 日常会話がスムーズに出来、日本での生活を楽しめるようにすることを目標とする。

〔授業概要〕 日本語を不自由なく聞き、話せるようになることを目的に、朝の目覚めから、料理、掃除、買い物、通勤、勤務、学校、交友、食事など、夜の就寝に至るまで、一日の様々な活動の中で使われる、表現を学習します。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	料理と味覚 1	料理に使う言葉の習得
2	料理と味覚 2	味覚に関する言葉の習得
3	買い物	買い物で使う言葉の習得
4	会社と学校 1	会社で使う言葉の習得
5	会社と学校 2	学校で使う言葉の習得
6	あなたと私 1	友達との会話で使う言葉の習得
7	あなたと私 2	体調についての言葉の習得
8	夜	夜に使う言葉の習得
9	基本表現 1	異なる話題の導入に使う言葉の習得
10	基本表現 2	日常表現に使う言葉の習得
11	基本表現 3	賛成に使う言葉の習得
12	基本表現 4	反対に使う言葉の習得
13	基本表現 5	感謝に使う言葉の習得
14	基本表現 6	謝罪に使う言葉の習得
15	基本表現 7	時間に使う言葉の習得

〔方略〕 対話方式

〔評価方法と基準〕 定期試験 100 %

〔学生の質問への対応〕 随時質問を受け付け、対応します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)

〔教科書〕 曾根田憲三・上原寿和子 (2019 年) 『一日の会話のすべてを英語にしてみる』 ベレ出版

〔参考書〕

日本文化Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 木原雄治

[一般目標 (GIO)] 古き良き伝統と最先端の技術が融合する日本文化を英語でどう表現するかを通じて、日本のことを改めて理解します。
 [授業概要] 「買い物」「食事」「観光」「伝統文化」4つの章に分けて学習します。それぞれの章で対応した基本的な単語に加えて、よく使うフレーズを覚え、日本の物事について理解を深めます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	交通機関	日本の鉄道・交通機関の事情を通して、日本の文化の理解を深める。
2	宿泊施設	日本の宿泊施設には、大きく西洋式のホテルと和式の旅館があり、サービスの違いを通して、日本の文化の理解を深める。
3	古都の風情	かつて都がおかれていた奈良や京都には歴史的建造物も多く、当時の風情を今も色濃く残していることを学習する。
4	温泉	火山国日本では、温泉を楽しむ独特の文化が発達したことを通して、日本の文化の理解を深める。
5	ナイトスポット	お酒を飲むナイトスポットについての知識を得る。
6	スポーツ	海に囲まれ、国土の3分2が山地という地理的条件を持つ日本は、アウトドアスポーツのロケーションとして最適。季節ごとに異なるスポーツが楽しめることを学習する。
7	日本の世界遺産 1	文化や歴史を代表する「世界遺産」を通して、日本の文化の理解を深める。
8	日本の世界遺産 2	文化や歴史を代表する「世界遺産」を通して、日本の文化の理解を深める。
9	神社と寺院	「神社」「寺院」どちらも歴史があり、文化的にも貴重な場所として、日本人の生活に密着していることを理解する。
10	華道と茶道	華道とは、花だけではなく枝、葉、苔、花台などその空間全体を鑑賞するもの。茶道もまた、お茶を飲むだけではなく茶道具その他の美術品を楽しむ総合芸術を通して、日本の文化の理解を深める。
11	着物	日本の着物、染・織物の美しさは、外国人を魅了しています。生地染めや着付けを通して、日本の文化の理解を深める。
12	伝統工芸	日本の伝統の職人技から生み出されている美しい工芸品。実用的なものから装飾品までさまざまな魅力がある。浮世絵や水墨画なども含めて、日本の美を伝える。
13	伝統芸能	日本らしさを体感できることから、外国人にも人気の高い伝統芸能。世界的に有名な歌舞伎や文楽、能などを通して、日本の文化の理解を深める。
14	国技・武道	日本の武道は、スポーツや格闘技である前に、武「術」から武「道」に発展した伝統文化を通して、日本の文化の理解を深める。
15	日本の国土	日本には8つの地方、47の都道府県があることを学習する。

[方略] 対話方式

[評価方法と基準] 定期試験 100 %

[学生の質問への対応] 随時質問を受け付け、対応します。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)

[教科書] 永岡書店編集部『英語で話せる日本図鑑』永岡書店

[参考書]

日本事情Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 木原雄治

〔一般目標 (GIO)〕 外国の人が日本について、どんなことを疑問に思っているのかを知ることにより、日本についてきちんと説明出来る能力を身に付けることを目標とします。

〔授業概要〕 「交通・町並み」「食事」「伝統文化」「ビジネス」「迷信・慣習」「日本に来て困ったこと」など 11 のジャンルに分類し、日常生活についてたくさんの例に基づいて、日本の事情について理解を進めます。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	日本人の一般常識 (093-106)	日本の情勢や一般常識を通して日本事情の理解を深める。
2	日本人のユニークさ 1 (107-115)	外国人からみればとてもユニークな日本人の日常生活を通して日本事情の理解を深める。
3	日本人のユニークさ 2 (116-124)	外国人からみればとてもユニークな日本人の日常生活を通して日本事情の理解を深める。
4	日本人のユニークさ 3 (125-133)	外国人からみればとてもユニークな日本人の日常生活を通して日本事情の理解を深める。
5	日本人のユニークさ 4 (134-140)	外国人からみればとてもユニークな日本人の日常生活を通して日本事情の理解を深める。
6	日本人の習慣 1 (141-145)	モノカルチャー的な日本文化の説明を通して日本事情の理解を深める。
7	日本人の習慣 2 (146-150)	モノカルチャー的な日本文化の説明を通して日本事情の理解を深める。
8	日本人の習慣 3 (151-155)	モノカルチャー的な日本文化の説明を通して日本事情の理解を深める。
9	日本人の習慣 4 (156-160)	モノカルチャー的な日本文化の説明を通して日本事情の理解を深める。
10	日本の伝統文化 1 (161-165)	日本の伝統文化を通して日本事情の理解を深める。
11	日本の伝統文化 2 (166-170)	日本の伝統文化を通して日本事情の理解を深める。
12	日本の伝統文化 3 (171-176)	日本の伝統文化を通して日本事情の理解を深める。
13	日本の伝統文化 4 (177-182)	日本の伝統文化を通して日本事情の理解を深める。
14	日本の迷信・習慣・ルール・マナー (183-193)	日本の迷信・習慣・ルール・マナーを通して日本事情の理解を深める。
15	日本に困ったこと (194-200)	日本に困ったことを通して日本事情の理解を深める。

〔方略〕 対話方式

〔評価方法と基準〕 定期試験 100 %

〔学生の質問への対応〕 随時質問を受け付け、対応します。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)

〔教科書〕 森田正康・カン・アンドリュウ・ハシモト (2018 年) 『外国人から日本についてよく聞かれる 200』 株式会社クロスメディア・ランゲージ

〔参考書〕

一般用医薬品学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

教授 久保田洋子 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 消費者が一般用医薬品を安全かつ有効に使用し、質の高いセルフメディケーションを行なえるようにするために、登録販売者として知っておくべき事項を網羅的に身につける。

〔授業概要〕 一般用医薬品について概論を講義した後、効能・効果の分類ごとにそれぞれの一般用医薬品の主な含有成分、主な副作用、一般用医薬品の実際の使用や販売において気をつけるべきことについて講義を行う。また、セルフメディケーションあるいはプライマリヘルスケアという一般大衆の健康維持の観点から特定保健用食品やサプリメントについても概説する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	総論Ⅰ	一般用医薬品およびセルフメディケーションの概略および意義について説明できる。一般用医薬品の法的位置づけおよび一般用医薬品の開発・承認について説明できる。
2	総論Ⅱ	セルフメディケーションおよびプライマリヘルスケアにおける、一般用医薬品および登録販売者の果たす役割について概説できる。
3	解熱鎮痛薬・総合感冒薬・鎮咳去痰薬	発熱と痛みの原因、感冒の原因、咳と痰の原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
4	胃腸薬・整腸薬、止瀉薬・便秘治療薬・痔疾患治療薬	胃腸の不良、下痢の原因、便秘の原因、時の痛みと出血の原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
5	外用消炎鎮痛薬・点鼻薬、鼻炎用内服薬・歯科口腔用剤	痛みの原因、鼻炎の原因、口腔内の炎症の原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
6	コミュニケーションⅠ	来局者とのコミュニケーションの基本を学び、ロールプレーで具体的な事例を学ぶ。
7	湿疹皮膚炎治療薬・虫さされ痒み止め用薬・しもやけ、ひび、あかぎれ用薬	湿疹皮膚炎の原因、痛み・発赤・腫れの原因、しもやけ・ひび・あかぎれの原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
8	うおの目、たこ、いぼ用薬・体臭予防、制汗剤・にきび治療薬・やけど用薬	うおの目・たこ・いぼなどの原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
9	サンスクリーン剤・殺菌消毒薬、救急絆創膏・水虫治療薬・毛髪用薬	日焼けや水虫など原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
10	コミュニケーションⅡ	一般用医薬品の適正使用のためのコミュニケーションについてまとめ、ロールプレーでいろいろな事例を身に付ける。
11	眼科用薬・催眠鎮静薬・眠気防止薬・鎮うん薬	原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
12	強心薬・禁煙補助薬・生活習慣病改善薬・排尿障害改善薬	動悸・息切れの原因、タバコがやめられない原因、生活習慣病とは、頻尿・尿失禁の原因と発症メカニズムおよび効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
13	虫除け薬・ビタミン剤・滋養強壮剤、ドリンク剤、カルシウム剤、アミノ酸	虫除けのメカニズム、ビタミン剤、肉体疲労に効果のある代表的な成分および効果を示す症状や、作用と特徴、販売時に留意すべき点やアドバイスについて説明できる。
14	漢方製剤	漢方薬と生薬製剤について、主な含有成分、副作用、販売時に留意すべき点について説明できる。
15	まとめ	まとめと問題演習。

〔方略〕 講義 (配布プリントおよびパワーポイント)、演習、ロールプレー

〔評価方法と基準〕 定期試験で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー：原則として実施日午後1時～5時とするが、可能な限り随時対応する。管理棟 1-201 号室

〔所属分野・場所〕 一般薬学部門 管理棟 1-201 号室

〔教科書〕 中島恵美他 (2018 年) 『今日の OTC 薬 解説と便覧—改訂第 4 版— (978-4-524-255-72)』 南江堂

〔参考書〕 配布資料等。

〔担当教員からのコメント〕 一般用医薬品の相談・販売は、国民の健康に直結する非常に重要な職域となっています。授業と演習やロールプレーを組み合わせます。授業に興味を持って臨み、生涯にわたり役立つ知識を学びます。

一般用医薬品情報学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

准教授 松村久男 (実務)

[一般目標 (GIO)] ドーピングは公正さを基本とするスポーツ競技において重大なルール違反であるが、ドーピング目的で禁止薬物を使用するつもりがなくても、アスリートが禁止薬物を含有する一般用医薬品を使用したためにドーピング陽性になる事がある。

一般用医薬品情報学ではこの様な「うっかりドーピング」を防止するために、必要とされる一般用医薬品の知識や情報収集方法を修得する。

[授業概要] 一般用医薬品の有効かつ安全な適正使用に必要な医薬品情報を解説し、アスリートが怪我や病気になった場合に必要とされる一般用医薬品の正しい知識を修得する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	総論 1	一般用医薬品情報を概説できる。
2	総論 2	一般用医薬品の歴史について理解できる。(1)
3	総論 3	一般用医薬品の歴史について理解できる。(2)
4	総論 4	一般用医薬品の添付文書を正しく読解できる。
5	各論 1	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (総合感冒薬とスポーツ)
6	各論 2	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (外用消炎鎮痛薬 1 とスポーツ)
7	各論 3	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (外用消炎鎮痛薬 2 とスポーツ)
8	各論 4	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (スポーツドリンク薬とスポーツ)
9	各論 5	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (薬物乱用 1 アルコールとスポーツ)
10	各論 6	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (薬物乱用 2 たばことスポーツ)
11	各論 7	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (薬物乱用 3 麻薬・覚せい剤とスポーツ)
12	各論 8	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (活性酸素とスポーツ)
13	各論 9	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (ダイエット食品とスポーツ)
14	各論 10	一般用医薬品の適正使用・安全対策情報を理解できる。 (人間の寿命とスポーツ)
15	総括	まとめおよび試験対策

[方略] 講義 (パワーポイントと配布資料による説明)

[評価方法と基準] 定期試験で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] E-mail:matsumura@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 実務薬学分野 603 研究室 (研究実習棟 6 階)

[教科書] 配布資料

[参考書]

[担当教員からのコメント] アスリートが体調不良時に使用できる一般用医薬品 (感冒薬・健康食品・スポーツドリンク剤・貼付剤・スプレー剤) について考えてみます。

薬理学Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

教授 小林 カ

[一般目標 (GIO)] 薬物と生体高分子との相互作用、生体側の応答、薬物の生体内運命を考えながら、薬効、安全性、治療的応用に関する知識を修得する。

[授業概要] 薬理学Ⅱは、薬理学Ⅰに引き続き、中枢神経系作用薬 (麻酔、催眠、鎮痛)、精神疾患治療薬、神経変性症治療薬、また、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、血栓症、高尿酸血症・痛風、骨粗しょう症、糖尿病、高脂血症の治療に必要な薬物を取り上げる。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	中枢神経系作用薬 1	中枢神経系の生理、麻酔薬、催眠薬
2	中枢神経系作用薬 2	鎮痛薬、抗てんかん薬
3	中枢神経系作用薬 3	抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬、パーキンソン病
4	中枢神経系作用薬 4	アルツハイマー病治療薬、覚せい剤、幻覚薬
5	消化器系治療薬 1	消化器系の生理、消化器潰瘍の治療
6	消化器系治療薬 2	催吐薬、鎮吐薬、胃腸運動改善薬、便秘と下痢の治療薬
7	呼吸器系治療薬 1	呼吸器の生理、気管支拡張薬
8	呼吸器系治療薬 2	鎮咳、去痰、喘息治療薬、風邪薬
9	医薬品と製薬会社	近代医薬品、内外製薬産業の歴史。
10	貧血治療薬	血液について概論。再生不良性貧血、溶血性貧血、腎性貧血、白血球減少症、血小板減少症、輸血の治療薬。
11	抗血栓薬・止血薬	抗凝固薬 (ヘパリン系、ワルファリン系など)、抗血小板薬、血栓溶解薬、凝固促進薬、トロンビン製剤、抗線溶薬など。
12	高尿酸血症、痛風、関節リウマチ	痛風、関節リウマチの基礎概念とその治療薬
13	骨粗しょう症	骨粗しょう症の基礎概念。骨吸収抑制薬、骨形成促進薬。
14	糖尿病	糖尿病の基礎概念。インスリン製剤、経口糖尿病治療薬
15	高脂血症	コレステロール、中性脂肪と動脈硬化の関係、コレステロール低下薬

[方略] 講義 (教科書、板書)

[評価方法と基準] 定期試験により評価を行う。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義前後の休み時間、また随時、教員室にて対応する。

メールでも可: tkobays@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] さいたまキャンパス、生命医療薬学分野 研究実習棟 11 階

[教科書] 植松ら (2015) 『シンプル薬理学』南江堂

[参考書] 田中、加藤編 『New 薬理学』南江堂

[担当教員からのコメント] 薬理学には病気と化学の知識が必要。病気を考えるには正常時の人体の仕組みと生物学の知識が必要。化学と生物の基本から、薬理学を学ぶ。

疾病と治療薬Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

教授 小林 力

[一般目標 (GIO)] 医療用医薬品が用いられる代表的な疾患の病態に関する基本的知識を修得し、治療薬の基本的な効能効果およびその特徴、基礎疾患等、効果や安全性に影響を与えうる要因、起こりうる副作用等について、理解を深め、他者への情報提供や相談対応ができるようになる。

[授業概要] 疾病と治療薬Ⅰに続き、代表的な疾病の基本病変を理解し、各疾患に使用される代表的な医薬品に関する薬効、副作用、相互作用などについて学ぶ。Ⅰと比較し重篤な疾患が多く、薬物は処方箋薬が中心となる。例えば皮膚疾患は、「疾病と治療薬Ⅰ」では外傷と外用薬が中心であったが、Ⅱではさまざまな疾患と薬を扱う。また薬理Ⅰ、薬理Ⅱと疾患が重ならないように計画した。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	悪性腫瘍と薬1	総論、がんの歴史、悪性腫瘍の病態について概説できる。
2	悪性腫瘍と薬2	腫瘍細胞の生化学、抗がん剤の標的分子、アルキル化剤について概説できる。
3	悪性腫瘍と薬3	代謝拮抗薬、抗腫瘍性抗生物質、微小管阻害薬、ホルモン剤、抗体医薬などについて概説できる。
4	感染症と薬1	細菌による疾患と抗菌薬、耐性菌について概説できる。
5	感染症と薬2	ウイルス、寄生虫、真菌による疾患と治療薬について概説できる。
6	内分泌疾患1	甲状腺機能障害、副甲状腺機能障害と治療薬について概説できる。
7	内分泌疾患2	クッシング症候群、尿崩症、アルドステロン症、下垂体機能低下症などと治療薬について概説できる。
8	生殖器と薬1	総論。異常妊娠と分娩、使われる治療薬について概説できる。
9	生殖器と薬2	子宮内膜症、不妊、子宮筋腫、子宮がん、卵巣がんに関する治療薬について概説できる。
10	皮膚疾患1	皮膚の構造、皮下組織の生理、またアトピー性皮膚炎、皮膚真菌症、帯状疱疹と治療薬について概説できる。
11	皮膚疾患2	褥瘡、蕁麻疹、薬疹、乾癬、ベーチェット病、光過敏症、丹毒、ハンセン病と治療薬について概説できる。
12	感覚器1	目の構造、緑内障、白内障、点眼薬について概説できる。
13	感覚器2	耳鼻咽喉の構造と、この分野の治療薬について概説できる。
14	腎、尿路疾患	腎臓の構造、機能と、腎不全、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、頻尿、前立腺肥大と治療薬について概説できる。
15	臨床検査	総論、健康診断票の各数値について概説できる。

[方略] 講義 (教科書および板書を用いた説明)

[評価方法と基準] 定期試験の結果により評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義前後の休み時間、また随時、教員室にて対応する。メールでも可: tkobays@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] さいたまキャンパス、生命医療薬学分野 研究実習棟 11階 1103室

[教科書] 植松ら (2015) 『シンプル薬理学』南江堂 (薬理学Ⅰ、Ⅱと同じです。)

[参考書] 田中越郎 (2012年) 『疾病のなりたちと回復の促進② 病態生理学』医学書院

[担当教員からのコメント] 薬剤師でなければ直接関係ない疾病と医薬品であっても、医療職に就けば患者さんは自分の症状や処方薬について尋ねてくる。そのとき基本的な情報を与え、専門家への照会を手助けしなくてはならない。適切な情報を与えることで、信頼が生まれる。学習については、授業中もそうであるが、とにかく書いて手を動かすこと。書けば整理されて記憶に残る。

健康増進学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 2 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

教授 陳 福士

〔一般目標 (GIO)〕健康科学概論で学んだ基礎知識を基に、さらに深くライフスタイルが健康及び疾病に及ぼす影響を理解し、生活の質 (QOL) の向上を目指したライフスタイルと各種のフィットネストレーニングプログラムを検討する。

〔授業概要〕本講義を通して、心身の健康維持・増進及び疾病予防に対してライフスタイルがいかに重要かを理解し、生活の質の向上のための運動・栄養・休養の実践方法を学習する。

〔授業計画〕後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	健康とは何か?	WHO による健康の定義や QOL の観点からの健康のとらえ方を学習し、そこから「健康とは何か?」を考える
2	ライフスタイルの変容と健康	ライフスタイルの変容が私たちの健康にどのように影響を及ぼしたのかを平均寿命や死因などの観点から学習する
3	食生活が健康に及ぼす影響 (1)	生活習慣病の発症や進行に対して 3 大栄養素が寄与する割合が大きいことを理解し、健康における食事の意味を学習する
4	食生活が健康に及ぼす影響 (2)	生活習慣病の発症や進行に対してミネラルおよびビタミンが寄与する割合が大きいことを理解し、健康における食事の意味を学習する
5	飲酒が健康に及ぼす影響	一時的や長期的な多量の飲酒の習慣が及ぼす健康への悪影響を理解し、その影響は心身の健康にとどまらず社会生活にも関わることを学習する
6	メタボリックシンドロームとライフスタイル	生活習慣病との関わりが高いとされるメタボリックシンドロームの定義を理解し、その予防対策としての運動を含むライフスタイルを学習する
7	ロコモティブシンドロームとライフスタイル	加齢による筋肉量の減少 (サルコペニア) や運動不足による筋力低下が引き起こすロコモティブシンドロームを予防し自立したライフスタイルを学習する
8	糖尿病の運動予防とライフスタイル	国民病といわれる糖尿病の発症のメカニズムを知り、その予防において日常の運動を含む生活習慣を整えることの重要性を理解する
9	腎臓病の運動予防とライフスタイル	腎臓病の発症のメカニズムを知り、その予防において日常の運動を含む生活習慣を整えることの重要性を理解する
10	がん・心疾患・脳血管疾患の運動予防とライフスタイル	現代の日本人の 3 大死因であるがん・心疾患・脳血管疾患とライフスタイルの密接な関係を知り、その予防対策としての運動や生活習慣の役割を学習する
11	骨粗しょう症の運動予防とライフスタイル	高齢者に多く発症する骨粗しょう症の発症のメカニズムを知り、その予防において運動を含む日常の生活習慣を整えることの重要性を理解する
12	ストレスが健康に及ぼす影響	心と身体との関係を理解し、ストレスの発生の仕組みやストレスが心身の健康に及ぼす影響を学習する
13	心の病気の予防とライフスタイル	心身症などストレスが主な原因となって生じる心の病気について学習し、その予防のためのライフスタイルを検討する
14	休養と健康	心身の健康における休養の重要性を理解し、適切な休養のとり方を学習する
15	ライフスタイルと QOL の向上	生活の質 (QOL) を高めていくためのライフスタイルの重要性を講義のまとめとして検討する

〔方略〕講義 (パワーポイント及び配布資料)

〔評価方法と基準〕定期試験により行う。追再試験を行うことがある。

〔学生の質問への対応〕授業終了後に対応する。また E-mail (f-chan@nichiyaku.ac.jp) による質問も受け付ける。

〔所属分野・場所〕さいたまキャンパス スポーツ薬学コース 研究実習棟 9 階 902 研究室

〔教科書〕なし。必要に応じてプリントを配布します

〔参考書〕今村 裕行, 沖嶋 今日太, 角南 良幸, 西村 千尋, 濱田 繁雄, 森脇 千夏, 諸江 健二, 山内 洋一, 吉村 良孝 (2018) 『健康増進科学概論』東京教学社 厚生労働省健康日本 2 1 https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/top.html

厚生労働省健康日本 2 1 (第二回) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21.html

〔担当教員からのコメント〕様々な疾患において運動を中心としたライフスタイルを学びます。

そのためスポーツ分野での最新の有益な情報を捉える努力を日ごろから怠らないようにしましょう。

平成30年度入学生 カリキュラム表

平成30年度入学生
カリキュラム表

カリキュラム表

平成30年度入学生

医療ビジネス薬科学科【ビジネス薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生			
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2									
			数学・統計学の基礎		前2									
			情報リテラシー		前2									
		外国語	生活の化学		前2									
			英語 I (注1)		前2									
	薬学系科目	化学系												
			人体の構造と働き I		前2					医薬品の化学	後2			
		衛生系								公衆衛生学		前2		
									薬理学 I		前2			
									疾病と治療薬 I		前2			
ビジネス系科目							医薬品の適正使用		前2					
	コミュニケーション		前2		医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル		前2				
演習・実習系科目												卒業研究	10	
小 計		16単位			10単位			10単位			10単位			
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方		前2	一般用医薬品演習		前2	社会生活と経済		前2	
		診療報酬請求論 I		前2	経済学		前2	原価・会計		前2				
		診療報酬請求論 II		前2	会計・簿記 I		前2	MR概論		前2				
		経営学入門		前2	会計・簿記 II		前2	キャリアデザイン III		前2				
			生薬学	後2	一般用医薬品学		前2		キャリアデザイン IV	後2				
			キャリアデザイン I	後2	一般用医薬品情報学		前2		起業論	後2				
					日本語表現論		前2		金融論	後2				
							英語 IV (注4)	後2	ファイナンシャルプランニング	後2				
							ビジネス実務論	後2						
							財務・会計	後2						
							医療会計	後2						
							キャリアデザイン II	後2						
					薬理学 II	後2								
小 計		12単位			26単位			16単位			2単位			
選択科目	一般科目(教養科目)	人文社会	現代国語		前2			マーケティング		前2	社会生活と法		前2	
			日本史		前2									
		ビジネス系	医療倫理学		後2				経営戦略論		前2	タックスプランニング		前2
					民法	後2			販売戦略論	後2		リスクマネジメント		前2
		情報医療			診療報酬請求論 III	後2						診療報酬請求事務実践学		前2
				診療報酬請求論 IV	後2									
	外国語			日本語 I (注5)	前2	日本語 III (注5)		前2			ネイティブイングリッシュ		前2	
				日本文化 I (注5)	前2	日本文化 III (注5)		前2						
				日本事情 I (注5)	前2	日本事情 III (注5)		前2						
				日本語 II (注2)	後2	日本語 IV (注5)		後2						
				日本文化 II (注5)	後2	日本文化 IV (注5)		後2						
	薬学系科目	医療系			生命をミクロに理解する	後2	医療経営概論		前2	食品健康学	後2	化粧品科学		前2
					人体の構造と働き II	後2	疾病と治療薬 II		後2	医療経営学	後2	薬理学 III		前2
							病院・薬局管理学	後2						
		アドバンスト科目					海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2		2
								インターンシップ学	1					
演習・実習系科目								ヘルスケアマネジメント論	後2	セルフメディケーション学		前2		
								コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2		コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)		後2	
小計 (注6)		14単位			6単位			16単位			20単位			
合 計		42単位			42単位			42単位			32単位			
卒業要件単位数								124単位						

- (注1) 留学生は選択科目「日本語 I」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語 II」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語 III」で代用可。
 (注4) 留学生は選択科目「日本語 IV」で代用可。
 (注5) 留学生のみ選択可。
 (注6) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

平成30年度入学生

医療ビジネス薬科学科【情報薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生			
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2									
			数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2										
		生活の化学		前2										
	外国語	英語 I (注1)		前2										
		英語 II (注2)		後2										
	薬学系科目	化学系												
			人体の構造と働き I		前2					医薬品の化学	後2			
		衛生系								公衆衛生学		前2		
	医療系													
ビジネス系科目														
	コミュニケーション			前2										
演習・実習系科目														
小 計		16単位			10単位			10単位			10単位			
選択必修科目														
	小 計		12単位			28単位			16単位			2単位		
選択科目	一般科目(教養科目)	人文社会	現代国語		前2	経済学		前2	マーケティング		前2	社会生活と法	前2	
			日本史		前2									
	ビジネス系													
		医療倫理学			後2	民法		後2						
	情報医療													
		診療報酬請求論 I			前2	会計・簿記 I		前2	経営戦略論		前2	タックスプランニング	前2	
	外国語													
		診療報酬請求論 II			前2	会計・簿記 II		前2	販売戦略論		後2	リスクマネジメント	前2	
	薬学系科目													
		診療報酬請求論 III			後2	医療会計		後2						
	演習・実習系科目													
		診療報酬請求論 IV			後2									
	アドバンスト科目													
		日本語 I (注4)			前2	日本語 III (注4)		前2						
	ビジネス系科目													
		日本語 II (注4)			後2	日本語 IV (注4)		後2						
	演習・実習系科目													
日本語 III (注4)				前2	日本語 V (注4)		前2							
演習・実習系科目														
	日本語 IV (注4)			後2	日本語 VI (注4)		後2							
演習・実習系科目														
	日本語 V (注4)			前2	日本語 VII (注4)		前2							
演習・実習系科目														
	日本語 VI (注4)			後2	日本語 VIII (注4)		後2							
演習・実習系科目														
	日本語 VII (注4)			前2	日本語 IX (注4)		前2							
演習・実習系科目														
	日本語 VIII (注4)			後2	日本語 X (注4)		後2							
演習・実習系科目														
	日本語 IX (注4)			前2	日本語 XI (注4)		前2							
演習・実習系科目														
	日本語 X (注4)			後2	日本語 XII (注4)		後2							
小計 (注5)		14単位			4単位			16単位			20単位			
合 計		42単位			42単位			42単位			32単位			
卒業要件単位数		124単位												

- (注1) 留学生は選択科目「日本語 I」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語 II」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語 III」で代用可。
 (注4) 留学生のみ選択可。
 (注5) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

平成30年度入学生

医療ビジネス薬科学科【スポーツ薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生				
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位		
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2										
			数学・統計学の基礎		前2										
		情報リテラシー		前2											
		生活の化学		前2											
	外国語	英語Ⅰ(注1)		前2											
		英語Ⅱ(注2)		後2											
	薬学系科目	化学系								医薬品の化学	後2				
		生物系	人体の構造と働きⅠ		前2										
		衛生系							公衆衛生学		前2				
	医療系					薬理学Ⅰ		前2							
					疾病と治療薬Ⅰ		前2								
					医薬品の適正使用		前2								
ビジネス系科目		コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル		前2					
					英語Ⅲ(注3)		前2	発想法と問題解決研究(SGD)		前2					
演習・実習系科目									医療ビジネス薬科学演習	後2					
小計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10単位				
選択必修科目		コンディショニング実習		前1	栄養学概論		前2	アンチ・ドーピング		前2					
		キャリアデザイン演習Ⅰ		前1	運動生理学		前2	くすりの生体内運命		前2					
			健康科学概論	後2	フィットネス実習		前1	コーチング心理学		前2					
			スポーツ科学概論	後2			キャリアデザイン演習Ⅱ	後1	研究方法論演習Ⅰ		前1				
							スポーツ栄養学	後2	キャリアデザイン演習Ⅲ		後2				
							健康増進学	後2	一般用医薬品総合演習		前2				
							スポーツ医学	後2	体力測定評価学		後2				
							スポーツバイオメカニクス	後2	スポーツマネジメント学		後2				
							トレーニング学	後2	研究方法論演習Ⅱ		後1				
小計		6単位			16単位			16単位			0単位				
選択科目	一般科目(教養科目)	現代国語		前2											
		医療倫理学		前2											
		外国語(注4)	日本語Ⅰ		前2	日本語Ⅲ		前2							
			日本文化Ⅰ		前2	日本文化Ⅲ		前2							
	日本事情Ⅰ			前2	日本事情Ⅲ		前2								
	スポーツ薬学系科目	健康サポート領域							臨床検査学		前2	運動生化学	前2		
									機能性食品学		前2	健康づくりプログラム論	前2		
		競技サポート領域										メンタルヘルスマネジメント	後2	スポーツと情報戦略	前2
												効率的な動きの解剖学	後2	アスレティックトレーナー論	前2
		演習	体育実技Ⅰ		前2								発育発達に応じたトレーニング	前2	
			体育実技Ⅱ	後2											
薬学系科目	医療系		生命をミクロに理解する	後2	一般用医薬品学		前2								
			人体の構造と働きⅡ	後2	一般用医薬品情報学		前2								
			生薬学	後2	薬理学Ⅱ		後2								
					疾病と治療薬Ⅱ	後2									
アドバンスト科目				海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2				
ビジネス系科目						インターンシップ学	1			セルフメディケーション学	前2				
演習・実習系科目				コンピュータスキル	後2										
小計		12単位			8単位			11単位			14単位				
合計		34単位			34単位			37単位			24単位				
卒業要件単位数		124単位													

(注1) 留学生は英語Ⅰ(必修科目)または日本語Ⅰ(選択科目)どちらかを選択履修します。
 (注2) 留学生は英語Ⅱ(必修科目)または日本語Ⅱ(選択科目)どちらかを選択履修します。
 (注3) 留学生は英語Ⅲ(必修科目)または日本語Ⅲ(選択科目)どちらかを選択履修します。
 (注4) 留学生のみ選択可。

3 年 生

3年生科目（お茶の水キャンパス）

目 次

1 薬学系科目	
(1) 化学系	
医薬品の化学	167
(2) 衛生系	
公衆衛生学	168
2 ビジネス系科目	
プレゼンテーションスキル	169
発想法と問題解決研究（SGD）	170
医療ビジネス薬科学演習	171
3 選択必修科目	
(1) ビジネス薬学コース	
一般用医薬品演習	172
原価・会計	173
MR 概論	174
(2) ビジネス薬学コース／情報薬学コース	
キャリアデザインⅢ	175
キャリアデザインⅣ	176
(3) ビジネス薬学コース	
起業論	177
金融論	178
ファイナンシャル・プランニング論	179
4 選択科目（ビジネス薬学コース）	
(1) 一般科目	
マーケティング	180
経営戦略論	181
販売戦略論	182
(2) 薬学系科目	
食品健康学	183
医療経営学	184

(3) ビジネス系科目	
ヘルスケアマネジメント論	185
(4) 演習科目	
コンピュータスキル実践学	186
5 選択必修科目 (情報薬学コース)	
病態と治療Ⅳ	187
医療情報演習Ⅱ	188
生活習慣と病気	189
医薬学英语	190
医療統計学	191
医療情報学	192
6 選択科目 (情報薬学コース)	
(1) 一般科目	
マーケティング	193
経営戦略論	194
販売戦略論	195
(2) 実習科目	
診療情報管理実習Ⅰ	196
診療情報管理実習Ⅱ	197
(3) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	52

3年生科目（さいたまキャンパス）

目 次

1 薬学系科目

(1) 化学系

医薬品の化学 198

(2) 衛生系

公衆衛生学 199

2 ビジネス系科目

プレゼンテーションスキル 200

発想法と問題解決研究（SGD） 201

医療ビジネス薬科学演習 202

3 選択必修科目（スポーツ薬学コース）

アンチ・ドーピング 203

くすりの生体内運命 204

コーチング心理学 205

研究方法論演習Ⅰ 206

キャリアデザイン演習Ⅲ 207

一般用医薬品総合演習 208

体力測定評価学 209

スポーツマネジメント学 210

研究方法論演習Ⅱ 211

4 選択科目

(1) スポーツ薬学科目

臨床検査学 212

機能性食品学 213

メンタルヘルスマネジメント 214

効率的な動きの解剖学 215

(2) アドバンスト科目

海外研修プログラム 73

医薬品の化学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (必修) 講義

准教授 安田高明

〔一般目標 (GIO)〕 医薬品の作用 (効果) が、化学構造と密接に関連していることを理解する。

〔授業概要〕 主として、登録販売者として理解しておくべき一般用医薬品を取り上げる。医薬品化学は情報科学でもある。医薬品の構造から、医薬品の作用が理解できるとともに、副作用を予測することも可能である。構造式と薬理作用を結びつけて考えることができるような基本的知識を修得する。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	基礎事項 1	構造式を書くことができ、官能基を説明することができる。
2	基礎事項 2	構造式と溶解性 (水溶性・脂溶性) の関係を説明できる。
3	殺菌消毒薬	殺菌消毒薬に含まれる主要成分を説明できる。
4	殺菌消毒薬	殺菌消毒薬に含まれる主要成分を説明できる。
5	ビタミン剤	ビタミン剤を説明できる。
6	ビタミン剤	ビタミン剤を説明できる。
7	解熱鎮痛薬	解熱鎮痛薬に含まれる主要成分を説明できる。
8	鎮咳去痰薬	鎮咳去痰薬に含まれる主要成分を説明できる。
9	点鼻薬・鼻炎用内服薬	点鼻薬及び鼻炎用内服薬に含まれる主要成分を説明できる。
10	眼科用薬	眼科用薬に含まれる主要成分を説明できる。
11	胃腸薬	胃腸薬に含まれる主要成分を説明できる。
12	整腸薬・止しゃ薬	整腸薬及び止しゃ薬に含まれる主要成分を説明できる。
13	外用消炎鎮痛薬	外用消炎鎮痛薬に含まれる主要成分を説明できる。
14	催眠鎮静薬、眠気防止薬・乗り物酔い予防薬	催眠鎮静薬、眠気防止薬及び乗り物酔い予防薬に含まれる主要成分を説明できる。
15	演習	これまでの講義内容の理解度を確認するための演習を行う。

〔方略〕 1～14 回：講義 (プリント)、15 回：演習

〔評価方法と基準〕 定期試験 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 1: オフィスアワー (講義開講日、13:30～17:00)

2: E-mail: yasuda@nichiyaku.ac.jp

3: オフィスアワーの時間帯に質問したい場合には、事前にメールで申し込むこと。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科・お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕

〔参考書〕 日比野利、夏刈英昭、廣田耕作 (2011) 『New 医薬品化学』 廣川書店、中島恵美・伊東明彦 (2010) 『今日の OTC 薬—解説と便覧』 南江堂

〔担当教員からのコメント〕 医薬品の化学構造式を通して、医薬品の作用を理解して欲しい。

公衆衛生学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

教授 大田祥子

〔一般目標 (GIO)〕人々の「健康づくり」に貢献することを目標として、健康と社会・環境に関する基本的知識を修得するとともに、社会生活にとって必要不可欠である健康の維持と増進、疾病の予防、健康管理、環境保健、健康教育、衛生行政、医療制度などの公衆衛生に関する知識を体系的に学習し、総合的に考察できるように理解を深める。

〔授業概要〕公衆衛生学は個人あるいは集団社会の組織的な活動を通じて、健康増進と疾病の予防を考え、社会に寄与することを目的とした学問である。本講義では、人々の「健康づくり」に貢献するために、公衆衛生の基本理念、保健統計、疫学、健康と疾病予防、環境保健、衛生行政、母子保健、労働衛生、学校保健、高齢者医療及び介護、保健医療制度などに関する理解を深め、基本的知識を修得できるように解説する。また、環境汚染問題、社会の疾病構造の変化、生活習慣の現状と対策、医療の現状と課題、少子高齢社会の実態、精神疾患による健康の破綻、貧困と健康など現代社会で起こっている問題を広く取り上げ、その問題を取り巻く社会情勢について考察する。

〔授業計画〕前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	社会と健康	健康の概念、公衆衛生の概念について説明できる。生活と健康問題の変移、公衆衛生・予防医学の歴史について説明できる。生命の倫理について概説できる。
2	保健統計	健康指標を列挙し、その意義について説明できる。人口動態と人口動態について説明できる。死因別死亡率の変遷について説明できる。日本における人口の推移と将来予測について説明できる。
3	疫学	疾病予防のための疫学の役割を説明できる。疫学の三要因について説明できる。疫学の種類とその方法を説明できる。リスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度および信頼区間について説明し、計算できる。
4	疾病の予防と健康管理	疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。健康増進政策 (健康日本21など) について概説できる。
5	感染症の予防とその対策 (1)	現代における感染症の特徴について説明できる。代表的な新興感染症および再興感染症について列挙し、説明できる。代表的な性行為感染症を列挙し、その予防対策について説明できる。
6	感染症の予防とその対策 (2)	感染症法における、感染症とその分類について説明できる。指定感染症および新感染症の分類根拠について説明できる。予防接種の意義と方法について説明できる。予防接種法の定める定期予防接種の種類を列挙し、接種時期について説明できる。
7	生活習慣病の予防とその対策	生活習慣病の種類とその動向について説明できる。生活習慣病の代表的なリスク要因を列挙し、その予防法について説明できる。
8	環境保健 (1)	地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。化学物質の食物連鎖を介した生物濃縮・環境内動態について例を挙げて説明できる。
9	環境保健 (2)	主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源、健康影響について説明できる。水の浄化法、塩素処理について説明できる。下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。地球規模の環境問題を列挙し、その環境保全に関する国際的な取り組みについて説明できる。
10	地域保健、消費者保健	地域保健活動について説明できる。代表的な薬害を列挙し、説明できる。家庭用品に含まれる有害物質による健康被害について説明できる。
11	母子保健	出生率について説明できる。新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。母子感染する代表的な疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。少子化によりもたらされる問題点を列挙できる。
12	学校保健、産業保健	こどもの健康状況を把握し、学校保健の意義について説明できる。代表的な労働災害、職業病について説明できる。労働衛生管理について説明できる。
13	高齢者保健、精神保健	高齢化によりもたらされる問題を列挙できる。介護サービスを列挙し、介護保険制度について概説できる。精神疾患の課題と対策について説明できる。
14	保健医療制度と法規	保健医療行政の意義と保健医療制度について概説できる。医療保険の仕組みと年金制度について概説できる。
15	総括	総まとめ、1回～14回までの復習・解説

〔方略〕講義 (教科書、パワーポイントによる説明)、演習 (配布資料)。

〔評価方法及び基準〕定期試験 (100点満点) にて評価し、60点以上を合格とする。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕オフィスアワー (木曜日・金曜日 14:00～16:00) あるいは講義終了後、講義室にて対応します。重要な質問については、授業の中で、その質問と回答を全学生に共有します。

〔所属分野・場所〕医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館2階

〔教科書〕小山 洋、辻 一郎 編 (2019) 『シンプル衛生公衆衛生学 2019』南江堂 (ISBN:978-4-524-24019-7)

〔参考書〕(2018) 『国民衛生の動向 2018/2019年』一般財団法人 厚生労働統計協会

〔担当教員からのコメント〕公衆衛生学は、健康と自然・社会環境との関係を理解し、疾病の予防や健康増進を推進する生活に密着した学問です。感染症、生活習慣病、少子化対策、環境問題、高齢者介護などの話題に関して、ニュースで報じられる内容が理解できるよう、基本的な知識を身につけましょう。

プレゼンテーションスキル

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (必修) 演習

講師 (非) 大泉 寛

[一般目標 (GIO)] 種々の場面で、他者に対して情報を提示し、理解と納得を得る技術が大変必要になります。このための技術であるプレゼンテーションスキルを学修し、医療情報の提供や、ビジネスなどの場面で活かす能力を修得します。

[授業概要] この講義では、プレゼンテーションの基本となる態度や論理的思考について理解し、次にパワーポイントの利用やプレゼンテーション技術を学びます。そしてファーマシューティカル分野を題材としたプレゼンテーション演習を行い、医療情報を提供するために必要な実践的なスキルを育成することを目標とします。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションの意義及び目的や技法について学習する。
2	プレゼンテーションにおける基本的態度	基本的な身だしなみや態度などについて学習する。
3	プレゼンテーションにおける基本的言語・動作	基本的な言語の使い方や動作などについて学習する。
4	プレゼンテーション演習①	挨拶、態度、話し方、敬語などの使い方を実際に演習する。
5	論理的思考の基本 I	プレゼンテーションの基本である論理的な説明の方法について学習する。
6	論理的思考の基本 II	ロジックツリーなどの技法を使った説明方法を学習し、実際の作成を行う。
7	プレゼンテーション演習②	第 5・6 回で学習したスキルを使ったプレゼンテーションを行う。
8	パワーポイントを使ったプレゼンテーション I	パワーポイントを学習する。
9	パワーポイントを使ったプレゼンテーション II	パワーポイントを使ったプレゼンテーションの効果的な手法を学習する。
10	プレゼンテーション演習③	プレゼンテーションの発表と質疑応答及び評価を行い理解を深める。
11	プレゼンテーション演習④	プレゼンテーションの発表と質疑応答及び評価を行い理解を更に深める。
12	プレゼンテーションの作成 I	テーマの選定と目的を明確にする事により理解を深める。(グループ)
13	プレゼンテーションの作成 II	ストーリー作成とメディアの準備とリハーサルを行う事により理解を深める。(グループ)
14	プレゼンテーション演習⑤	発表と質疑応答及び評価を行う事により理解を深める。(グループ)
15	総括	プレゼンテーションスキルについての総括を行う。

[方略] 講義 (パワーポイント・プリント)、演習 (SGD)

[評価方法と基準] 演習課題 (学修ポートフォリオ・ルーブリック評価) 50 %、定期試験 50 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

[参考書] 大泉早智子・有末友三子・大泉寛 (2014) 『プレゼンテーションスキル講義』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] プレゼンテーションスキルは医療情報の提供やビジネスには必要不可欠です。事前学習として自分自身のふりかえりから始めましょう。講義では実技演習のために皆さんの発表の時間を多く取り入れ、大泉早智子講師の協力を頂いて進める予定ですので、積極的に参加してスキルを磨いて下さい。そして事後学習として現実社会の場面で主体的に実践することを心がけて下さい。

発想法と問題解決研究 (SGD)

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (必修) 演習

講師 (非) 大泉 寛

[一般目標 (GIO)] イノベーションをおこす創造力に必要なスキルとしての発想法と問題解決について学修し、グローバル化する知識基盤社会に対応できる論理的思考による認知的能力と創造的なビジネスマインドを育成する。

[授業概要] 本講義では、まず発想法と問題解決技法の基本的スキルを身に付け、アクティブラーニングによる演習を行い、認知的能力を深める。そしてこれらの技法を応用した研究として、医療ビジネスを課題としたイノベーションモデルを作成することにより創造的なビジネスマインドを育成することを目標とする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	発想法と問題解決研究の概要	講義の意義と目的、概要について理解する。
2	発想法のタイプと分析情報発想法と演習	発想法の 4 つのタイプと、分析情報発想法について理解し、実際に演習する。
3	連想発想法と演習	連想発想法について理解し、実際に演習する。
4	図による発想法と演習	図による発想法について理解し、実際に演習する。
5	発想転換発想法と演習	発想を転換させることによる発想法について理解し、実際に演習する。
6	KJ 法と演習	KJ 法について理解し、実際に演習する。
7	SECI モデル・ブレインストーミングと演習	SECI モデル・ブレインストーミングについて理解し、実際に演習する。
8	問題解決技法の分類と発散技法と演習	問題解決技法の分類と発散技法について理解し、実際に演習する。
9	収束技法と演習	収束技法について理解し、実際に演習する。
10	統合技法と演習	統合技法について理解し、実際に演習する。
11	態度技法と演習	態度技法について理解し、実際に演習する。
12	イノベーション演習Ⅰ	発想法と問題解決手法を使った新しいイノベーションモデルを考案する事により理解を深める。
13	イノベーション演習Ⅱ	発想法と問題解決手法を使った新しいイノベーションモデルを作成する事により理解を深める。
14	イノベーション演習Ⅲ	発想法と問題解決手法を使った新しいイノベーションモデルの発表と評価する事により理解を深める。
15	総括	発想法と問題解決スキルとビジネスマインドについて理解する。

[方略] 講義 (パワーポイント・プリント)、演習 (SGD)

[評価方法と基準] 演習課題 (学修ポートフォリオ・ルーブリック評価) 50 %、定期試験 50 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

[参考書] 大泉早智子・有末友三子・大泉寛 (2013) 『発想法と問題解決研究講義』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] 発想法と問題解決研究は、皆さんの普段の問題意識の高まりから始まります。事前学習として何事にも問題意識を持つことを心掛けて下さい。講義は皆さんと一緒に考えながら行います。また SGD には大泉早智子講師にも参加して頂く予定ですので積極的に参加して下さい。そこから新しい発見や発想が生まれます。そして事後学習として新しいアイデアを講義にフィードバックして下さい。

医療ビジネス薬科学演習

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (後期) 2単位 (必修) 演習

講師 (非) 大山良治 助教 岩瀬晴信 講師 高城徳子 助手 太田友三子

〔一般目標 (GIO)〕 実際の医療業界における医療ビジネスおよびその関連産業に携わる医療人について理解する。また、医療業界の実情と業界および社会の要望を理解する。学生自身の未来を切り開く現実的な発想法、会社の選び方などの情報収集の方法を修得する。医療ビジネス系分野で必要とされる基礎的知識、技能、態度を修得する。また、医療業界の方向において、薬剤助手に対して簡単な調剤支援ができるような方向で動いているため、調剤支援のための基礎的知識、技能、態度を修得する。

〔授業概要〕 薬科学演習を通じて、医療系職種に携わるための基礎、レポートの書き方その他の演習を通じて医療ビジネスに関わる医療人における幅広い知識、技能、態度を修得する。ビジネス領域では、学生が、社会における医療ビジネス薬科学の役割および医療に携わる者としての使命を理解し、自己理解を深め、自己発見、適職発見ができるようになるための授業構成となっている。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ビジネス領域 (1)	調剤の流れについて概説できる。
2	ビジネス領域 (2)	調剤業務にかかわる事項の意義や取り扱いについて説明できる。
3	ビジネス領域 (3)	処方せんに従って、計数調剤ができる。
4	ビジネス領域 (4)	処方せんに従って、計数調剤ができる。
5	ビジネス領域 (5)	処方せんに従って、計量調剤ができる。
6	ビジネス領域 (6)	処方せんに従って、計量調剤ができる。
7	ビジネス領域 (7)	共同作業を通して、協調的に成果を進展させる。
8	ビジネス領域 (8)	共同作業を通して、成果を進展させ、その成果について客観的にポジティブフィードバックさせる。
9	ビジネス領域 (9)	ビジネスを簡略化したゲームを通じて、ビジネスに必要な知識を活用・理解し、意思決定能力やデータ分析能力を養う。
10	医療領域 (1)	薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。
11	医療領域 (2)	薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。
12	医療領域 (3)	薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。
13	医療領域 (4)	薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。
14	医療領域 (5)	薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。
15	医療領域 (6)	調剤における処方鑑査について説明できる。

〔方略〕 講義、演習、実習実技、small group discussion など多岐にわたる。1・2・3・4・5・6回 大山良治、7・8・9回 岩瀬晴信・大山良治、10・11・12・13・14回 岩瀬晴信・大山良治、15回 大山良治。15回目は2クラスに分けて実施する (別途連絡)。

〔評価方法と基準〕 演習課題 (100%) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー：医療ビジネス薬科学科の各演習担当者が随時対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス

〔教科書〕 医療ビジネス薬科学科で作成した薬科学演習書等を使用する。

〔参考書〕

〔担当教員からのコメント〕 演習では、積極的に取り組むことが重要である。

近年、病院薬剤師のさらなる職能発揮を目的に、薬剤助手の活用が試行されており、医療業界の方向においても、この薬剤助手に簡単な調剤支援ができるような方向で動いているため、調剤支援のための基礎的知識、技能、態度を修得する。

また、調剤事務や病院事務で活躍するためには、薬の取り揃えなどの業務など簡単な調剤業務を体験しておくことは重要であり、演習において、簡単な調剤業務を体験させる。

一般用医薬品演習

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 竹内浩二

[一般目標 (GIO)] 登録販売者試験に合格できるレベルの知識を修得する。更に登録販売者としての必要な知識及び技術を修得する。

[授業概要] 登録販売者試験に合格できるように、各科目の内容の復習、確認をしながら演習問題 (過去問題) を解説して、確実に試験内容を理解してもらう。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医薬品に共通する特性と基本的な知識	医薬品概論、安全性などについて説明できる。
2	医薬品に共通する特性と基本的な知識	医薬品の選択、薬害の歴史について説明できる。
3	人体の働きと医薬品	人体の各器官について説明できる。
4	人体の働きと医薬品	医薬品の副作用について説明できる。
5	主な医薬品とその作用	精神神経系、呼吸器系に作用する薬について説明できる。
6	主な医薬品とその作用	胃腸、循環器系に作用する薬について説明できる。
7	主な医薬品とその作用	排泄系、アレルギーなどに作用する薬について説明できる。
8	主な医薬品とその作用	漢方製剤、公衆衛生用薬など説明できる。
9	薬事関係法規・制度	医薬品に関する法律の目的や分類・取り扱いなどについて説明できる。
10	薬事関係法規・制度	医薬品の販売業について説明できる。
11	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報、安全対策について説明できる。
12	医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の副作用などによる健康被害の救済などについて説明できる。
13	総まとめ	医薬品に共通する特性と基本的知識、人体の働きと医薬品の用語と関連する数字について説明できる。
14	総まとめ	主な医薬品とその作用の用語と関連する数字について説明できる。
15	総まとめ	薬事関係法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策の用語と関連する数字について説明できる。

[方略] 講義 (配布プリント及び日本薬業研修センターテキスト [2 年次に使用したもの])

[評価方法と基準] 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了後又は講義前に今迄の内容についての質問を受け付けるか、教務課に設置した質問ノートに記入してもらい回答する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 日本薬業研修センター『登録販売者試験受験対策共通テキスト上巻及び下巻』日本薬業研修センター H29 年 3 月発行『登録販売者試験受験対策共通テキスト上下巻』日本薬業研修センター

[参考書]

[担当教員からのコメント] 東京都の行った過去の「登録販売者試験問題」を解説しながら重要な内容を理解してもらいながら、今年度を実施される登録販売者試験に合格し、「登録販売者の資格」獲得を目指す。

原価・会計

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 西野芳夫

【一般目標 (GIO)】この講義では、製造業を営む企業の計算書 (貸借対照表と損益計算書など) の作成方法と、企業が製造する製品の原価の計算方法を修得します。中心となるテーマは工業簿記と原価計算です。

講義では、日商簿記検定 2 級 (工業簿記) 程度の内容を中心として解説し、ビジネス実務に必要な会計の基礎知識 (製造業の企業の計算書を理解できる。) を修得することを目標とします。

【授業概要】まず製造業を営む企業で使われる複式簿記 (工業簿記) の全体像を学びます。基本的には商業簿記と同じですが、工業簿記では、製品の原価を計算するプロセスを記録すること (仕掛品勘定、製造間接費勘定、製品勘定など) が必要であり、この点を理解することがポイントとなります。

つぎに、製品の原価計算方法を取り上げます。製品原価の計算方法には個別原価計算と総合原価計算があり、授業ではこれらの計算方法の考え方を説明します。

【授業計画】 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	工業簿記の仕組み	製造業を営む企業の複式簿記 (工業簿記) の仕組みの全体像を理解し、製造業の貸借対照表と損益計算書を作成することができる。
2	製品の製造原価の計算と記録方法①	製品の製造原価を構成する材料費、労務費、経費の意味を理解し、これらのデータで製品の製造原価を計算することができる。
3	製品の製造原価の計算と記録方法②	材料費、労務費、経費の計算方法を実際原価ではなく、予定価格で処理することができる。
4	製造間接費の処理①	製造間接費とはなにかを理解し、これを製品別に配賦することができる。
5	製造間接費の処理②	製造間接費差異 (製造間接費の実際発生額と予定価格の差額) が生じた場合の処理をすることができる。また、差異が生じた原因を分析することができる。
6	部門費計算	製造間接費をまず発生した製造部門や補助部門に集計し、最終的に製造部門に集計したうえで、ここから製品別に配賦することができる。
7	個別原価計算	製品を受注生産した場合に行われる個別原価計算の方法を学び、工業簿記にそのデータを記録することができる。
8	単純総合原価計算①	大量見込生産を行う製造業で用いられる単純総合原価計算の方法を学び、工業簿記にそのデータを記録することができる。
9	単純総合原価計算②	総合原価計算の特徴である月末仕掛品の原価を計算することができる。
10	工程別総合原価計算	工程別総合原価計算の方法を学び、工業簿記にそのデータを記録することができる。
11	組別総合原価計算	複数の異なる製品を製造している場合の製品原価を計算する事例を取り上げ、組別総合原価計算の方法を学ぶ。
12	等級別総合原価計算	容量や形状が異なる同種製品の製造原価の計算方法である等級別総合原価計算の方法を学ぶ。
13	標準原価計算	製造原価の計算に標準原価を用いる原価計算の考え方及びその方法を学び、標準原価差異分析を行うことができる。
14	損益分岐分析	製品をどれだけ売れば利益が生じるか。短期利益計画のために必要なツール (道具) である損益分岐分析の方法を理解する。
15	直接原価計算	変動費だけで製品原価を計算する原価計算の考え方と、なぜそのような計算を行うのかについて理解する。

【方略】プリントを配布して計算問題を中心に講義を進めます。

【評価方法と基準】小テスト 50 点、定期試験 50 点で評価する。ただし、定期試験が 20 点以下の場合には不合格とする。追再試験を行うことがあります。

【学生の質問への対応】授業中はもちろん、授業の前後の質問も歓迎します。

【所属分野・場所】医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

【教科書】岡本清ほか編 (2019 年 3 月) 『検定簿記講義 2 級工業簿記』中央経済社

【参考書】とくになし。

【担当教員からのコメント】製造業の企業の貸借対照表と損益計算書を作成したり、あるいは経営分析をするためには、製品の原価がどのように計算されるかを理解しておくことが必要です。製品の原価計算方法には個別原価計算と総合原価計算の 2 つの考え方があり、両者の違いを理解することも重要です。また、実際原価と標準原価という性質の違う価格を使った計算方法についても理解をする必要があります。

MR 概論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 友石和登 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 MR 概論では、医療の一翼を担う医薬情報担当者 (MR) の職務と社会的責任について学習し、必要とされる知識と技能を修得し、倫理観を醸成する。

〔授業概要〕 MR 概論では、医薬品の適正な使用に資するために医薬品情報を提供および収集することを職務とする医薬情報担当者 (MR) の社会貢献と倫理観、必須の法規および制度を学び、提供する具体的な医薬品情報の内容を修得する。医薬品の有効性についてはエビデンスとなる臨床試験について、情報提供および収集する安全性についてはリスクマネジメントの観点から、その重要性を認識するこれらの情報媒体として添付文書の位置づけと市販後調査による育薬を理解する。また、医療関係者に情報提供するためのコミュニケーション能力開発と最終目標である「医療のパートナー」を目指す資質を修得する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医薬品の特性と医療環境の変化	医薬品の定義、医療用医薬品と一般用医薬品の違い、および医薬品の社会貢献を説明できる。また、患者の尊厳を考え、患者主体で医療に関わる近年の医療環境を認識する。
2	製薬企業と医薬情報担当者 (MR)	製薬企業における組織と職制、特に医薬品情報の提供および収集を業務とする医薬情報担当者 (MR) が育薬で担うべきことを説明できる。
3	薬事関連法規	医薬品医療機器法 (旧薬事法) を中心に、MR 活動で必須となる薬事関連法規を概説できる。
4	医療関連制度	国民皆保険の概要と今の日本における医療費問題の現状を説明できる。また、医療機関における医療給付と保険制度の仕組みが説明できる。
5	MR の業務と倫理観	MR がどのような医薬品情報を提供および収集するのかを説明できる。また、情報提供および収集活動の大前提である社会的責任と倫理観を考える。
6	医療用医薬品添付文書	MR が提供する情報の基本であり、また唯一の法的根拠のある添付文書の記載事項を概説できる。
7	臨床試験と EBM	医療用医薬品の臨床試験と臨床研究との違いを理解し、MR が医薬品の有効性に関する情報を提供する場合は試験成績の種類と目的を概説できる。
8	臨床試験で使う統計用語	臨床試験や臨床研究で使われる基本的な統計用語と試験方法、またエビデンスレベルや医学雑誌について説明できる。
9	医薬品と副作用の歴史	薬害の歴史とその教訓、医薬品の副作用発現リスクと対策について説明できる。また、医薬品医療機器総合機構の役割を概説できる。
10	市販後調査と育薬	市販後調査の 3 本柱である「再審査制度および安全性定期報告」「再評価制度」「副作用・感染症報告制度」の目的およびこれに関わる MR の業務を説明できる。
11	安全管理と安全性情報	GVP の概要と安全確保措置および MR が担う適正使用情報・安全性情報の伝達について説明できる。
12	リスクマネジメント RMP	リスク管理計画 (RMP) 施行の背景と概要、特に「安全監視計画」と「リスク最小化計画」の 2 つの目的を説明できる。
13	MR の資質	医療機関を訪問する MR の責務と社会的使命を理解し、MR に求められる「倫理観」「知識」「コミュニケーション能力」の 3 つの要素を説明できる。
14	コミュニケーション能力	医療関係者との面談に必要なコミュニケーション能力の重要性を理解する。プレゼンテーションの基本を修得する。
15	総復習 創薬から育薬	医療用医薬品の創薬から育薬までの全体像を説明できる。特に、MR が育薬で担うべきこと、医療の一翼を担う意味を説明できる。

〔方略〕 講義 (配布プリント) 講義 (パワーポイント)

〔評価方法と基準〕 定期試験 (80%) とレポート (20%) で評価を行う。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講師にメール、もしくは教務課に設置したノートに記入する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕 配布プリント

〔参考書〕 友石和登 (2011 年) 『文献にマーカーを引いて持っていったら』株式会社サイカス、MR の未来を考える会 (2012 年) 『新人 MR マニュアル』株式会社サイカス、メディカルエデュケーション編集部 (2017 年) 『MR 育薬学』株式会社サイカス

〔担当教員からのコメント〕 本講義内容は、MR だけでなく CRA (臨床開発モニター)、PV (Pharmacovigilance) 担当者、MSL (Medical Science Liaison) 担当者などの製薬企業職種だけでなく、CRO (受託臨床試験機関)、SMO (治験施設支援機関)、CRC (治験コーディネーター) も含めた医療用医薬品に関わるすべての職種に必要とされる知識を紹介する。

キャリアデザインⅢ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 演習

講師 大泉早智子 助教 岩瀬晴信 講師 (非) 谷川陽子

[一般目標 (GIO)] 就職活動に向けて、基本的な知識・態度を修得する。

[授業概要] キャリアデザインⅢでは、就職活動を始めるための準備として、自己分析、業界・企業研究や仕事・職種研究などを行い、「なりたいたい自分」から「なれる自分」へと成長を促す。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンスおよび インターンシップについて	就職活動の「全体像」をつかむ：就職活動を行うにあたり、何を調べ、何をすれば良いのか。まずは、活動の全体像を掴み、「主体的に動く事への必要」を意識する。 社会人として必要な基礎力を把握する。
2	自己分析 1	「自己分析」とはどのようなことをするのか？ また、どうして就職活動に必要なのか？ について理解を深める。
3	自己分析 2	自己分析で不可欠な「今までの自分史」「自分の長所」を穴埋め形式で記入し、自己分析の方法について体感する。「自分の経験」などについて文章化する。 文章化した「自分」についての情報を、グループのメンバーに伝え、さらに詳細を文章化できるようにする。
4	職務適性テスト 返却・解説	仕事をしていく上で、各自の特徴を診断。どのような職業に適しているのかを分析する。
5	履歴書・手紙・メール作成講座	就職活動本番に必要な、ビジネスマナー (特に手紙の出し方、メールの書き方・電話のかけ方) を身につける。また就活に有効な SNS 問題点についても知る。
6	社会人基礎力テスト 振り返り	4 月に実施した社会人基礎力テストの個人成績票配布と解説。 社会人として必要な基礎力を把握し、弱点攻略の糸口を見出す。
7	業界研究	就職活動に必要な「業界研究」について、その意味と方法を知る。 グループごとに割り振られた業界について、インターネット等を使って調べ、知識を深める。
8	SPI + 一般常識・時事対策	面接の前に行われることが多い「筆記試験」。採用で一番使われることの多い SPI 試験を中心に、筆記試験の基本とレベル感を知り、必要な対策を行う。
9	インターンシップ事前研修 1	社会人体験ができる「インターンシップ」の意味と、インターンシップに参加するための方法を知る。すでに応募が可能になっているインターンシッププログラムについて、「エントリー」を行う。
10	インターンシップ事前研修 2	インターンシップの選考に必要な「応募書類」の作成を体験する。
11	インターンシップ事前研修 3	夏のインターンシップ全員参加を目指して、選考過程における面接試験のポイントを理解する。
12	インターンシップ事前研修 4	人の第一印象は最初に会った 6~12 秒の間に決まると言われている。就活やインターンシップの選考で面接官が見ている身だしなみについて学び、好印象を与える「就活スタイル」を身につける。
13	ビジネスマナー 1	企業は縦社会として成り立っている。そのために必要とする言葉づかいとマナー、職場における人間関係、チームワークとコミュニケーション等を学ぶ。 何故ビジネスマナーが必要なのか？「第一印象の重要性」とそれを良くするにはどのようにしたら良いのかを学ぶ。・自己紹介 (1 分/人)・挨拶「笑顔」の重要性とポイントを修得する。
14	ビジネスマナー 2	「身だしなみ」「態度」は何が求められているのか、「自己」を見直すことが出来る。 「言葉づかい」の苦手意識を克服し、コミュニケーション能力を高める。
15	業界研究 留学生就職講座 (留学生のみ)	医療現場などでも頻繁に使われるようになってきた「ホスピタリティ」。この講座では、医療界とは異なる業界で活躍されている講師を招いて、「ホスピタリティ」について学びます。

[方略] 配布資料、ワークシートなどを用いる。1 回 菊地信一、2~15 回。外部講師：谷川陽子。外部講師支援者：大泉早智子、岩瀬晴信、堀川亜希子 (就職・厚生課) キャリアデザインⅢの詳細なスケジュールは開講後、配布する。

[評価方法と基準] 学修成果レポートで評価する。本講義への参加はスーツ着用のこと。

[学生の質問への対応] 担当者が随時対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス

[教科書] 指定教科書は特にない

[参考書] 岡 茂信著『自己分析 適職へ導く書き込み式ワークシート』マイナビ、岡 茂信著『エントリーシート 完全突破塾』マイナビ、才木弓加著『面接 自己 PR 志望動機』マイナビ、東洋経済新報社編集『就職四季報』東洋経済新報社、東洋経済新報社編集『会社四季報 業界地図』東洋経済新報社

[担当教員からのコメント] 就職活動は、自分自身を見つめ、仕事への適性や興味を把握することが重要です。限られた期間で納得いく進路を決めるには、「いつまでに、何をすべきか」「それは何故なのか」を把握し、準備をしておくことが必須です。そのためには、十分な情報収集と自己分析は欠かせません。就職活動において「無知」は大敵です。企業や他大学の学生の一般的な動きや業界傾向を知り、その背景を理解しましょう。就職・厚生課は、これらの情報の窓口になる大切な場所です。積極的に活用してください。また、服装や受講態度に気を配り、遅刻や欠席をしないよう気を付けてください。

この科目を受講して、この夏は全員がインターンシップに参加できるよう、一緒に頑張りましょう！

キャリアデザインⅣ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (後期) 2単位 (選択必修) 演習

講師 大泉早智子 助教 岩瀬晴信

〔一般目標 (GIO)〕 就職活動に向けて、必要な基本的な知識・態度を修得する。

〔授業概要〕 キャリアデザインⅣでは、就職活動本番に向けて、自己分析、業界・企業研究や仕事・職種研究などを行い、「なりたい自分」から「なれる自分」へと成長を促す。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス	就職活動の進め方：キャリアデザインⅢの振り返りを行い、実践的な準備に入る心構えを持つ。
2	インターンシップ発表会	インターンシップ報告会：インターンシップに参加した学生による報告会 (病院・製薬企業・ドラッグストアなど) を行い、情報共有を行う。
3	企業研究・職種研究講座	「職種」とはなにか？ 医療ビジネス薬科学科の学生が想定する職種の研究を行う。職種研究の内容を集約し、知識の共有を図る。
4	志望動機作成講座	人事が「会いたい！」と思う「志望動機」と「自己PR」作成：キャリアデザインⅢで得た、業界や企業についての情報と、自己分析で得た自分についての情報を結び付け、採用担当者にとって魅力的な「志望動機」「自己PR」を作成する。
5	面接対策講座 1	選考の最重要項目！ 面接の「基本」を知る。面接体験をしよう！：選考の山場である「面接」についての基礎知識をつける。面接の形式や面接官によって視点の違いを知る。模擬面接を行い、改善点の洗い出しを行うことで面接突破をめざす。
6	面接対策講座 2	グループディスカッション講座：グループディスカッションとは？ グループディスカッションを体験しよう！ グループディスカッションの全体的な流れ、役割分担について考える。5～6名で一組となり、実際にテーマに基づいてグループディスカッションを実施。採用担当者の視点から他の学生の印象をチェックすることで、どのような対応すべきかを知る。
7	業界研究 (実践編) 1	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
8	業界研究 (実践編) 2	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
9	業界研究 (実践編) 3	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
10	業界研究 (実践編) 4	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
11	業界研究 (実践編) 5	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
12	業界研究 (実践編) 6	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
13	業界研究 (実践編) 7	様々な企業の方々を招き、講演会及びパネルディスカッションを行う。
14	就活スタート直前講座	求人への応募方法と説明会での自分売り込み。就職情報サイトや求人票の見方を知り、スムーズにエントリーや応募ができるようにする。また、3月からはじまる合同企業説明会等の活用方法を知る。
15	まとめ	

〔方略〕 配付資料、ワークシート、ロールプレイ、スモールグループディスカッション (SGD) など。1・2・15回 大泉早智子、岩瀬晴信
3～14回 外部講師 外部講師支援者：大泉早智子、岩瀬晴信、堀川亜希子 (就職・厚生課)。キャリアデザインⅣの詳細なスケジュールは、開講後、配布する。

〔評価方法と基準〕 学修ポートフォリオで評価する。講義への参加は、スーツを着用すること。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 担当者が随時対応する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス

〔教科書〕 指定教科書は特になし。

〔参考書〕 岡 茂信著『自己分析 適職へ導く書き込み式ワークシート』マイナビ、岡 茂信著『エントリーシート 完全突破塾』マイナビ、才木弓加著『面接 自己PR 志望動機』マイナビ、東洋経済新報社編集『就職四季報』東洋経済新報社、東洋経済新報社編集『会社四季報 業界地図』東洋経済新報社

〔担当教員からのコメント〕 就職活動は、自分自身を見つめ、仕事への適性や興味を把握することが重要です。限られた期間で納得のいく進路を決めるには、「いつまでに、何をすべきか」「それはなぜなのか」を把握し、準備をしておくことが必須です。そのためには、十分な情報収集と自己分析は欠かせません。就職活動において「無知」は大敵です。企業や他大学の学生の一般的な動きや業界傾向を知り、その背景を理解しましょう。就職・厚生課はこれらの情報の窓口になる大切な場所です。積極的に活用してください。この科目を通して、目指す将来を実現するため、一緒に頑張りましょう！

起業論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 稲垣伸高 (実務)

[一般目標 (GIO)] ベンチャーの起業の過程に触れ、起業のリスクとメリット、重要となる成功要因について講義、また招聘講師から経験談などを伺い学ぶ。

起業に関わる各種マネージメント知識を学習する事によって社会人としての高い基礎教養・意識として転換出来る様にする。学生が個々のビジネスモデルを創造し構築の方法を修得する。

[授業概要] 起業のスタートアップから成長の過程に至るまで、必要となる条件、必要となるスキルについて実践的な内容を回により招聘講師を交えて概説する。起業に関連する社会貢献の重要性を理解する。

学生においては創業計画、プレゼンテーションなどを通じて、理解を深める。

ビジネスモデルの作成を課題とする。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	経営とは何か?	経営者の役割、組織の役割について説明出来る。
2	ベンチャー企業経営者の研究	ベンチャー企業として成功している会社を取り上げ、起業の目的、起業のバリアーについて学習する。
3	資本と出資 資本政策	起業における外環境を知る。 起業家の組織運営、期待する未来を知る。
4	ベンチャーのスタートアップ	ベンチャーのスタートアップにおける、経営要素の優先順位について説明出来る。
5	医工連携による社会的起業事例から考える	地域の救急医療を最適化していく事によって社会的意義のあるソリューションを形成する医工連携ビジネスモデルについて事業化するまでのストーリーを通じて社会的起業に必要な条件を学ぶ。
6	イスラエルに学ぶデジタルヘルスイノベーション	スタートアップネーションであるイスラエルでの体験談を通し、イノベーション創出の為のエコシステムについて概説から学ぶ。またデジタルヘルス関連の日本における環境について理解する。
7	ベンチャーの戦略1 マーケティング	大企業のマーケティング戦略と小企業のマーケティング戦略の特徴と差異について学ぶ。
8	ベンチャーの戦略2 社会貢献	事業を成功する為に企業が果たすべき社会貢献を義務、共有価値の創造など CSR・CSV の事例を用いて学び、在り方について概説出来る。
9	ベンチャーの戦略3 財務分析	起業後に必ず直面する財務状況について大企業・中小企業など様々な事例を用いて学ぶ。
10	ベンチャーの戦略4 ビジョン	理念・ビジョンとは何か? なぜ必要か? ビジョンに基づいたマネジメントの必要性及びその在り方について概説出来る。
11	ベンチャーの戦略5 経営分析	市場をどのように分析し、また経営戦略に基づき市場との差別化を行うか学習する。
12	ベンチャーの戦略6 組織化	組織化のタイミング、組織の重要性、協力者をどのように集めるか? より良い人材をどのように固定化させるかについて概説出来る。
13	創業計画作成	学んだ知識を駆使し、実際に創業を計画する。
14	プレゼンテーション	作成した創業計画についてプレゼンテーションを行う。
15	まとめ	総括

[方略] 講義 (パワーポイント)

[評価方法と基準] 定期試験 (70%) + レポート評価 (30%)。追・再試験を実施する場合がある。

[学生の質問への対応] E-mail

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 上坂卓郎 (2006) 『ベンチャー企業論入門』中央経済社

[参考書] 三宅秀道 (2012) 『新しい市場の作り方』東洋経済新報社

[担当教員からのコメント] 知識としてのベンチャー経営だけではなく、実践的にベンチャーの経営をシミュレーションする。

試行錯誤の中から、創造的な思考と実践力を身につける。

金融論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 鈴木昌行 講師 (非) 河合 裕 (実務) 講師 (非) 中山高秀 講師 (非) 佐藤正浩 (実務)

[一般目標 (GIO)] 金融に関する基礎的な知識、理論、金融取引を主体的に判断できる力 (金融リテラシー) を学習・修得する。

[授業概要] 「金融 (money and finance)」とは、資金余剰主体から資金不足主体に資金を融通することを意味する。前半では、経済事象の背後にある「金融経済」についての基礎的な知識・用語や考え方を修得する。後半では、経営という観点からの「企業金融」と、家計・生活の観点からの「個人の金融リテラシー」の両面の基本的な事項や分析手法を学習・修得する。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	金融とは何か	金融が個人の生涯設計や企業の活動にどのような役割を果たしているか、および講座全体の構成を学習して理解する。(鈴木担当)
2	マクロ経済と金融	マクロ経済と金融・金融政策について、歴史的に概観し、その意義と役割を学習して理解する。(鈴木担当)
3	金融市場・金融取引	金融市場の種類や主要な参加主体、および金融市場における様々な金融取引の概要について学習して理解する。(鈴木担当)
4	預金通貨と信用創造	貨幣の機能、信用創造のメカニズムについて学習して理解する。(中山担当)
5	日本銀行の役割	金融市場において通貨の管理と金融の調整を行う日本銀行の業務についてその目的、機能、そして日本銀行が行なう金融政策について、学習して理解する。(佐藤担当)
6	金融機関の役割	金融市場の運営に大きな役割を果たす金融機関について、その種類やそれぞれの役割を学習して理解する。(佐藤担当)
7	金利	単利と複利や固定金利と変動金利の違い、および金利の期間構造について学習して理解するとともに、計算の基本を修得する。(河合担当)
8	金融商品 (その 1)	個人の生活設計、家計管理の観点から、金融資産を構成する金融商品の種類や分類について学習して理解する。その 1 では、預金、保険、年金等の伝統的な金融商品について、税務上の取り扱いも含め理解する。(河合担当)
9	金融商品 (2)	その 2 として社債、株式、投資信託等の市場性の金融商品について学習して理解する。および、これら金融商品に関する税務上の取り扱いについて理解する。(河合担当)
10	金融商品 (3)	フィンテックに代表される新しい金融商品について学習理解する。およびローンの基本的な種類について学習して理解する。併せて投資家保護のための金融商品取引法について学習して理解する。(河合担当)
11	企業金融とは何か	企業経営において金融が果たす役割や、企業が資金を必要とする理由、資金を調達する方法について学習して理解する。(佐藤担当)
12	金融と企業会計	企業金融の基礎となる企業会計の基本的な仕組みについて学習して理解する。(佐藤担当)
13	損益分岐点分析 (1)	固定費、変動費、損益分岐点、利益図表に関わる企業金融について学習して理解する。(中山担当)
14	損益分岐点分析 (2)	損益分岐点分析を応用して、設備投資、原価体質や売上目標、利益目標に関わる企業金融について学習して理解する。(中山担当)
15	総まとめ・復習	1 回～14 回までの総まとめ・復習と演習 (鈴木担当)

[方略] 講義 (各講義の配布レジメおよびパワーポイントによる説明)。関連資料の配布あり。理解度チェックのための問題と解説。第 1 回～第 3 回・第 15 回鈴木、第 4 回・第 13 回～第 14 回中山、第 5 回～第 6 回・第 11 回～第 12 回佐藤、第 7 回～第 10 回河合担当

[評価方法と基準] 原則として定期試験 (持込可) のみ。追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 講義は各回講義レジメを配布する。

[参考書] 講義の中で適宜紹介する。

[担当教員からのコメント] ビジネスの社会においても、また個々の家計にとっても、金融の知識を修得することの重要性は改めて指摘するまでもありません。社会人となる人の一人ひとりが「金融リテラシー」を向上させることが強く求められています。この授業では、受講する人が金融については初心者であることを前提に、配布資料や新聞記事を解説したりしつつ、「基本的な事柄から、分かりやすく丁寧に」をモットーに説明します。

ファイナンシャル・プランニング論[医療ビジネス薬科学科（お茶の水キャンパス）] 3 年生（後期）2 単位（選択必修）講義

講師（非）大泉 寛（実務）

〔一般目標（GIO）〕医療ビジネスや医療産業に携わる人材においても、医薬品の知識の他に、ファイナンスにも精通して、総合的なコンサルタントができる能力が求められる。また、資金調達管理などの病院ファイナンスのスキルは医療経営を行う上でも必要である。そしてファイナンシャル・プランニングは人生のライフプランを構築して作成する上において重要な要素であり、精神的治療であるともいわれている。さらに建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を目標に、体系的なキャリア教育の一環として、生涯を通して自己実現を達成していく能力を身につける。

〔授業概要〕ライフプランを考える上では、まず健康な生活が保障されることのほかに、お金の管理も重要な要素であり、コンサルティングとしてのライフプランの作成は医療現場でもまた医療経営においても重要なスキルとなっている。そこで本講義では、ファイナンシャルプランニングに必要な社会保険や資金計画、リスク管理、さらに金融資産の運用管理、税金、不動産、相続などの基本的事項を学修し、自分自身やコンサルタントとしての素養を身につけることを目標とする。また、一生を通じたライフプラン・リタイアメントプランニングの作成も行い人生練磨に耐えうる学士力を育成する。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	FP の意義と概要	ファイナンシャル・プランニングの意義と概要を理解する
2	ライフプランニングと資金計画	倫理、関連法規、FP の手法、社会保険、公的年金、企業年金、資金計画、ローンとカードについて理解する。
3	リスク管理①	保険制度全般、生命保険の基礎知識、生命保険商品、生命保険と税金について理解する。
4	リスク管理②	損害保険の概要、損害保険商品、損害保険と税金、第三分野の保険、リスク管理と保険について理解する。
5	金融資産運用①	預貯金、金融類似商品、投資信託、債権投資、株式投資、外貨建て金融商品について理解する。
6	金融資産運用②	金融派生商品とポートフォリオ、金融商品と税金、セーフネットと関連法規について理解する。
7	タックスプランニング	所得税の基礎知識、各種所得の計算、損益通算と繰越控除、所得控除、所得税の計算と納税、個人住民税と個人事業税について理解する。
8	不動産①	不動産の見方、不動産の取引、法令上の制限、取得・保有にかかる税金について理解する。
9	不動産②	不動産の譲渡にかかる税金、不動産の賃貸にかかる税金、不動産の有効利用、不動産投資と証券化について理解する。
10	相続・事業承継①	贈与と法律、贈与と税金、相続と法律、相続と税金について理解する。
11	相続・事業承継②	相続財産の評価、不動産の相続対策および相続と保険の活用について理解する。
12	ライフ（リタイアメント）プランの立案	一生を通じたライフプランの立案についてロールプレイングで理解を深める。（SGD）
13	ファイナンシャルコンサルティング①	個人などのファイナンに関するアドバイスをケースで分析して理解を深める。（SGD）
14	ファイナンシャルコンサルティング②	病院などのファイナンスをケースで分析して理解を深める。（SGD）
15	総括	ファイナンシャルプランニングについてのまとめを行う。

〔方略〕講義（教科書、パワーポイント・プリント）演習 及び SGD、ロールプレイング

〔評価方法と基準〕小テスト（15%）、課題（15%）、定期試験（70%）として評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕教務課に設置した質問ノートに記入する。

〔所属分野・場所〕医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕ユーキャン FP 技能士試験研究会編（2019）『'19～'20 年版 FP の学校 3 級きほんテキスト』自由国民社（ISBN-13: 978-4426608637）、ユーキャン FP 技能士試験研究会編（2019）『'19～'20 年版 FP の学校 3 級これだけ! 問題集』自由国民社（ISBN-13: 978-4426608651）

〔参考書〕福永肇（2010）『財務会計/資金調達（2）資金調達（医療経営士中級テキスト一般講座 9）』日本医療企画

〔担当教員からのコメント〕講義は、質問と解答を双方向で行いながら進めるアクティブラーニングで行いますので、事前学習で、テキストを読んで理解して臨んでください。ライフプランの立案などは SGD やロールプレイングで行いますので大泉早智子講師にも協力を頂く予定です。また講義の内容を忘れないように練習問題を解いて力を付ける必要がありますので、事後学習を怠らないで下さい。国家試験である FP 技能士 3 級の内容は網羅しますので受験にも備えることができます。

マーケティング

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 大泉 寛

[一般目標 (GIO)] マーケティングの基本概念を理解し、医療ビジネスへの応用を考察しながら、ファーマシューティカル分野での実践的マーケティング戦略を策定する能力を持ったマーケティングスペシャリストとしてのスキルを育成し、もって創造的ビジネスマインドを醸成する。

[授業概要] 本講義では、市場環境の変化に対応し、顧客に対して価値を創造し、提供する活動であるマーケティングの基本的プロセスをまず理解する。その上で、いくつかの重要なテーマを学修する。そして、医療マーケティングへの応用を考察し、ファーマシューティカル分野におけるマーケティング戦略を実践的な戦略策定シミュレーションを通じたアクティブラーニングにより行うことにより創造力を養い、ビジネスマインドの醸成につなげるにより医療経営に貢献できる人材の育成を目標とする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	マーケティングプロセス	マーケティングの基本的プロセスを理解する。
2	環境分析と市場機会	消費者の行動分析の方法と市場機会について理解する。
3	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング	市場へのアプローチの手法としての手法を理解する。
4	製品・価格・流通・プロモーション戦略	4P、4C、及びマーケティングミックスを理解する。
5	マーケティング・コミュニケーション戦略	双方向性メディアなどの普及によるマーケティングの変化について考察し、コミュニケーション手法について理解する。
6	ブランディング戦略	ブランドがマーケティングにおいてどのように影響するかを考察し、そのマネジメントの手法を理解する。
7	マーケティング・リサーチ	市場調査の手法を理解する。
8	競争戦略	リーダー企業、後続企業の戦略を考察し、その競合によるマーケティング戦略を理解する。
9	カスタマー・リレーション	顧客との関係性や苦情処理の方法と顧客ニーズの把握の手法を理解する。
10	ビジネス・マーケティング、グローバル・マーケティング	生産財マーケティングと消費財マーケティングの違いを理解する。世界的な規模で行われているマーケティング活動を理解する。
11	医療マーケティング	医療マーケティングの手法を理解する。
12	ファーマシューティカルマーケティング戦略Ⅰ	医薬品マーケティングを理解し、戦略の立案と戦略計画書の作成を行う。
13	ファーマシューティカルマーケティング戦略Ⅱ	医薬品マーケティングを理解し、戦略の発表と実践を行う。
14	ファーマシューティカルマーケティング戦略Ⅲ	医薬品マーケティングを理解し、戦略の報告と評価を行う。
15	総括	マーケティングスキルとビジネスマインドについて総括を行う。

[方略] 講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、演習 (SGD)

[評価方法と基準] 課題 30 %、定期試験 70 %の合計 100 %で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 4階

[教科書] 真野俊樹監修 (2010) 『医療マーケティングと地域医療:患者を顧客としてとらえられるか (医療経営士テキスト 中級一般講座 3)』日本医療企画 (ISBN:978-89041-911-1)

[参考書] 高橋真人 (2011) 『変革期を勝ち抜く医薬品マーケティング新戦略』医薬経済社、グロービス経営大学院 (2010) 『グロービス MBA マーケティング [改訂 3 版]』ダイヤモンド社、渋谷明隆・中澤達・裴英洙・堤達朗・佐藤乃理子・松原由美・島久美子 (2015) 『MBA 流 ケースメソッドで学ぶ医療経営入門Ⅱ』日経 BP 社

[担当教員からのコメント] マーケティングは我々の日常生活にも深く浸透しています。事前学習として、テキストを参考にマーケティングの概念をもって自分の周りを医療や医薬品をテーマに見渡して下さい。そうすることで創造力が湧いてきます。講義の中でも皆さんに、沢山の質問を投げかけ SGD や双方向によるアクティブラーニングやフィールドワークも行う予定ですので大泉早智子講師にも協力を頂く予定ですので積極的に参加してください。そして事後学習として、マーケティングのスキルの実践を期待しています。

販売戦略論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

[一般目標 (GIO)] 医薬品産業及びその周辺産業における販売戦略の基本を修得することを目標とし、もってビジネスマインドの高揚を促進する。

[授業概要] 医薬品の流通・供給などに必要である基本的知識 (販売・経営管理、マーチャンダイジング、ストアオペレーションなど) を理解し、活用できることはビジネスに必要不可欠であり、登録販売者やMSなど医療ビジネス産業に携わる者にも等しく求められるスキルである。本講義では、まず販売管理の基本をマスターした上で、医薬品業界の販売戦略を考察し、分析することを通じ、戦略の手法を理解し、自らが戦略の立案が出来るようにして、創造性豊かな学士力の育成を目指します。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	販売戦略の概要	医薬品産業などでの販売戦略の概要を学習して理解する。
2	販売・経営管理①	販売管理者の基本業務、関連法令等を学習して理解する。
3	販売・経営管理②	経営分析、組織、人事、店舗施設管理を学習して理解する。
4	小売業の種類①	流通業、小売業の役割と機能等を学習して理解する。
5	小売業の種類②	ドラッグストアやサプライチェーン等の運営を学習して理解する。
6	マーチャンダイジング①	商品知識、プロダクトサイクル等を学習して理解する。
7	マーチャンダイジング②	戦略的商品計画、POSシステム等を学習して理解する。
8	ストアオペレーション①	発注システム、売場の管理、ディスプレイ等を学習して理解する。
9	ストアオペレーション②	販売員の役割、接客技術、教育訓練等を学習して理解する。
10	マーケティング①	マーケティング戦略等について学習して理解する。
11	マーケティング②	マーケティングリサーチ、商圏分析等を学習して理解する。
12	医薬品産業の販売戦略立案①	医薬品産業での販売戦略の考察と立案を行い理解する。(SGD)
13	医薬品産業の販売戦略立案②	医薬品産業での販売戦略の策定を行い理解する。(SGD)
14	医薬品産業の販売戦略立案③	医薬品産業での販売戦略のグループ発表を行い理解する。(SGD)
15	総括	販売戦略についてのまとめを行う。

[方略] 講義 (教科書、パワーポイント・プリント) 演習 及び SGD

[評価方法と基準] 小テスト (15%)、課題 (15%)、定期試験 (70%) として評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 4階

[教科書] ユーキャン販売士検定試験研究会編 (2018) 『U-CANの販売士検定2級速習レッスン 第3版』自由国民社 (ISBN-13:978-4426607289)、ユーキャン販売士検定試験研究会編 (2018) 『U-CANの販売士検定2級過去問題集』自由国民社 (ISBN-13: 978-4813266891)

[参考書] 日本商工会議所・全国商工会連合会編 (2016) 『販売士ハンドブック (応用編)』キャリアック、ユーキャン登録販売者試験研究会 (2018) 『ユーキャンの登録販売者これだけ!一問一答&要点まとめ 第6版』U-CAN

[担当教員からのコメント] 講義は、質問と解答を双方向で行いながら進めるアクティブラーニングで行いますので、事前学習で、テキストを読んで理解して臨んでください。販売戦略の立案はSGDで行い大泉早智子講師にも協力を頂く予定です。そして講義の内容を忘れないように練習問題を解いて力をつける必要がありますので、事後学習を怠らないで下さい。また医薬品産業の販売戦略には登録販売者の知識が欠かせないことから合わせて学習を深めます。そして自分自身の実力を確かめる為にリテールマーケティング検定試験の受験を奨励しています。

経営戦略論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 三上智也 (実務)

〔一般目標 (GIO)] 病院、薬局などの経営に必要な戦略の知識を修得し、実践できることを目標とします。

〔授業概要] 経済成長が緩やかに上昇する中、会社はどうやって生き残っていくのか。ビジネスで勝利するための戦略であるランチェスター戦略を通じて競合に打ち勝つ経営を学びます。

〔授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ランチェスター戦略とは何か	ランチェスター戦略の概要
2	弱者と強者の戦略	5つの戦略
3	3つの戦略 (1)	ナンバーワン
4	3つの戦略 (2)	目標
5	弱者の五大戦法 (1)	局地戦
6	弱者の五大戦法 (2)	弱者の戦略
7	ナンバーワン戦略 (1)	パレートの法則
8	ナンバーワン戦略 (2)	エリアと対象
9	ナンバーワン戦略 (3)	商品の決め方
10	ナンバーワン戦略 (4)	集客方法
11	ナンバーワン戦略 (5)	販売方法
12	ナンバーワン戦略 (6)	差別化の方法
13	ナンバーワン戦略 (7)	コミュニケーション戦略
14	ナンバーワン戦略 (8)	経営理念の重要性
15	ナンバーワン戦略 (9)	マーケティング

〔方略] 板書中心の講義

〔評価方法と基準] 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 講義終了後または教務課に設置した質問ノートに記入

〔所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書] 坂上仁志 (2009) 『ランチェスター経営戦略』明日香出版社 ISBN 978-4-7569-1289-3

〔参考書]

〔担当教員からのコメント] 上場企業でもランチェスター戦略を取り入れて成功しているようです。その中でも特に重要なのがナンバーワン戦略です。これをヒントに会社を反映する考え方と行動を学んでいきたいと思います。

食品健康学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 三輪 操

[一般目標 (GIO)] 身の回りには、食の健康や安全に関する情報があふれている。健康を維持・増進するために、どのような食品をどのように食べれば良いのか、科学的根拠に基づいた考えで、よりよい選択が出来るようにするとともに、正しい情報をわかりやすく発信する方法を身につける。

[授業概要] 健康な生活を送るには食品に関する正しい知識が必要である。本講義では、食品の化学的・生物学的・栄養学的性質、機能性、安全性、食品の安全性を脅かす環境因子などについて、様々な角度から学ぶ。講義の題材として、実際の食品の表示、新聞記事、テレビコマーシャルなどを用い、ワークシートに整理するとともに、身の回りに存在する細菌を検出する簡単な実験を行うことなどにより、実生活と関連させながら、食と健康に関する理解を深め、自分の考えを発信できるようにする。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	食品健康学の講義概要、到達目標を理解する。
2	食品成分とその性質 (1)	炭水化物とたんぱく質の性質について理解する。
3	食品成分とその性質 (2)	脂質、ビタミン、ミネラルの性質について理解する。
4	食品表示から読み解く情報 (1)	原材料、原産地、アレルギー表示などについて理解する。
5	食品表示から読み解く情報 (2)	消費期限・賞味期限、栄養成分、栄養強調表示、機能性表示などについて理解する。
6	食品表示から読み解く情報 (3)	食品添加物の役割、安全性などについて理解する。
7	保健機能食品 (1)	食品と薬品の違い、保健機能食品、いわゆる健康食品、サプリメントの定義について理解する。
8	保健機能食品 (2)	特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品について理解する。
9	健康をおびやかすもの (1)	微生物による食中毒について学び、正しい知識を得る。
10	健康をおびやかすもの (2)	細菌の簡単な検出実験を行い、身の回りの、どこにどれくらいの細菌が存在するのかを理解する。
11	健康をおびやかすもの (3)	化学物質による食中毒について学び、予防法を修得する。
12	健康をおびやかすもの (4)	食品由来の健康被害因子について学び、正しい知識を得る。
13	健康をおびやかすもの (5)	環境由来の健康被害因子について学び、正しい知識を得る。
14	新しい食品	遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品について学び、メリット、デメリットを科学的に理解する。
15	まとめ	食品と健康に関する自分の考えを説明できる。

[方略] 講義 (パワーポイントおよび配布資料)

[評価方法と基準] 定期試験 60 %、レポート 40 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了後に対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 教科書は指定しないが、講義時に資料を配布する。

[参考書] 講義のときにいくつか紹介する。

[担当教員からのコメント] 講義は教員からの一方向の伝達ではなく、みなさんと意見交換をしながら、双方向で進めていきたいと考えています。毎日深く考えずに食事をしているかもしれませんが、講義で学ぶことにより、食べることに興味がわき、自分の健康を自分で守る意識が芽生えてくることを期待します。

医療経営学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

教授 大田祥子

【一般目標 (GIO)】 少子高齢化および多死社会を迎え、医療機関の経営や地域の医療における課題を解決するために必要な知識を修得します。医療人として、また医療機関の経営部門の初級専門スタッフとしての基礎知識を習得し、医療経営の基本である「医療経営士資格認定試験 3 級」資格取得を目標とします。

【授業概要】 医療機関の活動根拠となる医療制度、日本の医療政策、医療機関の構造、医療サービスの現状等について体系的に学びます。また、講義の中では、国内外の新たな医療に関連したトピックを取り上げ、社会の動きを知り、関連する課題を解決していく考え方を身につけていきます。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	日本の医療政策と地域医療システム 1	国民皆保険の基本構造や患者負担・診療報酬・薬価制度の仕組みについて説明できる
2	日本の医療政策と地域医療システム 2	医師不足問題、医療における ICT (Information Communication Thechnology) 化の進展について説明できる
3	日本の医療政策と地域医療システム 3	少子高齢化に伴う医療費適正化に向けた取組のうち、後発医薬品の使用促進、チーム医療の推進と多職種連携について説明できる。
4	病院のしくみ・各種団体、学会の成り立ち 1	病院の定義、医療従事者の種類と資格、診療報酬、医療と法律について説明できる。
5	病院のしくみ・各種団体、学会の成り立ち 2	医療機関の機能分化と連携、診療と治療の流れ、病院の主な部門や機能について説明できる。
6	病院のしくみ・各種団体、学会の成り立ち 3	病院内の委員会、介護施設などの病院関連施設、医療関連官公庁、医療関連団体、学会組織、医療関連ビジネス (業務代行など) について説明できる。
7	診療科目の歴史と医療技術の進歩 1	医療経営と診療科の関連、疾病構造や医療技術を反映した新たな専門診療科の概要について説明ができる。
8	診療科目の歴史と医療技術の進歩 2	近代医学の確立によって分化した診療科や大学医学部の診療科の独立、医科・歯科医師の標榜と公告、疾病構造の変化による単科病院への重圧などが説明できる。
9	診療科目の歴史と医療技術の進歩 3	医療の技術進歩と、戦後誕生した診療科、診療科の課題と展望について説明できる。
10	日本の医療関連サービス 1	医療関連産業の発展と、製薬会社・医薬品卸と物流管理システム・共同購入・医療機器などの医療関連産業の動向と展望について説明できる。
11	日本の医療関連サービス 2	様々な医療関連ビジネスの詳細を説明できる。透析関連ビジネス、循環器領域、整形外科領域、手術室、病院情報システム、検体検査、病院建築設計、医療事務、患者給食等の医療関連産業の動向と展望などである。
12	日本の医療関連サービス 3	医療機関の専門スタッフとして、外部委託や取引業者選定など、医療関連産業との関わり方について説明できる。
13	患者と医療サービス 1	医療サービスの定義を理解し、医療サービスに求められる具体的なスキルを説明できる。
14	患者と医療サービス 2	現場から求められる、未収金対策・待ち時間対策・適切なトリアージなどの医療サービスについて説明できる。
15	まとめ	14 回までの総復習。練習問題を実施し、解説をする。

【方略】 講義 (プリント、パワーポイント)、演習 (インターネット調査) 等。

【評価方法と基準】 毎回の小レポート (50%)、グループでのプレゼンテーション (50%) で評価します。試験、追再試は行いません。

【学生の質問への対応】 オフィスアワー (木曜日・金曜日 14:00 ~ 16:00) あるいは講義終了後、講義室にて対応します。

重要な質問については、授業の中で、その質問と回答を全学生に共有します。

【所属分野・場所】 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 2 階

【教科書】 プリント配布

【参考書】 酒井シヅ (2018) 『医療経営士初級テキスト』、長 英一郎 (2018) 『なるほどなっとく 医療経営 Q & A 50 初級 4 訂版』日本医療企画

【担当教員からのコメント】 医療経営の基礎は、まず日本の医療制度や医療の話題を知る事からはじまります。そのために、医療ニュースに触れる機会を多く持つと良いでしょう。

ヘルスケアマネジメント論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (後期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 前田京子

〔一般目標 (GIO)〕ヘルスケアマネジメント論では、ヘルスケアの理論・概念を学び、ヘルスケアの知識だけではなく、そのヘルスケアの実施を個人、組織に促すマネジメント理論を学び修得します。

〔授業概要〕ヘルスケアの必要性、ヘルスケア (身体・心の健康の理論) とストレスと関係を知り、健康維持、増進のための理解とその実施の仕方を個人、組織レベルで推進していく仕方 (コミュニケーション論) を修得する。

〔授業計画〕後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ヘルスケアとは？	現代社会、少子高齢化時代での、ヘルスケアの必要性と重要性を理解する 精神の健康、身体健康、健康に向かう健康行動についての観点を学ぶ
2	人は何故、健康を害するのか？	健康を害する、ストレス、代謝低下、老化を始めとする様々な理由、要因を理解し学ぶとともに、ヘルスケアマネジメントを実施、推進する際に有効な自己理解、他者理解 (タイプ分析) を行い、各タイプのモチベーションアップのヒントを学ぶ (期待できない期待はしない)
3	ストレスマネジメント①	健康を害する主な理由、ストレスについてケアの仕方を知る (ストレス気質をコントロールする)
4	ストレスマネジメント②	ストレス対処法 (ストレスコーピング) と様々なストレスマネジメント法を学ぶ 自律訓練法の体験
5	健やかな生活を阻む悪癖とは？	生活習慣病についてや、健康行動推進を阻む悪癖とその対応についてと、あるがままの自分を理解し、生活に反映させる (あるがままの自分とは) 潜在能力開発を体験する
6	ヘルスケアマネジメントの取り組み	個人に対して、ヘルスケアを実施するためのマネジメントの仕方を修得する (かかわり行動)
7	カウンセリング&コーチングその1	ヘルスケア推進を阻む悪癖を生むトラウマ感情のケアの実践を行い、体得する (考え方ではなく感じ方)
8	カウンセリング&コーチングその2	ヘルスケア推進を阻む悪癖を生むトラウマ感情のケアの実践を行い、体得する (考え方ではなく感じ方)
9	ヘルスケアマネジメントのマネジメントとは	組織でストレスマネジメントを展開するために、各専門領域の把握を行うとともにマネジメントという概念を学ぶ
10	ヘルスケアマネジメントの展開その1	組織でストレスマネジメントを展開するために、自身のコミュニケーション術を磨く (人間関係をつくるコミュニケーション術)
11	ヘルスケアマネジメントの展開その2	組織でストレスマネジメントを展開するために、自身のコミュニケーション術を磨く (人間関係をつくるコミュニケーション術)
12	ヘルスケアマネジメントの展開その3	相手に伝わる聴き方、話し方、伝え方を学び実践する (人間関係をつくるコミュニケーション術)
13	ヘルスケアマネジメントの展開その4	ヘルスケアマネジメントを推進するリーダーシップを学ぶ (感情労働から志労働へ) 統合医療についてを学ぶ
14	ヘルスケアマネジメントの失敗例、成功例	ヘルスケアマネジメントを実際に推進した際の成功例や失敗例を共有、事例を検討します (NG 対応を OK 対応に)
15	復習	今までの講義内容を復習

〔方略〕講義 (教科書、配布プリント、パワーポイントなど) 演習、実習等

〔評価方法と基準〕定期試験結果 (100%)。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕原則講義前後で対応します。メールによる質問も可能 (72 時間までに返信)。

〔所属分野・場所〕原則として、講義教室に 15 分前に待機

医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

〔教科書〕宗像恒次 (2013 年) 『NG 事例でわかる対人ストレス対処法』日経研出版

講義で必ず使用します。必ず購入ください。

〔参考書〕講義の中で参考図書は都度ご紹介させていただきます。

〔担当教員からのコメント〕少子高齢化社会を踏まえ、今後、健康産業が伸びていくことは明らかです。学生の間に、ヘルスケアマネジメント理論を学ぶなかで、自己成長をし、社会人基礎力や仕事を推進していく能力、社会で生き抜く学びとスキルを身につけていきましょう。

コンピュータスキル実践学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択) 演習

講師 (非) 横山悠亮

[一般目標 (GIO)] 就職した際に必要なコンピュータスキルや、コンピュータリテラシーを身につける。

[授業概要] コンピュータの基礎知識、電子メールの送り方、Excel、PowerPoint、Html の基礎を学習します。その際、実際の現場で使われている事例などを取り上げながら、ケーススタディやグループワーク形式で学習していきます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ハードウェア	コンピュータの5大装置、CPUについて学ぶ。
2	ネットワークとセキュリティ	通信の種類 (WAN/ADSL/CATV/FTTH/モバイル通信)、IP アドレス、情報セキュリティについて学ぶ。
3	電子メール①	TO,CC,BCC の違い、件名、本文の書き方、署名の書き方など、電子メールの留意点やマナーについて、ケーススタディで学ぶ。また、メールソフトの初期設定方法を学ぶ。
4	電子メール②	グループワークにて、課題として出されたビジネスメールの問題点を考察する。また、社会人へのお返しメールを送信する。
5	Word ①	Word の基礎的な使い方を習得する。
6	Word ②	Word の基礎的な使い方を習得する。
7	Excel ①	Excel の基礎を学ぶ。
8	Excel ②	Excel の簡単な表計算を学ぶ。
9	Excel ③	Excel の表計算を使って、データ分析を行う。
10	Excel ④	Excel の表計算を使って、データ分析を行う。
11	PowerPoint ①	PowerPoint の基礎を学ぶ。
12	PowerPoint ②	PowerPoint を使ってプレゼンテーション資料を作る。
13	Html ①	Html の基本概念、タグについて学び、簡単な Html 形式のファイルを作成する。
14	Html ②	Html を使い、簡単なページを制作する。
15	まとめ	講義の内容についてのまとめ、補足説明、質疑応答など

[方略] 講義 (パワーポイントと配布プリント)、実践 (パソコンを使用)、適宜グループワークを導入する。

[評価方法と基準] 毎回の提出物 20 %、課題提出 50 %、定期テスト 30 % で評価を行う。追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了後に直接質問するか、メールにてお問い合わせください。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 資料を配布します。

[参考書] 富士通エフ・オー・エム株式会社 (2019) 『よくわかる Microsoft Word 2019 基礎』 FOM 出版、富士通エフ・オー・エム株式会社 (2019) 『よくわかる Microsoft Excel 2019 基礎』 FOM 出版、富士通エフ・オー・エム株式会社 (2019) 『よくわかる Microsoft PowerPoint 2019 基礎』 FOM 出版

[担当教員からのコメント] 企業に就職した際、必要になってくるスキルや、現場での利用方法を中心に学習していきます。

特別難しいスキルを身につける講座ではありません。どなたでもお気軽に受講可能です。

病態と治療Ⅳ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

教授 京ヶ島守

〔一般目標 (GIO)〕 消化器系および皮膚骨格系疾患について、その特徴、症状、診断・検査法について理解し診療情報管理士としての知識を修得することを目標とします。

〔授業概要〕 前半は消化器系疾患、後半は皮膚および皮下組織の疾患・筋骨格系疾患の順番で勉強していきます。各々の最初の時間でその領域の基本的な考え方、診断・検査法、治療法について概説します。その上で各疾患について細かく見ていくことにします。消化器系疾患では、胃十二指腸、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆道系の疾患については特に詳しく触れていきます。また、皮膚および皮下組織の疾患・筋骨格系疾患では、全身性の疾患と深く関わるもの (膠原病など) について特に詳しく触れていきます。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	消化器系疾患総論	消化器系の形態、機能について復習する。この領域の疾患の基本的な診断法、検査法、治療法を説明できる。
2	口腔・食道の疾患および胃・腸の疾患	口内炎、食道炎、アカラジアなどの疾患について理解する。胃、十二指腸潰瘍について説明できる。
3	胃・腸の疾患Ⅰ	急性胃炎、慢性胃炎、ヘルニア等について説明できる。
4	胃・腸の疾患Ⅱ	炎症性腸疾患 (クローン病、潰瘍性大腸炎) などについて理解する。その他の胃・腸疾患について説明できる。
5	肝・胆・膵の疾患Ⅰ	急性肝炎、慢性肝炎などについて説明できる。
6	肝・胆・膵の疾患Ⅱ	肝硬変、脂肪肝、急性膵炎、慢性膵炎などについて説明できる。
7	肝・胆・膵の疾患Ⅲ	胆のう胆道系疾患、その他の肝、膵疾患について説明できる。
8	その他の消化器系の疾患	2 回目から 7 回目に学習した以外の消化器系の疾患について説明できる。消化器系疾患全般について復習する。
9	皮膚・皮下組織系疾患総論	皮膚・皮下組織系の形態、機能について復習する。この領域の疾患の基本的な診断法、検査法、治療法について説明できる。
10	皮膚・皮下組織系疾患各論Ⅰ	皮膚の感染症、炎症、湿疹などについて説明できる。
11	皮膚・皮下組織系疾患各論Ⅱ	全身性疾患と皮膚、皮膚の腫瘍等について説明できる。
12	筋骨格系疾患総論	筋骨格系の形態、機能について復習する。この領域の疾患の基本的な診断法、検査法、治療法について説明できる。
13	筋骨格系疾患各論Ⅰ	関節・軟部組織系疾患などについて説明できる。膠原病などについて説明できる。
14	筋骨格系疾患各論Ⅱ	膠原病 (後半) などについて説明できる。脊柱系疾患などについて説明できる。
15	まとめ	総まとめを行う。

〔方略〕 講義 (教科書、配布プリント)、演習 (配布資料) 等

〔評価方法と基準〕 定期試験 (80%)、レポート提出 (20%) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義の前後適宜。講義のない日は教務課に設置された質問ノートに記入するか、E-mail: mkyogashi@nichiyaku.ac.jp で連絡してください。

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス・生命科学薬学分野 研究実習棟 8F 801 号室

〔教科書〕 大井 利夫 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 第 8 版 基礎・医学編 ISBN 9784903448220』 一般社団法人日本病院会 基本的に診療情報管理士のテキストを用います。

〔参考書〕 福本 陽平 (2016) 『病気がみえる 消化器 vol1 第 5 版 ISBN 9784896326123』 メディックメディア、森尾 友宏 (2018) 『病気がみえる 免疫・膠原病・感染症 第 2 版 ISBN 4-89632-720-9』 メディックメディア、橋詰 直孝 (2017) 『病気がみえる 運動器・整形外科 ISBN 9784896321』 メディックメディア、落合 慈之・下出 真法 (2018) 『整形外科疾患ビジュアルブック 第 2 版 ISBN 9784780912388』 学研メディカル秀潤社、落合 慈之・五十嵐 敦之 (2012) 『新版皮膚疾患ビジュアルブック ISBN 9784780910803』 学研メディカル秀潤社 これらの参考書は図版が多いのが特徴です。

〔担当教員からのコメント〕 消化器系疾患では日常よく遭遇する病気が多いことが特徴です。異なる疾患でありながら似たような病名が出てくることがありますがしっかり区別できるようにしましょう。医学薬学の進歩により、疾患にも少しずつ変化がみられます。主としてウイルスにより引き起こされる慢性肝炎は薬物治療により以前より治りやすい疾患になりつつありますが、かわりに非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) と呼ばれる病気が問題になってきています。皮膚・皮下組織や筋骨格系の疾患は意外と全身性疾患 (膠原病・自己免疫疾患) と関係がありますから注意が必要です。高齢化が進むことにより、整形外科領域の患者さんは増加の一途です。特徴的な病気は確実に理解してください。サルコペニア、ロコモ、フレイルなどの用語も理解しましょう。また、皮膚科領域の病名には難しい漢字が使われていることが多く苦勞するものもありますがしっかり取り組んでいきましょう。すくなくとも、漢字で書かれた病名が確実に正しく読めるようにしましょう。

医療情報演習Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択必修) 演習

教授 脇田紀子 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 国際疾病分類 (ICD-10) の概念を基本に、第Ⅰ章から第ⅩⅩⅠ章までの各章に沿った疾病分類体系やその特徴と留意事項に関する知識を修得する。

〔授業概要〕 正確に疾病を分類 (コーディング) するためには、疾病の病態や特徴を理解していることが重要となる。診療情報管理Ⅰ基礎・医学編と医療情報演習Ⅰで学んだ知識を生かし、国際疾病分類の各章に沿った疾病分類体系やその特徴と留意事項について学習する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	医療情報演習Ⅱの概要、到達目標を理解する。医療情報演習Ⅰの復習
2	第Ⅰ章 感染症及び寄生虫症	第Ⅰ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
3	第Ⅱ章 新生物	第Ⅱ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
4	第Ⅲ章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害、 第Ⅳ章 内分泌、栄養及び代謝疾患	第Ⅲ章、第Ⅳ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
5	第Ⅴ章 精神及び行動の障害、 第Ⅵ章 神経系の疾患	第Ⅴ章、第Ⅵ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
6	第Ⅶ章 眼及び付属器の疾患、 第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患	第Ⅶ章、第Ⅷ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
7	第Ⅸ章 循環器系の疾患、 第Ⅹ章 呼吸器系の疾患	第Ⅸ章、第Ⅹ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
8	第Ⅺ章 消化器系の疾患、 第Ⅻ章 皮膚及び皮下組織の疾患	第Ⅺ章、第Ⅻ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
9	第ⅩⅢ章 筋骨格及び結合組織の疾患、 第ⅩⅣ章 腎尿路生殖系系の疾患	第ⅩⅢ章、第ⅩⅣ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
10	第ⅩⅤ章 妊娠、分娩及び産褥、 第ⅩⅥ章 周産期に発生した病態	第ⅩⅤ章、第ⅩⅥ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
11	第ⅩⅦ章 先天奇形、変形及び染色体異常、 第ⅩⅧ章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	第ⅩⅦ章、第ⅩⅧ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
12	第ⅩⅨ章 中毒及びその他の外因の影響、 第ⅩⅩ章 傷病及び死亡の外因	第ⅩⅨ章、第ⅩⅩ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
13	第ⅩⅪ章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保険サービスの利用	第ⅩⅪ章の特徴を理解し、分類項目の構成について説明でき、正確な分類 (コーディング) ができる。
14	原死因の選択	原死因の選択ルールに従って、原死因の分類 (コーディング) ができる。
15	まとめ	第Ⅰ章から第ⅩⅪ章までの各章に沿った疾病分類体系やその特徴と留意事項ならびに原死因の選択方法を修得し、正確な分類 (コーディング) ができる。

〔方略〕 講義 (教科書、配布資料、パワーポイント)、分類 (コーディング) 演習

〔評価方法及び基準〕 定期試験 (40%)、小テスト (30%)、課題提出 (30%) で評価を行う。ただし、合格には定期試験 40% 以上を必要とする。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー：月曜日・水曜日 14:00~16:00 あるいは講義終了後、講義室にて対応

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 5階

〔教科書〕 武田隆久監修 (2017) 『診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅳ - 専門・8章~12章 第9版 (ISBN978-4-903348-27-5)』一般社団法人日本病院会、厚生労働大臣官房統計情報部編 (2016) 『疾病、傷害および死因の統計分類提要 ICD-10 (2013年版) 準拠 第1巻 内容例示表 (ISBN978-4-87511-674-5)』一般財団法人厚生労働統計協会、厚生労働大臣官房統計情報部編 (2016) 『疾病、傷害および死因の統計分類提要 ICD-10 (2013年版) 準拠 第3巻 索引表 (ISBN978-4-87511-676-9)』一般財団法人厚生労働統計協会

〔参考書〕 厚生労働省大臣官房統計情報部編、国立研究開発法人国立がん研究センター監修 (2018) 『国際疾病分類-腫瘍学 (NCC監修) 第3.1版 ICD-O (ISBN978-4-87511-771-1)』一般財団法人厚生労働統計協会、厚生労働大臣官房統計情報部編 (2016) 『疾病、傷害および死因の統計分類提要 ICD-10 (2013年版) 準拠 第2巻 総論 (ISBN978-4-87511-675-2)』一般財団法人厚生労働統計協会

〔担当教員からのコメント〕 診療情報管理士認定試験で重要な科目となります。正確な分類には、基礎的な医学知識が欠かせません。傷病名だけでなく、手術の術式等の医療行為にも興味を持ち、演習に役立てていきましょう。医療情報演習Ⅰが履修済であることを前提に演習を進めていきますので、履修していない場合は、より多くの演習が必要となります。真摯に課題に取り組むことにより、確実に分類 (コーディング) 技術が向上し、国際疾病分類体系についての理解が深まっていきます。

〔一般目標 (GIO)〕現代では悪性新生物 (悪性腫瘍 がん) でなくなられる方は三人に一人とされています。悪性新生物の発生要因には様々なものが関わっていると考えられていますが、喫煙、飲酒、食事などの生活習慣も重要な要因となります。また、腎疾患の多くは長い経過をたどって徐々に進行していき (慢性腎臓病)、その危険因子として高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙などが挙げられています。生活習慣が深くかかわるこうした疾患を理解することが目標です。

〔授業概要〕前半は悪性腫瘍、後半は腎尿路生殖器疾患の順番で勉強していきます。各々の最初の時間でその領域の基本的な考え方、診断・検査法、治療法について概説します。その上で各疾患について細かく見ていくことにします。悪性腫瘍では、頻度の高い消化器、呼吸器由来の腫瘍について、また腎尿路生殖器疾患では、糸球体疾患、腎不全、慢性腎臓病等について特に詳しく触れたいと思います。

〔授業計画〕前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	新生物 (腫瘍) とは？	新生物 (腫瘍) とは何かを説明できる。良性腫瘍、悪性腫瘍、がん、癌 (腫)、肉腫、白血病などの意味を説明できる。新生物に共通な診断、治療法を説明できる。
2	消化器の悪性腫瘍 I	主に、食道、胃、腸 (大腸) の腫瘍について説明できる。
3	消化器の悪性腫瘍 II	主に、肝臓、胆道、膵臓の腫瘍について説明できる。
4	呼吸器の悪性腫瘍	主に、肺の腫瘍について説明できる。
5	骨・軟骨・皮膚の悪性腫瘍	主に、骨、軟骨、皮膚など、血液を除く結合組織由来の腫瘍について説明できる。
6	腎・泌尿器・生殖器系の悪性腫瘍	主に、腎臓、泌尿系、生殖器系の腫瘍について説明できる。
7	血液の悪性腫瘍	主に、白血病やリンパ腫等の血液細胞由来の新生物について説明できる。
8	良性腫瘍やその他の腫瘍	良性腫瘍や特殊なタイプの腫瘍について説明できる。良性腫瘍を学びながらあらためて、悪性腫瘍との違いについても理解を深める。
9	腎尿路生殖器系疾患総論	腎臓や尿路、生殖器系の形態、機能について復習する。この領域の疾患の基本的な診断法、検査法、治療法を説明できる。
10	糸球体疾患 I	急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、巣状糸球体硬化症、膜性腎症等の糸球体疾患について説明できる。
11	糸球体疾患 II	ネフローゼ症候群や全身性疾患 (糖尿病、全身性エリテマトーデスなど) に起因する腎疾患について説明できる。
12	腎不全 I	急性腎不全について説明できる。
13	腎不全 II	慢性腎不全について説明できる。
14	腎尿管疾患・生殖器の疾患	尿管疾患、尿路結石症、腎・尿路系の感染症、生殖器系の疾患等について説明できる。
15	まとめ	総まとめを行う。

〔方略〕講義 (教科書、配布プリント)、演習 (配布資料) 等

〔評価方法と基準〕定期試験 (80 %)、レポート提出 (20 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕講義の前後適宜。講義のない日は教務課に設置された質問ノートに記入するか、E-mail: mkyogashi@nichiyaku.ac.jp に連絡してください。

〔所属分野・場所〕さいたまキャンパス・生命科学薬学分野 研究実習棟 8 階 801 号室

〔教科書〕大井 利夫 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 第 8 版 基礎・医学編 ISBN 9784903448220』一般社団法人日本病院会 診療情報管理士のテキストを基本的に用います。

〔参考書〕高橋 和久 (2009) 『講義録 腫瘍学 ISBN 9784758300742』メジカルビュー社、元雄 良治 (2017) 『まるごとわかる！ がん ISBN 9784525501310』南山堂、池森 (上條) 敦子 (2019) 『病気がみえる vol8 腎・尿路 第 3 版 ISBN 9784896327717』メディックメディア これらの参考書は、図版が多く理解を助けてくれると思います。「講義録 腫瘍学」は、やや古いですが、基礎から具体的な臨床に至るまで広い範囲にわたって書かれています。「まるごとわかる！ がん」は看護師向けの本ですが、基礎・臨床から具体的ながんのケアまで書かれています。また、国立がん研究センターがん情報サービスや日本腎臓病学会の公式サイト的一般向けページも大変参考になります。

〔担当教員からのコメント〕今や日本人の二人に一人が悪性新生物 (悪性腫瘍 がん) に罹患し、三人に一人が亡くなっていますが、近い将来この割合は更に増加するとされています。2007 年には、がんによる死亡者の減少を目指すとともにがん患者さんやその家族の苦痛の軽減を目指し、がん対策基本法が施行されました。悪性腫瘍の治療には従来の薬物に加えて分子標的薬が開発され、優れた効果を発揮していますが、これらの中には薬価がたいへん高額なものも出てきています。腎尿路疾患においても、血液透析患者は年々増え続けています。慢性腎臓病 (CKD) という新しい概念は、早期のステージにある患者さんに対して積極的に介入・治療を行い、進行を防止していくこととするものです。こうした疾患の背景には生活習慣も密接にかかわります。社会の情勢も含めてしっかり学習していきましょう。

医薬学英語

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

教授 大田祥子 講師 (非) 奈佐吉久

〔一般目標 (GIO)〕 医療分野に携わる者の一般常識のみならず診療情報管理士の業務として診療録に記載される英語表現を理解するために十分な医薬学英語の知識を修得します。

〔授業概要〕 医薬学英語では、例えば解剖生理学的用語と症状などを表す用語などが組み合わせられて一つの単語が作られることがあります。英語とその対応する日本語の専門用語が容易に関連付けられるようになるまで学習します。また、医薬学英語では独特のアルファベット略号表記 (例 MRI 核磁気共鳴画像法) があり、略号でない英語表記や日本語表記より日常的に広く用いられているのも特徴です。これらが何を意味するか習得します。なお、1, 13, 14回は大田が2~12回は奈佐が、15回目の総まとめは大田・奈佐で担当します。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	序論・造語の基本 主な接頭語、主な接尾語	医薬学英語の特徴について説明できる。 主な接頭および接尾語について日本語と関連つけて説明できる。
2	循環器に関連する用語	循環器系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
3	呼吸器に関連する用語	呼吸器系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
4	消化器に関連する用語	消化器系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
5	泌尿器生殖器に関連する用語	泌尿器・生殖器系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
6	代謝・内分泌に関連する用語	代謝・内分泌系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
7	神経に関連する用語	神経系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
8	感覚器に関連する用語	感覚器系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
9	骨格系に関連する用語	骨格系系の解剖生理、疾患の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
10	皮膚・感染・寄生虫に関連する用語	皮膚の解剖生理、感染の症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
11	精神医学に関連する用語	精神医学に関連する症状、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
12	乳腺・妊娠・分娩・周産期に関連する用語	乳腺の解剖生理、妊娠・分娩の状態、検査・診断などの用語について日本語と関連付けられる。
13	医療用語 1 (医学・医療、医療職、医療機関・施設に関連する用語)	医療機関の診療科や部門、医療機関で働く医療職に関連した用語について日本語と関連付けられる。
14	医療用語 2 (医療行為、診療記録に関連する用語)	一般外来で行われる初期治療や処置、診療情報管理や診療記録に関連した用語について日本語と関連付けられる。
15	まとめ	14回までの総復習。各領域に共通してみられる英語の決まり、用法などに重きをおき、領域横断的な知識の整理を行う。

〔方略〕 講義 (教科書、プリント、パワーポイント)、演習 (資料) 等。教員の分担 1, 13, 14回大田 2~12回奈佐、15回大田、奈佐

〔評価方法と基準〕 定期試験 (100%) で評価する。追再試験を実施することがあります。

〔学生の質問への対応〕 大田: オフィスアワー (木曜日・金曜日 14:00~16:00) あるいは講義終了後、講義室して対応します。

奈佐: 講義のある日にお茶の水キャンパスで受け付けます。

〔所属分野・場所〕 大田: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 2階

奈佐: 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕 大井 利夫 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理士 II 基礎・医学・医療用語編 第8版 ISBN 9784903448237』 一般社団法人日本病院会 その他、適宜プリントを配布する。

〔参考書〕 担当教員からのコメント欄参照

〔担当教員からのコメント〕 基本的な医薬学英語の知識は、日進月歩の医療分野では業務についてからも生涯その勉強が必要とされるものです。日本語だけでも難しい用語も多いですが、基本骨格を理解するとその後の応用はできます。専門用語の正しい発音や文章表現は、Web上の検索サイトであるライフサイエンス辞書オンラインサービス (<http://lsd-project.jp/cgi-bin/lsdproj/ejlookup04.pl>) を活用してください。

医療統計学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 大山良治

[一般目標 (GIO)] 診療記録に含まれる医療の質に関わる情報、傷病名等、必要な医療情報から統計的方法による分析と視覚化を学習するとともに、病院の統計資料について適切な解釈ができるようになるために、知識・技能を修得する。

[授業概要] 医学・薬学・健康科学のデータを例にして、統計学の役割を述べる。特に、データ解析における問題点、ばらつきという概念、統計学の枠組みについて解説する。次に、数学的モデルによる現実問題の表現の仕方を解説する。また、統計的推測の基礎について講義を行い、データ解析の実例を通して、代表的な統計手法を紹介する。診療情報の管理においては、統計ということを念頭において、情報の収集、整理、集計、分析などを行い、科学的に判断を下すことが重要であるが、表やグラフによるデータの記述、数量的指標による要約等、データ解析に必要な基礎知識を習得してもらう。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医療統計学概論	医療統計学の基本概念と機能、基礎用語について説明できる。
2	データの収集	診療情報管理士が扱うデータ、データの性質、データの収集方法を説明できる。
3	データの視覚化	データのグラフ表現、グラフ表現の応用、グラフ表現の注意点を説明できる。
4	データの集団の性質の要約 (1)	データの種類と性質、集団の分布、集団の様子を 1 つの数値を表現できる。
5	データの集団の性質の要約 (2)	集団のばらつきの度合いを説明できる。度数分布表から統計量を概算できる。分布の形に注意できる。
6	データの関係	質的変量と量的変量の間関係を説明できる。相関の強さを数字で表現できる。組になったデータの間関係を式で表現できる。
7	分布 1 (確立)	確率変数と確率分布について説明できる。確立変数の期待値および分散を計算できる。
8	分布 2 (正規分布)	正規分布を読み取り、標準化変数を計算できる。
9	推定: その値の信頼性 (1)	1 つの値で推定する点推定
10	推定: その値の信頼性 (2)	幅を持って推定する区間推定、母平均の 95 % 信頼区間を求めることができる。
11	検定 (1)	帰無仮説と対立仮説を説明できる。第 1 種の誤り、第 2 種の誤りについて説明できる。
12	検定 (2)	検定統計量と棄却域について説明できる。2 つの平均の検定 (t 検定) について説明できる。
13	検定 (3)	2 つの分散の比の検定 (F 検定) について説明できる。分割表の検定 (カイ二乗検定) について説明できる。
14	データの活用 (1)	情報の意味を十分に理解できる。統計処理によって得られた数値がどのような性質を持つかを説明できる。
15	データの活用 (2)	情報の意味を十分に理解できる。統計処理によって得られた数値がどのような性質を持つかを説明できる。

[方略] 講義 (パワーポイント)、プリント

[評価方法と基準] 定期試験で評価を行う。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] オフィスアワー (講義日の午後 3 時から 5 時)

その他、メール (ohyamay@nichiyaku.ac.jp) でも対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 日本診療情報学会 生涯教育委員会 (2010) 『診療情報管理士のためのやさしい医療統計学』株式会社 じほう、大井 利夫 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ』株式会社 日本病院共済会

[参考書] 市原清志 (2005) 『バイオサイエンスの統計学』南江堂

[担当教員からのコメント] 統計処理の手法を理解するだけでなく、どのような目的で使用するのか、どのような手法を用いるのかを考えて、実際の業務で活用していくことが重要です。データの種類に適した統計解析手法を選び、適切な解釈ができることを目標とします。

医療情報学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

准教授 村井保之

[一般目標 (GIO)] 診療情報管理士試験の医療情報分野の問題に対応できる知識を修得する。

[授業概要] 診療情報管理士テキスト・診療情報管理Ⅲの第 4 章医療情報分野について、情報通信技術の基礎知識及び医療分野における情報技術について学習する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医療情報学とは	医療に情報技術が必要になった背景と医療情報学、診療情報管理士のかかわりについて説明できる。
2	医療情報の特性と種類	医療情報の特性と種類について説明できる。 診療情報の二次利用について説明できる。
3	保険医療の情報化 (1)	行政が進める保険医療の情報化政策について説明できる。
4	保険医療の情報化 (2)	遠隔医療など新しい保険医療の情報化について説明できる。
5	医療情報システム (1)	病院における情報システムについて、その特性、歴史、について説明できる。
6	医療情報システム (2)	病院の各部門の情報システムについて説明できる。
7	医療情報システム (3)	オーダーエントリーシステムと電子カルテについて説明できる。
8	医療情報システム (4)	重症系病棟や口腔外科など特殊な診療部門のシステムについて説明できる。
9	地域医療システム (1)	地域医療情報システムの現状と目的、遠隔医療システムについて説明できる。
10	地域医療システム (2)	域包括ケアを支援する情報システムについて説明できる。 個人番号制度と医療等 ID について説明できる。
11	個人が管理する保健医療記録	EHR、PHR、お薬手帳など個人の管理する保険医療記録について説明できる。
12	医療情報の標準化	医療情報の標準化についてその必要性、用語、コードの標準化について説明できる。 医療情報伝送のための標準化について説明できる。
13	情報セキュリティ (1)	医療情報システムのセキュリティ対策について説明できる。
14	情報セキュリティ (2)	医療情報の安全管理と個人情報の保護について説明できる。
15	まとめ	講義の内容についてのまとめ、補足説明、質疑応答など。

[方略] 講義 (パワーポイント) と、そのポイントを配布資料に記入する。

[評価方法と基準] 授業中に実施する課題 (10%)、定期試験 (90%) 追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教員室、メールにより対応

メール: murai@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階 村井研究室

[教科書] 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ』

[参考書]

[担当教員からのコメント] 1 年次科目の情報リテラシーを復習しておくといい。

マーケティング

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 大泉 寛

[一般目標 (GIO)] マーケティングの基本概念を理解し、医療ビジネスへの応用を考察しながら、ファーマシューティカル分野での実践的マーケティング戦略を策定する能力を持ったマーケティングスペシャリストとしてのスキルを育成し、もって創造的ビジネスマインドを醸成する。

[授業概要] 本講義では、市場環境の変化に対応し、顧客に対して価値を創造し、提供する活動であるマーケティングの基本的プロセスをまず理解する。その上で、いくつかの重要なテーマを学修する。そして、医療マーケティングへの応用を考察し、ファーマシューティカル分野におけるマーケティング戦略を実践的な戦略策定シミュレーションを通じたアクティブラーニングにより行うことにより創造力を養い、ビジネスマインドの醸成につなげるにより医療経営に貢献できる人材の育成を目標とする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	マーケティングプロセス	マーケティングの基本的プロセスを理解する。
2	環境分析と市場機会	消費者の行動分析の方法と市場機会について理解する。
3	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング	市場へのアプローチの手法としての手法を理解する。
4	製品・価格・流通・プロモーション戦略	4P、4C、及びマーケティングミックスを理解する。
5	マーケティング・コミュニケーション戦略	双方向性メディアなどの普及によるマーケティングの変化について考察し、コミュニケーション手法について理解する。
6	ブランディング戦略	ブランドがマーケティングにおいてどのように影響するかを考察し、そのマネジメントの手法を理解する。
7	マーケティング・リサーチ	市場調査の手法を理解する。
8	競争戦略	リーダー企業、後続企業の戦略を考察し、その競合によるマーケティング戦略を理解する。
9	カスタマー・リレーション	顧客との関係性や苦情処理の方法と顧客ニーズの把握の手法を理解する。
10	ビジネス・マーケティング、グローバル・マーケティング	生産財マーケティングと消費財マーケティングの違いを理解する。世界的な規模で行われているマーケティング活動を理解する。
11	医療マーケティング	医療マーケティングの手法を理解する。
12	ファーマシューティカルマーケティング戦略Ⅰ	医薬品マーケティングを理解し、戦略の立案と戦略計画書の作成を行う。
13	ファーマシューティカルマーケティング戦略Ⅱ	医薬品マーケティングを理解し、戦略の発表と実践を行う。
14	ファーマシューティカルマーケティング戦略Ⅲ	医薬品マーケティングを理解し、戦略の報告と評価を行う。
15	総括	マーケティングスキルとビジネスマインドについて総括を行う。

[方略] 講義 (教科書、パワーポイント・プリント)、演習 (SGD)

[評価方法と基準] 課題 30 %、定期試験 70 %の合計 100 %で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2号館 4階

[教科書] 真野俊樹監修 (2010) 『医療マーケティングと地域医療:患者を顧客としてとらえられるか (医療経営士テキスト 中級一般講座 3)』日本医療企画 (ISBN:978-89041-911-1)

[参考書] 高橋真人 (2011) 『変革期を勝ち抜く医薬品マーケティング新戦略』医薬経済社、グロービス経営大学院 (2010) 『グロービス MBA マーケティング [改訂 3 版]』ダイヤモンド社、渋谷明隆・中澤達・裴英洙・堤達朗・佐藤乃理子・松原由美・島久美子 (2015) 『MBA 流 ケースメソッドで学ぶ医療経営入門Ⅱ』日経 BP 社

[担当教員からのコメント] マーケティングは我々の日常生活にも深く浸透しています。事前学習として、テキストを参考にマーケティングの概念をもって自分の周りを医療や医薬品をテーマに見渡して下さい。そうすることで創造力が湧いてきます。講義の中でも皆さんに、沢山の質問を投げかけ SGD や双方向によるアクティブラーニングやフィールドワークも行う予定ですので大泉早智子講師にも協力を頂く予定ですので積極的に参加してください。そして事後学習として、マーケティングのスキルの実践を期待しています。

経営戦略論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 三上智也 (実務)

〔一般目標 (GIO)] 病院、薬局などの経営に必要な戦略の知識を修得し、実践できることを目標とします。

〔授業概要] 経済成長が緩やかに上昇する中、会社はどうやって生き残っていくのか。ビジネスで勝利するための戦略であるランチェスター戦略を通じて競合に打ち勝つ経営を学びます。

〔授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ランチェスター戦略とは何か	ランチェスター戦略の概要
2	弱者と強者の戦略	5つの戦略
3	3つの戦略 (1)	ナンバーワン
4	3つの戦略 (2)	目標
5	弱者の五大戦法 (1)	局地戦
6	弱者の五大戦法 (2)	弱者の戦略
7	ナンバーワン戦略 (1)	パレートの法則
8	ナンバーワン戦略 (2)	エリアと対象
9	ナンバーワン戦略 (3)	商品の決め方
10	ナンバーワン戦略 (4)	集客方法
11	ナンバーワン戦略 (5)	販売方法
12	ナンバーワン戦略 (6)	差別化の方法
13	ナンバーワン戦略 (7)	コミュニケーション戦略
14	ナンバーワン戦略 (8)	経営理念の重要性
15	ナンバーワン戦略 (9)	マーケティング

〔方略] 板書中心の講義

〔評価方法と基準] 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応] 講義終了後または教務課に設置した質問ノートに記入

〔所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書] 坂上仁志 (2009) 『ランチェスター経営戦略』明日香出版社 ISBN 978-4-7569-1289-3

〔参考書]

〔担当教員からのコメント] 上場企業でもランチェスター戦略を取り入れて成功しているようです。その中でも特に重要なのがナンバーワン戦略です。これをヒントに会社を反映する考え方と行動を学んでいきたいと思います。

販売戦略論

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

[一般目標 (GIO)] 医薬品産業及びその周辺産業における販売戦略の基本を修得することを目標とし、もってビジネスマインドの高揚を促進する。

[授業概要] 医薬品の流通・供給などに必要である基本的知識 (販売・経営管理、マーチャンダイジング、ストアオペレーションなど) を理解し、活用できることはビジネスに必要不可欠であり、登録販売者や MS など医療ビジネス産業に携わる者にも等しく求められるスキルである。本講義では、まず販売管理の基本をマスターした上で、医薬品業界の販売戦略を考察し、分析することを通じ、戦略の手法を理解し、自らが戦略の立案が出来るようにして、創造性豊かな学士力の育成を目指します。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	販売戦略の概要	医薬品産業などでの販売戦略の概要を学習して理解する。
2	販売・経営管理①	販売管理者の基本業務、関連法令等を学習して理解する。
3	販売・経営管理②	経営分析、組織、人事、店舗施設管理を学習して理解する。
4	小売業の種類①	流通業、小売業の役割と機能等を学習して理解する。
5	小売業の種類②	ドラッグストアやサプライチェーン等の運営を学習して理解する。
6	マーチャンダイジング①	商品知識、プロダクトサイクル等を学習して理解する。
7	マーチャンダイジング②	戦略的商品計画、POS システム等を学習して理解する。
8	ストアオペレーション①	発注システム、売場の管理、ディスプレイ等を学習して理解する。
9	ストアオペレーション②	販売員の役割、接客技術、教育訓練等を学習して理解する。
10	マーケティング①	マーケティング戦略等について学習して理解する。
11	マーケティング②	マーケティングリサーチ、商圏分析等を学習して理解する。
12	医薬品産業の販売戦略立案①	医薬品産業での販売戦略の考察と立案を行い理解する。(SGD)
13	医薬品産業の販売戦略立案②	医薬品産業での販売戦略の策定を行い理解する。(SGD)
14	医薬品産業の販売戦略立案③	医薬品産業での販売戦略のグループ発表を行い理解する。(SGD)
15	総括	販売戦略についてのまとめを行う。

[方略] 講義 (教科書、パワーポイント・プリント) 演習 及び SGD

[評価方法と基準] 小テスト (15%)、課題 (15%)、定期試験 (70%) として評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] ユーキャン販売士検定試験研究会編 (2018) 『U-CAN の販売士検定 2 級 速習レッスン 第 3 版』自由国民社 (ISBN-13:978-4426607289)、ユーキャン販売士検定試験研究会編 (2018) 『U-CAN の販売士検定 2 級過去問題集』自由国民社 (ISBN-13: 978-4813266891)

[参考書] 日本商工会議所・全国商工会連合会編 (2016) 『販売士ハンドブック (応用編)』キャリアック、ユーキャン登録販売者試験研究会 (2018) 『ユーキャンの登録販売者これだけ! 一問一答& 要点まとめ 第 6 版』U-CAN

[担当教員からのコメント] 講義は、質問と解答を双方向で行いながら進めるアクティブラーニングで行いますので、事前学習で、テキストを読んで理解して臨んでください。販売戦略の立案は SGD で行い大泉早智子講師にも協力を頂く予定です。そして講義の内容を忘れないように練習問題を解いて力をつける必要がありますので、事後学習を怠らないで下さい。また医薬品産業の販売戦略には登録販売者の知識が欠かせないことから合わせて学習を深めます。そして自分自身の実力を確かめる為にリテールマーケティング検定試験の受験を奨励しています。

診療情報管理実習 I

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択) 実習

講師 (非) 大山良治 教授 脇田紀子 (実務) 助教 岩瀬晴信 助手 太田友三子 講師 (非) 長野哲道

〔一般目標 (GIO)〕 診療情報管理士についての基本的な知識・技能・態度を修得する。

〔授業概要〕 広い医療・医学知識、経営分析に必要な統計手法、IT 化への対応するためのコンピュータ知識、医療法などの法律の知識や疾病分類コーディングなど、診療情報管理士に求められる項目を診療情報管理実習を通して修得する。また、ブレ教育では、病院の医療現場に行く前に、診療情報管理士の業務内容の理解を深め、実際の医療現場で戸惑うことなく、業務に取り込めるように、病院実習に先立って、大学内で診療情報管理士職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

〔授業計画〕

A 広い医療・医学知識のための基礎・医学編として項目および授業内容は以下のとおりである。

- 1 章 医療概論
- 2 章 人体構造・機能論
- 3 章 臨床医学総論 (外傷学、先天異常等を含む)
- 4 章 臨床医学各論 I 感染症および寄生虫症
- 5 章 臨床医学各論 II 新生物
- 6 章 臨床医学各論 III 血液・代謝・内分泌等
- 7 章 臨床医学各論 IV 精神・脳神経・感覚器系等
- 8 章 臨床医学各論 V 循環器・呼吸器等
- 9 章 臨床医学各論 VI 消化器・泌尿器等
- 10 章 臨床医学各論 VII 周産期系
- 11 章 臨床医学各論 VIII 皮膚・骨格筋系等

診療情報管理 II 基礎医学用語編

B 経営分析に必要な統計手法、IT 化への対応するためのコンピュータなどの診療情報管理士の役割等の専門・診療情報管理の項目および授業内容は以下のとおりである。

- 1 章 医療管理総論
- 2 章 医療管理各論 I 病院管理
- 3 章 医療管理各論 II 医療保険・介護保険制度
- 4 章 医療管理各論 III 医療安全・医療の質管理
- 5 章 保健医療情報学
- 6 章 医療統計 I 統計理論
- 7 章 医療統計 II 病院統計・疾病統計
- 8 章 診療情報管理 I (法令・諸規則)
- 9 章 診療情報管理 II (診療情報管理士の実務)
- 10 章 診療情報管理 III (DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務)
- 11 章 国際統計分類 I
- 12 章 国際統計分類 II

ブレ教育の授業内容は以下のとおりである。

病院の医療現場に行く前に、診療情報管理士の業務内容の理解を深め、実際の医療現場で戸惑うことなく、業務に取り込めるように、病院実習に先立って、実習日誌の作成方法、個人情報保護に説明、マナー、身だしなみについてのスモールグループディスカッションなど、大学内で医療従事者に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

〔方略〕 講義、演習、実習、討論 (SGD) A1 章～11 章及び診療情報管理 II 岩瀬、A7 章 長野、B1 章～7 章 太田、7 章～12 章 脇田

〔評価方法と基準〕 中間試験 50 %、実習中の提出物評価 50 % により評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (講義日の午後 3 時から 5 時)

その他、メール (ohyamay@nichiyaku.ac.jp) でも対応する。

〔所属分野・場所〕 大山：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

岩瀬：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 1 階

脇田・太田：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

長野：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階

〔教科書〕 一般社団法人日本病院会 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎医学編 第 8 版』

一般社団法人日本病院会 (2017) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 III 診療情報管理編 第 8 版』

一般社団法人日本病院会 (2017) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 IV 専門・国際疾病分類法編 第 9 版』

『疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10 第 1 巻、第 3 巻 2013 年版』

〔担当教員からのコメント〕 診療情報管理士認定試験での重要な科目です。広い医療・医学知識、経営分析に必要な統計手法、IT 化への対応するためのコンピュータに知識、医療法などの法律の知識や疾病分類コーディングなど、診療情報管理士に求められる項目を診療情報管理実習で行います。実習ですので、出席、医療従事者としての実習態度が重要である。従って、欠席、遅刻、レポートの未提出がないようにすること。

診療情報管理実習Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択) 実習

講師 (非) 大山良治 教授 脇田紀子 (実務) 助教 岩瀬晴信 助手 太田友三子

〔一般目標 (GIO)〕 診療情報管理士についての基本的な知識・技能・態度を修得する。

〔授業概要〕 広い医療・医学知識、経営分析に必要な統計手法、IT 化への対応するためのコンピュータ知識、医療法などの法律の知識や疾病分類コーディングなど、診療情報管理士に求められる項目を診療情報管理実習を通して修得する。

〔授業計画〕

A 広い医療・医学知識のための基礎・医学編として項目および授業内容は以下のとおりである。

- 1 章 医療概論
- 2 章 人体構造・機能論
- 3 章 臨床医学総論 (外傷学、先天異常等を含む)
- 4 章 臨床医学各論Ⅰ 感染症および寄生虫症
- 5 章 臨床医学各論Ⅱ 新生物
- 6 章 臨床医学各論Ⅲ 血液・代謝・内分泌等
- 7 章 臨床医学各論Ⅳ 精神・脳神経・感覚器系等
- 8 章 臨床医学各論Ⅴ 循環器・呼吸器等
- 9 章 臨床医学各論Ⅵ 消化器・泌尿器等
- 10 章 臨床医学各論Ⅶ 周産期系
- 11 章 臨床医学各論Ⅷ 皮膚・骨格筋系等

診療情報管理Ⅱ 基礎医学用語編

B 経営分析に必要な統計手法、IT 化への対応するためのコンピュータなどの診療情報管理士の役割等の専門・診療情報管理の項目および授業内容は以下のとおりである。

- 1 章 医療管理総論
- 2 章 医療管理各論Ⅰ 病院管理
- 3 章 医療管理各論Ⅱ 医療保険・介護保険制度
- 4 章 医療管理各論Ⅲ 医療安全・医療の質管理
- 5 章 保健医療情報学
- 6 章 医療統計Ⅰ 統計理論
- 7 章 医療統計Ⅱ 病院統計・疾病統計
- 8 章 診療情報管理Ⅰ (法令・諸規則)
- 9 章 診療情報管理Ⅱ (診療情報管理士の実務)
- 10 章 診療情報管理Ⅲ (DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務)
- 11 章 国際統計分類Ⅰ
- 12 章 国際統計分類Ⅱ

〔方略〕 講義、演習、実習、討論 (SGD) A1 章～11 章及び診療情報管理Ⅱ 岩瀬、B1 章～7 章 太田、8 章～12 章 脇田

〔評価方法と基準〕 第 3 回模擬試験 (100 %) のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (講義日の午後 3 時から 5 時)

その他、メール (ohyamay@nichiyaku.ac.jp) でも対応する。

〔所属分野・場所〕 大山：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

岩瀬：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 1 階

脇田・太田：医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 5 階

〔教科書〕 一般社団法人日本病院会 (2016) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎医学編 第 8 版』

一般社団法人日本病院会 (2017) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理編 第 8 版』

一般社団法人日本病院会 (2017) 『診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門・国際疾病分類法編 第 9 版』

『疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10 第 1 巻、2013 年版』

〔担当教員からのコメント〕 診療情報管理士認定試験での重要な科目です。広い医療・医学知識、経営分析に必要な統計手法、IT 化への対応するためのコンピュータに知識、医療法などの法律の知識や疾病分類コーディングなど、診療情報管理士に求められる項目を診療情報管理実習で行います。実習ですので、出席、医療従事者としての実習態度が重要である。従って、欠席、遅刻、レポートの未提出がないようにすること。

医薬品の化学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (必修) 講義

准教授 安田高明

[一般目標 (GIO)] 医薬品の作用 (効果) が、化学構造と密接に関連していることを理解する。

[授業概要] 主として、登録販売者として理解しておくべき一般用医薬品を取り上げる。医薬品化学は情報科学でもある。医薬品の構造から、医薬品の作用が理解できるとともに、副作用を予測することも可能である。構造式と薬理作用を結びつけて考えることができるような基本的知識を修得する。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	基礎事項 1	構造式を書くことができ、官能基を説明することができる。
2	基礎事項 2	構造式と溶解性 (水溶性・脂溶性) の関係を説明できる。
3	殺菌消毒薬	殺菌消毒薬に含まれる主要成分を説明できる。
4	殺菌消毒薬	殺菌消毒薬に含まれる主要成分を説明できる。
5	ビタミン剤	ビタミン剤を説明できる。
6	ビタミン剤	ビタミン剤を説明できる。
7	解熱鎮痛薬	解熱鎮痛薬に含まれる主要成分を説明できる。
8	鎮咳去痰薬	鎮咳去痰薬に含まれる主要成分を説明できる。
9	点鼻薬・鼻炎用内服薬	点鼻薬及び鼻炎用内服薬に含まれる主要成分を説明できる。
10	眼科用薬	眼科用薬に含まれる主要成分を説明できる。
11	胃腸薬	胃腸薬に含まれる主要成分を説明できる。
12	整腸薬・止しゃ薬	整腸薬及び止しゃ薬に含まれる主要成分を説明できる。
13	外用消炎鎮痛薬	外用消炎鎮痛薬に含まれる主要成分を説明できる。
14	催眠鎮静薬、眠気防止薬・乗り物酔い予防薬	催眠鎮静薬、眠気防止薬及び乗り物酔い予防薬に含まれる主要成分を説明できる。
15	演習	これまでの講義内容の理解度を確認するための演習を行う。

[方略] 1～14 回：講義 (プリント)、15 回：演習

[評価方法と基準] 定期試験 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 1: オフィスアワー (講義開講日、13:30～17:00)

2: E-mail : yasuda@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科・お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書]

[参考書] 日比野利、夏刈英昭、廣田耕作 (2011) 『New 医薬品化学』 廣川書店、中島恵美・伊東明彦 (2010) 『今日の OTC 薬—解説と便覧』 南江堂

[担当教員からのコメント] 医薬品の化学構造式を通して、医薬品の作用を理解して欲しい。

公衆衛生学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (必修) 講義

講師 浦丸直人

〔一般目標 (GIO)〕人々の「健康づくり」に貢献することを目標として、健康と社会・環境に関する基本的知識を修得するとともに、社会生活にとって必要不可欠である健康の維持と増進、疾病の予防、健康管理、環境保健、健康教育、衛生行政、医療制度などの公衆衛生に関する知識を体系的に学習し、総合的に考察できるように理解を深める。

〔授業概要〕公衆衛生学は個人あるいは集団社会の組織的な活動を通じて、健康増進と疾病の予防を考え、社会に寄与することを目的とした学問である。本講義では、人々の「健康づくり」に貢献するために、公衆衛生の基本理念、保健統計、疫学、健康と疾病予防、環境保健、衛生行政、母子保健、労働衛生、学校保健、高齢者医療及び介護、保健医療制度などに関する理解を深め、基本的知識を修得できるように解説する。また、環境汚染問題、社会の疾病構造の変化、生活習慣の現状と対策、医療の現状と課題、少子高齢社会の実態、精神疾患による健康の破綻、貧困と健康など現代社会で起こっている問題を広く取り上げ、その問題を取り巻く社会情勢について考察する。

〔授業計画〕前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	社会と健康	健康の概念、公衆衛生の概念について説明できる。生活と健康問題の変移、公衆衛生・予防医学の歴史について説明できる。生命の倫理について概説できる。
2	保健統計	健康指標を列挙し、その意義について説明できる。人口動態と人口動態について説明できる。死因別死亡率の変遷について説明できる。日本における人口の推移と将来予測について説明できる。
3	疫学	疾病予防のための疫学の役割を説明できる。疫学の三要因について説明できる。疫学の種類とその方法を説明できる。リスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度および信頼区間について説明し、計算できる。
4	疾病の予防と健康管理	疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。健康増進政策 (健康日本 21 など) について概説できる。
5	感染症の予防とその対策 (1)	現代における感染症の特徴について説明できる。代表的な新興感染症および再興感染症について列挙し、説明できる。代表的な性行為感染症を列挙し、その予防対策について説明できる。
6	感染症の予防とその対策 (2)	感染症法における、感染症とその分類について説明できる。指定感染症および新感染症の分類根拠について説明できる。予防接種の意義と方法について説明できる。予防接種法の定める定期予防接種の種類を列挙し、接種時期について説明できる。
7	生活習慣病の予防とその対策	生活習慣病の種類とその動向について説明できる。生活習慣病の代表的なリスク要因を列挙し、その予防法について説明できる。
8	環境保健 (1)	地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。化学物質の食物連鎖を介した生物濃縮・環境内動態について例を挙げて説明できる。
9	環境保健 (2)	主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源、健康影響について説明できる。水の浄化法、塩素処理について説明できる。下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。地球規模の環境問題を列挙し、その環境保全に関する国際的な取り組みについて説明できる。
10	地域保健、消費者保健	地域保健活動について説明できる。代表的な薬害を列挙し、説明できる。家庭用品に含まれる有害物質による健康被害について説明できる。
11	母子保健	出生率について説明できる。新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。母子感染する代表的な疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。少子化によりもたらされる問題点を列挙できる。
12	学校保健、産業保健	こどもの健康状況を把握し、学校保健の意義について説明できる。代表的な労働災害、職業病について説明できる。労働衛生管理について説明できる。
13	高齢者保健、精神保健	高齢化によりもたらされる問題を列挙できる。介護サービスを列挙し、介護保険制度について概説できる。精神疾患の課題と対策について説明できる。
14	保健医療制度と法規	保健医療行政の意義と保健医療制度について概説できる。医療保険の仕組みと年金制度について概説できる。
15	総括	総まとめ、1回～14回までの復習・解説

〔方略〕講義 (教科書、パワーポイントによる説明)、板書 (講義ノートの作成)、演習 (配布資料)

〔評価方法及び基準〕定期試験 (100点満点) にて評価し、60点以上を合格とする。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕オフィスアワー (原則として月曜から金曜の13時30分から17時、それ以外の時間でも可能な限り対応する。場所: 研究実習棟7階701室)

〔所属分野・場所〕さいたまキャンパス 薬学科衛生薬学分野・研究実習棟7階701室

〔教科書〕小山 洋、辻 一郎 編 (2020) 『シンプル衛生公衆衛生学 2020』南江堂 (ISBN:978-4-524-24019-7)

〔参考書〕(2019) 『国民衛生の動向 2019/2020年』一般財団法人 厚生労働統計協会

〔担当教員からのコメント〕公衆衛生学は、私たちの生活に密着した学問で、健康と自然・社会環境との関係を理解し、疾病の予防や健康増進を担う分野です。日々のニュースなどで報じられる感染症、生活習慣病、少子化対策、環境問題、高齢者介護などに関する身近な話題や最新情報に関心を持つよう努めることにより、理解が深まり、使える知識になります。

プレゼンテーションスキル

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (必修) 演習

講師 大泉早智子

[一般目標 (GIO)] 種々の場面で、他者に対して情報を提示し、理解と納得を得る技術が大変必要になります。このための技術であるプレゼンテーションスキルを学修し、医療情報の提供や、ビジネスなどの場面で活かす能力を修得します。

[授業概要] この講義では、プレゼンテーションの基本となる態度や論理的思考について理解し、次にパワーポイントの利用やプレゼンテーション技術を学びます。そしてファーマシューティカル分野を題材としたプレゼンテーション演習を行い、医療情報を提供するために必要な実践的なスキルを育成することを目標とします。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションの意義及び目的や技法について学習する。
2	プレゼンテーションにおける基本的態度	基本的な身だしなみや態度などについて学習する。
3	プレゼンテーションにおける基本的言語・動作	基本的な言語の使い方や動作などについて学習する。
4	プレゼンテーション演習①	挨拶、態度、話し方、敬語などの使い方を実際に演習し、評価する。
5	論理的思考の基本 I	プレゼンテーションの基本である論理的な説明の方法について学習する。
6	論理的思考の基本 II	ロジックツリーなどの技法を使った説明方法を学修し、実際の作成を行う。
7	プレゼンテーション演習②	第 5・6 回で学習したスキルを使ったプレゼンテーションを行い評価する。
8	パワーポイントを使ったプレゼンテーション I	パワーポイントを学習する。
9	パワーポイントを使ったプレゼンテーション II	パワーポイントを使ったプレゼンテーションの効果的な手法を学習する。
10	プレゼンテーション演習③	プレゼンテーションの発表と質疑応答及び評価を行い理解を深める。
11	プレゼンテーション演習④	プレゼンテーションの発表と質疑応答及び評価を行い理解を更に深める。
12	プレゼンテーションの作成 I	テーマの選定と目的を明確にする事により理解を深める。(グループ)
13	プレゼンテーションの作成 II	ストーリー作成とメディアの準備とリハーサルを行う事により理解を深める。(グループ)
14	プレゼンテーション演習⑤	発表と質疑応答及び評価を行う事により理解を深める。(グループ)
15	総括	プレゼンテーションスキルについての総括を行う。

[方略] 講義 (パワーポイント・プリント)、演習 (スモールグループディスカッション:SGD)

[評価方法と基準] 演習課題 (学修ポートフォリオ・ルーブリック評価) 50 %、定期試験 50 % の合計 100 % で評価します。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義前後に対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

[参考書] 大泉早智子・有末友三子・大泉寛 (2014) 『プレゼンテーションスキル講義』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] プレゼンテーションスキルは医療情報の提供やビジネスには必要不可欠です。事前学習として自分自身のふりかえりから始めましょう。講義では実技演習ために皆さんの発表の時間を多く取り入れ、有識者の協力も頂いて進める予定ですので、積極的に参加してスキルを磨いて下さい。そして事後学習として現実社会の場面で主体的に実践することを心がけて下さい。

発想法と問題解決研究 (SGD)

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (必修) 演習

講師 大泉早智子

[一般目標 (GIO)] イノベーションをおこす創造力に必要なスキルとしての発想法と問題解決について学習し、グローバル化する知識基盤社会に対応できる論理的思考による認知的能力と創造的なビジネスマインドを育成する。

[授業概要] 本講義では、まず発想法と問題解決技法の基本的スキルを身に付け、アクティブラーニングによる演習を行い、認知的能力を深める。そしてこれらの技法を応用した研究として、医療ビジネスを課題としたイノベーションモデルを作成することにより創造的なビジネスマインドを育成することを目標とする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	発想法と問題解決研究の概要	講義の意義と目的、概要について理解する。
2	発想法のタイプと分析情報発想法と演習	発想法の 4 つのタイプと、分析情報発想法について理解し、実際に演習する。
3	連想発想法と演習	連想発想法について理解し、実際に演習する。
4	図による発想法と演習	図による発想法について理解し、実際に演習する。
5	発想転換発想法と演習	発想を転換させることによる発想法について理解し、実際に演習する。
6	KJ 法と演習	KJ 法について理解し、実際に演習する。
7	SECI モデル・ブレインストーミングと演習	SECI モデル・ブレインストーミングについて理解し、実際に演習する。
8	問題解決技法の分類と発散技法と演習	問題解決技法の分類と発散技法について理解し、実際に演習する。
9	収束技法と演習	収束技法について理解し、実際に演習する。
10	統合技法と演習	統合技法について理解し、実際に演習する。
11	態度技法と演習	態度技法について理解し、実際に演習する。
12	イノベーション演習Ⅰ	発想法と問題解決手法を使った新しいイノベーションモデルを考案する事により理解を深める。
13	イノベーション演習Ⅱ	発想法と問題解決手法を使った新しいイノベーションモデルを作成する事により理解を深める。
14	イノベーション演習Ⅲ	発想法と問題解決手法を使った新しいイノベーションモデルの発表と評価する事により理解を深める。
15	総括	発想法と問題解決スキルとビジネスマインドについて理解する。

[方略] 講義 (パワーポイント・プリント)、演習 (スモールグループディスカッション: SGD)

[評価方法と基準] 演習課題 (学修ポートフォリオ・ルーブリック評価) 50 %、定期試験 50 % の合計 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義前後に対応する。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

[教科書] パワーポイントとそのハンドアウトのプリントにより行います。

[参考書] 大泉早智子・有末友三子・大泉寛 (2013) 『発想法と問題解決研究講義』日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科編 (図書館に所蔵)

[担当教員からのコメント] 発想法と問題解決研究は、皆さんの普段の問題意識の高まりから始まります。事前学習として何事にも問題意識を持つことを心掛けて下さい。講義は皆さんと一緒に考えながら行います。また SGD には有識者にも協力を頂く予定ですので積極的に参加して下さい。そこから新しい発見や発想が生まれます。そして事後学習として新しいアイデアを講義にフィードバックして下さい。

医療ビジネス薬科学演習

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3年生 (後期) 2単位 (必修) 演習

教授 中島孝則 教授 小林 賢 教授 陳 福士 講師 縣 右門 准教授 山本博之 助手 横峯英実

[一般目標 (GIO)] 実際の医療業界における医療ビジネスおよびその関連産業に携わる医療人について理解する。また、医療業界の実情と業界および社会の要望を理解する。学生自身の未来を切り開く現実的な発想法、会社の選び方などの情報収集の方法を修得する。医療ビジネス系分野で必要とされる基礎的知識、技能、態度を修得する。

[授業概要] 薬科学演習を通じて、医療系職種に携わるための基礎、レポートの書き方その他の演習を通じて医療ビジネスに関わる医療人における幅広い知識、技能、態度を修得する。ビジネス領域では、学生が、社会における医療ビジネス薬科学の役割および医療に携わる者としての使命を理解し、自己理解を深め、自己発見、適職発見ができるようになるための授業構成となっている。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医療領域 (1)	ヒトのからだを構成する糖質、脂質、タンパク質について概説できる。
2	医療領域 (2)	ヒトの生理的な働きと調節について概説できる。
3	医療領域 (3)	各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。
4	医療領域 (4)	代表的な保健機能食品を列挙し、説明できる。
5	医療領域 (5)	臨床検査がどのような疾患のときにどのような検査に異常を示すかを概説できる。
6	医療領域 (6)	身体活動と栄養について概説できる。
7	ビジネス領域 (1)	就職活動に必要な SPI・一般常識・時事の試験問題を体験する。
8	ビジネス領域 (2)	就職活動に必要な SPI・一般常識・時事の試験問題への対応について学ぶ。
9	ビジネス領域 (3)	就職活動の第一歩となる企業エントリーの方法などについて学ぶ。
10	ビジネス領域 (4)	すでに学んだ自己 PR、志望動機の書き方などを復習する。
11	ビジネス領域 (5)	履歴書・エントリーシートの実践的な書き方を学ぶ。
12	ビジネス領域 (6)	企業による採用選考の一つである面接のポイントなどを学ぶ。
13	ビジネス領域 (7)	面接の一形態である集団面接について学び、体験する。
14	ビジネス領域 (8)	面接の一形態であるグループディスカッションについて学び、体験する。
15	ビジネス領域 (9)	就職情報サイトの使い方および就職イベント (合同企業説明会) の回り方について学ぶ。

[方略] 講義と演習 (担当教員による配布資料、パワーポイントでの説明) 第1回: 山本、第2・3回: 陳、第4回: 中島、第5回: 小林 (賢)、第6回: 縣、第7~15回: 外部講師が担当し、陳、縣、横峯がとりまとめる。

[評価方法と基準] 演習課題 (100%) で評価する。追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義後に対応する。

[所属分野・場所] 陳福士・縣 右門・横峯英実: 研究実習棟 9階 902室、中島孝則: 研究実習棟 8階 804室、小林賢: 講義棟 2-204室、山本博之: 研究実習棟 7階 704室

[教科書] 特になし

[参考書] 一般社団法人日本臨床栄養協会編 (2015) 『NR・サプリメントアドバイザー必携第3版』 第一出版

[担当教員からのコメント] 本演習は、自分の進むべき方向を定め、そして一歩を踏み出すためにとても大切な事柄を学びます。みなさんの将来にとってとてもためになる演習となります。

アンチ・ドーピング

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

教授 鈴木勝宏 (実務)

[一般目標 (GIO)] アンチ・ドーピングを実践するために、ドーピングに関連する基礎的事項を修得する。

[授業概要] ドーピングの定義・歴史、ドーピング防止の意義、禁止薬物リストに掲載された薬物の薬理作用と禁止理由、ドーピング行為を隠すための方法・隠蔽薬、治療使用特例などについて講述する。さらに、禁止薬物の検索方法を体験する。将来、選手あるいは指導者として活躍する時に、ドーピング防止を貫ける人材を育成することを目標とする。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション ドーピングに関する基礎知識	本講義の概要 ドーピングの定義、歴史、現状について理解する。
2	アンチ・ドーピングの制度	ドーピング防止の意義、ならびに、ドーピング防止に関係する組織とその役割を理解する。
3	禁止表国際基準	禁止表国際基準の概略、禁止薬物の分類、禁止方法、監視プログラム
4	禁止成分概論-1	無承認物質、蛋白同化薬
5	禁止成分概論-2	ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質
6	禁止成分概論-3	ベータ2作用薬、ホルモン調節薬および代謝調節薬
7	禁止成分概論-4	利尿薬および隠蔽薬
8	禁止成分概論-5	興奮薬
9	禁止成分概論-6	麻薬、カンナビノイド
10	禁止成分概論-7	糖質コルチコイド、ベータ遮断薬
11	TUE	治療使用特例 (TUE: Therapeutic Use Exemption) を理解する。
12	ドーピング検査	ドーピング検査 (検体採取) の実際を理解する。
13	使用可能薬	使用可能薬 (ドーピング検査で違反とならない薬) の選択について理解する。
14	実習	Global DRO JAPAN サイトを利用して、禁止薬物の検索を行う。
15	総括、問題演習	総括と理解度を確認するための問題演習を行う。

[方略] 講義 (パワーポイントおよび板書、講義プリント)。実習、問題演習も適宜取り入れる。

[評価方法と基準] 定期試験 (80%)、レポート (20%) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 基本的に、平日昼休みの時間帯 (12:30~13:30) 及び平日夕方 (17:00~18:00) をオフィスアワーとする。ただし、学生実習、出張等で不在の場合も多いため、事前にアポをとること。また、メールによる質問には随時対応する。e-mail: suzuki@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] 実務薬学分野 (さいたまキャンパス、研究実習棟 6 階 603)

[教科書] 第一東京弁護士会総合法律研究所『Q & A でわかるアンチ・ドーピングの基本』同文館

[参考書] 世界アンチ・ドーピング機構 (2018)『世界アンチ・ドーピング防止規定 2018 年禁止表国際基準』(公財) 日本アンチ・ドーピング機構、世界アンチ・ドーピング機構 (2015)『世界アンチ・ドーピング防止規定』(公財) 日本アンチ・ドーピング機構、スポーツファーマシスト研究会 (2010)『公認スポーツファーマシスト認定プログラム』(公財) 日本アンチ・ドーピング機構、日本薬剤師会他 (2019)『薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック』日本薬剤師会

[担当教員からのコメント] 日本人は、文化的に意図してドーピングを行うことは基本的にありませんが、それでも「うっかりドーピング」により、毎年数例のドーピング検査陽性報告が挙がります。「うっかりドーピング」とは競技能力の向上を意図したのではなく、風邪などの治療薬に含まれる禁止物質をしっかりと確認せずに摂取してしまったことに由来します。スポーツの世界は、「うっかり」では済まされない非常に厳しいものです。この講義を通じてドーピングに関する正しい知識を身につけてください。

くすりの生体内運命

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択必修) 講義

教授 山田泰弘

〔一般目標 (GIO)〕 投与された薬物の生体内運命 (薬物体内動態) である『吸収・分布・代謝および排泄の各過程』および『薬と食の相互作用』に関するメカニズムを理解し、それらを応用する知識を身に付ける。

〔授業概要〕 医薬品の有効性と安全性を把握し適正に使用するためには、薬効と毒性を理解するだけでは不十分であり、投与された薬物の生体内での吸収・分布・代謝および排泄の各過程におけるメカニズムを理解することが重要である。そこで、経口や静脈内投与などによって投与された医薬品の生体内運命に関する基礎知識を学習するとともに、医薬品開発や臨床現場での関わりなどについても最新情報を組み込みながら、興味深く知識を修得してもらおう。また近年、臨床での現場で話題となっている多剤併用投与による薬物間相互作用や飲食物との相互作用による生体内運命の変動についても理解してもらおう。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	総論	薬物の生体内運命である吸収・分布・代謝および排泄の各過程の概略について理解する。
2	生体膜透過機構 (1)	生体膜の構造について理解するとともに、薬物の膜透過での単純拡散と PH 分配仮説の関係および担体輸送について把握する。
3	生体膜透過機構 (2)	薬物の膜透過での担体輸送である促進拡散と能動輸送による機構について把握する。
4	吸収 (1)	消化管の構造と薬物の消化管での吸収部位について把握する。また、消化管吸収率と生物学的利用率の関係について理解する。
5	吸収 (2)	非経口投与による薬物吸収について把握する。
6	分布 (1)	組織への薬物分布について把握するとともに、分布容積と血漿タンパク結合の関係について理解する。
7	分布 (2)	脳を守る血液-脳関門と胎児を守る血液-胎盤関門について理解するとともに薬物トランスポーターの寄与についても把握する。
8	代謝 (1)	薬物代謝に関与する酵素の細胞内局在と薬物代謝の第 I 相反応に関与する酵素について把握する。
9	代謝 (2)	薬物代謝の第 I 相反応に関与するシトクロム P450 と第 II 相反応について把握する。
10	代謝 (3)	薬物代謝による活性化とシトクロム P450 の誘導と阻害について把握する。
11	排泄 (1)	腎臓の構造と薬物の腎 (尿中) 排泄について把握する。
12	排泄 (2)	肝臓の構造と薬物の胆汁中および他 (唾液・乳汁中) の排泄について把握する。
13	薬物間相互作用 (1)	薬物代謝酵素が原因の薬物間相互作用について把握する。
14	薬物間相互作用 (2)	吸収、分布および排泄過程で生じる薬物間相互作用について把握する。
15	総まとめ	総まとめとして、創薬の概要とそれに関わる薬物動態について把握する。

〔方略〕 パワーポイントを用いた表示と配布プリントおよび教科書を中心に講義を行います。

〔評価方法と基準〕 定期試験のみで評価します。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 講義前後の休み時間に講義室において、あるいは 803 研究室 (平日 12:30~13:30 および 17:00~18:00、土 13:00~15:00、これ以外の時間帯でも在籍時には常時) において対応します。また、e-mail (y-yamada@nichiyaku.ac.jp) にても対応します。

〔所属分野・場所〕 研究実習棟 8 階 803 研究室 臨床薬剤学分野

〔教科書〕 岩城 正弘、伊藤 智夫 (2018 年) 『コンパス生物薬剤学 改訂第 2 版』 南江堂

〔参考書〕 金尾義治/森本一洋 (2016 年) 『NEW パワーブック 生物薬剤学 第 3 版』 廣川書店

〔担当教員からのコメント〕 予習も大切ですが、復習はさらに大切です。理解できないことがあったらそのままにしておかずに、気軽に質問してください。薬の生体内運命に関する知識は、薬学部以外の医学部を含めた医療系の学部において教わることはほとんどありません。また、医薬品の有効性と安全性を把握する上で必須の知識でもありますので、丸暗記や一夜漬けの勉強ではなく、吸収・分布・代謝および排泄の各過程でのメカニズムを把握して、それらを結び付けて総合的に理解してください。

コーチング心理学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 具志堅武

[一般目標 (GIO)] 競技者の育成・強化に携わる全てのコーチが持つべき心構え、倫理観及び身につけておくべきスキルを深く学習する。
 [授業概要] 本講義を通して、競技者特有の心理特性を理解し、ジュニアから競技者までの育成・強化を担うコーチの心構え、スキルを学習する。また、本講義の受講が公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格「スポーツリーダー」の取得条件となる。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	コーチに求められる資質とスキル	ジュニアからトップアスリートへの育成・強化を担う全てのコーチに必要な資質とコーチングスキルを学習する
2	スポーツマンシップとフェアプレイ	スポーツ文化の基盤であり、スポーツ倫理において最も重要な要素である「スポーツマンシップ」と「フェアプレイ」の理念について理解する
3	体罰・セクシャルハラスメントの違法性	指導の名をかりた体罰やセクシャルハラスメントの違法性を理解し、それをいかに根絶していくかを考える
4	チーム力強化のためのマネジメント	トップレベルのスポーツ集団としてのチーム (組織) が持つ構造・機能を理解し、その構築のための資源の効果的な活用法を学習する
5	強いチームづくりに必要なもの	競技力向上を目的とするチームにおけるマネジメントの必要性を理解し、より強いチームをつくるために必要なものとそのマネジメントの方法を学習する
6	リーダーシップとは	より強いチームへマネジメントしていくために必要不可欠なコーチングスキルとしてのリーダーシップについて考える
7	コミュニケーション手段としてのミーティング	より強いチームへマネジメントしていくために必要なコミュニケーション手段としての「ミーティング」の目的と意義を理解し、具体的な方法論を学習する
8	アスリートの心理的特性とそのサポート	アスリート特有の心理的特性を理解し、効果的なコーチングのための心理的サポート方法を学習する
9	アスリートの心理的問題	スランプやバーンアウトを代表とする競技者特有の心理的特性が引き起こす様々な心理的問題を理解し、その対処法を学習する
10	動機づけとパフォーマンス	動機づけに代表される心の状態がパフォーマンスに及ぼす影響を理解し、それらを高める方法を学習する
11	メンタルマネジメントとその方法	パフォーマンス発揮に効果的なリラクゼーション及び集中力を高めるメンタルトレーニングの方法を学習する
12	スポーツと情報戦略	現代スポーツにおいて様々な情報が必要不可欠となっていることを理解し、その収集や活用方法を学習する
13	コーチングの評価	コーチングの評価作業が目的達成の重要なステップの一つであることを理解し、その目的や方法を学習する
14	コーチのメンタルマネジメント	競技者と同様にコーチも指導場面におけるストレスと戦っていることを理解し、その対処法を学習する
15	まとめ	授業のまとめとして自身が行っている、または行ってきた競技に必要な指導やミーティングの在り方について討議する

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

[評価方法と基準] 講義内レポート (30 %) 及び定期試験 (70 %) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 本講義終了後に対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 室

[教科書] 特になし

[参考書] 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ・Ⅲ (公益財団法人 日本スポーツ協会)

その他授業内で適宜紹介していきます

[担当教員からのコメント] 将来、競技スポーツの指導にたずさわる人にとっての効果的な指導を可能にするスキルだけではなく、社会に出た際に活用できるコーチングスキルを身につけましょう。

研究方法論演習 I

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (前期) 1 単位 (選択必修) 演習

教授 陳 福士 講師 縣 右門 講師 松永修司

〔一般目標 (GIO)〕 スポーツに関する卒業論文作成の為に必要となる基礎的な研究方法について理解する。

〔授業概要〕 本講義を通して、卒業論文作成に向けた、研究倫理、研究のデザイン、文献検索及び統計処理の方法など基本的な方法論を学習する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	レポート・論文の基本ルール	一般的なレポート・論文の書式・レイアウトから書き方のルールを具体例を用いて学習する
2	研究倫理①	データ収集に際する個人情報の管理や実験・調査の承諾方法など研究倫理に関する考え方について学習する
3	研究倫理②	実際の書式を使って研究の実施に必要な事項および法律等について理解する
4	卒業研究への取り組み方① 研究方法・種類	卒業論文作成に必要なデータ収集のための実験方法や調査方法に関して学習する
5	卒業研究への取り組み方② 実験的研究の計画	主に運動生理学など基礎科学的な研究におけるデータ収集方法および実験の方法について学習する
6	卒業研究への取り組み方③ 調査的研究の計画	主にスポーツ社会学的研究におけるデータ収集方法および質問紙の作成やインタビュー調査の方法について学習する
7	卒業研究への取り組み方④ データ処理の基礎知識	統計処理を行う前に必要な測定尺度と解析目的に応じた統計処理の種類など統計手法の基本的知識を理解する
8	研究データの取り扱い① 差の分析の具体例	SPSS を実際に使用し、平均値における 2 変数間及び 3 変数以上の差についての統計処理方法を学習する
9	研究データの取り扱い② 関連性の分析の具体例	SPSS を実際に使用し、名義尺度や順序尺度の差や関連性についての統計処理方法を学習する
10	参考文献などの収集方法と仮説の組み立て	文献の検索方法及び引用方法について学習し、実際に CiNi などを利用し、関連文献を検索する。また、卒論研究実施に向けて仮説を組み立て妥当性の検討を行う。

〔方略〕 1 回：講義 (担当、陳、縣、松永) 2~3 回：講義 (担当、縣)、4~5 回：講義 (担当、松永) 6~7 回：講義 (担当、陳) 8~10 回：SGD 形式 (担当、陳、縣、松永)。

〔評価方法と基準〕 8、9、10 回の実習内に実施する課題により評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。また E-mail による質問も受け付ける。

E-mail アドレス：陳 (f-chan@nichiyaku.ac.jp)

縣 (u-agata@nichiyaku.ac.jp)

松永 (shujimatsunaga@nichiyaku.ac.jp)

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 号研究室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 出村慎一 (2007) 『健康・スポーツ科学のための研究方法』 杏林書院、小笠原喜康 (2009) 『新版 大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書

〔担当教員からのコメント〕 卒業論文作成に向け、しっかりとした研究の基礎知識を身につけるよう、記憶するだけでなく理解することが重要。

キャリアデザイン演習Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 演習

講師 松永修司

[一般目標 (GIO)] 就職活動に向けて必要な基本的な知識と態度を修得する。

[授業概要] 就職活動を実際に開始する準備として、ビジネスマナーを学び、自己分析、業界研究を行うことにより「なりたい自分」から「なれる自分」への成長を促す。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	スタートガイダンス～就活の流れ～	就職活動の流れを確認する。就職活動の準備や学生生活の過ごし方について知る。
2	業界・企業研究 (準備)	業界について外部講師の話聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
3	業界・企業研究 (1)	健康・スポーツ用品メーカーについて。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
4	業界・企業研究 (2)	健康・スポーツ用品メーカーについて。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
5	業界・企業研究 (3)	フィットネスクラブについて。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
6	業界・企業研究 (4)	フィットネスクラブについて。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
7	業界・企業研究 (5)	地方自治体スポーツ振興課について。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
8	業界・企業研究 (6)	地方自治体スポーツ振興課について。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
9	業界・企業研究 (7)	グローバル企業について。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
10	業界・企業研究 (8)	グローバル企業について。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
11	業界・企業研究 (9)	スポーツ振興 (国内外) について。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
12	業界・企業研究 (10)	スポーツ振興 (国内外) について。業界について講義を聞き、また自分自身で調査を行う事により、業界についての知識を高める。
13	まとめ～進路決定に向けて～ (1)	体育・スポーツの知識を活用したセカンドキャリアについて考える。
14	まとめ～進路決定に向けて～ (2)	体育・スポーツの知識を活用したセカンドキャリアについて考える。
15	まとめ～進路決定に向けて～ (3)	総合討議・発表会

[方略] 講義と演習 (担当教員による配布資料、パワーポイントでの説明) 第 2～12 回: 招聘講師が担当し、松永が取りまとめる。

[評価方法と基準] レポート課題にて評価する。

[学生の質問への対応] 担当者が講義前後に随時対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 室 スポーツ薬学研究室

[教科書] 特になし。配付プリントを使用する。

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 就職活動に向けて自己分析・自己 PR に基づいたエントリーシートや履歴書の書き方、社会人としての躰、企業研究などを総合的に行います。外部講師による講義が中心となりますので、質問等はその都度行って下さい。

一般用医薬品総合演習

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 演習

教授 小林 賢

〔一般目標 (GIO)〕 一般用医薬品の品質、有効性および安全性を確保して販売するために、医薬品に共通する特性と基本的な知識、薬事関連法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策、主な医薬品とその作用に関する基本的事項を修得する。

〔授業概要〕 一般用医薬品についての理解を深め、登録販売者試験に合格できるように、教科書と問題を中心に効率的にわかりやすく講義を行う。

授業で扱う内容はとても豊富なので、これらを確実に理解していくために、準備学習 (予習) と復習を毎回欠かさずに行うように努力しましょう。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	医薬品に共通する特性と基本的な知識 (1)	医薬品、副作用、情報の入手と提供について概説できる。 医薬品の効果、副作用に影響を与える要因に概説できる。
2	医薬品に共通する特性と基本的な知識 (2)	適切な医薬品選択と受診勧奨について概説できる。 薬害の歴史について概説できる。
3	人体の働きと医薬品 (1)	身体の構造と働きについて概説できる。
4	人体の働きと医薬品 (2)	薬が体の中に入る仕組み、体の中に入った薬の働き、いろいろな薬の剤型と使い方について概説できる。 薬によって起こされる副作用について概説できる。
5	薬事関係法規・制度 (1)	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の目的を示している法第 1 条について概説できる。
6	薬事関係法規・制度 (2)	医薬品のさまざまな分類と取り扱いの基本について概説できる。
7	薬事関係法規・制度 (3)	医薬品の販売に係わる関係法について理解する。医薬品販売に関する法令について概説できる。
8	医薬品の適正使用・安全対策 (1)	医薬品の適正使用のために理解することが必要な基本的な情報について概説できる。 医薬品が発売された後の安全性を確保する対策として、副作用情報の収集。
9	医薬品の適正使用・安全対策 (2)	制度や収集された副作用情報を評価し、対応するための制度について概説できる。 副作用による健康被害が発生した場合の社会的な救済制度について概説できる。
10	主な医薬品とその作用 (1)	かぜ薬、解熱鎮痛薬の使用目的、主な配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨について概説できる。
11	主な医薬品とその作用 (2)	眠気を促す薬、鎮暈薬、小児鎮静薬、鎮咳去痰薬、含嗽薬の使用目的、主な配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨について概説できる。
12	主な医薬品とその作用 (3)	胃の薬、腸の薬、胃腸鎮痛鎮痙薬、強心薬、高コレステロール改善薬、貧血用薬、含嗽薬の使用目的、主な配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨について概説できる。
13	主な医薬品とその作用 (4)	痔の薬、婦人薬、消毒薬、殺虫剤・忌避剤の使用目的、主な配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨について概説できる。
14	主な医薬品とその作用 (5)	内服アレルギー用薬、鼻に用いる薬、眼科用薬、皮膚に用いる薬の使用目的、主な配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨について概説できる。
15	登録販売者試験対策	登録販売者試験制度、試験対策について説明する。

〔方略〕 講義 (教科書、パワーポイント、演習問題での説明)

〔評価方法と基準〕 定期試験の成績 (100 %) で評価する。追・再試験も実施する。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (木、金曜日: 15:00 ~ 17:00、土曜日: 9:00 ~ 12:00)

kobayasi@nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 一般薬学部 (5-204 研究室)

〔教科書〕 マツモトキョシホールディングス (2020) 『登録販売者試験対策テキスト 2020』 じほう

〔参考書〕

体力測定評価学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 縣 右門

[一般目標 (GIO)] 体力を診断するための様々な計量法および統計法を把握、理解し、その一部を実践する力を身につける。

[授業概要] 運動能力とその発達に関する測定学と評価学において、関連する基礎的知識と先端的研究方法および統計方法を理解する。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	体力とは何か?	体力の定義を多角的に理解し、構成する要素について学習する
2	体力の評価条件	体力評価に関する条件を妥当性・再現性・客観性を通して理解する
3	代表値の意味と各種代表値の算出	体力評価を行ううえで重要な要素となる平均・最頻値・中央値などについて学習する
4	散布度の意味と各種散布度の算出	体力評価を行ううえで重要な要素となる範囲・偏差・誤差などについて学習する
5	二変量の関係	収集したデータの分析を行ううえで重要な要素となる相関と回帰について理解する
6	平均値の差の検定	集団の比較を行ううえで重要となる T 検定や分散分析について学習する
7	評価法	集団比較における評価法として Z スコアや T スコア、および標準化の意味および意義を理解する
8	体力テスト	共通テスト・各年齢におけるテストについて、その成り立ちと実際を学習する
9	仮説と検証 (1)	調査の方法論における基本的な考え方について理解する
10	仮説と検証 (2)	調査に関する仮説を立て、実証までの流れにおける重要な要素を理解し検討する
11	体力測定の基礎 (1)	VO2max テストなど体力評価を行う基礎的な持久力テストについて意義を理解する
12	体力測定の基礎 (2)	VO2max テストなど体力評価を行う基礎的な持久力テストについて方法を理解する
13	体力測定の応用	高齢者の介護予防や ADL (activities of daily living) の評価における測定法を学習する
14	社会現象の統計的認識	現代社会における様々な事象について統計手法を用いた検討を行う
15	総括	体力評価測定学に関する基礎知識を講義のまとめとして包括的に検討する

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)

[評価方法と基準] 定期試験 70 %、小テスト 20 %、レポート 10 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業終了後に対応する。また E-mail による質問も受け付ける。

E-mail アドレス: u-agata@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 号室

[教科書] 特になし

[参考書] 講義で配布する資料をよく読むこと。

[担当教員からのコメント] 複雑な計算式や公式を多用します。分からないことはそのままにせず、理解してから進むようにしましょう。

スポーツマネジメント学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 松永修司 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 現代社会が直面する様々な問題を理解し、その解決に向けたスポーツが持つ力の有効活用に必要なマネジメント能力の基礎を身につける。

〔授業概要〕 本講義の受講が公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格の取得条件となる為、本講義を通じて、社会におけるスポーツの役割及び国・地方自治体のスポーツプロモーションを理解する。また、大学を卒業し社会に出たときに、学んだ事象や条件をどのように整えることができるかをスポーツ実施者 (愛好者・競技者等) の立場から豊かなスポーツライフを実現するための諸条件の整備について学ぶ。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	文化としてのスポーツ、スポーツマネジメントとは	スポーツの発展は社会の変化に対応してきた経緯を理解し、現代におけるスポーツの需要とスポーツマネジメントの基礎を理解する。
2	我が国のスポーツプロモーション①	スポーツの普及・促進、発展を考え、意味や価値を明らかにしながら必要な考え方を学習し、世界の動向及び日本の現状について理解する。
3	我が国のスポーツプロモーション②	我が国のスポーツ基本法、スポーツ基本計画、2017 年から 2022 年の 5 年計画としての第 2 期スポーツ基本計画の内容を理解し、我が国のスポーツプロモーションの指針について学習する。
4	社会の中のスポーツ	生活をより豊かにする為、社会の変化に対応し変化しながら発展しているスポーツを政治・経済やスポーツの産業化及び地域生活とスポーツという視点から学習し、理解を深める。
5	スポーツ事業のマネジメント	スポーツ事業におけるマネジメントの機能と様々な事業におけるマネジメントの方法について学習し、スポーツ行動の成立条件や人びととスポーツの関わりについて理解する。
6	スポーツイベントのマネジメント	スポーツマネジメント・スポーツビジネスにおいてスポーツイベントの仕組みやビジネスとして成立される法や進め方を学習する。
7	企業スポーツのマネジメント	我が国の国際競技力向上の重要な役割を担ってきた企業スポーツの発展の歴史や変容について理解する。
8	プロスポーツのマネジメント	プロスポーツの成り立ちを理解し、スポーツビジネスの観点からも学習し、国内外問わずプロスポーツの組織化について理解する。
9	アスリートの育成とマネジメント	競技力を高めるために必要な試合環境やトレーニング環境の整備をマネジメントの側面から捉え理解する。
10	我が国の競技力向上システム	「一貫指導システム構築のためのモデル事業」の成果を踏まえて、競技者育成プログラムや競技力向上策についての理解を深める。
11	アスリートのキャリアマネジメント	スポーツに関わる仕事や必要な資格等を把握し、アスリートが抱えるキャリア問題について理解する。
12	地域におけるスポーツ振興と行政の関わり	我が国におけるスポーツ振興と行政について、全体的な枠組みと法令の概要を理解し、地域におけるスポーツ振興方策のかかわりについて学習し、スポーツ振興方策の現状と課題について認識を深める。
13	総合型地域スポーツクラブの機能と役割	地域に住む人々が生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境の整備のための総合型地域スポーツクラブの機能や役割について学習し、地域づくりについての理解を深める。
14	総合型地域スポーツクラブのマネジメント	我が国最大の青少年組織であるスポーツ少年団の理念・組織のあり方について理解し、総合型地域スポーツクラブの理念を含め地域住民が主体となり組織運営しているスポーツ少年団の育成のねらいと組織や活動について学習する。
15	スポーツマネジメントアプローチ	総合型地域スポーツクラブの運営やスポーツの発展による新たなビジネス形態や将来に向けてのスポーツマネジメントについて捉える。

〔方略〕 講義 (パワーポイント及び講義配布資料)

〔評価方法と基準〕 提出物 (30 %) 及び最終課題 (70 %) で評価する。追再試験を実施することもある。

〔学生の質問への対応〕 講義終了時に対応。また、E-mail による質問も受け付ける。

〔所属分野・場所〕 管理棟 3 階 302 号室 (非常勤講師控室)

〔教科書〕 特になし。

〔参考書〕 公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I・II・III (公益財団法人日本スポーツ協会)

〔担当教員からのコメント〕 自身や他者の豊かなスポーツライフの実現を目指し、スポーツマネジメントを学んでいきましょう。

研究方法論演習Ⅱ

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (後期) 1 単位 (選択必修) 演習

教授 陳 福士 講師 縣 右門 講師 松永修司

〔一般目標 (GIO)〕 スポーツに関する卒業論文作成の為に必要となる基礎的な研究方法について理解する。

〔授業概要〕 本講義を通して、文献調査発表及びそれについての討議など実際のグループワークを通して、卒業論文作成に向けた研究テーマの方向づけができるようにする。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	研究テーマの方向づけ	自身が卒業論文のために設定したテーマと立てた仮説について検討すべく、研究テーマ領域に特化した情報収集法について学習する
2	文献調査① 序論	研究テーマとして考えられる自身が関心を持つ事例に関する参考文献を収集し、背景、目的の捉え方および書き方を受講者全員でディスカッションする
3	文献調査② 方法	研究テーマとして考えられる自身が関心を持つ事例に関する参考文献を収集し、方法の捉え方および書き方を受講者全員でディスカッションする
4	文献調査③ 結果	研究テーマとして考えられる自身が関心を持つ事例に関する参考文献を収集し、結果の捉え方および書き方を受講者全員でディスカッションする
5	文献調査④ 表・グラフ	研究テーマとして考えられる自身が関心を持つ事例に関する参考文献を収集し、表およびグラフの捉え方および書き方を受講者全員でディスカッションする
6	文献調査⑤ 考察	研究テーマとして考えられる自身が関心を持つ事例に関する参考文献を収集し、考察、結論およびまとめの捉え方および書き方を受講者全員でディスカッションする
7	文献調査発表①	研究テーマを実際に設定し、研究テーマに関する参考文献を収集する。またその文献が背景のどの位置づけとなるかについてまとめて発表し、受講者全員でディスカッションする
8	文献調査発表②	研究テーマを実際に設定し、研究テーマに関する参考文献を収集する。またその文献が考察のどの位置づけとなるかについてまとめて発表し、受講者全員でディスカッションする
9	卒業論文の作成	本講義および自身が行った文献調査発表をもとに序論および方法まで仮作成し、その内容を受講者全員でディスカッションする
10	卒業論文中間発表会	実際の卒業論文発表会の形式に基づいたパワーポイントを用いた卒業論文中間発表会を行い、プレゼンテーションの形式および内容について討議を行う

〔方略〕 1 回：講義 (パワーポイント及び配布資料、担当 縣)、2～10 回：討論 (SGD、担当、陳、縣、松永)

〔評価方法と基準〕 討論におけるプレゼンテーション (80 %)、課題 (20 %) により評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。また E-mail による質問も受け付ける。

E-mail アドレス：

陳 (f-chan@nichiyaku.ac.jp)

縣 (u-agata@nichiyaku.ac.jp)

松永 (shujimatsunaga@nichiyaku.ac.jp)

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 号研究室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 出村慎一 (2007) 『健康・スポーツ科学のための研究方法』 杏林書院、小笠原喜康 (2009) 『新版 大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書

〔担当教員からのコメント〕 大学における学修の集大成として、また社会に出る際の自身の基盤となる課題を研究テーマとできるよう頑張りましょう。

臨床検査学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

教授 小林 賢

〔一般目標 (GIO)〕 臨床検査での検査結果を得るのに必要な代表的な分析法についての基本的知識を修得するとともに、身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候 (呼吸困難、発熱など) と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。

〔授業概要〕 身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候 (呼吸困難、発熱など) と臨床検査値に関する基本的知識および代表的な分析法の基本的知識を修得できるように、教科書を中心にわかりやすく講義を行う。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	臨床検査とその役割	代表的なバイタルサインを列挙できる。 臨床分析における制度管理および標準物質の意義を説明できる。
2	検査手技 1	臨床分析の分野で用いられる代表的な分析法を列挙できる。 免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。 電気泳動法の原理を説明し、実施できる。
3	検査手技 2	酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実施できる。 代表的なセンサーを列挙し、原理および応用例を説明できる。 代表的なドライケミストリーについて概説できる。
4	系統別臨床検査 1 (血液疾患-1)	代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。
5	系統別臨床検査 2 (血液疾患-2)	代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。 尿及び糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙 げることができる。
6	系統別臨床検査 3 (肝疾患-1)	代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。
7	系統別臨床検査 4 (肝疾患-2)	代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。 代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。
8	系統別臨床検査 5 (腎・尿路系疾患-1)	尿および糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げる ことができる。
9	系統別臨床検査 6 (腎・尿路系疾患-2)	代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。
10	系統別臨床検査 7 (呼吸器疾患)	代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。
11	系統別臨床検査 8 (心疾患-1)	代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。
12	系統別臨床検査 9 (心疾患-2)	代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。
13	系統別臨床検査 10 (内分泌疾患)	代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げる ことができる。
14	系統別臨床検査 11 (感染症)	感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される 主な疾病を挙げる ことができる。
15	疾患別臨床検査 12 (悪性腫瘍)	悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げる ことができる。

〔方略〕 講義 (教科書、パワーポイントでの説明)

〔評価方法と基準〕 定期試験の成績 (100%) で評価する。追・再試験も実施する。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (火～金曜日 9:00～17:00、土曜日 9:00～12:00)

kobayasi@nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 一般薬学部門 (5-204 研究室)

〔教科書〕 (編者) 奈良信雄 (2014) 『《系統看護学講座 別巻》臨床検査学 (第8版) (ISBN 978-4-260-01803-6)』 医学書院

〔参考書〕

〔担当教員からのコメント〕 スポーツ選手にとって体調管理は大切な日課です。ヒトの健康状態を把握するためには、「臨床検査」を欠かす
 ことができません。病気のことを理解することで、なぜこのような反応・数値が出るのかが理解しやすくなります。

機能性食品学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 根岸友恵

[一般目標 (GIO)] 機能性食品を正しく利用するために、機能性食品の科学的背景、分類と定義、有効性及安全性を考慮した適正な使用方法、医薬品との相違、医薬品との相互作用等を理解し、消費者に対する適切な情報提供のあり方などに関する知識を修得する。

[授業概要] 食品がもつ機能には、栄養素としての機能、旨みなど感覚に訴える機能、及び生体調節機能がある。生体調節機能は、健康の維持や健康の回復により、疾病を予防する働きがあり、これらの機能をもつ食品は一般的に機能性食品と呼ばれる。機能性食品学では、機能性食品に関する正しい知識と消費者がこれらを摂取する上での注意点について学ぶ。機能性食品の栄養学的背景、分類と定義、有効性、医薬品との相違についての理解と相互作用、安全性を考慮した適正な使用方法、消費者に対する適切な情報提供のあり方などについて講義を行う。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	食品と生活	食品の機能について理解する
2	栄養学概説	栄養素と身体機能の関係を理解する
3	生活習慣病	生活習慣と疾病の関係について理解する
4	生活習慣病—各論—	主な生活習慣病について理解する
5	カウンセリング	主として生活習慣病の予防と治療におけるカウンセリングの役割について学習する
6	食品の安全性 (1) —リスク分析と評価—	食品の安全性について理解し、食品の衛生管理と安全性の確保の方法を学習する
7	食品の安全性 (2) —安全性の確保—	食品の安全性について理解し、食品の衛生管理と安全性の確保の方法を学習する
8	機能性食品 (1)	機能性食品の分類と定義について理解する
9	機能性食品 (2)	機能性食品の分類と定義について理解する —機能性表示食品と特別用途食品—
10	機能性食品 (3)	機能性食品の有効性、安全性について理解する —特定保健用食品—
11	機能性食品 (4)	機能性食品の有効性、安全性について理解する —保健機能食品とその他の健康食品—
12	食品成分と医薬品の相互作用	食品成分や医薬品の代謝を理解し、その相互作用について学習する
13	食品関連法規	日常生活に必要な、食品に関する法律を理解する
14	総括	講義全般における重要事項を再確認する
15	演習	理解度を確認するために演習を行う

[方略] 1 から 14 回：講義 (スライド、プリントを利用/宿題で理解度を測る)、15 回：演習

[評価方法と基準] 定期試験の成績で評価する。追再試験等を行うことがある。

[学生の質問への対応] 講義終了後、あるいはメールでの質問に答える。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟3階302号室 非常勤講師室

[教科書] 特に定めない

[参考書] 日本臨床栄養協会 編 (2019) 『第4版 NR・サプリメントアドバイザー必携』第一出版 その他、講義中に適宜紹介する。

[担当教員からのコメント] この講義では、機能性食品の基礎的な知識、ならびにその周辺の食品衛生、栄養学について幅広く学ぶことができます。将来NR・サプリメントアドバイザーのような保健機能食品のアドバイザー・スタッフ資格取得を考えている方に相応しい内容となっています。

[一般目標 (GIO)] スポーツの場面でも日常生活でもメンタルのコンディションが、行動や成果に大きな影響を与えています。人の行動と心理に関する基本的な知識と考え方を修得し、他者との信頼関係を構築し、目標達成のベストパフォーマンスを出せるように実践的なメソッドを身に着けます。

[授業概要] 人間自体の理解を深めることにより、コミュニケーションと目標達成を 2 大テーマとして扱います。

ミスコミュニケーションの本質を理解し、効果的なコミュニケーションの手法を修得します。

これによりチームビルディングに必要なリーダーシップの在り方や有効なコーチングの手法を学びます。

自分が望む変化 (なりたい状態の実現と課題の克服) を実現させる手法を学びます。

すべて実践的なプログラムなので、授業の中で体験しながら身に付けていきます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	脳の取り扱い説明書	NLP の体系を理解し意識・無意識の特徴を説明できる。
2	人間の理解	価値観について理解し、作られたプログラムが変更出来る事を実習 (リフレーム) の上で概説できる。
3	コミュニケーションの本質とは	コミュニケーションの土台を理解し、説明できる。
4	コミュニケーションのプロセス	ペーシング→ラポール→リーディングを実習の上で理解し説明できる。
5	ミスコミュニケーション	ミスコミュニケーションが起きる理由を理解し防ぐ方法を概説できる。
6	ミスコミュニケーションを防ぐ	メタモデルの手法を使い具体的に実習の上で理解し実行できる。
7	リーダーシップ	リーダーシップを発揮出来る状況を理解し、実行出来る事を概説できる。
8	状態管理	質の高い行動を支えるアンカリングの手法を実習の上で理解し実行できる。
9	イメージトレーニング 1	成功するイメージトレーニングの為にサブモダリティを理解できる。
10	イメージトレーニング 2	成功するイメージトレーニングの為に (サブモダリティーチェンジ) を実習の上で理解し実行できる。
11	目標達成	目標達成を支える 3 つの要素 (明確な目標・感覚の鋭敏性・柔軟性) を理解し説明できる。
12	目標達成の為に質問	エイトフレームアウトカム的手法を実習の上で理解し実行できる。
13	目標達成の障害	目標達成を止めているビリーフ (信念)・価値観を理解し説明できる。
14	目標達成の実現	ビリーフチェンジの手法を実習の上で理解し実行できる。
15	まとめと振り返り	これまでを振り返り、アズイフフレームを実行できる。

[方略] 講義 (教科書、板書)、実習。

[評価方法と基準] 課題レポートで評価します。課題レポートは 3 つあります。追再試レポートを実施することがあります。

[学生の質問への対応] E メールで受け付けます。返信はメールか次の授業で応えます。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

[教科書] 山崎啓支 (2011 年) 『NLP の実践手法がわかる本』日本能率協会マネジメントセンター スポーツの場面でも日常の場面でも「望ましい変化を作り出す」理論と手法が理解出来ます。

[参考書] 山崎啓支 (2007 年) 『NLP の基本がわかる本』日本能率マネジメントセンター、山崎啓支 (2016 年) 『コーチングハンドブック』日本能率マネジメントセンター、山崎啓支 (2012 年) 『マンガでわかる NLP』日本能率マネジメントセンター、山崎啓支 (2013 年) 『マンガでわかる NLP コミュニケーション』日本能率マネジメントセンター 講義で行うワークの理解と実践方法が書かれています。

[担当教員からのコメント] この講義の一番の特徴は知識の理解と体感としての理解を深める為に一方通行の講義だけではなく、ワークを多く行うことです。

講義の中で実践するプログラムはこれらの本に書かれています。

教科書に指定した本を補い、講義の予習・復習を効果的に行えます。

効率的な動きの解剖学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 3 年生 (後期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 原村未来 (実務)

[一般目標 (GIO)] ヒトの動作において、効率的に動くということはパフォーマンス向上において重要な役割を担う。解剖、バイオメカニクス、生理学的視点をもって、自身や他者の動きの分析評価を行い、動作の改善を軸とした「効率的な動き」について考察する。

[授業概要] 動作における主観と客観のずれ、身体の力学的特性や筋のメカニズム、解剖、生理的な反応など、ヒトの動作に関するいろいろな分野の基本に触れる。その先に、自身の動作を客観的に捉え、動作の改善サイクルを基に、効率的な動きとは何か、について考える。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ガイダンス・ヒトの動きを考える	ある動作に対する、視点・観点の違いが、動作にどのような影響を与えるのか、また、効率的な動きとは何か、に自分なりに考えられるようにする。
2	筋力、筋発揮のメカニズム	筋収縮の種類や、筋収縮のメカニズム、屈曲、伸展などの動作を表す用語について説明し、理解する。
3	体力①	アスリートのコンディションだけでなく健康に生活する上でも「体力」について理解することが必要である。体力について基礎的な理解を深める。
4	体力②	アスリートのコンディションだけでなく健康に生活する上でも「体力」について理解することが必要である。体力について基礎的な理解を深める。
5	ランニングにおける効率	効率的な走り、とは何か。ランニングエコノミーの観点から、効率的に走ることにについて考察する。
6	運動の習得・獲得①	運動学習の過程を経て、上達していく。その過程について運動学を題材にして説明、理解する。
7	運動の習得・獲得②	運動学習の過程を経て、上達していく。その過程について運動学を題材にして説明、理解する。
8	効率的な動きとトレーニング①	これまで生理学的、運動学的、バイオメカニクスの観点から効率的な動きを検討した。今度は、効率的なトレーニング方法について検討、考察する。
9	効率的な動きとトレーニング②	これまで生理学的、運動学的、バイオメカニクスの観点から効率的な動きを検討した。今度は、効率的なトレーニング方法について検討、考察する。
10	トレーニング計画	これまで生理学的、運動学的、バイオメカニクスの観点から効率的な動きを検討し、トレーニング方法についても検討した。これらを実際に年間のトレーニング計画の立てかたに落とし込んで立案し、現在のトレーニングの課題を抽出、改善点を見つける。
11	演習①	これまでに講義で紹介した「効率」についてトレーニングで活かせるような動き方やトレーニング方法を紹介し、実際にやってみる。
12	演習②	これまでに講義で紹介した「効率」についてトレーニングで活かせるような動き方やトレーニング方法を紹介し、実際にやってみる。
13	演習③	これまでに講義で紹介した「効率」についてトレーニングで活かせるような動き方やトレーニング方法を紹介し、実際にやってみる。
14	演習④	これまでに講義で紹介した「効率」についてトレーニングで活かせるような動き方やトレーニング方法を紹介し、実際にやってみる。
15	まとめ	総論、成績評価の方法の確認

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)、演習

[評価方法と基準] 授業内の小レポート 20 %、期末の課題レポート 80 % で評価する。追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義日に対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

[教科書] 特になし

[参考書] NSCA 決定版 ストレングス & コンディショニング (2010)

[担当教員からのコメント] 講義で学んだことを実際に体験しながら、さらに深めたいと思います。

平成 29 年度入学生 カリキュラム表

カリキュラム表

平成29年度入学生

医療ビジネス薬科学科【ビジネス薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生		
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位
必修科目	一般科目 自然科学	生物の基礎		前2									
		数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2									
	外国語	英語 I (注1)		前2									
		英語 II (注2)		後2									
	薬学系科目	化学系								医薬品の化学	後2		
		生物系	人体の構造と働き I		前2								
		衛生系							公衆衛生学		前2		
	医療系					薬理学 I		前2					
						疾病と治療薬 I		前2					
						医薬品の適正使用		前2					
	ビジネス系科目		コミュニケーション		前2	医事薬事関連法		前2	プレゼンテーションスキル		前2		
					英語 III (注3)		前2	発想法と問題解決研究 (SQD)		前2			
演習・実習系科目								医療ビジネス薬科学演習		後2			
小計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10単位		
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方		前2	一般用医薬品演習		前2	社会生活と経済	前2	
		診療報酬請求論 I		前2	経済学		前2	原価・会計		前2	タックスプランニング	前2	
		診療報酬請求論 II		前2	会計・簿記 I		前2	経営戦略論		前2			
		経営学入門		前2	会計・簿記 II		前2	販売戦略論		前2			
			生薬学	後2	一般用医薬品学		前2	MR概論		前2			
			キャリアデザイン I	後2	一般用医薬品情報学		前2	キャリアデザイン III		前2			
					日本語表現論		前2			キャリアデザイン IV	後2		
						英語 IV (注4)	後2			起業論	後2		
						ビジネス実務論	後2			金融論	後2		
						財務・会計	後2			販売戦略演習	後2		
						医療会計	後2			ファイナンス・プロジェクト	後2		
						キャリアデザイン II	後2						
					薬理学 II	後2							
小計		12単位			26単位			22単位			4単位		
選択科目	一般科目 人文社会	現代国語		前2				マーケティング		前2	社会生活と法	前2	
		日本史		前2									
	ビジネス系	医療倫理学		後2							リスクマネジメント	前2	
				前2									
	情報医療	診療報酬請求論 III		後2							診療報酬請求事務実践学	前2	
		診療報酬請求論 IV		後2									
	外国語 (注5)	日本語 I (注5)		前2	日本語 III (注5)		前2	日本文化 III (注5)		前2	ネイティブイングリッシュ	前2	
		日本語 II (注5)		後2	日本文化 I (注5)		前2	日本事情 III (注5)		前2			
					日本事情 I (注5)		後2			日本文化 IV (注5)	後2		
						日本語 IV (注5)	後2			日本事情 IV (注5)	後2		
	薬学系科目 医療系		生命をミクロに理解する	後2	医療経営概論		前2		食品健康学	後2	香粧品科学	前2	
			人体の構造と働き II	後2	疾病と治療薬 II		後2		医療経営学	後2	薬理学 III	前2	
				病院・薬局管理学		後2							
アドバンス科目							海外研修プログラム		2	海外研修プログラム	2		
ビジネス系科目								ヘルスケアマネジメント論	後2	セルフメディケーション学	前2		
演習・実習系科目								コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2		コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2	
			コンピュータスキル	後2									
小計 (注6)		14単位			6単位			10単位			18単位		
合計		42単位			42単位			42単位			32単位		
卒業要件単位数		124単位											

- (注1) 留学生は選択科目「日本語 I」で代用可。
- (注2) 留学生は選択科目「日本語 II」で代用可。
- (注3) 留学生は選択科目「日本語 III」で代用可。
- (注4) 留学生は選択科目「日本語 IV」で代用可。
- (注5) 留学生のみ選択可。
- (注6) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

平成29年度入学生

医療ビジネス薬科学科【情報薬学コース】

区分		1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生		
		前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位
必修科目	一般科目 自然科学	生物の基礎		前2									
		数学・統計学の基礎		前2									
		情報リテラシー		前2									
	外国語	英語 I (注1)		前2									
		英語 II (注2)		後2									
	薬学系科目	化学系								医薬品の化学	後2		
		生物系 衛生系	人体の構造と働き I		前2					公衆衛生学		前2	
	医療系					薬理学 I		前2					
						疾病と治療薬 I		前2					
						医薬品の適正使用		前2					
	ビジネス系科目		コミュニケーション		前2	医事業事関連法		前2	プレゼンテーションスキル			前2	
						英語 III (注3)		前2	発想法と問題解決研究 (SQD)			前2	
	演習・実習系科目									医療ビジネス薬科学演習	後2		
小計		16単位			10単位			10単位			卒業研究 10		
選択必修科目		医療ビジネス薬科学概論		前2	現代医療の中の漢方		前2	病態と治療 IV		前2	社会生活と経済	前2	
		診療報酬請求論 I		前2	医療経営概論		前2	医療情報演習 II		前2			
		診療報酬請求論 II		前2	診療情報管理論基礎		前2	生活習慣と病気		前2			
		経営学入門		前2	病態と治療 I		前2	医薬学英語		前2			
			生薬学	後2	病態と治療 II		前2	医療統計学		前2			
			キャリアデザイン I	後2	病態と治療 III		前2	医療情報学		前2			
						微生物と生体防衛	後2	キャリアデザイン III		前2			
						臨床医学総論	後2	キャリアデザイン IV	後2				
						病院・薬局管理学	後2						
						医療情報演習 I	後2						
						診療情報管理論	後2						
						日本語表現論	後2						
						キャリアデザイン II	後2						
					薬理学 II	後2							
小計		12単位			28単位			16単位			2単位		
選択科目	一般科目 人文社会	現代国語		前2	経済学		前2	マーケティング		前2	社会生活と法	前2	
		日本史		前2									
	ビジネス系		民法	後2									
		医療倫理学		前2	会計・簿記 I		前2	経営戦略論		前2	リスクマネジメント	前2	
	情報療				会計・簿記 II		前2	販売戦略論		前2			
			診療報酬請求論 III	後2	医療会計	後2		販売戦略演習	後2		診療報酬請求事務実践学	前2	
	外国語	日本語 I (注4)		前2	日本語 III (注4)		前2	日本文化 III (注4)		前2	ネイティブイングリッシュ	前2	
			日本語 II (注4)	後2	日本文化 I (注4)		前2	日本事情 III (注4)		前2			
	医療系					日本語 IV (注4)	後2		日本文化 IV (注4)	後2			
						日本事情 I (注4)	後2		日本事情 IV (注4)	後2			
	薬学系科目		生命をミクロに理解する	後2	一般用医薬品学		前2	食品健康学	後2	化粧品科学		前2	
			人体の構造と働き II	後2	一般用医薬品情報学		前2	医療経営学	後2	薬理学 III		前2	
	アドバンスト科目							海外研修プログラム	2	海外研修プログラム	2		
ビジネス系科目							ヘルスケアマネジメント	後2	セルフメディケーション学		前2		
演習・実習系科目		コンピュータスキル	後2				診療情報管理実習 I		前2	コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2		
							診療情報管理実習 II	後2					
							コンピュータスキル実践学 (3・4年次開講)	後2					
小計 (注5)		14単位			4単位			16単位			18単位		
合計		42単位			42単位			42単位			30単位		
卒業要件単位数		124単位											

- (注1) 留学生は選択科目「日本語 I」で代用可。
 (注2) 留学生は選択科目「日本語 II」で代用可。
 (注3) 留学生は選択科目「日本語 III」で代用可。
 (注4) 留学生のみ選択可。
 (注5) 各学年の選択科目の小計は、年間最大取得単位数となります。

カリキュラム表

平成29年度入学生

医療ビジネス薬科学科【スポーツ薬学コース】

区分	1 年 生			2 年 生			3 年 生			4 年 生			
	前 期	後 期	単位	前 期	後 期	単位	前 期	後 期	単位	前 期	後 期	単位	
必修科目	一般科目(教養科目)	自然科学	生物の基礎		前2								
			数学・統計学の基礎		前2								
			情報リテラシー		前2								
		外国語	英語 I (注1)		前2								
	英語 II (注2)			後2									
	薬学系科目	化学系							医薬品の化学	後2			
		生物系	人体の構造と働き I		前2								
		衛生系							公衆衛生学		前2		
	医療系						薬理学 I		前2				
							疾病と治療薬 I		前2				
ビジネス系科目						医薬品の適正使用		前2					
		コミュニケーション		前2		医事業事関連法		前2					
演習・実習系科目						英語 III (注3)		前2					
演習・実習系科目												卒業研究	10
小 計	16単位			10単位			10単位			10単位			
選択必修科目		コンディショニング実習		前1	栄養学概論		前2	アンチ・ドーピング		前2			
		キャリアデザイン演習 I		前1	運動生理学		前2	くすりの生体内運命		前2			
		健康科学概論		後2	キャリアデザイン演習 II		後1	コーチング心理学		前2			
		スポーツ科学概論		後2	スポーツ栄養学		後2	研究方法論演習 I		前1			
					健康増進学		後2	キャリアデザイン演習 III		前2			
					スポーツ医学		後2	一般用医薬品総合演習		前2			
					スポーツバイオメカニクス		後2	体力測定評価学		後2			
					トレーニング学		後2	スポーツマネジメント学		後2			
					フィットネス実習		後1	研究方法論演習 II		後1			
	小 計	6単位			16単位			16単位			0単位		
選択科目	一般科目(教養科目)	人文社会	現代国語		前2								
		ビジネス系	医療倫理学		前2								
		外国語	日本語 I		前2	日本語 III		前2					
			日本文化 I		前2	日本文化 III		前2					
	日本事情 I			前2	日本事情 III		前2						
	(注4)		日本語 II		後2	日本語 IV		後2					
	スポーツ薬学系科目	健康サポート						臨床検査学		前2	運動生化学		前2
		競技サポート						機能性食品学		前2	健康づくりプログラム論		前2
	演習系科目	演習	体育実技 I		前2						メンタルヘルスマネジメント		後2
		演習	体育実技 II		後2						効率的な動きの解剖学		後2
薬学系科目	医療系		生命をミクロに理解する		後2	一般用医薬品学		前2		アスレティックトレーナー論		前2	
			人体の構造と働き II		後2	一般用医薬品情報学		前2			発育発達に応じたトレーニング		前2
		生薬学		後2		薬理学 II		後2					
						疾病と治療薬 II		後2					
アドバンス科目									2	海外研修プログラム		2	
演習・実習系科目										セルフメディケーション学		前2	
小 計	12単位			8単位			10単位			14単位			
合計	34単位			34単位			36単位			24単位			
卒業要件単位数	124単位												

- (注1) 留学生は英語 I (必修科目) または日本語 I (選択科目) どちらかを選択履修します。
 (注2) 留学生は英語 II (必修科目) または日本語 II (選択科目) どちらかを選択履修します。
 (注3) 留学生は英語 III (必修科目) または日本語 III (選択科目) どちらかを選択履修します。
 (注4) 留学生のみ選択可。

4 年 生

4年生科目（お茶の水キャンパス）

目 次

1 演習・実習系科目	
卒業研究	227
2 選択必修科目	
(1) ビジネス薬学コース／情報薬学コース	
社会生活と経済	228
(2) ビジネス薬学コース	
タックスプランニング	229
3 選択科目	
(1) 一般科目	
社会生活と法	230
リスクマネジメント	231
診療報酬請求事務実践学	232
ネイティブイングリッシュ	233
(2) 薬学系科目	
化粧品科学	234
薬理学Ⅲ	235
(3) ビジネス系科目	
セルフメディケーション学	236
(4) 演習科目	
コンピュータスキル実践学	237
(5) アドバンスト科目	
海外研修プログラム	52

4年生科目（さいたまキャンパス）

目 次

1 演習・実習系科目

卒業研究	238
------------	-----

2 選択科目

(1) スポーツ薬学科目

運動生化学	239
健康づくりプログラム論	240
スポーツと情報戦略	241
アスレティックトレーナー論	242
発育発達に応じたトレーニング	243

(2) ビジネス系科目

セルフメディケーション学	244
--------------------	-----

(3) アドバンスト科目

海外研修プログラム	73
-----------------	----

〔一般目標 (GIO)〕 卒業研究では 4 年間の集大成である卒業論文の作成に取り組み、4 年間で育んだ医療ビジネス薬科学の知識と技能、態度を融合させる。

〔授業概要〕 4 年次は主に学内外での文献・資料の収集及び読み込みを行い、卒業研究担当教員の指導のもと学生間での討論を重ねることにより、自身の研究テーマを固めていく。併せて卒業研究を行うにあたり必要な論文作成の基本的な手法や研究倫理も学習する。

〔授業計画〕 橋本 寛子：漢方薬の使い方を勉強します。ドラッグストアや薬局で患者さんのよき相談相手になれるよう、臨床報告を読みながら、授業で学んだ漢方理論に基づく漢方薬の使い方を勉強します。また診療情報管理士の仕事においても、今後漢方薬の古典理論に基づく分類が必要になってきます。卒業した時に、他の診療情報管理士や登録販売者と差別化のできる“漢方の専門家”を目指します。

脇田 紀子・大田 祥子・(大山 良治)：「医療の質」の向上、医療関連業界の課題の解決など、医療関連データの活用を検討していきます。鴻巣市 (KDB データ) を用いた分析や具体的提案も実施しています。将来、データに基づいた提案ができるように、基本を身に付けて研究への探求心を養っていきます。

櫻田 誓・勝山 壮：頭痛、腰痛、生理痛、やけどによる痛みなど、“痛み”には様々なものがあります。特に、慢性的な痛みは、労働生産性を低下させ、大きな社会的損失をもたらします。現在、痛みを軽減するために鎮痛薬が用いられ、薬局、ドラッグストアでは、多くの鎮痛薬が販売されています。卒業論文では、十分なセルフメディケーション情報を患者様に提供できるように、痛みの生理作用と OTC 鎮痛薬の薬理作用・副作用について調査します。

村井 保之：本ゼミは、情報システム関連分野における最新のトピックや課題などを取り上げ、ゼミ生各自が個別にこれらのテーマについて、調査・研究、試作・実験を行うことで、課題に対する問題点の把握、結果の検討、レポートの作成等、問題解決のための基礎を身につけるとともに、自発的探究心や創造性を養う。

阿部 賢志：薬理学や病態学を中心として、さまざまな疾患の発症機序と治療薬の選択方法、薬物治療のリスクや問題点などについて調査研究を行います。なお、副作用の発生情報や新薬の開発状況など、トレンドに関する調査研究も対象となります。担当してもらったテーマについては、個別に面談して決定する予定です。

安田 高明：天然に存在する動植物をテーマに、あらゆる角度からのアプローチにより生命科学に関わる調査研究を行います。

高城 徳子：サプリメントやトクホ (特定保健用食品) をはじめとした健康食品について、安全性・有効性などについて情報を収集、調査を行い有効な摂取方法や摂取上の注意点、更に今後の発展性についてまとめる。

大泉 早智子：ファーマシューティカル・ビジネス分野の研究をテーマとして扱います。ビジネスコミュニケーションやライフスキル、そしてビジネス実務や医療会計など、人間と医療、そしてビジネスとの関係の理解を深め、薬学とビジネスの相互作用と相乗効果をテーマとします。ゼミは双方向のアクティブラーニングですので、ゼミ生同士が切磋琢磨し合い、それぞれの問題解決能力や、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めながら各自の研究論文に取り組みます。また、学内活動行事への積極的な参加や、社会貢献および地域交流活動もゼミのテーマとして取り組み、ディプロマポリシーである地域社会における公衆衛生の向上と増進に貢献できる医療ビジネス系の人材の育成を目指します。さらにビジネス系の資格取得に力を入れますので、自らのキャリアデザインを描きながら取り組む姿勢が必要です。岩瀬 晴信 (脇田 紀子)：多くの疾患の治療薬には、多種の同効薬や類似薬が存在する。一般用医薬品においても一つの疾患で同じメーカーだけでなく複数のメーカーから同効薬や類似薬が発売されている。そこで、一般用医薬品において個々の製品の特徴を踏まえ、生理的要因なども加味した上で使用者の症状に適した製品の選択法についてまとめる。

〔方略〕 講義 (ゼミ)、演習 (配布資料)、討論 (SGD)、発表会

〔評価方法と基準〕 卒業研究に取り組む態度、卒業研究の活動内容、卒業論文の内容および発表会でのプレゼンテーションから総合的に評価を行う。詳細は別途資料を配布して説明する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館

社会生活と経済

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 加用久男

[一般目標 (GIO)] 社会に出てビジネス等に携わるには経済・企業情勢を把握できる力を持っている必要があります。そのためにも、新聞の経済・経営関係記事が理解できる水準に到達することを目標とします。

[授業概要] 現在の社会の流れをつかむために必要な最近の経済や企業経営に関する新聞記事を中心に厳選して学びます。経済問題と言っても経済理論だけでなく、その根底にある事実をしっかり把握しないと役に立ちません。

また、企業経営についても、現代の企業環境と実際の企業行動を新聞記事を通じて実践的に学びます。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	2019 年の世界を概観する	受講に当たって、2020 年の世界の現状を理解する
2	日本のバブル期と失われた 20 年	日本のバブル期と失われた 20 年を学び現在の日本経済の源流を知る
3	安倍長期政権とアベノミクス	アベノミクスを概観することにより、日本経済の現状と今後の課題を認識する
4	少子・高齢化先進国日本	少子化の人口論を学び、メガトレンドのとらえ方と日本社会の今後を考えてみる
5	訪日観光客の動向と対内直接投資	訪日観光客の動向とその裏にある日本経済の問題点 (対内直接投資と 2 つの GDP)
6	中国の成長戦略の行方	これまでの中国経済の成長の軌跡と転換期での米中戦争を考える
7	アジア諸国の発展	アジア諸国の経済発展とその構成国別の特徴、多様性も合わせて学ぶ
8	欧州の苦悩	英国の EU 離脱に苦悩する EU の歴史を学び、併せて現状の問題を考えてみる
9	中東とアフリカの今後	イスラム国家の歴史と現状の問題点とアフリカ諸国の今後発展を概観する
10	アメリカの進む道	トランプのアメリカがもたらしたものを把握して、今後の進む方向を考える
11	ICT の進展と未来社会	産業革命の歴史を回顧して、ICT 進展のもたらす未来社会を見通す
12	ニュービジネスの動向	日本、世界で発生するニュービジネスの動向を概観し、日本の競争力を考える
13	日本を変えた宅急便	宅急便を創ったヤマト運輸社長小倉昌男の論理的思考とその深い真似を理解する
14	セブンイレブンの強さと問題点	コンビニ業界で圧倒的なセブンの強さを考えることによりビジネスの本質を追求する
15	まとめ；コダックと富士フィルム	最後に、時代の変化に企業は如何に対応するか、企業のリスクとチャンス学ぶ

[方略] 講義は、実際の新聞記事を使用するため細かいところが読みにくい可能性があるため、前日に教材を Moodle に公開する。

[評価方法と基準] 定期試験 80 %、5 回目と 10 回目に実施する小テスト 20 % での合計で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業中はもちろん、終了後、Moodle での質問も可

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] パワーポイントで講義します。新聞記事そのものを読んで理解できるようになってほしいと願っています。したがって、文字の細かいところは、タブレット、スマホ等で補ってください。

[参考書] 授業中に紹介する。

[担当教員からのコメント] 授業は、パワーポイントを使いながら質問を交えて進めますので、積極的に参加してください。

全国紙を読んでいれば予習はいりません。(日本経済新聞は就職・厚生課で読めます。)

教材には当日のテーマ以外に、1 週間の重要な新聞記事も取り上げるつもりです。これらについては、時間の関係等で十分な解説ができない場合もありますので、その場合は Moodle 等で質問してください。

タックスプランニング

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択必修) 講義

講師 (非) 大泉 寛 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕医療経営を行うにあたっては税金の知識は欠かせない要素である。私たちの生活や経済取引、個人や法人に大きな関わりをもつ税制を理解することはビジネスを行う上で必要であり、タックスプランニングを学修するメリットは重要な意味を持つ。そこで医療ビジネスに関わる租税の基本的な仕組みを理解して応用し、さらに医療制度を税制の見地から考察する力を養い、問題解決能力を身につける。

〔授業概要〕医薬品産業や医療関連ビジネスにおいても税金の知識が欠かせない。そこで本講義では、法人 (医療法人などを含む) を対象とする法人税、所得税を中心に、相続税や贈与税、消費税等に関する税制の理解を深め、事前に医療戦略との関わりを考慮しながら計画的にタックスプランニングを行う能力を養う。また、将来の起業や医療経営を想定したケーススタディーを行い、ファーマシューティカルビジネスをコーディネートできる人材の育成を目標とする。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	タックスプランニングの意義と概要	タックスプランニングについての意義と概要を理解する。
2	所得税の基礎知識と各種所得の分類	税制の概要、所得税についての計算方法、10 種類の所得の種類と計算方法、非課税所得について理解する。
3	損益通算と繰越控除及び所得控除	損益通算できる所得とできない所得、損失があった場合の繰越控除の方法、特例、所得控除の種類と計算方法、人的控除や物的控除について理解する。
4	所得税額の算出と税額控除	所得税額の計算、住宅ローン控除などの税額控除について理解する。
5	所得税の申告と納付	源泉徴収制度、確定申告、青色申告、年末調整などについて学習し、実際の申告書などを作成して理解する。
6	個人住民税と個人事業税	個人住民税の計算、個人事業税の計算、特別徴収の制度について理解する。
7	相続税と贈与税	相続税の計算方法、贈与税の計算方法、相続時精算課税制度などについて学習し理解を深める。
8	法人税の基礎知識	法人税、法人税の計算、益金の額、損金の額、別段の定めなど、法人成りなどについて理解する。
9	法人税のタックスプランニング	会社と役員間の税務、実際の法人税の申告書の作成を行い、理解を深める。
10	法人住民税と法人事業税、消費税	法人住民税の計算、法人事業税の計算について学修し、実際の申告書を作成して理解を深める。また消費税の課税取引と非課税取引、輸出免税、税額の計算、申告書の作成と納付について理解する。
11	決算書の分析	財務諸表を使って企業や病院の経営の実態や税負担を把握する分析方法について理解する。
12	起業 (個人) や医療経営に必要なタックスプランニング	個人事業の開業の場合のタックスプランニングをケーススタディーによって実施し、模擬会社 (個人医院を含む) を設立し、開業手続を実際に行い理解を深める。(SGD)
13	起業 (法人) や医療経営に必要なタックスプランニング	法人の設立の場合のタックスプランニングをケーススタディーによって実施し、模擬会社 (医療法人を含む) を設立し、設立手続を実際に行い理解を深める。(SGD)
14	ファーマシューティカルビジネスのコーディネート手法	ファーマシューティカルビジネスをコーディネート手法についてケーススタディーによって理解を深める。(SGD)
15	総括	タックスプランニングについてのまとめを行う。

〔方略〕 講義 (教科書、パワーポイント・プリント) 演習 及び SGD、ケーススタディー

〔評価方法と基準〕 課題 (30%)、定期試験 (70%) として評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 教務課に設置した質問ノートに記入する。

〔所属分野・場所〕 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 2 号館 4 階

〔教科書〕 ユーキャン FP 技能士試験研究会編 (2019) 『19～'20 年版 FP の学校 2 級・AFP きほんテキスト』自由国民社 (ISBN-13: 978-4426608620)

〔参考書〕 石井 孝宜・五十嵐 邦彦 編著 (2017) 『新訂・医療法人の会計と税務』同文館出版、長英一郎 (2016) なるほど、なっとく 医療経営 Q&A50 【3 訂版】 (医療経営士実践テキストシリーズ 1) 日本医療企画

〔担当教員からのコメント〕 講義は、質問と解答を双方向で行いながら進めるアクティブラーニングで行いますので、事前学習で、テキストを読んで理解して臨んでください。SGD も行いますので大泉早智子講師にも協力を頂く予定です。またファーマシューティカルビジネスコーディネーター検定で自身の能力を確認する予定ですので、講義の内容を忘れないように練習問題を解いて力を付ける必要がありますので、事後学習を怠らないで下さい。また国家試験の FP 技能士 2 級の受験にも備えてください。

社会生活と法

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 大和田周資

[一般目標 (GIO)] 憲法を頂点とした我が国における法体系、法の序列等につき、基礎的な理解を得る。また、国内の主要な法律の基礎的な内容、概略を確認し、身近に存在する法律問題に対応するための基礎的な理解を得ることを目指す。これにより、学生、社会人として関わりの深い問題に対し、苦手意識を持たず、法律的なアプローチをすることを到達目標とする。

[授業概要] 法律とはそもそも何か、我が国における法体系はどのようになっており、我々がどのようにかかわっているのか等について説明をしてきます。法体系については抽象的な内容も多く、専門用語が出てくる部分もありますが、できる限り分かりやすい説明に努めます。また、皆さんに身近な法律問題についても、講義中、随時触れる予定です。授業では、各回パワーポイントで作成した資料を配布します。法律の条文については、資料の中で適宜引用していきますので、六法をご用意いただく必要はありません。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	イントロダクション	講義概要、進め方等についての説明
2	序論、憲法総論	憲法を頂点とした法構造、憲法の全体像についての説明
3	憲法概要	憲法の概要説明と基礎的理解
4	ネット社会と法	情報通信社会を通じた情報法の概要説明と基礎的理解
5	民法概要	民法の全体像、民事法の基本原則、訴訟を通じた権利の実現方法の概要説明と基礎的理解
6	民法概要	民法の親族法及び相続法に関する概要説明と基礎的理解
7	消費生活と法	消費者契約法、特定商取引法、電子商取引 (インターネット取引) の概要説明と基礎的理解
8	環境法概要	環境法の概要説明と基礎的理解
9	労働法概要 (ワークルール)	労働法の概要説明と基礎的理解
10	労働法概要 (ブラック企業対策)	ブラック企業対策を内容とする労働法の概要説明と基礎的理解
11	会社法概要	会社法の概要説明と基礎的理解
12	刑事法訴訟法概要 (捜査手続)	身体拘束された事例を中心とする刑事訴訟法の概要説明と基礎的理解
13	刑事訴訟法概要 (公判手続)	起訴された事例を中心とする刑事訴訟法の概要説明と基礎的理解
14	刑法概要	刑法の概要説明と基礎的理解
15	授業まとめ	授業のまとめ・確認、質疑応答など

[方略] 講義 (パワーポイントによる資料配布)

[評価方法と基準] 定期試験 (70%)、レポート (30%) で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 各回講義の事前、事後に質問を受け付けます。不明点などがある場合には、講義中でも適宜質問をしていただいても構いません。E-mailでの質問も受け付けます。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

[教科書] 指定の教科書はありません。パワーポイント資料を講義毎に配布します。

[参考書] 池田真朗ほか (2017年3月刊) 『法の世界へ [第7版]』有斐閣アルマ

[担当教員からのコメント] 皆さんの生活と法は、密接に結びついています。アルバイト、SNS投稿、いじめ問題、結婚・出産、交通事故…。例を挙げればキリがないほどに、法は身近な存在です。もっとも、法律といえば、難しく敷居が高いという印象をお持ちの方も少なからずいらっしゃるかと思います。本講義では、抽象的な法制度を説明するとともに、身近にある法律問題についてできる限り平易に説明することを心掛けます。本講義を通じて、ニュースや身近に存在する法律問題に対して、少しでも興味関心を抱いていただければ幸いです。

リスクマネジメント

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 高市幸男 (実務) 講師 (非) 鈴木昌行 (実務) 講師 (非) 椎名みづほ (実務)

[一般目標 (GIO)] 近年企業を取り巻くリスクは多様化・特殊化・巨大化・ヒステリック化しています。些細なリスクでもその対応を間違えた事によって、新たなリスクを発生させ、企業の存続を揺るがすほどの甚大な損害をもたらした事件が多々見られます。リスクマネジメントを知らずして企業経営を行う事は、武器を持たずして戦争に赴くようなものです。リスクマネジメントは会社を守る為の社内の施策であるだけでなく、企業経営では内部統制の基本的要素として重要な役割を果たし、社会的な要請、法的に規定された責任・義務とされています。よって経営者およびビジネスマンにとって必要不可欠の知識・業務になっています。本講では、企業が抱える経営リスクの認識、リスク処理フローの基本から、個別リスク (医療リスク、医療ビジネスリスク) のマネジメントについて、その基礎知識を修得します。

[授業概要] リスクは、それぞれ発生・損害・対応が千差万別であり、そのマネジメントもそれぞれ異なります。このため、先ず総論としてリスクマネジメントの基本を講義し、次に各論として、専門分野である医療リスクと医療ビジネスの現場が抱えるリスクのマネジメントについて、それぞれの専門家 (3人) が講義します。尚、質問・対話・議論を多く取り入れたアクティブラーニング重視型の授業とします。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	リスクの基礎知識	リスクの定義、リスクの特徴・種類・分類、関連用語、などについて習得する。(講師：高市)
2	リスクマネジメントの基礎知識	リスクマネジメントの定義、必要性・発生、法的規制 (会社法、商法、J-SOX 法、金融商品取引法、証券取引所規則)、などについて習得する。(講師：高市)
3	リスクマネジメントの社会的要請	リスクマネジメントの社会的要請、規格、企業経営との関係について習得する。COSO-ERM、ISO31000、内部統制、監査制度、コーポレートガバナンス、コンプライアンス、CSR など。(講師：高市)
4	リスクマネジメントプロセス	リスクマネジメントの業務フロー。基本方針、ポリシー、組織、リスク処理フロー、対応策の選択、PDCA について習得する。(講師：高市)
5	リスクインフォメーション リスクアセスメント	企業経営におけるリスクの調査・特定、分析、評価の仕方について習得する。(講師：高市)
6	リスクトリートメント	企業経営リスクの対応。リスクコントロール (回避、予防、分散、結合、転換、制限、軽減)、リスクファイナンス (転嫁、保有)、その他 について習得する。(講師：高市)
7	リスク対応策の選択	リスク対応策の考え方、選択のポイントについて習得する。(講師：高市)
8	クライシスマネジメント	クライシスマネジメントの基本、BCP・防災対策、各段階における対応、マニュアルについて習得する。(講師：高市)
9	医療分野のリスクマネジメント (1)	医療分野のリスクマネジメントについて、その対象と特徴、医療安全の歴史、厚生労働省の求める医療安全対策、WHO 患者安全ガイド等を通して医療安全の考え方を習得する。(講師：鈴木)
10	医療分野のリスクマネジメント (2)	"To err is human"を前提にヒューマンエラーの要因と、その対策方法を習得する。(講師：鈴木)
11	医療分野のリスクマネジメント (3)	各種インシデント要因の多角的分析法と、事故の未然防止へ向けた最近の医療安全の動向について習得する (講師：鈴木)
12	医療ビジネスにおけるリスク (1)	OTC 医薬品販売におけるリスクの認識、発見、対応について事例を使い演習する (講師：椎名)
13	医療ビジネスにおけるリスク (2)	医薬品の処方・調剤におけるリスクの認識、発見、対応について事例を使い演習する (講師：椎名)
14	医療ビジネスにおけるリスク (3)	病院業務におけるリスクの認識、発見、対応について事例を使い演習する (講師：椎名)
15	総まとめ、復習	1～14 回の講義を復習する。(講師：高市)

[方略] 講義 (配布プリント)、講義 (パワーポイント)。1回～8回・15回を高市、9回～11回を鈴木、12～14回を椎名が担当します。

[評価方法と基準] 定期試験のみで評価します。追再試験を実施することがあります。

[学生の質問への対応] 教務課に設置した質問ノートに記入して下さい。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

[教科書] 教科書は使用しません。講義は毎回プリントを作成・配布します。

[参考書] 鴻上喜芳 (2013) 『リスクマネジメント論トレーニング』創成社、リスクマネジメント協会 (2017) 『リスクマネジメント基礎講座』リスクマネジメント協会、高市幸男 (2009) 『取引・信用リスクマネジメント』中央経済社 必要に応じて適時紹介します。

[担当教員からのコメント] リスクマネジメントの講義は、講師の専門性から理論または実践、全社リスクまたは個別リスク、得意な対応方法によって偏ったものになりがちです。医療ビジネスには、企業経営に関わる一般的なリスクと医療特有のリスクがありますので、本講は3人の専門家・実務家が講師を担当することで、汎用性と専門性のある、かつ実践的な講義を可能にしました。

医療ビジネスまたは一般企業に従事するビジネスマンにとって、また将来の企業経営者にとって必要不可欠、実務上必ず役に立つ知識になります。

評価は試験 100% ですが、授業のみで合格点が取れるよう指導します。将来のために一緒に勉強しましょう。

診療報酬請求事務実践学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 加藤良恵 講師 (非) 鳥越年美

[一般目標 (GIO)] 医療事務の「基本診療料」から「入院」までを理解し、公益財団法人日本医療保険事務協会主催の「診療報酬請求事務能力認定試験」合格を目指す。

[授業概要] 医療事務の「基本診療料」から「入院」までを 15 回の講義と模擬試験にて修得する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	診療報酬の概要	基本診療料等の復習 診療報酬算定の復習
2	診療報酬の概要	診療報酬算定の復習
3	診療報酬の概要	診療報酬算定の復習
4	診療報酬の概要	診療報酬算定の復習
5	診療報酬の概要	診療報酬算定の復習
6	受験対策	点数早見表の見方、予想問題集での演習
7	受験対策	予想問題集での演習
8	受験対策	予想問題集での演習
9	受験対策	予想問題集での演習
10	受験対策	予想問題集での演習
11	受験対策	予想問題集での演習
12	受験対策	予想問題集での演習
13	受験対策	学科問題
14	受験対策	実技 (入院)
15	総復習	1 回目から 14 回目までの総まとめ

[方略] 講義 (配布プリント)、演習 (テキスト等)。2 人で 1～15 回目までを担当する。

[評価方法と基準] 定期試験 100 % で評価する。追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義の前後で質問対応

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 清水 尊 (2020 年)『診療点数早見表 978-4-87058-759-5』医学通信社、清水 尊 (2020 年)『診療報酬請求事務能力認定試験 受験対策と予想問題集 978-4-87058-769-4』医学通信社

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 診療報酬請求事務能力認定試験の合格に向けて、受験対策と予想問題集を 1 冊仕上げていきましょう。

ネイティブイングリッシュ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択) 演習

講師 (非) B. スミス

[一般目標 (GIO)] This course aims to aid students to learn and practice various aspects of the English language including all four language skills: reading, writing, speaking, and listening. Although there will be a stronger emphasis on speaking and listening, writing, reading, and grammar will also be covered.

[授業概要] Students will be guided to take on various tasks that include pair/group work, role-play, dictation etc. with the main focus to learn and practice the target language.

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	Introduction	Introduction to the course and textbook.
2	Unit 1 "Please call me Beth"	Introducing yourself
3	Unit 1 "Please call me Beth" continued	Introducing yourself
4	Unit 2 "What do you do?"	Talking about occupations and routines
5	Unit 2 "What do you do?" continued	Talking about occupations and routines
6	Unit 4 "I really like hip-hop"	Talking about music, TV shows, and movies
7	Unit 4 "I really like hip-hop" continued	Talking about music, TV shows, and movies
8	Mid-term quiz	Midterm-quiz
9	Unit 5 "I come from a big family"	Talking about family
10	Unit 5 "I come from a big family" continued	Talking about family
11	Unit 6 "How often do you exercise?"	Talking about sports
12	Unit 6 "How often do you exercise?" continued	Talking about sports
13	Unit 8 "What's your neighborhood like?"	Talking about your neighborhood
14	Unit 8 "What's your neighborhood like?" continued	Talking about your neighborhood
15	Review	Review of material covered in class

[方略] Lectures / Exercises (Handouts), CD

[評価方法と基準] Final exam 60% Quizzes 20% Homework 10% In-class Activities 10%

[学生の質問への対応] Ask by writing in the prepared notebook in the Academic Affairs Office.

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] Jack C. Richards with Jonathan Hull and Susan Proctor (2013) 『Interchange Level 1 Student's Book with Self-study 5th ed.』 Cambridge University Press

[参考書]

[担当教員からのコメント] I hope you will have fun learning and speaking English in class. Please bring a dictionary to every class.

化粧品科学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

教授 井上俊夫

- [一般目標 (GIO)] 1 化粧品の定義、意義、役割を理解し、皮膚科学や有機化学など様々な領域との関わりを概説できる。
 2 化粧品の代表的な成分や性質について説明できる。
 3 化粧品産業の概略を理解し、開発研究に必要な基本的知識を理解する。

[授業概要] 化粧品科学は、有機化学、物理化学や無機化学などの基礎化学に加え、生化学、薬理学、皮膚科学などの生物科学、さらには心理学など、非常に多彩な領域から成り立っている。本講義では、化粧品を理解するために必要な基礎的な知識から、開発研究で必要とされる業界の現状や研究開発の動向などについてわかりやすく解説する。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	化粧品概論	薬事法の概要と化粧品について概説できる。
2	皮膚科学入門	皮膚・毛髪・爪の構造と機能について説明できる。
3	化粧品の品質特性とその評価法	化粧品の安全性、安定性および使用性について説明できる。
4	化粧品製造装置とパッケージング	化粧品製造に使用される装置と包材について説明できる。
5	化粧分原料 (1)	化粧分原料に用いられる油剤と界面活性剤について説明できる。
6	化粧分原料 (2)	化粧分原料に用いられる色材について説明できる。
7	化粧分原料 (3)	化粧分原料に用いられる香料について説明できる。
8	スキンケア化粧品	皮膚の洗浄製品であるクレンジング製品、洗顔製品の種類と特長などを理解し、概要を説明できる。
9	メイクアップ化粧品	ベースメイク製品およびポイントメイク製品の種類と特長を理解し、概要を説明できる。
10	芳香化粧品	芳香化粧品の種類と特長を理解し、概要を説明できる。
11	頭髮化粧品	頭髮化粧品の種類と特長を理解し、概要を説明できる。
12	機能性化粧品および口腔用品 課題発表の準備 (1)	美白、育毛および抗しわなどの機能性化粧品とその成分について種類と特長を理解し、概要を説明できる。 少人数グループで、本講義に関連した適切な課題を設定して論点の整理や作業の割り振りができる。
13	課題発表の準備 (2)	各グループで本講義に関連した適切な課題を設定し、グループ内で討議できる。
14	課題発表の準備 (3)	各グループで設定した課題について討議した内容を取り纏めて発表原稿を作成できる。
15	課題発表 到達度確認試験	設定した課題について発表することができる。

[方略] パワーポイント、配布資料を用いた講義形式

[評価方法と基準] 学習成果レポート (36点)、課題発表 (14点)、到達度確認試験 (50点)

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] オフィスアワー：授業実施日の授業前後

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 生命医療薬学分野 研究実習棟 11階 1104室

[教科書] 宮澤三雄 (編) (2015) 『コスメティックサイエンス』 共立出版株式会社

[参考書] 佐藤孝俊、石田達也 (2011) 『化粧品科学』 朝倉出版、社団法人日本化学会 (1998) 『お化粧品と科学』 大日本図書(株)

[担当教員からのコメント] 化粧品を理解するためには様々な科学領域の知識が必要となります。また、販売やプロモーションの場では関連する法律を理解しておく事も重要になります。ドラッグストアなどで化粧品を販売する上で重要な事項もたくさん含まれていますので、しっかりと学んでください。

薬理学Ⅲ

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

准教授 脇 能広

〔一般目標 (GIO)〕生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識を修得する。ホメオスタシス (恒常性) の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を修得する。医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識を修得する。腎に作用する薬物や循環器系に作用する薬物に関する基本的知識を修得する。さらに、生体内で異常に増殖あるいは複製することにより人体に疾患を生じる悪性新生物に対する薬物の作用機序を理解し、抗腫瘍薬などに関する基本的知識を修得する。

〔授業概要〕薬理学Ⅱに引き続き薬理学Ⅲでは、利尿薬、心臓血管系作用薬および抗腫瘍薬について理解を深め対象とする薬物を学ぶ。講義では、腎臓の構造と尿生成のしくみとの関連から薬物を解説する。臨床で高頻度に用いられる循環器系に作用する薬物について生理機能と疾病とを関連づけながら解説を加える。さらに、抗腫瘍薬の作用機序、副作用および相互作用を疾患と関連づけながら疾病の治療に必要な薬物の基礎知識を修得する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	腎臓の構造と尿生成のしくみ	腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。 尿の生成機構、尿量の調節機構を説明できる。
2	利尿薬 (1)	利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。
3	利尿薬 (2)	利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。
4	心臓血管系作用薬 (1) 心不全治療薬①	心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。 代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
5	心臓血管系作用薬 (2) 心不全治療薬②	代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
6	心臓血管系作用薬 (3) 抗不整脈薬①	代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
7	心臓血管系作用薬 (4) 抗不整脈薬②	代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
8	心臓血管系作用薬 (5) 狭心症治療薬①	代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
9	心臓血管系作用薬 (6) 狭心症治療薬②	代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
10	心臓血管系作用薬 (7) 高血圧症治療薬①	代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる
11	心臓血管系作用薬 (8) 高血圧症治療薬②	代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。
12	抗腫瘍薬 (1) 腫瘍/抗腫瘍薬①	代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙し基本構造を示すことができる。 腫瘍を分類し、代表的な抗腫瘍薬の作用機序について説明できる。
13	抗腫瘍薬 (2) 腫瘍/抗腫瘍薬②	代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙し基本構造を示すことができる。 腫瘍を分類し、代表的な抗腫瘍薬の作用機序について説明できる。
14	抗腫瘍薬 (3) 細胞周期/抗腫瘍薬の副作用	細胞周期と抗腫瘍薬の作用点について概説できる。 抗腫瘍薬及び化学療法の主副作用について説明できる。
15	総まとめ	当該範囲の総まとめ

〔方略〕 スライドによる講義

〔評価方法と基準〕 定期試験の成績で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 オフィスアワー (講義日の午前 10 時から午後 1 時)

講義日以外は、メール (waki@nichiyaku.ac.jp) にて質問等を受け付ける

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス本部棟 3-209 号室

〔教科書〕 植松俊彦・野村隆英・石川直久 (2008 年) 『シンプル薬理学』 南江堂、『スライドプリント』

〔参考書〕 小野寺憲治 (平成 20 年) 『わかりやすい薬の効くプロセス』 ネオメディカル、佐藤 進 (平成 23 年) 『新薬理学テキスト』 廣川書店、宮本謙一 (平成 22 年) 『薬学生・薬剤師のための 疾患別 薬物療法管理マニュアル』 じほう

〔担当教員からのコメント〕 講義ではスライドプリントと板書を活用する。

講義内容を単独科目で学習するのではなく、3 年次までに学習した内容および 4 年次の他の講義内容と関連づけをして日常の学習を行って下さい。

セルフメディケーション学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 岩堀禎廣

〔一般目標 (GIO)〕セルフメディケーションの実際・意義・役割及びセルフメディケーションに係わる様々なビジネスの姿を理解するために必要な基本的知識と思考法、創造性を体得する。

〔授業概要〕まず、セルフメディケーションとは何かを理解し、セルフメディケーションに用いられる一般用医薬品 (OTC)、健康食品などの基本的知識、流通・販売に関する知識、薬事関連法規・制度に関する知識などを習得する。セルフメディケーションに係わる様々なビジネスの現場で最初に実際に必要となる知識や用語を修得する。知識を活用し、新しい物事を生み出すプロセスを体得する。

〔授業計画〕前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	「講座内容、講師、学習法、セルフメディケーションとは」について生活者などの非専門家に説明できる。
2	セルフメディケーションツール (OTC)	セルフメディケーションにおける「OTC」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
3	セルフメディケーションツール (漢方)	セルフメディケーションにおける「漢方」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
4	セルフメディケーションツール (サプリメント、健康食品)	セルフメディケーションにおける「サプリメント、健康食品」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
5	セルフメディケーションツール (食事、塩分、肥満、ストレス、睡眠)	セルフメディケーションにおける「食事、塩分、肥満、ストレス、睡眠」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
6	セルフメディケーションツール (運動、健康診断、測定、生活改善薬)	セルフメディケーションにおける「運動、健康診断、測定、生活改善薬」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
7	セルフメディケーションツール (化粧品、カラコン、ネイル、マツエク、アロマ)	セルフメディケーションにおける「化粧品、カラコン、ネイル、マツエク、アロマ」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
8	トリアージ	セルフメディケーションにおける「トリアージ」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
9	ビジネスモデルとは?	「ビジネスモデルとは?」「セルフメディケーションビジネス、社会貢献起業などの分野におけるビジネスモデル」について非専門家が理解できるように説明できる。
10	PBL チュートリアル方式を活用した事例検討	① リアルビジネス (Dgs、調剤薬局、ネイルサロン、美容室) について非専門家が理解できるよう説明できる。
11	PBL チュートリアル方式を活用した事例検討	② WEB ビジネス (ウェルク、ケンコーコム、ルナルナ) について非専門家が理解できるよう説明できる。
12	PBL チュートリアル方式を活用した事例検討	③ 新規ビジネスモデル例 (血圧も都会に!、相性就職、健ママ) について非専門家が理解できるよう説明できる。
13	スモールグループディスカッション	与えられた課題についてチームで対応し、新しい物事を生み出すことができる。
14	プレゼンテーション準備	チームでの成果を非専門家に伝わりやすいようにプレゼンテーションするために必要な準備ができる。
15	プレゼンテーション	非専門家に伝わりやすいようにプレゼンテーションできる。

〔方略〕講義は項目ごとの資料を配布し、PPT を基本としつつ必要に応じ、説明と捕捉をホワイトボードを用いて行う。グループディスカッションは可能な限り多くチューターを配置し、双方向性を高める。

〔評価方法と基準〕定期試験 (100%)。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕e-mail、FB、LINE にて対応。twitter には対応しない。

〔所属分野・場所〕お茶の水キャンパス 1号館 4階 講師控室

〔教科書〕プリント配布

〔参考書〕プリント配布

〔担当教員からのコメント〕本セルフメディケーション学は、薬学分野におけるものとは異なり、セルフメディケーションという手段を通じて、ヘルスケアビジネスを理解し、自らヘルスケアビジネスを創出していける起業家を育成するための第一歩とする講座です。最先端の講義理論を用いて座学の授業だけでなく、アウトプットを重視した授業です。受講者は、受講者の個性を活かした授業参加を実現できるよう配慮されます。ヘルスケア分野での起業を目標とする学生だけでなく、自分の適性や長所・短所、将来の展望が不明確な学生にも受講をお勧めします。

コンピュータスキル実践学

[医療ビジネス薬科学科 (お茶の水キャンパス)] 4 年生 (後期) 2 単位 (選択) 演習

講師 (非) 横山 悠亮

[一般目標 (GIO)] 就職した際に必要なコンピュータスキルや、コンピュータリテラシーを身につける。

[授業概要] コンピュータの基礎知識、電子メールの送り方、Excel、PowerPoint、Html の基礎を学習します。その際、実際の現場で使われている事例などを取り上げながら、ケーススタディやグループワーク形式で学習していきます。

[授業計画] 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ハードウェア	コンピュータの5大装置、CPUについて学ぶ。
2	ネットワークとセキュリティ	通信の種類 (WAN/ADSL/CATV/FTTH/モバイル通信)、IP アドレス、情報セキュリティについて学ぶ。
3	電子メール①	TO,CC,BCC の違い、件名、本文の書き方、署名の書き方など、電子メールの留意点やマナーについて、ケーススタディで学ぶ。また、メールソフトの初期設定方法を学ぶ。
4	電子メール②	グループワークにて、課題として出されたビジネスメールの問題点を考察する。また、社会人へのお返しメールを送信する。
5	Word ①	Word の基礎的な使い方を習得する。
6	Word ②	Word の基礎的な使い方を習得する。
7	Excel ①	Excel の基礎を学ぶ。
8	Excel ②	Excel の簡単な表計算を学ぶ。
9	Excel ③	Excel の表計算を使って、データ分析を行う。
10	Excel ④	Excel の表計算を使って、データ分析を行う。
11	PowerPoint ①	PowerPoint の基礎を学ぶ。
12	PowerPoint ②	PowerPoint を使ってプレゼンテーション資料を作る。
13	Html ①	Html の基本概念、タグについて学び、簡単な Html 形式のファイルを作成する。
14	Html ②	Html を使い、簡単なページを制作する。
15	まとめ	講義の内容についてのまとめ、補足説明、質疑応答など

[方略] 講義 (パワーポイントと配布プリント)、実践 (パソコンを使用)、適宜グループワークを導入する。

[評価方法と基準] 毎回の提出物 20 %、課題提出 50 %、定期テスト 30 % で評価を行う。追・再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義終了後に直接質問するか、メールにてお問い合わせください。

[所属分野・場所] 医療ビジネス薬科学科 お茶の水キャンパス 1 号館 4 階 講師控室

[教科書] 資料を配布します。

[参考書] 富士通エフ・オー・エム株式会社 (2019) 『よくわかる Microsoft Word 2019 基礎』 FOM 出版、富士通エフ・オー・エム株式会社 (2019) 『よくわかる Microsoft Excel 2019 基礎』 FOM 出版、富士通エフ・オー・エム株式会社 (2019) 『よくわかる Microsoft PowerPoint 2019 基礎』 FOM 出版

[担当教員からのコメント] 企業に就職した際、必要になってくるスキルや、現場での利用方法を中心に学習していきます。

特別難しいスキルを身につける講座ではありません。どなたでもお気軽に受講可能です。

卒業研究

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4 年生 通年 10 単位 (必修) その他

卒業研究専攻分野教員

【一般目標 (GIO)】卒業研究では 4 年間の集大成である卒業論文作成に取り組み、4 年間で育んだ医療ビジネス薬科学の知識と技能、態度を融合させる。

【授業概要】4 年次前期は主に学内外での文献・資料の収集及び読み込みを行い、卒業研究担当教員の指導のもと学生間での討論を重ねることにより、自身の研究テーマを固めていく。併せて卒業研究を行うにあたり必要な論文作成の基本的な手法や研究倫理も学習する。

【授業計画】大学における学修の集大成として、また社会に出る際の自身の基盤となる課題を研究テーマとする。

担当教員： 陳 福士

研究テーマ

健康・競技サポート領域

- ① 運動生理学、運動生化学
- ② スポーツマネジメント学

担当教員： 縣 右門

研究テーマ

健康・競技サポート領域

- ① スポーツ医学、スポーツ栄養学、
- ② トレーニング学

担当教員： 松永 修司

研究テーマ

健康・競技サポート領域

- ① コンディショニング学、スポーツ情報学
- ② トレーニング学

【方略】講義 (ゼミ)、演習 (配布資料)、討論 (SGD)、発表会

【評価方法と基準】卒業研究に取り組む態度、卒業研究の活動内容、卒業論文の内容および発表会でのプレゼンテーションから総合的に評価を行う。詳細は別途資料を配布して説明する。

【学生の質問への対応】居室にて対応する。また適宜メールでも対応する。

陳 福士：f-chen@nichiyaku.ac.jp

縣 右門：u-agata@nichiyaku.ac.jp

松永 修司：shujimatsunaga@nichiyaku.ac.jp

【所属分野・場所】さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 室

【教科書】特になし

【参考書】必要な論文や資料は担当教員から受け取ること。

【担当教員からのコメント】4 年間の集大成となる卒業研究ですので十分な時間をかけて、また担当教員とよく相談したうえで作成していきましょう。

運動生化学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 縣 右門

[一般目標 (GIO)] 運動の際に筋肉はもちろん、肝臓や血液、ホルモン分泌、その他多くの臓器の細胞レベルで起こる物質の変化、すなわち生化学的な現象について理解する。

[授業概要] 生理学的な現象を踏まえたうえで、運動全般に関わる糖質、タンパク質、脂質代謝の変化とトレーニングによる代謝応答の変化について学習していく。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	運動生理学と運動生化学	運動生理学と運動生化学の概念の違いを踏まえて理解する
2	骨格筋と運動①	骨格筋の構造や筋繊維の分子構造について理解する
3	骨格筋と運動②	骨格筋中でのエネルギー代謝や基質利用についての代謝応答を理解する
4	自由エネルギーと ATP ①	生化学反応における自由エネルギーの概念を理解する
5	自由エネルギーと ATP ②	ATP の役割と代謝反応における関連物質の相互作用を理解する
6	糖質代謝①	糖質の供給と役割を理解する
7	糖質代謝②	糖質代謝における糖新生やホルモン調節などの働きを理解する
8	脂質代謝①	脂質の種類と役割を理解する
9	脂質代謝②	運動時の脂質代謝、および合成と分解を理解する
10	高強度運動時の代謝応答①	高強度運動のための基質について理解する
11	高強度運動時の代謝応答②	様々な高強度運動と、運動がもたらす疲労について理解する
12	長時間運動時の代謝応答①	長時間運動時の糖質および脂質の酸化について理解する
13	長時間運動時の代謝応答②	運動前および運動中の糖質および脂質利用について理解する
14	トレーニングに対する代謝適応	運動時の代謝応答の変化や免疫抑制、ホルモンの適応について理解する
15	総括	運動時の物質の変化と代謝の変化、運動による代謝応答の変化について包括的に検討する

[方略] 講義 (パワーポイントによる説明とワークシート)

[評価方法と基準] 定期試験 70 %、小テスト 20 %、レポート 10 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

[学生の質問への対応] 授業終了後に対応する。また E-mail による質問も受け付ける。

E-mail アドレス: u-agata@nichiyaku.ac.jp

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 号室

[教科書] 特になし

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] 運動科学やスポーツ科学の領域では生理学的と生化学は密接に結びついています。そのため、運動生理学をよく復習したうえで授業に臨むようにしましょう

健康づくりプログラム論

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 縣 右門

〔一般目標 (GIO)〕 生活習慣病の予防・治療にとって食事療法、薬物療法と並ぶ有効な手段である運動療法の実践及び指導のための知識を修得する。

〔授業概要〕 生活習慣病をはじめとする文明病を予防し、治療することを目的とした運動処方について、様々な状況に応じた適切な運動プログラムの作成手順等を学習する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	フィットネスプログラムの基礎理論	健康づくりプログラムの基礎理論を理解し、スポーツプログラマーの役割を学習する
2	フィットネストレーニングの特徴とその効果①	体力要素のうち全身持久力及び身体組成系のトレーニングとしてのエアロビクトレーニングの特徴とその効果を学習する
3	フィットネストレーニングの特徴とその効果②	エアロビクスダンスを用いたフィットネストレーニングの特徴とその効果を学習する
4	フィットネストレーニングの特徴とその効果③	体力要素のうち筋力及び筋持久力系のトレーニングとしてのレジスタンストレーニングの特徴とその効果を学習する
5	フィットネストレーニングの特徴とその効果④	レジスタンストレーニングを中心にマシンを利用したフィットネストレーニングの特徴とその効果を理解する
6	フィットネストレーニングの特徴とその効果⑤	体力要素のうち柔軟性系のトレーニングの特徴とその効果を学習する
7	フィットネストレーニングの特徴とその効果⑥	体力要素のうち調整力性系のトレーニングの特徴とその効果を学習する
8	レクリエーションスポーツの実際	生涯スポーツの種目として、また疲労回復やリハビリテーションの手段としての様々な軽スポーツ及び運動ゲームを知る
9	フィットネスプログラムの実際①	こども～青少年にかけての発育発達段階に応じたフィットネストレーニングの具体例からプログラム作成法を学習する
10	フィットネスプログラムの実際②	壮年 (中年) のライフスタイルに応じたフィットネストレーニングの具体例からプログラム作成法を学習する
11	フィットネスプログラムの実際③	加齢に伴う高齢者特有の身体状況に応じたフィットネストレーニングの具体例からプログラム作成法を学習する
12	フィットネスプログラムの実際④	女性特有の身体的特性及びライフスタイルに応じたフィットネストレーニングの具体例からプログラム作成法を学習する
13	フィットネスプログラムの実際⑤	障がい者のライフスタイルに応じたフィットネストレーニングの具体例からプログラム作成法を学習する
14	フィットネスプログラムの実際⑥	障がい者のライフスタイルに応じたフィットネストレーニングの具体例からプログラム作成法を学習する
15	総括	体調チェックの意義と方法をはじめとする、安全管理の重要性など、健康づくりプログラム指導における注意点を踏まえたうえで包括的に理解する

〔方略〕 講義 (パワーポイントによる説明とワークシート)

〔評価方法と基準〕 定期試験 70 %、小テスト 20 %、レポート 10 % で評価する。

追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。また E-mail による質問も受け付ける。

E-mail アドレス：u-agata@nichiyaku.ac.jp

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 研究実習棟 9 階 902 号室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 特になし

〔担当教員からのコメント〕 運動療法を実践するための基礎知識を得ることを目的とした授業です。配布資料が多くなりますが、しっかりと読み込むようにしましょう。

スポーツと情報戦略

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 原村未来 (実務)

[一般目標 (GIO)] スポーツにおいて情報戦略は今日欠かせないものとなっている。スポーツにおける「情報」の持つ意味、役割、扱われ方を理解し、実際に情報収集、分析し、パフォーマンス評価やコーチとしての観察、戦略立案などに役立てるための基礎的な理解と力を身につけ、最終的に情報提供対象者を設定したフィードバックを行い、プレゼンテーションの方法などを学ぶ。

[授業概要] スポーツにおける「情報戦略」という言葉は聞きなれないかもしれませんが、しかし、今日では日常的に行われており、意識していないだけという事が多いです。スポーツにおいて、情報はありとあらゆるところに存在し、これらを収集、分析することで評価やトレーニングへの活用などに繋がります。情報とは何を指すのか、インフォメーションからインテリジェンスへの変換など、スポーツの現場での情報戦略がどのように行われているのか、事例を紹介するとともに、実際に情報収集、分析を実践し、最終的にフィードバックをプレゼンテーション形式で行なう。

[授業計画] 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	スポーツと情報戦略	スポーツにおける情報戦略とはどういうことを指すのか概要を理解する。
2	スポーツと情報戦略 (2)	今日、スポーツ現場で情報戦略がどのように行われているのか、日本国内の事例を基に構成などを理解する。
3	インフォメーションとインテリジェンス	スポーツ情報戦略では、インフォメーションとインテリジェンスに明確な違いがある。この違いについて理解する。
4	オリンピックにおける情報戦略 (1)	オリンピックでは各国が情報戦略を駆使してメダルを争っている。トップスポーツの現場で行われている情報戦略について理解する。
5	オリンピックにおける情報戦略 (2)	オリンピックでは各国が情報戦略を駆使してメダルを争っている。トップスポーツの現場で行われている情報戦略について理解する。
6	情報戦略のプロセス	情報を適切に、効果的に活用するために収集するだけではできない。これら情報を効果的に活用するためのプロセスについて理解する。
7	情報戦略のプロセス (2)	情報を適切に、効果的に活用するために収集するだけではできない。これら情報を効果的に活用するためのプロセスについて理解する。
8	情報戦略における課題	情報を収集、分析、提供を通じて、我々は行動を決定することになる。この際、行動に至るまでに生じる様々な課題について理解する。
9	情報収集の方法	点在する活きたデータを収集するには様々な方法がある。データの収集方法の仕方、注意点などを紹介し、実際に収集する際に役立てる。
10	情報戦略演習 (1)	これまでのスポーツと情報戦略との関わりを基に、スポーツにおいても情報の重要性を理解される。これらを基に、情報の分類、整理、収集、分析を行い、グループで実際にテーマを設定し、戦略プランを立てる。
11	情報戦略演習 (2)	これまでのスポーツと情報戦略との関わりを基に、スポーツにおいても情報の重要性を理解される。これらを基に、情報の分類、整理、収集、分析を行い、グループで実際にテーマを設定し、戦略プランを立てる。
12	情報戦略演習 (3)	これまでのスポーツと情報戦略との関わりを基に、スポーツにおいても情報の重要性を理解される。これらを基に、情報の分類、整理、収集、分析を行い、グループで実際にテーマを設定し、戦略プランを立てる。
13	情報戦略演習 (4)	これまでのスポーツと情報戦略との関わりを基に、スポーツにおいても情報の重要性を理解される。これらを基に、情報の分類、整理、収集、分析を行い、グループで実際にテーマを設定し、戦略プランを立てる。
14	情報戦略演習 (5)	これまでのスポーツと情報戦略との関わりを基に、スポーツにおいても情報の重要性を理解される。これらを基に、情報の分類、整理、収集、分析を行い、グループで実際にテーマを設定し、戦略プランを立てる。
15	まとめ	総論、成績評価について確認する。

[方略] 講義 (パワーポイント及び配布資料)、演習

[評価方法と基準] 授業中に行う小テスト 30 %、演習後に提出するレポート 70 % で評価する。追・再試験実施することがある。

[学生の質問への対応] 講義日に対応する。

[所属分野・場所] さいたまキャンパス 管理棟 3階 302号室 非常勤講師室

[教科書] 特になし

[参考書] 特になし

[担当教員からのコメント] スポーツと情報戦略という言葉自体、なかなか耳にしません。しかし、実際には日常的に行われていたり、情報戦略のためのデータ、情報は点在しており、その収集方法も現在は多様になっています。それゆえに、情報戦略は高度化しておりこれらの収集だけでなく、分析、評価、提供において優れた知識や技術も必要とされます。これらについて紹介、説明し、また実際に自分が行うことでその重要性と自身が競技者やコーチとして情報を活用できるための基礎的理解を深めましょう。

アスレティックトレーナー論

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4 年生 (前期) 2 単位 (選択) 講義

講師 (非) 金谷俊介 (実務)

〔一般目標 (GIO)〕 スポーツ現場・チームにおけるサポートスタッフの業務・連携を理解する。

スポーツ現場の基本的業務を学び、スポーツ選手の外傷・障害からの競技復帰までのアスレティックリハビリテーションプログラムを理解する。

〔授業概要〕 スポーツ現場における、ドクター・コーチ・メディカルスタッフ・トレーナーの連携を理解するとともに、アスリートが外傷から競技に復帰するためのトレーニングやリハビリテーション計画を学習する。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	アスレティックトレーナーとは	本講義のガイダンスとともにスポーツ現場におけるアスレティックトレーナーの役割を学習する。
2	アスレティックトレーナーの業務とチームスタッフとの連携	チームにおけるアスレティックトレーナーの業務と、他チームスタッフとの関わり合いや連携を学習する。
3	アスレティックリハビリテーションの定義	競技復帰に向けたアスレティックリハビリテーションの基本的概念を学習する。
4	測定と評価①	競技者として必要な身体の要素を理解する。
5	測定と評価②	競技者である自分自身の身体の状態を理解し、改善点を導き出す。
6	競技における外傷・障害の基礎知識	競技における特徴的な外傷の種類や原因を理解する。
7	スポーツ動作中のマルアライメント	競技中の動的アライメント異常を理解し、その改善点を学習する。
8	動的アライメントの評価	動的アライメントの評価法を理解し、実践する。
9	アスレティックリハビリテーションにおける神経系の役割	障害予防のための動作学習を神経系の働きとともに学習する。
10	上肢のアスレティックリハビリテーション	上肢の外傷・傷害のリスク管理に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラムを学習する
11	体幹のアスレティックリハビリテーション	体幹の外傷・傷害のリスク管理に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラムを学習する
12	下肢のアスレティックリハビリテーション①	下肢の外傷・傷害のリスク管理に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラムを学習する
13	下肢のアスレティックリハビリテーション②	下肢の外傷・障害のリスク管理に基づいたアスレティックリハビリテーションを理解し、実践する。
14	競技復帰のための段階付け	リハビリテーション・アスレティックリハビリテーションの区分けを学習し、競技復帰までに必要な要素を理解する。
15	復習	講義の内容についてのまとめ、補足説明、質疑応答など

〔方略〕 講義 (パワーポイント及び配布資料)

〔評価方法と基準〕 定期試験のみで評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後または E-mail で対応する。

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 管理棟 3 階 302 号室 非常勤講師室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 特になし

〔担当教員からのコメント〕 スポーツジムを含むスポーツ現場における外傷・障害の再発予防と競技復帰を目指す、アスレティックリハビリテーションのプログラムを学習します。

発育発達に応じたトレーニング

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 具志堅武

〔一般目標 (GIO)〕 発育発達に関する基本的な知識とジュニア期におけるトレーニングや指導に関する諸理論について学び、トレーニングプログラムの立案ができる。

- 〔授業概要〕 1. 発育発達に関する知識と発達時期に合わせたトレーニングの留意点について学ぶ。
2. ジュニア期におけるトレーニングプログラムについて知識を得る。
3. トレーニング指導のために必要な諸理論について理解し、トレーニングプログラムの立案、実施を行う。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	講義の趣旨、学修内容について把握する。
2	発育と発達	発育発達に関する基礎的知識を得る。
3	発育発達に合わせたトレーニング	発育時期に合わせたトレーニングについて理解する。
4	様々なジュニアトレーニング	幼児から小学校低学年を対象としたトレーニングについて知識を得る。特にボールゲーム指導理論 (TGfU やバルシューレ) を理解する。
5	発育発達とスポーツ傷害	ジュニア期に起こりうるスポーツ傷害について理解する。
6	ジュニアトレーニングに関する諸理論	顕在的学習と潜在的学習について理解する。
7	トレーニングプログラムの作成	これまでの講義の学修内容をもとに、ジュニア期を対象としたトレーニングプログラムを立案作成する。
8	トレーニングプログラムの実施	立案したトレーニングプログラムをもとに指導実践を行う。
9	ジュニア指導のためのスポーツ運動学	スポーツ運動学についての概要を理解する。
10	子どもの体力低下について	現代における子どもの体力低下の要因や現状について理解する。
11	子どものストレスとリスク管理	ジュニア期における子どものストレスの特徴や熱中症、アナフィラキシーショックなどのリスク管理について理解する。
12	トレーニング指導法としてのキネステーズ・アナログン	トレーニング指導に必要な知識としてキネステーズ・アナログンについて理解する。
13	コツとカンの反転化原理 (差異化現象)	運動の原理としてのコツとカンの反転化原理について理解する。
14	指導者の資質およびスキル	ジュニア期のトレーニング指導において必要な指導者の資質やスキルについて理解する。
15	授業内容の総括	これまでの講義内容の確認、総括を行う。

〔方略〕 講義 (パワーポイント及び配布資料)

〔評価方法と基準〕 講義内レポート (30%) 定期試験 (70%) で評価する。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕 授業終了後に対応する。また、E-mail による質問も受け付ける。

〔所属分野・場所〕 さいたまキャンパス 管理棟 3階 302号室 非常勤講師室

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 講義内でプリントを配布します。

〔担当教員からのコメント〕 発育発達とトレーニングの関係、また、指導法などについて学習し、子どもに適切な運動・スポーツおよびトレーニング指導が出来るように取り組みましょう。

セルフメディケーション学

[医療ビジネス薬科学科 (さいたまキャンパス)] 4年生 (前期) 2単位 (選択) 講義

講師 (非) 岩堀禎廣

〔一般目標 (GIO)〕セルフメディケーションの実際・意義・役割及びセルフメディケーションに係わる様々なビジネスの姿を理解するために必要な基本的知識と思考法、創造性を体得する。

〔授業概要〕まず、セルフメディケーションとは何かを理解し、セルフメディケーションに用いられる一般用医薬品 (OTC)、健康食品などの基本的知識、流通・販売に関する知識、薬事関連法規・制度に関する知識などを習得する。セルフメディケーションに係わる様々なビジネスの現場で最初に実際に必要となる知識や用語を修得する。知識を活用し、新しい物事を生み出すプロセスを体得する。

〔授業計画〕前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション	「講座内容、講師、学習法、セルフメディケーションとは」について生活者などの非専門家に説明できる。
2	セルフメディケーションツール (OTC)	セルフメディケーションにおける「OTC」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
3	セルフメディケーションツール (漢方)	セルフメディケーションにおける「漢方」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
4	セルフメディケーションツール (サプリメント、健康食品)	セルフメディケーションにおける「サプリメント、健康食品」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
5	セルフメディケーションツール (食事、塩分、肥満、ストレス、睡眠)	セルフメディケーションにおける「食事、塩分、肥満、ストレス、睡眠」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
6	セルフメディケーションツール (運動、健康診断、測定、生活改善薬)	セルフメディケーションにおける「運動、健康診断、測定、生活改善薬」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
7	セルフメディケーションツール (化粧、カラコン、ネイル、マツエク、アロマ)	セルフメディケーションにおける「化粧、カラコン、ネイル、マツエク、アロマ」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
8	トリアージ	セルフメディケーションにおける「トリアージ」について生活者などの非専門家が理解できるように説明できる。
9	ビジネスモデルとは？	「ビジネスモデルとは？」「セルフメディケーションビジネス、社会貢献起業などの分野におけるビジネスモデル」について非専門家が理解できるように説明できる。
10	PBL チュートリアル方式を活用した事例検討	① リアルビジネス (Dgs、調剤薬局、ネイルサロン、美容室) について非専門家が理解できるよう説明できる。
11	PBL チュートリアル方式を活用した事例検討	② WEB ビジネス (ウェルク、ケンコーコム、ルナルナ) について非専門家が理解できるよう説明できる。
12	PBL チュートリアル方式を活用した事例検討	③ 新規ビジネスモデル例 (血圧も都会に！、相性就職、健ママ) について非専門家が理解できるよう説明できる。
13	スモールグループディスカッション	与えられた課題についてチームで対応し、新しい物事を生み出すことができる。
14	プレゼンテーション準備	チームでの成果を非専門家に伝わりやすいようにプレゼンテーションするために必要な準備ができる。
15	プレゼンテーション	非専門家に伝わりやすいようにプレゼンテーションできる

〔方略〕講義は項目ごとの資料を配布し、PPT を基本としつつ必要に応じ、説明と捕捉をホワイトボードを用いて行う。グループディスカッションは可能な限り多くチューターを配置し、双方向性を高める。

〔評価方法と基準〕定期試験 (100%)。追再試験を実施することがある。

〔学生の質問への対応〕e-mail、FB、LINE にて対応。twitter には対応しない。

〔所属分野・場所〕さいたまキャンパス 管理棟3階302号室 非常勤講師室 1号館非常勤講師控室

〔教科書〕プリント配布

〔参考書〕プリント配布

〔担当教員からのコメント〕本セルフメディケーション学は、薬学分野におけるものとは異なり、セルフメディケーションという手段を通じて、ヘルスケアビジネスを理解し、自らヘルスケアビジネスを創出していける起業家を育成するための第一歩とする講座です。最先端の講義理論を用いて座学の授業だけでなく、アウトプットを重視した授業です。受講者は、受講者の個性を活かした授業参加を実現できるよう配慮されます。ヘルスケア分野での起業を目標とする学生だけでなく、自分の適性や長所・短所、将来の展望が不明確な学生にも受講をお勧めします。



日本薬科大学

NIHON PHARMACEUTICAL UNIVERSITY